

(受公緑 8 - 2)

宇治市黄檗公園プール改修建築工事

図面リスト							
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-00	表紙・図面リスト	A-20	改修 1階平面図	A-40	現況撤去 遊具参考図	A-60	〔参考〕既設屋外配管図
A-01	特記仕様書(1)	A-21	現況・撤去 大人プール平面詳細図	A-41	改修 子供プール平面詳細図	A-61	〔参考〕撤去プールろ過設備 配管ルート図 管理棟改修図
A-02	特記仕様書(2)	A-22	改修 大人プール平面詳細図	A-42	地盤改良参考図	A-62	〔参考〕新設プールろ過設備 配管ルート図
A-03	特記仕様書(3)	A-23	現況撤去(大人プール) 詳細図1	A-43	地盤改良土工事参考図	A-63	〔参考〕撤去ピット排水平面図
A-04	特記仕様書(4)	A-24	現況撤去(大人プール) 詳細図2	A-44	新設子供プール仕様書	A-64	〔参考〕新設ピット排水平面図
A-05	特記仕様書(5)	A-25	現況撤去(大人プール) 詳細図3	A-45	新設子供プール全体図	A-65	〔参考〕電気設備 現況・撤去1階平面図
A-06	特記仕様書(6)	A-26	現況撤去(大人プール) 詳細図4	A-46	新設子供プール基礎伏図	A-66	〔参考〕電気設備 改修1階平面図
A-07	特記仕様書(7)	A-27	新設大人プール仕様書	A-47	新設子供プール断面詳細図		
A-08	特記仕様書(8)	A-28	新設大人プール全体図	A-48	新設遊具詳細図1		
A-09	特記仕様書(9)	A-29	新設大人プール基礎伏図	A-49	新設遊具詳細図2		
A-10	特記仕様書(10)	A-30	新設大人プール断面図短辺側1	A-50	現況・撤去 改修 機械室棟詳細図		
A-11	特記仕様書(11)	A-31	新設大人プール断面図短辺側2	A-51	部分詳細図		
A-12	アスベスト対策工事特記仕様書	A-32	新設大人プール断面図長辺側	A-52	外構配置図		
A-13	工事区分表	A-33	新設大人プールプール接合部詳細図	A-53	外構詳細図-1		
A-14	付近見取図	A-34	新設大人プール部品詳細図1	A-54	外構詳細図-2		
A-15	配置図	A-35	新設大人プール部品詳細図2	A-55	外構詳細図-3		
A-16	仮設計画図	A-36	現況・撤去 子供プール平面詳細図	A-56	日除けテント-1 詳細図		
A-17	外部仕上表	A-37	現況撤去(子供プール) 詳細図1	A-57	日除けテント-2 詳細図		
A-18	現況 ピット図	A-38	現況撤去(子供プール) 詳細図2	A-58	日除けテント-3 詳細図		
A-19	現況・撤去 1階平面図	A-39	現況撤去(子供プール) 詳細図3	A-59	〔参考〕給水引込み替え配置図		

注
記
・
備
考



宇治市黄檗公園プール改修建築工事

表紙・図面リスト

図面番号: A-00

S = -

設計者: 1級建築士登録
第251646号 庄田 正

株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録
第251646号 庄田 正

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																						
②	仮設工事	<p>工事用水</p> <p>工事用電力</p> <p>仮囲い等</p> <p>設計 G L</p>	②	土・鉄筋・コンクリート工事	<p>構造体強度補正值 (6.3.2)</p> <p>気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>予想平均気温 (°C)</th> <th>補正值</th> <th colspan="3">期間 (打設日)</th> </tr> <tr> <th>普通</th> <th>早強 (S)</th> <th>南部地域</th> <th>中部地域</th> <th>北部地域</th> </tr> <tr> <td>8以上</td> <td>5以上</td> <td>3</td> <td>3/6 ~ 6/30</td> <td>3/11 ~ 7/20</td> <td>3/11 ~ 7/10</td> </tr> <tr> <td>5以上</td> <td>N/mm2</td> <td>6</td> <td>9/11 ~ 11/15</td> <td>9/1 ~ 11/5</td> <td>9/1 ~ 10/31</td> </tr> <tr> <td>0以上</td> <td>0以上</td> <td>6</td> <td>11/16 ~ 3/5</td> <td>11/ 6 ~ 3/10</td> <td>11/ 1 ~ 3/10</td> </tr> <tr> <td>8未満</td> <td>5未満</td> <td>N/mm2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>南部地域 (京都市(一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町含む)</p> <p>フレッシュコンクリートの試験省略する</p> <p>12 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3)</p> <p>13 寒中コンクリート (6.11.1)</p> <p>14 暑中コンクリート (6.12.2)</p> <p>コンクリート車等の過積載防止対策等</p>	予想平均気温 (°C)	補正值	期間 (打設日)			普通	早強 (S)	南部地域	中部地域	北部地域	8以上	5以上	3	3/6 ~ 6/30	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10	5以上	N/mm2	6	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5	9/1 ~ 10/31	0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10	11/ 1 ~ 3/10	8未満	5未満	N/mm2				③	防水改修工事	<p>断熱材 (屋根保護防水断熱工法)</p> <p>厚さ _____ mm</p> <p>断熱材 (屋根露出防水断熱工法)</p> <p>厚さ _____ mm</p> <p>種類 _____</p> <p>ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____</p> <p>絶縁用シート ポリエチレンフィルム厚0.15mm以上 (保護防水工法) フラットヤーンクロス (70g/m²程度)</p> <p>立上り部の押入金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0</p> <p>立上り部の保護 乾式保護材 窯業系パネル 類 (寒冷地仕様) 厚さ _____ mm 窯業系パネル 類 (一般地仕様) 厚さ _____ mm 普通れんが (JIS R 1250) 化粧れんが (JIS R 1250) コンクリート (工法 _____)</p> <p>保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm こて仕上げ _____ mm 床タイル張り等仕上げ _____ mm</p> <p>コンクリート仕上りの平たんさ a種 b種 c種 (表8.1.5)</p> <p>脱気装置 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m²)</p> <p>伸縮目地 成形伸縮目地材 _____ 成形緩衝材 R-フック 類製造所の指定品 _____ 屋上排水溝 図示による _____</p> <p>4 改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)</p> <p>屋根露出防水密着工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上資料</th> </tr> <tr> <td>M 4 A S 工法</td> <td>AS-T1 AS-T2 AS-J2</td> <td>表3.4.1</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> </table> <p>屋根露出防水絶縁工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上資料</th> </tr> <tr> <td>M 3 A S 工法 P 0 A S 工法</td> <td>AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3</td> <td>表3.4.2</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> </table> <p>屋根露出防水絶縁断熱工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上資料</th> </tr> <tr> <td>M 3 A S I 工法 M 4 A S I 工法 P 0 A S I 工法</td> <td>ASI-T1 ASI-J1</td> <td>表3.4.3</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> </table> <p>立上り部の押入金物の材質、形状及び寸法 アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 _____</p> <p>断熱材 (屋根露出防水断熱断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____</p> <p>脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m²) 防湿層 (屋根露出防水断熱断熱工法) 設ける 設けない</p> <p>5 合成高分子系R-フックシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施工箇所</th> <th colspan="2">仕上資料</th> </tr> <tr> <td>P 0 S 工法 S 4 S 工法 P 0 S I 工法 S 4 S I 工法</td> <td>S(I)-F1 PC部材入膜増強 (有り無し) S(I)-F2 S(I)-M1 S(I)-M2</td> <td>表3.5.1 表3.5.2 表3.5.3</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> </table> <p>S-F1、S-M1、S-M2の仕様 非歩行仕様 軽歩行仕様</p> <p>断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ mm 種類 _____ 機械的固定工法の場合 _____ 接着工法の場合 _____</p> <p>S I - M 1 及び S I - M 2 の場合の防湿用フィルム 設置する</p>	種 別	防水層	施工箇所	仕上資料		M 4 A S 工法	AS-T1 AS-T2 AS-J2	表3.4.1	種類	使用量	種 別	防水層	施工箇所	仕上資料		M 3 A S 工法 P 0 A S 工法	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	表3.4.2	種類	使用量	種 別	防水層	施工箇所	仕上資料		M 3 A S I 工法 M 4 A S I 工法 P 0 A S I 工法	ASI-T1 ASI-J1	表3.4.3	種類	使用量	種 別	防水層	施工箇所	仕上資料		P 0 S 工法 S 4 S 工法 P 0 S I 工法 S 4 S I 工法	S(I)-F1 PC部材入膜増強 (有り無し) S(I)-F2 S(I)-M1 S(I)-M2	表3.5.1 表3.5.2 表3.5.3	種類	使用量	③	防水改修工事	<p>接着工法の場合で、P Cコンクリート部材下地の場合 目地処理 図示による _____ 入隅部の増張り (S-F 1、S-I-F 1 の場合) 図示による _____ 絶縁用シート及び可塑性移行防止用シート 発泡ポリエチレンシート _____ 仕上げ塗料 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m²) 脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 () 設置数量 (1箇所 / _____ m²) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 固定金具の材質及び寸法形状 防錆処理した鋼板、スチール鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの _____</p> <p>9 施工標識</p> <p>工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付ける。 材質 真鍮製エッチング仕上 150×100 設置数量 () 箇所</p> <p>シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8)</p> <p>シーリングの試験 簡易接着性試験 (部位 _____) 引張接着性試験 (部位 _____)</p> <p>11 とい(雨水) (3.8.2) (3.8.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>ルーフトレン</td> <td>ルーフトレン (JCW 301) 取付け _____ 水はけ良く、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する</td> </tr> <tr> <td>軒どい</td> <td>硬質塩化ビニル製 (角形) (前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm</td> </tr> <tr> <td>たてとい</td> <td>硬質塩化ビニル管 (VP) (カラー) 径 75mm</td> </tr> <tr> <td>谷どい</td> <td></td> </tr> <tr> <td>とい受け金物、足金物</td> <td>改修仕様 表 3.8.2 により溶融 多雪地域の軒どい 亜鉛めっきを行ったもの 取付間隔 0.5m 以下</td> </tr> </table>	材 種	その他	ルーフトレン	ルーフトレン (JCW 301) 取付け _____ 水はけ良く、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する	軒どい	硬質塩化ビニル製 (角形) (前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm	たてとい	硬質塩化ビニル管 (VP) (カラー) 径 75mm	谷どい		とい受け金物、足金物	改修仕様 表 3.8.2 により溶融 多雪地域の軒どい 亜鉛めっきを行ったもの 取付間隔 0.5m 以下
	予想平均気温 (°C)	補正值		期間 (打設日)																																																																																													
普通	早強 (S)	南部地域	中部地域	北部地域																																																																																													
8以上	5以上	3	3/6 ~ 6/30	3/11 ~ 7/20	3/11 ~ 7/10																																																																																												
5以上	N/mm2	6	9/11 ~ 11/15	9/1 ~ 11/5	9/1 ~ 10/31																																																																																												
0以上	0以上	6	11/16 ~ 3/5	11/ 6 ~ 3/10	11/ 1 ~ 3/10																																																																																												
8未満	5未満	N/mm2																																																																																															
種 別	防水層	施工箇所	仕上資料																																																																																														
M 4 A S 工法	AS-T1 AS-T2 AS-J2	表3.4.1	種類	使用量																																																																																													
種 別	防水層	施工箇所	仕上資料																																																																																														
M 3 A S 工法 P 0 A S 工法	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3	表3.4.2	種類	使用量																																																																																													
種 別	防水層	施工箇所	仕上資料																																																																																														
M 3 A S I 工法 M 4 A S I 工法 P 0 A S I 工法	ASI-T1 ASI-J1	表3.4.3	種類	使用量																																																																																													
種 別	防水層	施工箇所	仕上資料																																																																																														
P 0 S 工法 S 4 S 工法 P 0 S I 工法 S 4 S I 工法	S(I)-F1 PC部材入膜増強 (有り無し) S(I)-F2 S(I)-M1 S(I)-M2	表3.5.1 表3.5.2 表3.5.3	種類	使用量																																																																																													
材 種	その他																																																																																																
ルーフトレン	ルーフトレン (JCW 301) 取付け _____ 水はけ良く、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する																																																																																																
軒どい	硬質塩化ビニル製 (角形) (前高) 巾120mm (カラー) 巾150mm																																																																																																
たてとい	硬質塩化ビニル管 (VP) (カラー) 径 75mm																																																																																																
谷どい																																																																																																	
とい受け金物、足金物	改修仕様 表 3.8.2 により溶融 多雪地域の軒どい 亜鉛めっきを行ったもの 取付間隔 0.5m 以下																																																																																																
②	土・鉄筋・コンクリート工事	<p>埋め戻し及び盛土 (3.2.3)</p> <p>建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>鉄筋の種類 (5.2.1)</p> <p>4 溶接金網 (5.2.2)</p> <p>コンクリートの種類 (6.2.1)</p> <p>コンクリートの強度 (6.2.2) (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1)</p> <p>セメントの種類 (6.3.1)</p> <p>骨材 (6.3.1)</p> <p>混和材料 (6.3.1)</p>	③	防水改修工事	<p>1 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5)</p> <p>既存保護層の撤去 行う (範囲 図示による) ○ 行わない</p> <p>既存防水層の撤去 行う (範囲 図示による) ○ 行わない</p> <p>既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 行う (M4AS M4ASI M4C M4DI L4X) 行わない</p> <p>既存下地の処理 (3.2.6)</p> <p>既存下地の修正箇所の形状、長さ、数量等 図示による _____</p> <p>3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)</p> <p>屋根保護防水工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>P 1 B 工法</td> <td>B-1 B-2</td> <td>表3.3.3</td> </tr> <tr> <td>P 1 B I 工法</td> <td>BI-1 BI-2</td> <td>表3.3.4</td> </tr> <tr> <td>P 2 A I 工法</td> <td>AI-1 AI-2 AI-3</td> <td>表3.3.5</td> </tr> <tr> <td>P 2 A 工法</td> <td>A-1 A-2 A-3</td> <td>表3.3.6</td> </tr> </table> <p>屋根露出防水工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> <th colspan="2">仕上資料</th> </tr> <tr> <td>M 4 C 工法</td> <td>C-1 C-2 C-3 C-4</td> <td>表3.3.7</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> <tr> <td>M 3 D 工法</td> <td>D-1 D-2</td> <td>表3.3.8</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>P 0 D 工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>屋根露出防水断熱工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> <th colspan="2">仕上資料</th> </tr> <tr> <td>P 0 D I 工法 M 3 D I 工法 M 4 D I 工法</td> <td>DI-1 DI-2</td> <td>表3.3.9</td> <td>種類</td> <td>使用量</td> </tr> </table> <p>屋内防水工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>防水層</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>P 1 E 工法 P 2 E 工法</td> <td>E-1 E-2</td> <td>表3.3.10</td> </tr> </table>	種 別	防水層	施 工 箇 所	P 1 B 工法	B-1 B-2	表3.3.3	P 1 B I 工法	BI-1 BI-2	表3.3.4	P 2 A I 工法	AI-1 AI-2 AI-3	表3.3.5	P 2 A 工法	A-1 A-2 A-3	表3.3.6	種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上資料		M 4 C 工法	C-1 C-2 C-3 C-4	表3.3.7	種類	使用量	M 3 D 工法	D-1 D-2	表3.3.8			P 0 D 工法					種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上資料		P 0 D I 工法 M 3 D I 工法 M 4 D I 工法	DI-1 DI-2	表3.3.9	種類	使用量	種 別	防水層	施 工 箇 所	P 1 E 工法 P 2 E 工法	E-1 E-2	表3.3.10																																									
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																															
P 1 B 工法	B-1 B-2	表3.3.3																																																																																															
P 1 B I 工法	BI-1 BI-2	表3.3.4																																																																																															
P 2 A I 工法	AI-1 AI-2 AI-3	表3.3.5																																																																																															
P 2 A 工法	A-1 A-2 A-3	表3.3.6																																																																																															
種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上資料																																																																																														
M 4 C 工法	C-1 C-2 C-3 C-4	表3.3.7	種類	使用量																																																																																													
M 3 D 工法	D-1 D-2	表3.3.8																																																																																															
P 0 D 工法																																																																																																	
種 別	防水層	施 工 箇 所	仕上資料																																																																																														
P 0 D I 工法 M 3 D I 工法 M 4 D I 工法	DI-1 DI-2	表3.3.9	種類	使用量																																																																																													
種 別	防水層	施 工 箇 所																																																																																															
P 1 E 工法 P 2 E 工法	E-1 E-2	表3.3.10																																																																																															

注 Ver_R04(R05_02)

備 考

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																										
3 防水改修工事	<p>内とい（V.P管は使用しない）</p> <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>そ の 他</th> </tr> <tr> <td>たてとい及び横走り管 SGP</td> <td>径 75mm</td> </tr> <tr> <td>とい受け金物、足金物</td> <td>改修仕様表 3.8.2 により溶融重鉛めつきを行ったもの 多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下</td> </tr> <tr> <td>防露巻き</td> <td>改修仕様表 3.8.3 による</td> </tr> </table> <p>掃除口を設ける（開放性のある自転車置き場のといを除く） 養生鉄管を設ける（径 厚さ 長さ ） 既存といの撤去及び養生（ ） 銅管製といの防露巻（改修仕様表 3.8.4 による ） たてとい受金物（ ）</p> <p>(表 3.9.1)(表 5.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>幅</th> <th>板厚(mm)</th> <th>表面処理</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>250 形</td> <td>250</td> <td>1.6</td> <td>AB-1種 AB-2種</td> <td rowspan="4">隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所造の仕様による。</td> </tr> <tr> <td>300 形</td> <td>300</td> <td>1.8</td> <td>AC-1種 AC-2種</td> </tr> <tr> <td>350 形</td> <td>350</td> <td>2.0</td> <td>BA-1種 BA-2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>BB-1種 BB-2種</td> </tr> <tr> <td>曲げ材</td> <td></td> <td>2.0</td> <td>BC-1種 BC-2種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>オープン形式</td> <td></td> <td></td> <td>C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クハ形式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>既存管等の撤去 行う（範囲 図示 ） 行わない 下地補修の工法 図示 板材折曲げ形の管木取付方法 図示 建築基準法に基づく風圧力・積雪荷重に対応した工法 図示による</p>	材 質	そ の 他	たてとい及び横走り管 SGP	径 75mm	とい受け金物、足金物	改修仕様表 3.8.2 により溶融重鉛めつきを行ったもの 多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下	防露巻き	改修仕様表 3.8.3 による	種 類	幅	板厚(mm)	表面処理	備 考	250 形	250	1.6	AB-1種 AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所造の仕様による。	300 形	300	1.8	AC-1種 AC-2種	350 形	350	2.0	BA-1種 BA-2種				BB-1種 BB-2種	曲げ材		2.0	BC-1種 BC-2種		オープン形式			C種		クハ形式					<p>(4.1.4) (4.3.5) - (4.3.8)</p> <p>モルタル塗り仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧E* 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式E* 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式E* 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示 Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂 シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>4 外壁改修工事</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧E* 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式E* 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式E* 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70	注入工法	0.5以上1.0未満	150~250	130	<p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修標準仕様書4.4.2による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 行う 行わない</p> <p>抜き部の補修方法 図示 セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法 (4.3.10(3)による) ○ タイル張りの工法 外装タイル 密着張り 改良圧着張り 外装ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法 (4.3.10(3)による) ○ シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変性シリコーン系 タイルの種類 外装タイル ユニットタイル</p> <p>4 浮き部改修工法 (4.1.4) (4.3.11) - (4.3.16)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アカービン (本/m²)</th> <th>注入口 (箇所/m²)</th> <th>充填量 (箇所/ml)</th> <th>注入量 (箇所/ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>一般部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>アカービン (本/m²)</th> <th>注入口 (箇所/m²)</th> <th>充填量 (箇所/ml)</th> <th>注入量 (箇所/ml)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>一般部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>13</td> <td>12</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>20</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>25</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>9</td> <td>9</td> <td></td> <td>50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法</td> <td>16</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>注入工法用材料 ポリマーセメントスラリー</p> <table border="1"> <tr> <th>広がり速度 (cm/s)</th> <th>長さ変化率 (%)</th> <th>引張接着性 (N/mm²)</th> <th>曲げ性能 (材齢28日) (%)</th> <th>吸水性 (%)</th> <th>耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>3以上</td> <td>3以下</td> <td>0.5以上</td> <td>5.0以上</td> <td>15以上</td> <td>5.0以上</td> </tr> </table> <p>保水係数 0.35~0.55 粘調係数 0.50~1.00 充填工法用材料 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 既製目地材 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</p> <p>(4.1.4) (4.4.5) (4.4.9) - (4.4.15)</p> <p>4 浮き部改修工法 (4.1.4) (4.3.11) - (4.3.16)</p>	工 法	アカービン (本/m ²)	注入口 (箇所/m ²)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所	一般部						指定部						アカービン部分 E* 樹脂注入工法	16		25			アカービン部分 E* 樹脂注入工法	25					アカービン部分 E* 樹脂注入工法	13	12		25		アカービン部分 E* 樹脂注入工法	20	20				アカービン部分 E* 樹脂注入工法	13	12		50		アカービン部分 E* 樹脂注入工法	20	20				注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	9		25			注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	16					注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	9	9		25		注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	16	16				注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	9	9		50		注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	16	16				工 法	アカービン (本/m ²)	注入口 (箇所/m ²)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所	一般部						指定部						アカービン部分 E* 樹脂注入工法	16		25			アカービン部分 E* 樹脂注入工法	25					アカービン部分 E* 樹脂注入工法	13	12		25		アカービン部分 E* 樹脂注入工法	20	20				アカービン部分 E* 樹脂注入工法	13	12		50		アカービン部分 E* 樹脂注入工法	20	20				注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	9		25			注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	16					注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	9	9		25		注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	16	16				注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	9	9		50		注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	16	16				広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (%)	引張接着性 (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (%)	吸水性 (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)	3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上	<p>アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピン ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度</p> <p>(4.2.4) (4.4.7) - (4.4.8)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>1箇所 (箇所/m²)</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>0.25未満</td> <td>ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td></td> <td>張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> </table> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 改修標準仕様書4.5.1による タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整塗材塗りの接着剤試験 行う 行わない</p> <p>抜き部の補修方法 図示 セメントモルタルによるタイル張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ○ 目荒し工法 (4.3.10(3)による) ○ タイル張りの工法 外装タイル 密着張り 改良圧着張り 外装ユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り 有機系接着剤によるタイル張り シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変性シリコーン系 タイルの種類 外装タイル ユニットタイル</p> <p>5 目地改修工法 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.16)</p> <p>目地ひび割れ部改修工法 伸縮調整目地改修工法 位置 改修仕様表 4.4.2 による 図示による 寸法 (幅 × 深さ) コカー打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 20mm以上 × 10mm以上 その他 10mm以上 × 10mm以上</p> <p>6 樹脂注入工法 (4.2.4) (4.2.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>ひび割れの幅 (mm)</th> <th>低粘度形</th> <th>中粘度形</th> <th>0.5~1.0以下</th> </tr> <tr> <td>0.2~0.3未満</td> <td>0.3~0.5未満</td> <td>0.5~1.0以下</td> <td></td> </tr> <tr> <th>注入孔の間隔 (mm)</th> <td>2.0程度</td> <td>3.0程度</td> <td>3.0程度</td> </tr> <tr> <th>注入量 (CC/mm)</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>自動式低圧E* 樹脂注入工法 機械式E* 樹脂注入工法</p> <p>ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜き検査 (抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個) (抜き部分の補修方法)</p> <p>7 Uカットシール材充填工法 (4.2.6) シーリング材の上にポリマーセメントモルタル 行う</p> <p>8 アカービン注入工法 (4.3.5) アンカーピンの材質 ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径4mm、全ネジ切り丸棒</p> <p>9 注入口付アカービン注入工法 (4.3.5) 注入口付アンカーピンの材質 ステンレス鋼 (SUS304)、呼び径外径6mm程度</p> <p>10 モルタル塗替え工法 (4.3.5) モルタル 現場調査材料 既調合材料 () 既製目地材 使用する (形状)</p>	工 法	1箇所 (箇所/m ²)	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	0.25未満	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)		タイル張替え工法		張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)		ひび割れの幅 (mm)	低粘度形	中粘度形	0.5~1.0以下	0.2~0.3未満	0.3~0.5未満	0.5~1.0以下		注入孔の間隔 (mm)	2.0程度	3.0程度	3.0程度	注入量 (CC/mm)			
材 質	そ の 他																																																																																																																																																																																																																																																																																																
たてとい及び横走り管 SGP	径 75mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																
とい受け金物、足金物	改修仕様表 3.8.2 により溶融重鉛めつきを行ったもの 多雪地域の軒といの取付間隔 0.5m 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																
防露巻き	改修仕様表 3.8.3 による																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種 類	幅	板厚(mm)	表面処理	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																													
250 形	250	1.6	AB-1種 AB-2種	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製所造の仕様による。																																																																																																																																																																																																																																																																																													
300 形	300	1.8	AC-1種 AC-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																														
350 形	350	2.0	BA-1種 BA-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																														
			BB-1種 BB-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																														
曲げ材		2.0	BC-1種 BC-2種																																																																																																																																																																																																																																																																																														
オープン形式			C種																																																																																																																																																																																																																																																																																														
クハ形式																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																														
自動式低圧E* 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																																																																																																														
手動式E* 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																																																																																														
機械式E* 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																																																																																														
注入工法	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																																																																																														
工 法	アカービン (本/m ²)	注入口 (箇所/m ²)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																												
一般部																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
アカービン部分 E* 樹脂注入工法	16		25																																																																																																																																																																																																																																																																																														
アカービン部分 E* 樹脂注入工法	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																
アカービン部分 E* 樹脂注入工法	13	12		25																																																																																																																																																																																																																																																																																													
アカービン部分 E* 樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																																																																																																																															
アカービン部分 E* 樹脂注入工法	13	12		50																																																																																																																																																																																																																																																																																													
アカービン部分 E* 樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																																																																																																																															
注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	9		25																																																																																																																																																																																																																																																																																														
注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																
注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	9	9		25																																																																																																																																																																																																																																																																																													
注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																															
注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	9	9		50																																																																																																																																																																																																																																																																																													
注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																															
工 法	アカービン (本/m ²)	注入口 (箇所/m ²)	充填量 (箇所/ml)	注入量 (箇所/ml)	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																												
一般部																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
アカービン部分 E* 樹脂注入工法	16		25																																																																																																																																																																																																																																																																																														
アカービン部分 E* 樹脂注入工法	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																
アカービン部分 E* 樹脂注入工法	13	12		25																																																																																																																																																																																																																																																																																													
アカービン部分 E* 樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																																																																																																																															
アカービン部分 E* 樹脂注入工法	13	12		50																																																																																																																																																																																																																																																																																													
アカービン部分 E* 樹脂注入工法	20	20																																																																																																																																																																																																																																																																																															
注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	9		25																																																																																																																																																																																																																																																																																														
注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																
注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	9	9		25																																																																																																																																																																																																																																																																																													
注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																															
注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	9	9		50																																																																																																																																																																																																																																																																																													
注入口付アカービン部分 E* 樹脂注入工法	16	16																																																																																																																																																																																																																																																																																															
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (%)	引張接着性 (N/mm ²)	曲げ性能 (材齢28日) (%)	吸水性 (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm ²)																																																																																																																																																																																																																																																																																												
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以上	5.0以上																																																																																																																																																																																																																																																																																												
工 法	1箇所 (箇所/m ²)	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																														
タイル部分張替え工法	0.25未満	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																																																																															
タイル張替え工法		張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																																																																															
ひび割れの幅 (mm)	低粘度形	中粘度形	0.5~1.0以下																																																																																																																																																																																																																																																																																														
0.2~0.3未満	0.3~0.5未満	0.5~1.0以下																																																																																																																																																																																																																																																																																															
注入孔の間隔 (mm)	2.0程度	3.0程度	3.0程度																																																																																																																																																																																																																																																																																														
注入量 (CC/mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
4 外壁改修工事	<p>1 施工量調査 (1.6.2) 調査範囲 外壁改修範囲 図示の範囲 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を確認する。 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また既存塗膜と新規塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 図示 調査報告書の部数 2部 施工に先立ち、建築士診断技術者 (BELCA) による外壁劣化状況調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。</p> <p>2 ひび割れ部改修 (4.1.4) (4.2.4) - (4.2.7)</p> <p>コンクリート打直し仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧E* 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式E* 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式E* 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>コア抜き検査 行う 行わない (注入状況確認方法) 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示 Uカットシール材充填方法 シーリング材 充填材料 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタルの充填 行う 行わない 可とう性エポキシ樹脂 シール工法 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂</p> <p>(4.1.4) (4.4.5) (4.4.7) - (4.4.8)</p>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧E* 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式E* 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式E* 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70	注入工法	0.5以上1.0未満	150~250	130	<p>(4.1.4) (4.4.5) - (4.4.6)</p> <p>タイル張り仕上げ 樹脂注入方法</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅 (mm)</th> <th>注入間隔 (mm)</th> <th>注入量 (mL/m)</th> </tr> <tr> <td>自動式低圧E* 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上1.0未満</td> <td>200~300</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>手動式E* 樹脂注入工法</td> <td>0.2以上0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>機械式E* 樹脂注入工法</td> <td>0.3以上0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>注入工法</td> <td>0.5以上1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>130</td> </tr> </table> <p>ひび割れ部の注入状況の確認 コア抜き検査 抜き個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 抜き部の補修方法 図示</p> <p>3 欠損部改修 (4.1.4) (4.2.4) (4.2.7)</p> <p>コンクリート打直し仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗り仕上げ (4.1.4) (4.3.9)</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>充填工法</td> <td>エポキシ樹脂モルタル</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル塗替え工法 改修仕様表 4.3.3 による 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示</p> <p>(4.1.4) (4.4.5) (4.4.7) - (4.4.8)</p> <p>4 欠損部改修 (4.1.4) (4.4.5) (4.4.7) - (4.4.8)</p> <p>タイル張り仕上げ</p> <table border="1"> <tr> <th>工 法</th> <th>材 料</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>タイル部分張替え工法</td> <td>ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タイル張替え工法</td> <td>張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)</td> <td></td> </tr> </table>	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)	自動式低圧E* 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130	手動式E* 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40	機械式E* 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70	注入工法	0.5以上1.0未満	150~250	130	工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル			ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	充填工法	エポキシ樹脂モルタル			ポリマーセメントモルタル		工 法	材 料	施 工 箇 所	タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)		タイル張替え工法	張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																													
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																														
自動式低圧E* 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																																																																																																														
手動式E* 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																																																																																														
機械式E* 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																																																																																														
注入工法	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																																																																																														
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入間隔 (mm)	注入量 (mL/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																														
自動式低圧E* 樹脂注入工法	0.2以上1.0未満	200~300	130																																																																																																																																																																																																																																																																																														
手動式E* 樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	40																																																																																																																																																																																																																																																																																														
機械式E* 樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	70																																																																																																																																																																																																																																																																																														
注入工法	0.5以上1.0未満	150~250	130																																																																																																																																																																																																																																																																																														
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																															
充填工法	エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																															
充填工法	エポキシ樹脂モルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	ポリマーセメントモルタル																																																																																																																																																																																																																																																																																																
工 法	材 料	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																															
タイル部分張替え工法	ポリマーセメントモルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																
タイル張替え工法	張付けモルタル 現場調査材料 既調合モルタル 一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系接着剤 (JIS A 5557による)																																																																																																																																																																																																																																																																																																

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項			
4 外壁改修工事	11 タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法 (4.4.5) (4.4.7) (4.4.8)	施工箇所及びタイルの種類 形状寸法(mm) 生地 釉薬 役物 色 耐凍害性 耐滑り性 耐汚損性 図示 磁器 無釉 有り 標準 有り せつ器 施釉 無し 特注 無し 陶器 既調合モルタル() タイルの試験張り 行わない 行う(施工箇所) タイルの見本張り 行わない 行う(範囲、仕様は図示による) 施工後の確認及び試験(タイル部分張替え工法を除く) 浮きの確認 全面打診による確認を行う 接着力の試験 接着力試験機による接着力試験を行う 行わない	4 外壁改修工事	15 マスチック塗材塗り (4.1.5) (4.6.2)	種別 A種 B種 (表4.6.1)	5 建具改修工事	5 建具改修工事	8 網戸等 (5.2.3) (5.3.3)	防虫網 網の種類 合成樹脂製 ガラス繊維入り合成樹脂製 ステンレス製(SUS316) 形式 外部可動式 固定式 線径、網目 0.25mm以上、16-18メッシュ 防鳥網 設置する	
	12 窓下人研面台の補修	タイル張替え工法の伸縮調整目地及びびびり割れ誘発目地 位置 改修標準表4.4.2による 図示による		16 部分改修工法 (4.5.7)	仕上げ塗材の種類 薄付け仕上塗材 厚付け仕上塗材又は複層仕上塗材 防水形複層仕上塗材 マスチック塗材 施工箇所 別図に示す範囲			9 樹脂製建具 (5.3.2) (5.3.5)	外部に面する樹脂製建具の性能等級 (表5.3.1)	性能等級 A種 B種 C種 耐風圧性 S-4 S-5 S-6 気密性 A-4 水密性 W-4 W-5 枠見込み(mm) 図示
	13 仕上塗材 (4.1.5) (4.5.2) (4.5.6)	シール工法 (仕上げ塗材は外壁仕上塗材の上塗り材とする。) 塗膜防水 (弾性ウレタン系 エポキシ系)		17 外壁用塗膜防水材塗り (4.1.5) (4.7.2) (4.7.3)	外壁用塗膜防水塗り 仕上げの形状 工法 外壁用仕上げ塗材の耐水性 下地挙動緩衝材の適用 適用する 適用しない 吹付け工法の模様材の種類 所要量 (kg/m ²) 外壁用仕上げ塗材の種類 所要量 (kg/m ²)			鋼製建具 (5.2.2) (5.4.2) (5.4.4)	外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (A種) (表5.2.1)	簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級) 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級)
	薄付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)	種 類 (呼び名) 仕 上 げ 工 法 備 考 外装薄塗材Si 砂壁状 ゆず肌状 吹付け ゆず肌状 さざ波状 ローラ塗り 可とう形外装薄塗材Si 砂壁状 ゆず肌状 吹付け ゆず肌状 さざ波状 ローラ塗り 外装薄塗材E 砂壁状 ゆず肌状 吹付け 平たん状 凹凸状 こそ塗り ゆず肌状 さざ波状 ローラ塗り 着色骨材砂壁状 こそ塗り 吹付け 可とう形外装薄塗材E 砂壁状 ゆず肌状 吹付け 平たん状 凹凸状 こそ塗り ゆず肌状 さざ波状 ローラ塗り 防水形外装薄塗材E (増塗材) ゆず肌状 さざ波状 ローラ塗り 凹凸状 吹付け 外装薄塗材S 砂壁状 吹付け		2 施工数量調査 (1.6.2)	性能 「第1章 一般共通事項 4 風圧力及び積雪に対する性能」を満足させること。 行う(建具金物 ガラス ガラス止め材) 施工に先立ち、施工数量調査報告書を監督職員に提出し承諾を得ること。 行わない			11 鋼製軽量建具 (5.2.2) (5.5.2) (5.5.4)	JISただし書き建具の寸法許容差(これ以外は改修標準による) 製造所標準製作規定寸法許容差による 鋼板類の厚さ 表5.4.2(片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型鋼製建具の形式及び寸法 建具表による	鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 ビニル被覆鋼板 カラー鋼板 鋼板類の厚さ 表5.5.1(片開き、親子開き及び両開き戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合は除く) mm 召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板 ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL 標準型鋼製建具の形式及び寸法 建具表による
	厚付け仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)	種 類 (呼び名) 仕 上 げ 工 法 備 考 外装厚塗材C 吹出し 凸部処理 吹付け 平たん状 凹凸状 こそ塗り (上塗材) ひき起こし かき落とし 外装厚塗材Si 吹出し 凸部処理 吹付け 外装厚塗材E 平たん状 凹凸状 こそ塗り (上塗材) ひき起こし ローラ塗り		3 改修工法 (5.1.3)	既存建具を新規建具に改修する場合 かぶせ工法(カバー工法 持出し工法 ノンシール工法) 撤去工法(はつり工法 引き抜き工法) 新規に建具を設置する場合 新規建具を設ける壁の開口方法 図示による 新規建具周囲の補修工法及び範囲 図示による			12 ステンレス製建具 (5.2.2) (5.6.2) (5.6.5)	外部に面する建具の耐風圧性 耐風圧性能の等級 (O) (表6.2.1) 簡易気密庫の気密性、水密性 適用する 適用しない (表5.4.1) 防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級 T-1 T-2 T-3) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級 H-2 H-3) 耐震ドアとする場合 (面内変形追随性の等級 D-1 D-2)	ステンレス鋼板の種類 SUS304 SUS430J1L SUS443J1 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL
	複層仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)	種 類 (呼び名) 仕 上 げ 工 法 備 考 複層塗材CE 凸部処理 吹付け 複層塗材Si 凹凸状 複層塗材E 複層塗材E ゆず肌状 ローラ塗り 可とう形複層塗材CE 凸部処理 凹凸状 吹付け ゆず肌状 ローラ塗り 防水形複層塗材CE 凸部処理 吹付け 防水形複層塗材E 凹凸状 (増塗材) 防水形複層塗材RE ゆず肌状 ローラ塗り		4 見本の製作等 (5.1.5) (5.1.6)	建具見本の製作 行う (建具番号) 特殊な建具の仮組 行う (建具番号) ブラインドボックス等の再利用 ()			表面処理 (表5.2.2)	種 別 色 施 工 箇 所 BB-1種 標準 特注 図示による BB-2種 標準 特注 図示による 標準 特注 標準 特注 標準 特注	JISただし書き建具の寸法許容差 製造所標準製作規定寸法許容差による 表面仕上げ HL 鏡面仕上げ 曲げ加工 普通曲げ 角出し曲げ
	可とう形改修用仕上塗材 (JIS A 6909) (表4.5.1)	種 類 (呼び名) 仕 上 げ 工 法 備 考 可とう形改修塗材E 平たん状 ローラ塗り 可とう形改修塗材RE さざ波状 ローラ塗り 可とう形改修塗材CE ゆず肌状 吹付け		5 アルミニウム製建具 (5.2.2) (5.2.5)	外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (表5.2.1)			性能等級 A種 B種 C種 耐風圧性 S-4 S-5 S-6 気密性 A-3 A-4 水密性 W-4 W-5 枠見込み(mm) 図示 70 100 図示	防音ドア、防音サッシとする場合 (遮音性の等級) 断熱ドア、断熱サッシとする場合 (断熱性の等級)	ステンレス製のくつずりの仕上げ HL
	防火材料の指定 なし 下地補修後の打直しコンクリート壁面の仕上げ補修 行う (参考工法: 製造所:) 行わない	仕上塗材の耐水性 耐候形3種 仕上塗材の上塗材 溶媒 水系 樹脂 アクリル系 外観 つや有 つやなし メタリック		6 防犯建物部品 (5.1.7)	開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」を適用する箇所 ・ ドア 適用箇所 () ・ サッシ 適用箇所 () ・ シャッター 適用箇所 ()			結露水の処理方法 ○ 水貯め式 ○ 排水式 図示による ○ 水切り、ぜん板等 図示による ○ ステンレス製のくつずりの仕上げ HL	防火材料の指定 なし	窓 (表5.8.1)
	14 既存塗膜等の除去及び下地処理 (4.5.4) (4.5.5)	既存塗膜の除去方法 試験施工実施 サンダー工法 高圧水洗工法(試験施工実施) (加圧力 30Mpa) 塗膜はく離工法(製造所:) 水洗い工法 (ェットパ 高圧ホッ 10~15pa) 既存塗膜の除去範囲 既存仕上げ面全体 既存壁面の(%) 別図に示す範囲		7 引戸 (5.8.1)	金物の種類 見え掛り部の材質 その他 引戸用錠 クレセント 引手類 戸車 (上吊りの場合を除く) レール (上吊りの場合を除く)			金物 種類 見え掛り部の材質 その他 クレセント・調整器 ・ヒンジ等	引戸 (表5.8.1)	金物 種類 見え掛り部の材質 その他 クレセント・調整器 ・ヒンジ等
				7 自動ドア開閉装置 (5.9.2) (5.9.3)	駆動装置及び検出装置の性能 引き戸用駆動装置性能値 改修標準 表5.9.1による (SSLD-1 SSLD-2 DSLD-1 DSLD-2) 種類・開閉方式 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源			駆動装置及び検出装置の性能 改修標準 表5.9.2による 耐電圧 温度上昇 耐久性(サイクル) 防錆 電源		

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
5	<p>引き戸用検出装置性能値 改修標準 表5.9.3による</p> <table border="1"> <tr> <td>放射線周波数 電磁界耐性</td> <td>耐電圧</td> <td>防 錆</td> <td>防 滴</td> <td>電 源</td> </tr> </table> <p>戸の開閉方式 建具表による 引き戸検出装置の種類 表 5.9.4 () による 建具表による タッチスイッチの種類 無線式タッチスイッチ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便房 大形押しボタンスイッチ 非接触スイッチ 凍結防止措置 行う</p> <p>性能値等の区分 (表5.10.1)</p> <table border="1"> <tr> <td>適用戸の総質量(kg)</td> <td>40以下</td> <td>40を超えるもの</td> </tr> <tr> <td>手動開き力(N)</td> <td>15以下</td> <td>20以下</td> </tr> <tr> <td>手動閉じ力(N)</td> <td>15以下</td> <td>20以下</td> </tr> </table> <p>性能等 品質・規格</p> <p>15 自閉式上吊り引戸装置 (5.10.3)</p> <p>16 重量シャッター (5.11.2) ~ (5.11.4)</p> <p>種類 管理用シャッター (シャッターケース 設ける) 耐風圧強度 () 外壁用防火シャッター (シャッターケース 設ける) 耐風圧強度 () 屋内用防火シャッター (シャッターケース 設ける) 屋内用防煙シャッター (シャッターケース 設ける)</p> <p>外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 Pa 開閉方式 電動式 (手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による</p> <p>スラット及びシャッターケース用鍍板</p> <table border="1"> <tr> <td>材 質</td> <td>めっきの付着量</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3302</td> <td>Z12又はF12を満足するもの</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3312</td> <td>Z12又はF12を満足するもの</td> </tr> </table> <p>17 軽量シャッター (5.12.2) ~ (5.12.4)</p> <p>開閉方式 電動式 (手動併用) 手動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による</p> <p>耐風圧強度 Pa スラット</p> <table border="1"> <tr> <td>材 質</td> <td>めっきの付着量</td> <td>形 状</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3312</td> <td>Z06又はF06を満足するもの</td> <td rowspan="2">インターロッキング形 オーバラッピング形</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3322</td> <td>AZ90を満足するもの</td> </tr> </table> <p>18 オーバーヘッドドア (5.13.2) ~ (5.13.4)</p> <p>セクション材 スチールタイプ アルミニウムタイプ アルミ樹脂タイプ 耐風圧性能 Pa 開閉方式 バランス式 チェーン式 電動式 電動式シャッターには安全装置を設ける 設置箇所 図示による</p> <p>収納形式 スタンド形 ローヘッド形 ハイリフト形 パーチカル形 ガイドレール等 溶融亜鉛めっき鋼板 ステンレス鋼板</p> <p>19 ガラス (5.14.2) ~ (5.14.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>種類等</th> <th>種 別</th> <th>種類等</th> </tr> <tr> <td>7+7板ガラス</td> <td></td> <td>強化ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>型板ガラス</td> <td></td> <td>熱線吸収板ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>網入板ガラス</td> <td></td> <td>複層ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>線入板ガラス</td> <td></td> <td>熱線反射ガラス</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合わせガラス</td> <td></td> <td>倍強度ガラス</td> <td></td> </tr> </table> <p>ガラス溝の大きさ (図5.14.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>面クリアランス</th> <th>エッジクリアランス</th> <th>掛り代</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム建具</td> <td>建具製造所の仕様による</td> <td>建具製造所の仕様による</td> <td>建具製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>鋼製建具</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ステンレス建具</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	放射線周波数 電磁界耐性	耐電圧	防 錆	防 滴	電 源	適用戸の総質量(kg)	40以下	40を超えるもの	手動開き力(N)	15以下	20以下	手動閉じ力(N)	15以下	20以下	材 質	めっきの付着量	JIS G 3302	Z12又はF12を満足するもの	JIS G 3312	Z12又はF12を満足するもの	材 質	めっきの付着量	形 状	JIS G 3312	Z06又はF06を満足するもの	インターロッキング形 オーバラッピング形	JIS G 3322	AZ90を満足するもの	種 別	種類等	種 別	種類等	7+7板ガラス		強化ガラス		型板ガラス		熱線吸収板ガラス		網入板ガラス		複層ガラス		線入板ガラス		熱線反射ガラス		合わせガラス		倍強度ガラス		種 別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代	アルミニウム建具	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	鋼製建具				ステンレス建具				5	<p>20 ガラス留め材 (5.14.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>建 具 の 種 類</th> <th>材 質</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>シーリング材 (SR-1) グレイジングチャンネル</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>グレイジングチャンネル</td> </tr> <tr> <td>鋼製・鋼製軽量・ステンレス製</td> <td>シーリング材 (SR-1) パテ 1種 2種</td> </tr> <tr> <td>木製</td> <td>パテ (木製用)</td> </tr> </table> <p>防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能認定品とする。 防音仕様、断熱仕様及び耐震仕様については図示による。</p> <p>21 ガラスブロック (5.14.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>寸 法 (mm)</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>色 調</th> <th>パ タ ー ン</th> <th>防 火 認 定</th> </tr> <tr> <td>x</td> <td>図示</td> <td>クリア 乳白</td> <td>均一 () 熱線反射</td> <td>なし あり</td> </tr> </table> <p>品質規格はJIS A5212による 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。</p> <p>壁用金属枠及び補強材 力骨 材質 SUS304 寸法・形状 径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋</p> <p>シーリング 表3.7.1による SR-1 PS-1 化粧目地モルタルの色 白 グレー 金属製化粧カバー 材質 SUS304 寸法・形状 図示による</p> <p>目地幅の寸法 平積みの場合 8mm以上、15mm以下 曲面積みの場合 外側15mm以下、内側6mm以上 (曲率半径がガラスの幅寸法の1.0倍以上)</p> <p>伸縮調整目地の位置 6m以下ごとに幅10~25mmの伸縮調整目地を設ける。</p> <p>22 木製建具 (5.7.2) ~ (5.7.4)</p> <p>建具材の加工、組立時の含水率の種別 A種 B種 代用樹種の適用 可 不可 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F</p> <p>フラッシュ戸 表面材のホルムアルデヒド放散量等 改修標準5.7.2(2)(イ)による</p> <p>表面材の合板の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>合板の種類</th> <th>規 格 等</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>普通合板</td> <td>表面の樹脂 板面の品質 (広葉樹 1種) 接着の程度 (1種 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天然木化粧合板</td> <td>樹種名 () 接着の程度 (1種 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊加工化粧合板</td> <td>化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度 (1種 2種)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>MDF</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>表面板の厚さ 図示による (表5.7.6) 引き戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 適用しない 適用する</p> <p>かまち戸 かまち樹種 () 鏡板樹種 () 見込み寸法 36mm ふすま 張りの種別 型 上張り (押入等の裏側以外) 鳥の子 新鳥の子又はビニル紙程度 見込み寸法 19.5mm 戸ふすま 表面板の仕上 図示による 見込み寸法 30mm 紙張り障子 見込み寸法 30mm</p> <p>23 ポリカーボネイト樹脂板 種類 厚さ mm</p>	建 具 の 種 類	材 質	アルミニウム製	シーリング材 (SR-1) グレイジングチャンネル	樹脂製	グレイジングチャンネル	鋼製・鋼製軽量・ステンレス製	シーリング材 (SR-1) パテ 1種 2種	木製	パテ (木製用)	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	色 調	パ タ ー ン	防 火 認 定	x	図示	クリア 乳白	均一 () 熱線反射	なし あり	合板の種類	規 格 等	備 考	普通合板	表面の樹脂 板面の品質 (広葉樹 1種) 接着の程度 (1種 2種)		天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (1種 2種)		特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度 (1種 2種)		MDF			⑥	<p>揮発性有機化合物対策 (6.5.2) ~ (6.5.4) (6.8.2) (6.9.2) (6.10.2) (6.11.2) (6.11.4) (6.11.5) (6.13.2) (6.14.2) (6.16.4) (9.5.3) (9.5.4)</p> <p>木材、木れんが、ビニル床シート、タイル、ゴム床タイル、カーペット、合成樹脂塗床、フローリング、ボード類、タイル、断熱材の接着剤に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 木材塗料、フローリング材、ボード類、壁紙、断熱材のホルムアルデヒド放散量 F</p> <p>2 他部分との取り合い等 (6.1.3)</p> <p>既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁、床の改修範囲 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示による 範囲() 仕上げ ()</p> <p>天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。 図示による 範囲() 仕上げ ()</p> <p>天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 既存のまま 図示による 範囲() 仕上げ ()</p> <p>既存床の撤去等 (6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>工 法</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>ビニル床シート等</td> <td>下地材等の除去</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>合成樹脂塗床材</td> <td>機械的除去工法 目荒し工法</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>フローリング張り床材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>床タイル</td> <td>下地材等の除去</td> <td>倉庫</td> </tr> <tr> <td>床組</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。</p> <p>4 既存壁の撤去等 (6.3.2)</p> <p>間仕切壁撤去に伴う構造体の補修 改修標準4.3.10によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 行う 行わない)</p> <p>5 木下地等 (6.5.1) ~ (6.5.9)</p> <p>材料のホルムアルデヒド放散量 F 又は改修標準6.5.2(1)(ウ)(b)による 含水率 下地材 A種(15%以下) B種(20%以下) 造作材 A種(15%以下) B種(18%以下) 以下に規定されているものは、その規定による。</p> <p>JAS 1083 (製材) に基づく製材</p> <p>下地用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1級</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2級</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>造作用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>無節 上小節 小節 並</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>特等 1等 2等</td> <td>10%以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>JAS 1083 (製材) 以外の製材 (表12.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>A種 B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 別	工 法	施 工 箇 所	ビニル床シート等	下地材等の除去	図示による	合成樹脂塗床材	機械的除去工法 目荒し工法	図示による	フローリング張り床材			床タイル	下地材等の除去	倉庫	床組			使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理				1級						2級			使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理				無節 上小節 小節 並			使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理				特等 1等 2等	10%以下		使用箇所	樹 種	寸 法	材面の品質	防虫処理	含水率				A種 B種			⑥	<p>使用木材のうち杉、ひのきについては京都府産木材とする。 工事完成までに、ウッドマレーン CO2京都の木認証書 (京都府産木材証明書及びウッドマレーン CO2計算書) (注1) を提出する事を原則とする。当該認証を受けた木材の使用が困難な場合には、京都の木証明書 (京都府産木材証明書) (注2) を提出すること。 証明書及び計算書の発行に係る手続きについては次の機関による。 一般財団法人京都府木材組合連合会 TEL: 075-802-2991 注1) 認証書 注2) 証明書は製材助、流通業者の全てが取扱事業者又は認証機関登録事業者でなければ発行されない。 詳細は上記法人のホームページを参照すること。 工事完成までに、京都府産木材の産地証明書を提出すること。 京都木材規格(KTS)材を使用する場合は、京都木材規格(KTS)材証明書 (発行機関: (一社) 京都府木材組合連合会) を提出すること。</p> <p>「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>造作用集成材</th> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>樹 種</th> <th>見付材面数</th> <th>寸 法</th> <th>見付材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等 2等</td> </tr> </table> <p>化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>化粧ばり造作用集成材</th> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>化粧板厚</th> <th>見付材面数</th> <th>見付材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等 2等</td> </tr> </table> <p>「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>造作用集成材</th> <th>使用箇所</th> <th>樹 種</th> <th>寸 法</th> <th>見付材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15%以下</td> </tr> </table> <p>化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>化粧ばり造作用集成材</th> <th>使用箇所</th> <th>化粧樹種名</th> <th>芯材樹種名</th> <th>寸 法</th> <th>化粧板厚</th> <th>見付材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15%以下</td> </tr> </table> <p>JAS 0701 (単板積層材) に基づく造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>造作用単板積層材</th> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>寸 法</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表面化粧加工なし 1等 2等 3等 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工</td> <td>適用する 適用しない</td> </tr> </table> <p>JAS 0701 (単板積層材) 以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>造作用単板積層材</th> <th>使用箇所</th> <th>寸 法</th> <th>表面の品質</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>表面化粧加工なし 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工</td> <td>14%以下</td> <td>適用する 適用しない</td> </tr> </table> <p>JAS 3079 (直交集成板)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品 名</th> <th>曲げ性能 (強度等級)</th> <th>種 別</th> <th>接着性能 (使用環境)</th> <th>樹 種</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>合板等</p> <p>「合板の日本農林規格」による普通合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>厚 さ</th> <th>樹種名</th> <th>接着程度</th> <th>板面の品質</th> <th>保存処理</th> <th>その他処理</th> </tr> <tr> <td>押入れ、物入れ</td> <td></td> <td>5.5mm</td> <td></td> <td>1類 2類</td> <td>広葉樹 2等以上</td> <td></td> <td>防虫処理 難燃処理 防炎処理</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>等級</th> <th>厚 さ</th> <th>樹種名</th> <th>接着程度</th> <th>板面の品質</th> <th>保存処理</th> <th>その他処理</th> </tr> <tr> <td>畳下 地材、フローリング張り り下地材</td> <td></td> <td>2級 以上</td> <td>12mm</td> <td></td> <td>1類 特類</td> <td>C-D 以上</td> <td></td> <td>防虫処理 強度等級</td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 名</th> <th>厚 さ</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1類 特類</td> <td></td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による天然化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>化粧板に使用する 単板の樹種名</th> <th>厚 さ</th> <th>接着程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1類 2類</td> <td></td> </tr> </table> <p>「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>品 目</th> <th>厚 さ</th> <th>接着程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	造作用集成材	使用箇所	品 名	樹 種	見付材面数	寸 法	見付材面の品質							1等 2等	化粧ばり造作用集成材	使用箇所	品 名	樹 種	寸 法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質								1等 2等	造作用集成材	使用箇所	樹 種	寸 法	見付材面の品質	含水率						15%以下	化粧ばり造作用集成材	使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸 法	化粧板厚	見付材面の品質	含水率								15%以下	造作用単板積層材	使用箇所	品 名	寸 法	表面の品質	防虫処理					表面化粧加工なし 1等 2等 3等 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工	適用する 適用しない	造作用単板積層材	使用箇所	寸 法	表面の品質	含水率	防虫処理				表面化粧加工なし 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工	14%以下	適用する 適用しない	施工箇所	品 名	曲げ性能 (強度等級)	種 別	接着性能 (使用環境)	樹 種	寸法 (mm)								使用箇所	品 名	厚 さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理	押入れ、物入れ		5.5mm		1類 2類	広葉樹 2等以上		防虫処理 難燃処理 防炎処理	使用箇所	品 名	等級	厚 さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理	畳下 地材、フローリング張り り下地材		2級 以上	12mm		1類 特類	C-D 以上		防虫処理 強度等級	使用箇所	品 名	厚 さ	単板の樹種名	接着程度	防虫処理					1類 特類		使用箇所	化粧板に使用する 単板の樹種名	厚 さ	接着程度	防虫処理				1類 2類		使用箇所	品 目	厚 さ	接着程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理							
放射線周波数 電磁界耐性	耐電圧	防 錆	防 滴	電 源																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
適用戸の総質量(kg)	40以下	40を超えるもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
手動開き力(N)	15以下	20以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
手動閉じ力(N)	15以下	20以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
材 質	めっきの付着量																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
JIS G 3302	Z12又はF12を満足するもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
JIS G 3312	Z12又はF12を満足するもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
材 質	めっきの付着量	形 状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
JIS G 3312	Z06又はF06を満足するもの	インターロッキング形 オーバラッピング形																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
JIS G 3322	AZ90を満足するもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種 別	種類等	種 別	種類等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
7+7板ガラス		強化ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
型板ガラス		熱線吸収板ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
網入板ガラス		複層ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
線入板ガラス		熱線反射ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
合わせガラス		倍強度ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
種 別	面クリアランス	エッジクリアランス	掛り代																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
アルミニウム建具	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による	建具製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
鋼製建具																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ステンレス建具																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
建 具 の 種 類	材 質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
アルミニウム製	シーリング材 (SR-1) グレイジングチャンネル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
樹脂製	グレイジングチャンネル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
鋼製・鋼製軽量・ステンレス製	シーリング材 (SR-1) パテ 1種 2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
木製	パテ (木製用)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	色 調	パ タ ー ン	防 火 認 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
x	図示	クリア 乳白	均一 () 熱線反射	なし あり																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
合板の種類	規 格 等	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
普通合板	表面の樹脂 板面の品質 (広葉樹 1種) 接着の程度 (1種 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
天然木化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (1種 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 プリント ポリエステル化粧合板 メラミン化粧合板 接着の程度 (1種 2種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
MDF																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種 別	工 法	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
ビニル床シート等	下地材等の除去	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
合成樹脂塗床材	機械的除去工法 目荒し工法	図示による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
フローリング張り床材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
床タイル	下地材等の除去	倉庫																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
床組																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			1級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			2級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			無節 上小節 小節 並																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
使用箇所	樹 種	寸 法	等級	含水率	保存処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			特等 1等 2等	10%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
使用箇所	樹 種	寸 法	材面の品質	防虫処理	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			A種 B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
造作用集成材	使用箇所	品 名	樹 種	見付材面数	寸 法	見付材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
						1等 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
化粧ばり造作用集成材	使用箇所	品 名	樹 種	寸 法	化粧板厚	見付材面数	見付材面の品質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
							1等 2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
造作用集成材	使用箇所	樹 種	寸 法	見付材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
					15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
化粧ばり造作用集成材	使用箇所	化粧樹種名	芯材樹種名	寸 法	化粧板厚	見付材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
							15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
造作用単板積層材	使用箇所	品 名	寸 法	表面の品質	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				表面化粧加工なし 1等 2等 3等 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工	適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
造作用単板積層材	使用箇所	寸 法	表面の品質	含水率	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			表面化粧加工なし 表面化粧加工あり 天然木化粧加工 塗装加工	14%以下	適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	品 名	曲げ性能 (強度等級)	種 別	接着性能 (使用環境)	樹 種	寸法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
使用箇所	品 名	厚 さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
押入れ、物入れ		5.5mm		1類 2類	広葉樹 2等以上		防虫処理 難燃処理 防炎処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
使用箇所	品 名	等級	厚 さ	樹種名	接着程度	板面の品質	保存処理	その他処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
畳下 地材、フローリング張り り下地材		2級 以上	12mm		1類 特類	C-D 以上		防虫処理 強度等級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
使用箇所	品 名	厚 さ	単板の樹種名	接着程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
				1類 特類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
使用箇所	化粧板に使用する 単板の樹種名	厚 さ	接着程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			1類 2類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
使用箇所	品 目	厚 さ	接着程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑥ 内装改修工事	<p>パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>各種区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>15mm</td> <td>13Pタイプ又は13Mタイプ</td> </tr> </table> <p>JAS 0360 に基づく構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>MDF</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>厚さ</th> <th>表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>造作材化粧面の釘打ち 隠し釘打ち 釘頭埋め木 つぶし釘打ち 釘頭現し</p> <p>諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表8.20.1 [鉄鋼の亜鉛めっきの種別] のF程度の亜鉛めっきを施したものを</p> <p>防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位 _____</p> <p>薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>K2 K3 K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>K2 K3 K4</td> </tr> </table> <p>薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>薬剤の製造所の仕様による</td> <td>JIS K 1571に適合又は同等品</td> </tr> </table> <p>薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位 _____</p> <p>合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位 _____</p> <p>防虫処理 行う (範囲: ラワン材等 「製材の日本農林規格」による保存処理 K1) 行わない</p> <p>6 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2) ~ (6.6.4)</p> <p>野縁等の種類 屋内 19型 25型 (表6.6.1) 屋外 19型 25型</p> <p>野縁受け・つりボルト・インサートの間隔 _____ mm</p> <p>周辺部の端からの寸法 _____ mm</p> <p>野縁の間隔 _____ mm</p> <p>はずれ留め補強 有り 無し</p> <p>既存の埋込みインサートの使用 再利用しない 再利用する</p> <p>あと施工アンカーの引抜き試験 行う (_____箇所以上、 _____箇所) 行わない</p> <p>開口補強</p> <p>つりボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 図示による _____</p> <p>天井のふとこの補強 (1.5m以上3m以下) 改修仕様6.6.4(8)による _____ (3mを超える) 図示による _____</p> <p>天井下地材における耐震性を考慮した補強 行う 行わない</p> <p>屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 行う 行わない</p> <p>7 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)</p> <p>スタッド、ランナ等の種類 (表6.7.1) 表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類 _____</p> <p>スタッドの高さが5mを超える場合 図示による _____</p> <p>ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (6.8.2)</p> <p>ブルサイド床</p>	使用箇所	厚さ	各種区分		15mm	13Pタイプ又は13Mタイプ	使用箇所	等級	厚さ				使用箇所	厚さ	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分							適用部材	保存処理性能区分		K2 K3 K4		K2 K3 K4	適用部材	処理の方法	薬剤の種類		薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品	⑥ 内装改修工事	<p>ビニル床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>種 類</th> <th>記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色 柄</th> <th>寸 法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">接着形</td> <td>コンクリート床タイル</td> <td>KT</td> <td>2.0</td> <td rowspan="3">無地 ○柄物</td> <td rowspan="3">300×300 ○450×450</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>単層ビニル床タイル</td> <td>TT</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>複層ビニル床タイル</td> <td>FT</td> <td>2.0 2.5 3.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">敷設形</td> <td>置敷きビニル床タイル</td> <td>FOA</td> <td>4.0</td> <td>500×500</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>薄型置敷きビニル床タイル</td> <td>FOB</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>帯電防止床シート 帯電防止タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>性 能</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>体積抵抗値 1.0×10⁹ 以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>視覚障害者用床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形 状</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>塩化ビニル系</td> <td>300mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>レジンコンクリート系</td> <td>150mm角</td> <td></td> </tr> <tr> <td>磁器又はせっ器質タイル</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>耐動荷重性床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>防汚性床シート 防汚性床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸 法</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ビニル床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>高 さ (mm)</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>軟質</td> <td>60</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>硬質</td> <td>75 100</td> <td>2.0</td> </tr> </table> <p>ゴム床タイル張り</p> <table border="1"> <tr> <th>色 柄</th> <th>種 類</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>寸 法 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>単層品 積層品</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>織じゅうたん</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>織り方</th> <th>バイル形状</th> <th>帯電性</th> <th>色柄</th> <th>接合方法</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>A種</td> <td></td> <td></td> <td>適用</td> <td>無地</td> <td>ヒートン工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>つぶり縫い</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タフテッドカーベット</p> <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長さ(mm)</th> <th>工 法</th> <th>帯電性</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>グリッド工法 全面接着工法</td> <td>適用</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーベット</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>バイル形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> <tr> <td>一種</td> <td>ループバイル</td> <td>500×500</td> <td>6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>二種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーベットの敷き方 平場部分 市松敷き _____ 階段部分 模様流し _____</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>下敷き材 JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm _____</p> <p>見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による _____</p> <p>10 合成樹脂塗床 (6.10.2)</p> <p>厚膜型塗床材 (6.10.3)</p> <p>○ 弾性ウレタン樹脂系塗床材 ○ 平滑仕上げ ○ 防汚仕上げ つや消し仕上げ</p> <p>塗厚 (mm) _____</p> <p>エポキシ樹脂系塗床材</p> <p>薄膜流しのべ工法 (平滑 防汚) _____</p> <p>厚膜流しのべ工法 (平滑 防汚) _____</p> <p>樹脂モルタル工法 (平滑 防汚) _____</p> <p>薄膜型塗床材</p> <p>○ エポキシ樹脂系塗床材 ウレタン樹脂系塗床材 職工エーシー商会 _____</p> <p>塗床材料のホルムアルデヒド放散量 F _____ カラートップU同等品 _____</p>	区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施工箇所	接着形	コンクリート床タイル	KT	2.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450		単層ビニル床タイル	TT	2.0	複層ビニル床タイル	FT	2.0 2.5 3.0	敷設形	置敷きビニル床タイル	FOA	4.0	500×500			薄型置敷きビニル床タイル	FOB		○			種 類	性 能	厚 さ (mm)		体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下		種 類	形 状	備 考	塩化ビニル系	300mm角		レジンコンクリート系	150mm角		磁器又はせっ器質タイル			種 類	厚 さ (mm)	備 考				種 類	寸 法	厚 さ (mm)				種 類	高 さ (mm)	厚 さ (mm)	軟質	60	1.5	硬質	75 100	2.0	色 柄	種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)		単層品 積層品			種 別	織り方	バイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施 工 箇 所	A種			適用	無地	ヒートン工法		B種					つぶり縫い		C種							バイル形状	バイル長さ(mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所			グリッド工法 全面接着工法	適用		種別	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所	一種	ループバイル	500×500	6.5		二種					⑥ 内装改修工事	<p>11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6)</p> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量 改修仕様6.11.2(2)による _____</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>単層フローリング (表6.11.1) ~ (表6.11.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>樹 種</th> <th>厚 さ(mm)</th> <th>大 小</th> <th>工 法</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">70-リング ボード1等</td> <td rowspan="3">なら</td> <td>15</td> <td>表6.11.1</td> <td>釘留め工法</td> <td rowspan="3"></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>表6.11.3</td> <td>根太張り工法</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>表6.11.5</td> <td>直張り工法</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">70-リング ボード1等</td> <td rowspan="2">なら</td> <td>8</td> <td></td> <td>接着工法</td> <td rowspan="2">防水処理足金物付</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> <td>接着工法</td> </tr> </table> <p>複合フローリング</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>樹 種</th> <th>厚 さ(mm)</th> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">1×6タイプ フローリング ボードタイプ</td> <td rowspan="2">なら</td> <td>8</td> <td>釘留め工法</td> <td rowspan="2">A種 B種 C種</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>根太張り工法</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>直張り工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材 合成樹脂発泡シート _____</p> <p>仕上げ塗装 ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形) B種 _____ オイルステインの上ワックス塗り 生地のままワックス塗り _____</p> <p>12 畳敷き (6.12.2)</p> <p>種別 A種 B種 C種 D種 (KT-____) _____</p> <p>衝撃緩和型畳 (畳表: C1 C2) _____</p> <p>せつこうボード、その他ボード及び合板張り (6.13.2) (6.13.3)</p> <p>MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>合板のホルムアルデヒド放散量 改修仕様6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか _____</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>表面への化粧張り等の加工 図示による _____</p> <p>種別 表6.13.1による JIS規格品とする (表6.13.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>規 格</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>等</th> </tr> <tr> <td>せつこうボード (GB-R)</td> <td>12.5(不燃)</td> <td>9.5(準不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧せつこうボード (GB-D)</td> <td>杉板模様</td> <td>12.5(不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>不燃積層せつこうボード (GB-NC)</td> <td>トラバーチン模様 模様なし</td> <td>9.5(不燃)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シーリングせつこうボード (GB-S)</td> <td>15(不燃)</td> <td>12.5(準不燃)</td> <td>9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>強化せつこうボード (GB-F)</td> <td>21(不燃)</td> <td>15(不燃)</td> <td>12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>ロックウール吸音ボード (RW-B)</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>グラスウール吸音ボード (GW-B)</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸音あなせつこうボード (GB-P)</td> <td>9.5(準不燃)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ロックウール化粧吸音板 (DR)</td> <td>内部用</td> <td>フラット</td> <td>12(不燃) 9(不燃)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軒天用</td> <td>立体模様</td> <td>15(不燃) 12(不燃)</td> </tr> <tr> <td>フラット</td> <td>12(不燃) 9(不燃)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>立体模様</td> <td>15(不燃) 12(不燃)</td> </tr> <tr> <td>けい酸カルシウム板 (0.8FK)</td> <td>タイプ2 (無石綿)</td> <td>8.0</td> <td>6.0</td> </tr> <tr> <td>メラミン樹脂化粧板</td> <td>JIS K 6903 による</td> <td>1.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>難燃木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>断熱木毛セメント板</td> <td>30 25 20 15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">火山性ガラス質被覆層板</td> <td>研磨品 (3 6 9 9.5 _____)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>無研磨品 (3 6 9 9.5 _____)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">普通合板</td> <td>厚さ</td> <td>接着の程度</td> <td>表板樹種</td> </tr> <tr> <td>板面の品質</td> <td></td> <td>防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">天然化粧合板</td> <td>厚さ</td> <td>接着の程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>化粧板樹種</td> <td>なら しおじ</td> <td>防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特殊加工化粧合板</td> <td>厚さ</td> <td>接着の程度</td> <td>化粧加工の方法</td> </tr> <tr> <td>表面性能</td> <td>F FW W WS</td> <td>防虫処理 行う</td> </tr> <tr> <td>その他下張り用合板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>合板類の張付け (表6.13.3) A種 B種 _____</p> <p>せつこうボードの目地処理 (表6.13.5) 縫目処理 突付け 目透かし _____</p> <p>突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 (表6.13.5) ベベルエッジ スクエアエッジ _____</p>	種 類	樹 種	厚 さ(mm)	大 小	工 法	備 考	70-リング ボード1等	なら	15	表6.11.1	釘留め工法		12	表6.11.3	根太張り工法	8	表6.11.5	直張り工法	70-リング ボード1等	なら	8		接着工法	防水処理足金物付	15		接着工法	種 類	樹 種	厚 さ(mm)	工 法	種 別	備 考	1×6タイプ フローリング ボードタイプ	なら	8	釘留め工法	A種 B種 C種		15	根太張り工法				直張り工法						接着工法			種 類	規 格	厚 さ (mm)	等	せつこうボード (GB-R)	12.5(不燃)	9.5(準不燃)		化粧せつこうボード (GB-D)	杉板模様	12.5(不燃)			トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)			不燃積層せつこうボード (GB-NC)	トラバーチン模様 模様なし	9.5(不燃)		シーリングせつこうボード (GB-S)	15(不燃)	12.5(準不燃)	9.5(準不燃)	強化せつこうボード (GB-F)	21(不燃)	15(不燃)	12.5(不燃)	ロックウール吸音ボード (RW-B)	25			グラスウール吸音ボード (GW-B)	25			吸音あなせつこうボード (GB-P)	9.5(準不燃)			ロックウール化粧吸音板 (DR)	内部用	フラット	12(不燃) 9(不燃)	軒天用	立体模様	15(不燃) 12(不燃)	フラット	12(不燃) 9(不燃)		立体模様	15(不燃) 12(不燃)	けい酸カルシウム板 (0.8FK)	タイプ2 (無石綿)	8.0	6.0	メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による	1.2		難燃木毛セメント板	30 25 20 15			断熱木毛セメント板	30 25 20 15			火山性ガラス質被覆層板	研磨品 (3 6 9 9.5 _____)			無研磨品 (3 6 9 9.5 _____)			普通合板	厚さ	接着の程度	表板樹種	板面の品質		防虫処理 行う	天然化粧合板	厚さ	接着の程度		化粧板樹種	なら しおじ	防虫処理 行う	特殊加工化粧合板	厚さ	接着の程度	化粧加工の方法	表面性能	F FW W WS	防虫処理 行う	その他下張り用合板				⑥ 内装改修工事	<p>14 壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)</p> <p>防火性能・種類・規格・施工箇所 図示による 下表による</p> <table border="1"> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>防火性能</th> <th>品 質</th> <th>規 格</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>素地ごしらえ モルタル及びせつこうプラスター面 A種 B種 (表7.2.4) コンクリート面 A種 B種 (表7.2.5) せつこうボード面及びその他のボード面 A種 B種 (表7.2.7)</p> <p>15 天井廻り縁</p> <p>材質 アルミニウム製 塩化ビニル製</p> <p>モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)</p> <p>モルタル 現場調合材料 既製目地材 既調合材料 (_____)</p> <p>設ける (形状 _____)</p> <p>床目地 設ける 設けない</p> <p>目地の種類 押目地 _____</p> <p>目地割り 2m程度 _____</p> <p>最大目地間隔 3m程度 _____</p> <p>17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)</p> <p>伸縮調整目地等 床面 縦・横とも4m以内ごと _____ 壁面 図示による _____</p> <p>タイルの試験張り 行わない 行う _____</p> <p>タイルの見本焼 行わない 行う _____</p> <p>施工後の確認及び試験</p> <p>浮きの確認 全面打診による確認を行う _____</p> <p>接着力の試験 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わない _____</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所・タイルの種類</th> <th>形状・寸法(mm)</th> <th>生地</th> <th>釉薬</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>工法その他</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>磁器 陶器 せっ器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>磁器 陶器 せっ器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>磁器 陶器 せっ器</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有り 無し</td> <td></td> <td>有り 無し</td> <td>標準 特注</td> <td></td> </tr> </table> <p>壁タイル張りの工法</p> <p>内装タイル 密着張り 改良圧着張り</p> <p>内装タイル以外のユニットタイル マスク張り モザイクタイル張り</p> <p>内装タイル接着張りの有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <p>既調合モルタル _____</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地の処理 目荒し工法 _____</p> <p>18 セルフレベリング材塗り (6.17.2) ~ (6.17.3)</p> <p>塗厚 (mm) 10 15 _____</p> <p>7 塗装改修工事</p> <p>7.1.3 塗装材料 (7.1.3)</p> <p>塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F _____</p> <p>7.2.1 下地調整 (7.2.1) ~ (7.2.7)</p> <p>塗替えで下地調整の種別がRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示 (表7.2.1) ~ (表7.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>素 地</th> <th>種 別</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">木部</td> <td>RA種</td> <td rowspan="3">透明塗料塗りの場合はRB種 RC種</td> </tr> <tr> <td>RB種</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>RA種</td> <td>RB種</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>RA種</td> <td>RB種</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">モルタル及びせつこうプラスター面</td> <td>RA種</td> <td>RB種</td> <td>ひび割れ部の補修</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> <td></td> <td>適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td>ALCパネル面</td> <td>RC種</td> <td>適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート面及び押出成形コンクリート面</td> <td>RA種</td> <td>RB種</td> <td>ひび割れ部の補修</td> </tr> <tr> <td>RC種</td> <td></td> <td>適用する 適用しない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">せつこうボード及びその他ボード面</td> <td>RA種</td> <td>RB種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RC種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施 工 箇 所	防火性能	品 質	規 格					施工箇所・タイルの種類	形状・寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法その他			磁器 陶器 せっ器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注				磁器 陶器 せっ器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注				磁器 陶器 せっ器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注		素 地	種 別	備 考	木部	RA種	透明塗料塗りの場合はRB種 RC種	RB種	RC種	鉄鋼面	RA種	RB種	RC種		亜鉛めっき鋼面	RA種	RB種	RC種		モルタル及びせつこうプラスター面	RA種	RB種	ひび割れ部の補修	RC種		適用する 適用しない	ALCパネル面	RC種	適用する 適用しない	コンクリート面及び押出成形コンクリート面	RA種	RB種	ひび割れ部の補修	RC種		適用する 適用しない	せつこうボード及びその他ボード面	RA種	RB種		RC種		
	使用箇所	厚さ	各種区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	15mm	13Pタイプ又は13Mタイプ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
使用箇所	等級	厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
使用箇所	厚さ	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	K2 K3 K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	K2 K3 K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施工箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
接着形	コンクリート床タイル	KT	2.0	無地 ○柄物	300×300 ○450×450																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	単層ビニル床タイル	TT	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	複層ビニル床タイル	FT	2.0 2.5 3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
敷設形	置敷きビニル床タイル	FOA	4.0	500×500																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	薄型置敷きビニル床タイル	FOB		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種 類	性 能	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	体積抵抗値 1.0×10 ⁹ 以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 類	形 状	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
塩化ビニル系	300mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
レジンコンクリート系	150mm角																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
磁器又はせっ器質タイル																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種 類	厚 さ (mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種 類	寸 法	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種 類	高 さ (mm)	厚 さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
軟質	60	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
硬質	75 100	2.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
色 柄	種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	単層品 積層品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 別	織り方	バイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
A種			適用	無地	ヒートン工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
B種					つぶり縫い																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
バイル形状	バイル長さ(mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		グリッド工法 全面接着工法	適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種別	バイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
一種	ループバイル	500×500	6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
二種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
種 類	樹 種	厚 さ(mm)	大 小	工 法	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
70-リング ボード1等	なら	15	表6.11.1	釘留め工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		12	表6.11.3	根太張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		8	表6.11.5	直張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
70-リング ボード1等	なら	8		接着工法	防水処理足金物付																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		15		接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種 類	樹 種	厚 さ(mm)	工 法	種 別	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1×6タイプ フローリング ボードタイプ	なら	8	釘留め工法	A種 B種 C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
		15	根太張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			直張り工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			接着工法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種 類	規 格	厚 さ (mm)	等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
せつこうボード (GB-R)	12.5(不燃)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
化粧せつこうボード (GB-D)	杉板模様	12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	トラバーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
不燃積層せつこうボード (GB-NC)	トラバーチン模様 模様なし	9.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
シーリングせつこうボード (GB-S)	15(不燃)	12.5(準不燃)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
強化せつこうボード (GB-F)	21(不燃)	15(不燃)	12.5(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
ロックウール吸音ボード (RW-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
グラスウール吸音ボード (GW-B)	25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
吸音あなせつこうボード (GB-P)	9.5(準不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ロックウール化粧吸音板 (DR)	内部用	フラット	12(不燃) 9(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	軒天用	立体模様	15(不燃) 12(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		フラット	12(不燃) 9(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	立体模様	15(不燃) 12(不燃)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
けい酸カルシウム板 (0.8FK)	タイプ2 (無石綿)	8.0	6.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による	1.2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
難燃木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
断熱木毛セメント板	30 25 20 15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
火山性ガラス質被覆層板	研磨品 (3 6 9 9.5 _____)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	無研磨品 (3 6 9 9.5 _____)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
普通合板	厚さ	接着の程度	表板樹種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	板面の品質		防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
天然化粧合板	厚さ	接着の程度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	化粧板樹種	なら しおじ	防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
特殊加工化粧合板	厚さ	接着の程度	化粧加工の方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	表面性能	F FW W WS	防虫処理 行う																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
その他下張り用合板																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施 工 箇 所	防火性能	品 質	規 格																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
施工箇所・タイルの種類	形状・寸法(mm)	生地	釉薬	耐凍害性	耐滑り性	役物	色	工法その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		磁器 陶器 せっ器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		磁器 陶器 せっ器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		磁器 陶器 せっ器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
素 地	種 別	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
木部	RA種	透明塗料塗りの場合はRB種 RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
鉄鋼面	RA種	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
亜鉛めっき鋼面	RA種	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
モルタル及びせつこうプラスター面	RA種	RB種	ひび割れ部の補修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	RC種		適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	ALCパネル面	RC種	適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
コンクリート面及び押出成形コンクリート面	RA種	RB種	ひび割れ部の補修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	RC種		適用する 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
せつこうボード及びその他ボード面	RA種	RB種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	RC種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項
7 塗装改修工事	素地ごしらえ (7.3.2) ~ (7.3.7) (表7.3.2) ~ (表7.3.7) 下地面等 種別 木部 不透明塗料塗りの場合 A種 B種 透明塗料塗りの場合 A種 B種 鉄鋼面 (DP以外) A種 B種 C種 鉄鋼面 (DP) A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 B種 珪素面及び珪素コート面 (DP) A種 B種 コーティング面 (DP以外) 及びALCA® 珪素面 A種 B種 押出成形シート板面及びコーティング面 (DP) A種 B種 コーティング面 (DPのみ) A種 B種 珪素コート面及び 目地: 継目処理工法 A種 B種 その他の珪素コート面 目地: 継目処理工法以外 A種 B種	8 1 耐震補強工事 (鉄筋工事)	1 鉄筋の種類 (8.2.1) (表8.2.1) 異形鉄筋 種類の記号 径 (mm) 備 考 S D 2 9 5 D 1 6 以下 S D 3 4 5 D 1 9 以上 SD295は F c :21以上の場合、壁筋及びスラブ筋に適用する	8 2 耐震補強工事 (コンクリート工事)	3 構造体強度補正值 (8.2.5) (表8.2.4) 気温による構造体強度補正值 (S) 予想平均気温 () 補正值 (S) 期 間 (打 設 日) 普通 早強 南部地域 中部地域 北部地域 8以上 5以上 3 3/6 ~ 6/31 3/11 ~ 7/20 3/11 ~ 7/10 0以上 0以上 N/mm2 9/11 ~ 11/15 9/1 ~ 11/5 9/1 ~ 10/31 8未満 5未満 N/mm2 11/16 ~ 3/5 11/ 6 ~ 3/10 11/ 1 ~ 3/10 南部地域 (京都市 (一部を除く)、旧八木町、旧園部町以南の市町村) 北部地域 (宮津市、旧加悦町以北の市町) 中部地域 (上記以外の市町、旧美山町及び旧京北町を含む)	8 3 耐震補強工事 (コンクリート工事)	10 無筋コンクリート (8.11.1) 普通コンクリート (8.11.2) 設計基準強度 18N/mm2 スラブ 15cm又は18cm セメントの種類 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントB種 フライアッシュセメントB種 適用箇所 標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による ()
	錆止め塗料塗り (7.4.2) (7.4.3) 錆止め塗料の種類 素地面 塗装の種類 塗料の種類 工程の種類 備考 S O P 塗替え A種 C種 ○ (工程の種類は 新規見え掛り A種 A種 ○ 表7.4.3) 新規見え隠れ A種 B種 ○ E P - G 塗替え A種 B種 C種 ○ (工程の種類は 新規見え掛り A種 B種 A種 ○ 表7.4.3) 新規見え隠れ A種 B種 B種 D P 塗替え 7.4.2(1)(イ) ○ B種 (下地調整) (工程の種類は (a)による ○ C種 (下地調整) 表7.4.4) 新規 7.4.2(1)(イ) ○ A種 (a)による		2 溶接金網 (8.2.2) 網目の形状、寸法 鉄線の径 (mm) 3 鉄筋の継手及び定着 (8.3.4) (8.4.2) (8.4.3) 部 位 接 合 方 法 径 (mm) 重ね継手 ガス圧接継手 D 1 9 以上 機械式継手 溶接継手 重ね継手 ガス圧接継手 D 1 6 以下 機械式継手 溶接継手 機械式継手 適用箇所、性能、種類、鉄筋相互のあき 構造図による 施工完了後の継手部の試験 行う 行わない 不合格となった継手部への措置等 監督職員と協議する 溶接継手 適用箇所、性能、工法、鉄筋相互のあき 構造図による 溶接完了後の溶接部の試験 行う 行わない 不合格となった溶接部への措置等 監督職員と協議する 柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ 構造図による 鉄筋継手位置 構造図による 表8.3.3による 鉄筋の定着長さ 構造図による 表8.3.4による 機械式定着工法 適用箇所、種類 構造図による 帯筋組立の形、継手及び定着 構造図による		4 構造体用モルタル (8.2.6) モルタル圧縮強度 フロー値 5 型枠 (せき板) (8.1.4) (8.2.7) (8.7.8) 合板の規格 「合板の日本農林規格」の「コンクリート用合板の規格」による合板 合板の材種 広葉樹合板、針葉樹合板又はこれらの複合合板 厚さ (mm) 1 2 打放し仕上げのせき板 合板せき板を用いる場合 (表8.1.4) 種 別 板 面 の 品 質 施 工 箇 所 A種 8.2.7(2)(7) B種 8.2.7(2)(4) C種 8.2.7(2)(4) 合板せき板を用いない場合 せき板の材料 コンクリートの仕上げの平坦さ 種 別 適 用 箇 所 a種 b種 c種 スリートの材種 (表8.2.6) 適 用 箇 所 材 種 (規 格 そ の 他) 水密を要する地中部分等 つば付き鋼管 (JIS G3452 の黒管に厚さ6 mm以上、 つば幅50mm以上の鋼板を溶接したもの) 水密を要しない地中部分等 硬質ポリ塩化ビニル管 (JIS K6741 のV U) 上記以外の円形スリーブ 溶融亜鉛めっき鋼板 (径200 mm以下は厚0.4 mm 以上、径200 mmを超え350 mm以下は厚0.6 mm以上) 円形スリーブ (溶融亜鉛めっき鋼板) は、筒形の両側を外側に折り曲げてつばを設ける。 硬質ポリ塩化ビニル管は、防災区画を貫通する場合には使用しない。 外部に面する打放し仕上げの打増し厚さ 図示による 2 0 mm シアコネクターとセパレーターの兼用 可 不可		
塗装工程 (7.5.2) ~ (7.13.2) 工程の種類 (表7.5.1) ~ (表7.13.1) 記 号 名 称 種 別 S O P 合成樹脂調合ペイント塗り 木部 新規外部 A種 B種 C種 新規内部 A種 B種 C種 塗替え A種 B種 (外部の場合工程3、 工程4は行わない) C種 種類 1種 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 鋼製建具 A種 B種 C種 塗替え A種 B種 C種 その他塗替え・新規 A種 B種 C種 C L カワカカ塗り A種 (着色塗料の種類) B種 N A D アクリル樹脂系 非水分散形塗料塗り A種 B種 D P 耐候性塗料塗り 鉄鋼面 表7.8.2 珪素面及び コーティング面及び A-1種 B-1種 C-1種 押出成形シート板面 A-2種 B-2種 C-2種 上塗り 1級 ふっ素樹脂系等 2級 シリコン系等 3級 ポリウレタン系等 E P - G つや有合成樹脂イソシアネート塗り コーティング面、珪素コート面、珪素面、珪素コート面、 珪素コート面、珪素コート面、珪素コート面、珪素コート面、 その他珪素コート面 しみ止め しみ止めシーター (B種及びC種の場合) 木部 新規 A種 B種 C種 塗替え A種 B種 C種 鉄鋼面 A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面 A種 ○ B種 E P 合成樹脂イソシアネート塗り A種 B種 C種 しみ止め しみ止めシーター (B種及びC種の場合) U C カワ樹脂ワニス塗り A種 B種 好む塗り ビジメット好む塗り (表7.13.1) 好む塗り (OS) W P 木材保護塗料塗り A種 B種 クリアラッカー塗りA種の工程2の運用 適用する (着色剤: 溶剤系着色剤 油性染料着色剤) 適用しない ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の運用 適用する 適用しない オイルステイン塗りの工程等	4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (8.3.5) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ 構造図による 表8.3.6による (次の2項目のかぶり厚さを除く。) 軽量コンクリートに土に接する部分の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 塩害の受けるおそれのある部分等、耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さは下表による。 施 工 箇 所 等 最 小 か ぶ り 厚 さ (mm) 機械式継手及び溶接継手のあき 試験方法 超音波探傷試験を全圧接部で行う。 6 専製補強筋 (8.21.6) (8.22.7) 形状 スパイラル筋 種類の記号 SR235 または SIM-P 呼び径、曲げ直径、ピッチ 図示による ()	8 4 耐震補強工事 (鉄骨工事) 1 コンクリートの強度 (8.1.3) (8.1.4) (8.9.1) (8.9.2) コンクリートの種類 類 類 普通コンクリート 打 設 部 位 F c (N/mm 2) スラブ (cm) 備 考 基礎 2.4 1.8 構造体 上部 2.4 1.8 軽量コンクリート 打 設 部 位 (適用箇所) F c (N/mm 2) スラブ (cm) 備 考 2.1 2.1 構造体コンクリートの発注強度は以下のとおりとする。 { F c + 構造体強度補正值 (S) } N/mm 2 (標準6.14.1によるもの及び土間コンクリートは構造体強度補正は行わない) 2 普通コンクリートの材料 (8.2.5) 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントのB種 (施工箇所) シリカセメント フライアッシュセメントのB種 (施工箇所) 骨材 粗骨材 砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 再生骨材H 細骨材 砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 鋼スラグ 再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 A (無害)	8 3 耐震補強工事 (あと施工アンカー工事) 1 あと施工アンカー (8.2.4) (8.12.4) 金属系アンカー せん断耐力 引張耐力 埋込み長さ 径 埋込み長さ セット方式 本体打込み式改良型 接合筋 種類 長さ 径 接着系アンカー せん断耐力 引張耐力 埋込み長さ 種類 カプセル型回転・打撃式 アンカー筋 改修仕様表8.2.10の異形棒鋼 種類 埋込み長さ 径 埋込み長さ 新設壁内への定着長さ 埋め込み配管等の探査 範囲 あと施工アンカー施工部分全て 方法 鉄筋探知機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に 露出しを行う。 図示による 2 あと施工アンカーの試験 (8.2.4) (8.12.7) 性能確認試験 行わない 行う 施工確認試験 行う (引張試験機による引張試験 確認強度) 行わない 1ロット 1日に施工されたものの径及び仕様ごと 試験の箇所数 1ロットに対し3本、無作為に抜き取る				
注 記 備考 Ver. R04 (R05.02)	宇治市黄檗公園プール改修建築工事 特記仕様書 (7)		図面番号: A-07 株式会社 三座建築事務所 設計者: 1級建築士登録 庄田 正 番 251646号				

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項			
8-4 耐震補強工事(鉄骨工事)	5 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (8.20.5)	摩擦面の処理 プラスト処理(表面粗度 5.0 μm Rz以上) りん酸塩処理 図示による() すべり耐力等の確認方法 試験方法等 図示による (対比試験片を作成し、摩擦面の処理状況を確認する)	8-4 耐震補強工事(鉄骨工事)	15 耐火被覆 (8.18.2) - (8.18.9)	種別 種 類 材 料 ・ 工 法 適用箇所(部位・部分) 耐火材吹付け 乾式吹付ロックウール 半乾式吹付ロックウール 湿式ロックウール 耐火板張り 繊維混入ケイ酸カルシウム板 耐火材巻付け 高断熱ロックウール 双張りモルタル塗り - 耐火塗料 - 材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする 性能 性 能 適用箇所(部位・部分) 30分耐火 1時間耐火 2時間耐火 3時間耐火	8-6 耐震補強工事(現場打ちRC壁の増設工事)	1 補強工法 新設耐震壁 増打ち耐震壁 開口部閉鎖壁 新設袖壁 製造所及び専門業者 ()			
	6 溶接材料 (8.2.10)	溶接材料 改修標準仕様書8.2.10(1)(2)による 図示による		16 アンカーボルト (7.2.4) (7.10.3) 公共建築工事標準仕様書(84版)による。	2 既存部分の撤去 (8.21.2) 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本工事に支障となる最小限の範囲を撤去し既存構造体を露出させる。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 既存構造体の撤去範囲 図示による はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 鉄筋は曲げることなく、必要に応じてウレタン等を巻き養生する。また鉄骨は免泡スチロール等で養生する。 図示による		3 既存部分の処理 (8.21.3) 目荒しの程度 既存柱・梁 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による 壁(増打ち壁増設の場合) 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の10~15%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による	3 既存部分の処理 (8.22.3) 目荒しの程度 図示による 本特記仕様書8-6-3による。	8-7 耐震補強工事(鉄骨ブレース設置工事)	3 既存部分の処理 (8.22.7) 割製補強筋 以下のスバイル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40~60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3~1/6程度とする(箇所により径が異なるので注意する) 図示による
	7 スタッド (8.2.11)	種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22		1 グラウト材 (8.2.12) グラウト材 早強型特殊セメント系無収縮モルタル 無収縮モルタルの割合 製造所で調合されたプレミックスタイプ 現場調合形 無収縮グラウト材の品質 圧縮強度 (N/mm ²) 30以上 コワクワシ-J140-t値(秒) 6~10 乾燥収縮 (%) 0 グラウト材の品質管理は次による 圧縮強度試験 行う 行わない コンシステンシー試験 行う 行わない	3 既存部分の処理 (8.21.3) 目荒しの程度 既存柱・梁 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による 壁(増打ち壁増設の場合) 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の10~15%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による		4 鉄筋の加工及び組立て (8.21.6) 割製補強筋 「スバイル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」、 スバイル筋は直径6mm以上とし、ピッチは40~60mmとする。 図示による 開口部増設壁の開口部鉄筋及び増設壁で壁の端部筋筋 ダブル配筋=閉鎖型配筋、シングル配筋=フック(3d)付き 図示による	4 既存部分の処理 (8.23.2) 既存仕上げの撤去範囲 本特記仕様書8-6-2による他、下記による。 垂れ壁・腰壁を撤去する場合には、風圧力等による安全性を確認の上、30mmのスリットを残して補強を行う。 図示による 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による 既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。	8-8 耐震補強工事(柱補強工事)	1 補強工法 溶接金網巻き工法 溶接閉鎖フープ巻き工法 鋼板巻き工法 帯板巻き付け工法 連続繊維補強工法
	8 工作図 (8.13.2)	高力ボルト、普通ボルト及びアノボルトの縁端距離、ボルト間隔、ボルト等 図示による (図に無い場合は鉄骨設計標準による)		2 柱底等の均しモルタル (8.2.12) モルタルの種別 無収縮モルタル 材料の割合等 公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(I)による。 厚さ 図示による 工法 A種 B種	5 コンクリートの打込み工法 (8.21.8) 流込み工法 圧入工法 8.19.9の方法による他、以下に注意する 開口周囲の既存壁をはつり、既存壁筋を露出させ、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。 開口周囲の既存壁にあと施工アンカーを打設し、これに増設する壁筋をフレアー溶接又は重ね継ぎ手により接続する。(壁が厚く配筋の場合) 開口打設部全てについてグラウト剤を注入する。(壁が薄い場合) 図示による		5 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 (8.23.6) 鋼板の加工 円形 角形 柱頭のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 柱脚のスリット 設ける 設けない 柱脚スリットを設ける場合の切り剥落防止処理方法 小口塞ぎ鉄板溶接 鋼板曲げ加工 グラウト材 グラウト材の仕様 本特記仕様書8-5-1による グラウト材の厚さ 20mm mm			
	9 ボルト孔 (8.13.8)	母屋又は副縁の取付けに使用する普通ボルトの孔型 ねじの呼び径 +1.0 mm		13 溶接部の試験 (8.15.12) H12建設省告示第464号第二号に関する外観試験方法等 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強工事(独立行政法人建築研究所)」3.5.2による受入検査 抜き取り検査 抜き取り検査 JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付則3「溶接」に関する試験方法等 JASS 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波深備試験の試験箇所と同一とする 外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 透過探傷試験(JIS Z 2343-1) 磁粉探傷試験(JIS Z 2320-1) 超音波探傷試験 工場溶接 平均出検品質限界(AOQL) 全数 検査水準 第6水準 第__水準 現場溶接 平均出検品質限界(AOQL) 全数	14 錆止め塗料 (7.4.2) (8.17.2) (8.17.4) 塗料の種別 鉄鋼面の錆止め塗料 表7.4.1による A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 表7.4.2による A種 B種 C種 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) 表7.4.1による A種 B種 C種 ○ D種 E種 耐火被覆材の接着する面への塗装 行わない 行う 耐火被覆材の接着する面以外への塗装 行わない 行う (塗装範囲 図示による)		6 既存構造体との取合い (8.21.9) 打込み工法 圧入工法 図示による	6 既存部分の処理 (8.23.3) 目荒し程度 平均深さ2~5mm(max:5mm)程度の凹面を全体の15~30%の面積となるよう全体にわたって付ける。 図示による 柱及び梁の成型(連続繊維補強工法) 支障となる表面の不陸を調整し、コーナー部をグラインダー等により曲面に成型する。(30R) 図示による		
	10 仮組	実施する 部位 () 実施しない		2 柱底等の均しモルタル (8.2.12) モルタルの種別 無収縮モルタル 材料の割合等 公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(I)による。 厚さ 図示による 工法 A種 B種	7 仕上げ (8.21.10) 図示による		7 仕上げ (8.21.10) 図示による	7 仕上げ (8.21.10) 図示による		
	11 技能資格者	溶接作業者の技量付加試験 行わない 行う 試験の要領 図示による		2 柱底等の均しモルタル (8.2.12) モルタルの種別 無収縮モルタル 材料の割合等 公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(I)による。 厚さ 図示による 工法 A種 B種	8 仕上げ (8.21.10) 図示による		8 仕上げ (8.21.10) 図示による	8 仕上げ (8.21.10) 図示による		
	12 溶接接合 (8.15.4) (8.15.7)	開先の形状 図示による 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による 鋼製エンドタブの切断 有 無 切断する箇所及び切断範囲 図示による グラインダーにより、粗さ 100 μm Rz 程度以下 切断面の仕上げ 及びノッチ深さ 1mm 程度以下に仕上げる スカラップの形状 図示による 構造関係共通図(鉄骨設計標準図)による 改良型スカラップ		2 柱底等の均しモルタル (8.2.12) モルタルの種別 無収縮モルタル 材料の割合等 公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(I)による。 厚さ 図示による 工法 A種 B種	9 仕上げ (8.21.10) 図示による		9 仕上げ (8.21.10) 図示による	9 仕上げ (8.21.10) 図示による		
	13 溶接部の試験 (8.15.12)	H12建設省告示第464号第二号に関する外観試験方法等 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強工事(独立行政法人建築研究所)」3.5.2による受入検査 抜き取り検査 抜き取り検査 JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付則3「溶接」に関する試験方法等 JASS 10.4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波深備試験の試験箇所と同一とする 外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 透過探傷試験(JIS Z 2343-1) 磁粉探傷試験(JIS Z 2320-1) 超音波探傷試験 工場溶接 平均出検品質限界(AOQL) 全数 検査水準 第6水準 第__水準 現場溶接 平均出検品質限界(AOQL) 全数		2 柱底等の均しモルタル (8.2.12) モルタルの種別 無収縮モルタル 材料の割合等 公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(I)による。 厚さ 図示による 工法 A種 B種	10 仕上げ (8.21.10) 図示による		10 仕上げ (8.21.10) 図示による	10 仕上げ (8.21.10) 図示による		
	14 錆止め塗料 (7.4.2) (8.17.2) (8.17.4)	塗料の種別 鉄鋼面の錆止め塗料 表7.4.1による A種 B種 C種 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料 表7.4.2による A種 B種 C種 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る) 表7.4.1による A種 B種 C種 ○ D種 E種 耐火被覆材の接着する面への塗装 行わない 行う 耐火被覆材の接着する面以外への塗装 行わない 行う (塗装範囲 図示による)		2 柱底等の均しモルタル (8.2.12) モルタルの種別 無収縮モルタル 材料の割合等 公共建築工事標準仕様書7.2.9(7)から(I)による。 厚さ 図示による 工法 A種 B種	11 仕上げ (8.21.10) 図示による		11 仕上げ (8.21.10) 図示による	11 仕上げ (8.21.10) 図示による		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																													
8・8	6 連続繊維補強工法 (8.2.13) (8.2.4.6)	工法 (一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 材料 炭素繊維 アラミド繊維 ガラス繊維 性能 引張強度 N/mm ² ヤング係数 N/mm ² 製造所 _____ 製品名 _____ 柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ _____ 仕上げモルタルの除去 _____ ひび割れ部改修 _____ 炭素繊維の目付量 _____ 炭素繊維の巻数 _____ 引張強度試験 行う 試験数量 () 付着強度試験 行う 試験数量 ()	8・10	耐震補強工事(免震改修)	4 仕上げ (8.26.13) 図示による _____ 5 耐火被覆 (8.26.14) 仕様 _____ 6 エキスパンジョイント (8.26.15) 仕様 _____ 7 検査 (8.26.16) 項目 _____ 数量 _____ 8 維持管理要領 (8.26.17) 維持管理要領に記載する項目 点検種別(定期点検 応急点検 詳細点検) 点検の実施時期 点検項目 統括管理体制 点検・検査結果の保管 _____ 維持管理に必要な計測機器の設置 地震計 (仕様 _____) 下げ振り (仕様 _____) けがき板 (仕様 _____) 別置き試験体 (仕様 _____)	8・12	耐震補強工事(基礎工事)	1 既存部分の処理等 (8.28.2) 既存杭の撤去等 撤去範囲及び方法 図示による () 杭頭部の処理 図示による () 既存杭の補強 図示による () 既存杭の健全性を確認する試験 図示による () 2 埋戻し及び盛土 (8.28.3) 埋戻し及び盛土の種類 改修標準仕様書8.28.1による A種適用箇所 () B種適用箇所 () C種適用箇所 () 土質 () 受渡場所 () D種 (細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする) 適用箇所 () その他(材料 工法 _____) 地盤の変形を防止する適切な措置を講ずるための観測等の設置 図示による () 山留め壁等の存置箇所 (図示) 3 杭地業 (8.2.15) (8.28.4) 支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ 図示による () 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 図示による () 試験杭の位置、本数及び施工並びに施工方法 図示による () 杭の継手の箇所数、材料、工法等 図示による () 杭の溶接継手 技能資格者の技量 図示による () 溶接部の確認 図示による () 杭頭の処理 処理する 処理しない 処理方法(切断にともなう補強方法含む) 図示による () 杭頭の中詰め材料 基礎のコンクリートと同調合のもの 杭の精度 水平方向の位置ずれ 杭径の1/4かつ100mm以下 評定等の評価内容による 建込み時の杭の鉛直度 1/100以内 評定等の評価内容による 記録する施工状況等 図示による () 4 砂利地業等 (8.2.15) 材料 再生クラッシュラン 切込砂利 切込砕石 砂利厚さ 60mm 砂地業 山砂 川砂 砕砂 5 捨コンクリート地業 (8.28.4) 捨コンクリートの厚さ 50mm	9	ユニット及びその他の工事	3 可動間仕切 (20.2.3) _____ 4 移動間仕切 (20.2.4) _____ 5 トイレブース (20.2.5) _____ 6 手すり (20.2.6) _____ 7 階段滑り止め (20.2.7) _____ 8 黒板及びホワイトボード (20.2.9) _____ 9 鏡 (20.2.10) _____																																																																													
												<table border="1"> <thead> <tr> <th>種</th> <th colspan="3">類</th> <th colspan="2">H' 枠内に取付け可能な器具</th> </tr> <tr> <th>構造形式</th> <th>構成素材</th> <th>表面仕上</th> <th>遮音性</th> <th>寸法</th> <th>形状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>パネル式</td> <td></td> <td>メラミン樹脂又は</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッド式</td> <td></td> <td>アクリル樹脂焼付</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スクッド式</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 F _____</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パネル操作方法による種類</th> <th>パネル表面材・仕上</th> <th>パネル圧接装置の操作方法</th> <th>遮音性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ハンガーレールの取付け下地の補強 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障ない耐力及び変形量となるように補強する。 パネルをランナーに取り付ける部品 ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの ハンガーレール及びランナー パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、体力及び変形量が使用上支障ないもの</p> <p>あと施工アンカー 材質 _____ 寸法 _____ 引抜耐力試験 行う</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集材材 (材種:)</td> <td>○クリアラッカー</td> <td>35程度 45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビニル製</td> <td></td> <td>35程度 45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>手すりの握り部分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付場所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>集材材 (材種:)</td> <td>○クリアラッカー</td> <td>35程度 45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビニル製</td> <td></td> <td>35程度 45程度</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>材種 ステンレス製 (SUS304) 幅 約35mm 形状 ビニルタイヤ入り 両端フック付 あり (ビニル SUS304) 取付工法 接着工法 埋込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>色彩</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>黒板</td> <td>焼付け</td> <td>鋼製黒板</td> <td>緑 曲面</td> </tr> <tr> <td>ホワイトボード</td> <td></td> <td>ほうろう黒板</td> <td>黒 スクリーン付引分け</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ほうろう白板</td> <td>白 曲面</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>スクリーン付引分け</td> </tr> </tbody> </table> <p>鋼線金属 アルミ製 (表面処理の種類 B-2 B-1) 品質・規格 _____</p> <p>厚さ(mm) 5 _____</p>	種	類			H' 枠内に取付け可能な器具		構造形式	構成素材	表面仕上	遮音性	寸法	形状	パネル式		メラミン樹脂又は				スタッド式		アクリル樹脂焼付				スクッド式						パネル操作方法による種類	パネル表面材・仕上	パネル圧接装置の操作方法	遮音性能					材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付場所	備考	集材材 (材種:)	○クリアラッカー	35程度 45程度			ビニル製		35程度 45程度			材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付場所	備考	集材材 (材種:)	○クリアラッカー	35程度 45程度			ビニル製		35程度 45程度			区分	種類	色彩	備考	黒板	焼付け	鋼製黒板	緑 曲面
種	類			H' 枠内に取付け可能な器具																																																																																				
構造形式	構成素材	表面仕上	遮音性	寸法	形状																																																																																			
パネル式		メラミン樹脂又は																																																																																						
スタッド式		アクリル樹脂焼付																																																																																						
スクッド式																																																																																								
パネル操作方法による種類	パネル表面材・仕上	パネル圧接装置の操作方法	遮音性能																																																																																					
材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付場所	備考																																																																																				
集材材 (材種:)	○クリアラッカー	35程度 45程度																																																																																						
ビニル製		35程度 45程度																																																																																						
材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付場所	備考																																																																																				
集材材 (材種:)	○クリアラッカー	35程度 45程度																																																																																						
ビニル製		35程度 45程度																																																																																						
区分	種類	色彩	備考																																																																																					
黒板	焼付け	鋼製黒板	緑 曲面																																																																																					
ホワイトボード		ほうろう黒板	黒 スクリーン付引分け																																																																																					
		ほうろう白板	白 曲面																																																																																					
			スクリーン付引分け																																																																																					
8・9	1 耐震スリット新設工事 (8.25.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>方 向</th> <th>タ イ プ</th> <th>耐火性能</th> <th>防水性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>垂直方向</td> <td>完全(全貫通型)スリット</td> <td>耐火型</td> <td>有り</td> </tr> <tr> <td>水平方向</td> <td>せん断型部分スリット</td> <td>非耐火型</td> <td>無し</td> </tr> </tbody> </table> 品質・規格 _____ 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存鉄骨の処理 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 はつり出し 切断 存置(部分スリット) 耐震スリットの幅及び深さ 図示による _____ 耐震スリットの充填材 _____ 耐火材の使用 使用する 使用しない 適用箇所及び仕様 図示による _____ 遮音材の使用 使用する 使用しない 適用箇所及び仕様 図示による _____ 既存部分の撤去の補修 図示による _____	方 向	タ イ プ	耐火性能	防水性能	垂直方向	完全(全貫通型)スリット	耐火型	有り	水平方向	せん断型部分スリット	非耐火型	無し	8・11	耐震補強工事(制振改修)	1 既存部分の撤去 (8.27.2) 既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存部分が鉄骨造の場合 既存仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存鉄骨の撤去 図示による _____ 範囲 図示による _____ 方法 図示による _____ 既存鉄骨の処置方法 _____ 2 既存部分の処理 (8.27.3) 既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造の場合の目荒しの程度 既存柱・梁 図示による 本特記仕様書8-6-3による。 壁(増打ち壁増設の場合) 図示による 本特記仕様書8-6-3による。 3 減衰材 (8.27.4) (8.27.6) 減衰材 材質 _____ 諸元 _____ 性能確認試験 項目 _____ 数量 _____ 製品検査 項目 _____ 内容 _____ 判定基準 _____ 検査頻度 _____ 防錆処置 _____ 設置位置の寸法許容差 _____ 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」、 H' 径筋は直径6mm以上とし、ピッチは40～60mmとする。 図示による 既存部分が鉄骨造の場合 割製補強筋 以下のスパイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40～60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3～1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) 図示による 4 仕上げ (8.27.8) 図示による _____ 5 検査 (8.27.9) 項目 _____ 数量 _____	9	ユニット及びその他の工事	1 家具、ユニット等の揮発性有機化合物対策 収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板類、MDF及びH'・パーティクルボード等のホルムアルデヒド等の放散量 F _____ 収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤ホルムアルデヒド等の放散量 F _____ 含まれる可塑剤 79酸-79等を含有しない、難揮発性のもの _____ 2 フリーアクセスフロア (20.2.2) 建設技術評価制度「耐震型カーペットフロアの開発」の技術評価を取得した製品とする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>フロア 高さ(mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>帯電防止性能</th> <th>漏えい 拒抗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> スロープ及びボーダー 製造所の標準仕様 図示による コンセント等の取付け 製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) 配線用取出し用開口 対応品又は工場加工品 (施工箇所は図示) 空調用吹出しパネル あり(固定式 可変式 施工箇所は図示) 表面仕上げ材の品質、規模等は、標仕19章内装工事による。 フリーアクセスフロアの試験方法 耐荷重性能 _____ 耐衝撃性能 _____ ローリングロード性能 _____ 耐燃焼性能 _____	施工箇所	寸法 (mm)	フロア 高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい 拒抗																																																													
			方 向	タ イ プ	耐火性能	防水性能																																																																																		
垂直方向	完全(全貫通型)スリット	耐火型	有り																																																																																					
水平方向	せん断型部分スリット	非耐火型	無し																																																																																					
施工箇所	寸法 (mm)	フロア 高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい 拒抗																																																																																		
8・10	1 既存部分の撤去 (8.26.5)	既存部分が鉄筋コンクリート造又は鉄骨鉄筋コンクリート造・既存杭の場合の仕上げの撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 設備機器・配管等の撤去及び移設 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 既存構造体の撤去範囲 図示による 本特記仕様書8-6-2による。 はつりだされた鉄筋及び鉄骨の処置 図示による 本特記仕様書8-6-2による。	8・10	耐震補強工事(免震改修)	3 減衰材 (8.27.4) (8.27.6) 減衰材 材質 _____ 諸元 _____ 性能確認試験 項目 _____ 数量 _____ 製品検査 項目 _____ 内容 _____ 判定基準 _____ 検査頻度 _____ 防錆処置 _____ 設置位置の寸法許容差 _____ 既存部分が鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合 割製補強筋 「スパイラル筋」又は「はしご筋(水平鉄筋と直行筋は溶接又は結束する)」、 H' 径筋は直径6mm以上とし、ピッチは40～60mmとする。 図示による 既存部分が鉄骨造の場合 割製補強筋 以下のスパイラル筋とし、鉄骨ブレース設置後、アンカー筋とスタッドを交互に縫うように全周にわたり整然と配置する。 直径6mm以上の鉄筋とし、ピッチは40～60mmの範囲でスタッド(アンカー)ピッチの1/3～1/6程度とする(箇所により内径が異なるので注意する) 図示による 4 仕上げ (8.27.8) 図示による _____ 5 検査 (8.27.9) 項目 _____ 数量 _____	9	ユニット及びその他の工事	1 家具、ユニット等の揮発性有機化合物対策 収納家具その他ユニットに使用する材料で、合板類、MDF及びH'・パーティクルボード等のホルムアルデヒド等の放散量 F _____ 収納家具その他ユニットに使用する合板等の接着剤ホルムアルデヒド等の放散量 F _____ 含まれる可塑剤 79酸-79等を含有しない、難揮発性のもの _____ 2 フリーアクセスフロア (20.2.2) 建設技術評価制度「耐震型カーペットフロアの開発」の技術評価を取得した製品とする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>フロア 高さ(mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>帯電防止性能</th> <th>漏えい 拒抗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> スロープ及びボーダー 製造所の標準仕様 図示による コンセント等の取付け 製造所の標準仕様 (コンセント本体は別途設備工事) 配線用取出し用開口 対応品又は工場加工品 (施工箇所は図示) 空調用吹出しパネル あり(固定式 可変式 施工箇所は図示) 表面仕上げ材の品質、規模等は、標仕19章内装工事による。 フリーアクセスフロアの試験方法 耐荷重性能 _____ 耐衝撃性能 _____ ローリングロード性能 _____ 耐燃焼性能 _____	施工箇所	寸法 (mm)	フロア 高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい 拒抗																																																																									
									施工箇所	寸法 (mm)	フロア 高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	帯電防止性能	漏えい 拒抗																																																																									

章 項 目	特 記 事 項																																																																														
10 表示・標識 (20.2.11)	衝突防止表示 図示による(市販品 ステンレス製 径 30mm _____) なし 法令に基づく表示 非常用進入口表示等は消防法に適合する市販品とし、その他は標準詳細図による。 室名札 <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材 質</th> <th>色</th> <th>書 体</th> <th>印刷等の種別</th> <th>取付け形式</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>アクリル板 アルミ板</td> <td></td> <td>角太ゴシック 丸</td> <td>シルク印刷</td> <td>平付型 持出型</td> </tr> </table> 外国語表現 行う (英語 _____) 寸法(mm) 50×250 60×250 図示による ビクトグラフ(便所、車いす、階段等) <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材 質</th> <th>印刷等の種別</th> <th>取付け形式</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>アクリル板 アルミ板</td> <td>シルク印刷</td> <td>平付型 持出型</td> <td></td> </tr> </table> 寸法(mm) 150×150 図示による 案内板(館内、各階、便所) <table border="1"> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>材 質</th> <th>色</th> <th>書 体</th> <th>印刷等の種別</th> <th>取付け形式</th> </tr> <tr> <td>5</td> <td>アクリル板 アルミ板</td> <td></td> <td>角太ゴシック 丸</td> <td>シルク印刷</td> <td>平付型 持出型</td> </tr> </table> 外国語表現 行う (英語 _____) 寸法(mm) 600×600 100×600 200×200 図示による 館名板等 品質・規格 _____ 11 タラップ (20.2.12) 材質及び仕上げ ○ SUS304(スリップ止め加工 あり ○なし) ○ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき ((表14.2.2)による種別(C種 ____種)) 12 ブラインド (20.2.14) <table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>種 類</th> <th>スライドの材質</th> <th>スライド幅(mm)</th> <th>スライドレールの材質</th> </tr> <tr> <td>横形</td> <td>ギヤ式 コード式</td> <td>アルミニウム合金</td> <td>25 35</td> <td>鋼製</td> </tr> <tr> <td>縦形</td> <td>2本操作コード式 1本操作コード式</td> <td>アルミスライド 加工スライド</td> <td>80 100</td> <td>アルミニウム 合金製</td> </tr> </table> 13 ローラスクリーン (20.2.15) <table border="1"> <tr> <th>操作方法</th> <th>スクリーンの材質</th> <th>その他の材料</th> <th>幅・高さ 取付箇所</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td>スプリング式 コード式 電動式</td> <td>ガラス繊維製 合成・天然繊維製 木製</td> <td>製造所の仕様</td> <td>図示による</td> <td></td> </tr> </table> 14 カーテン (20.2.16) <table border="1"> <tr> <th>取付箇所</th> <th>形 式</th> <th>開閉操作方法</th> <th>カーテン用きれ地の シグナル</th> <th>ひだの種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>シグナル シグナル シグナル</td> <td>電動 電動 電動</td> <td>シグナル シグナル シグナル</td> <td>シグナル シグナル シグナル</td> </tr> </table> 消防法で定める防災性能の表示があるもの 15 カーテンレール (20.2.16) 材料 アルミニウム又はアルミニウム合金の押し出し成形材 ステンレス 形式 片引き 引分け (暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする。) 形状 C型 D型 角型 強さによる区分 10-90 _____ 仕上げ アルマイト _____ 16 ブラインドボックス カーテンボックス 図示による 市販品(アルミニウム製 押し出し型材) 仕様等 溝幅×深さ(mm) 90×150 150×80 120×80 表面処理 C-1(無着色) C-2(着色) 17 くつふきマット 材質 塩化ビニル製(コイル状 ステンレス製(SUS304)受枠) 硬質アルミニウム合金(受枠とも) ゴム製(ステンレス製(SUS304)受枠) 18 鋼製書架及び棚 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規 格 等</th> <th>JISによる種類</th> </tr> <tr> <td>鋼製書架</td> <td>JIS S 1039 の規格による</td> <td>1種 2種 3種</td> </tr> <tr> <td>鋼製物品棚</td> <td>法務省型</td> <td>4種 5種 6種</td> </tr> </table> 19 収納家具(木製) 材質、形状、寸法 図示による _____ 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 F _____	厚さ(mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式	5	アクリル板 アルミ板		角太ゴシック 丸	シルク印刷	平付型 持出型	厚さ(mm)	材 質	印刷等の種別	取付け形式	備 考	5	アクリル板 アルミ板	シルク印刷	平付型 持出型		厚さ(mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式	5	アクリル板 アルミ板		角太ゴシック 丸	シルク印刷	平付型 持出型	形 式	種 類	スライドの材質	スライド幅(mm)	スライドレールの材質	横形	ギヤ式 コード式	アルミニウム合金	25 35	鋼製	縦形	2本操作コード式 1本操作コード式	アルミスライド 加工スライド	80 100	アルミニウム 合金製	操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等	スプリング式 コード式 電動式	ガラス繊維製 合成・天然繊維製 木製	製造所の仕様	図示による		取付箇所	形 式	開閉操作方法	カーテン用きれ地の シグナル	ひだの種類		シグナル シグナル シグナル	電動 電動 電動	シグナル シグナル シグナル	シグナル シグナル シグナル	種類	規 格 等	JISによる種類	鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	1種 2種 3種	鋼製物品棚	法務省型	4種 5種 6種
厚さ(mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式																																																																										
5	アクリル板 アルミ板		角太ゴシック 丸	シルク印刷	平付型 持出型																																																																										
厚さ(mm)	材 質	印刷等の種別	取付け形式	備 考																																																																											
5	アクリル板 アルミ板	シルク印刷	平付型 持出型																																																																												
厚さ(mm)	材 質	色	書 体	印刷等の種別	取付け形式																																																																										
5	アクリル板 アルミ板		角太ゴシック 丸	シルク印刷	平付型 持出型																																																																										
形 式	種 類	スライドの材質	スライド幅(mm)	スライドレールの材質																																																																											
横形	ギヤ式 コード式	アルミニウム合金	25 35	鋼製																																																																											
縦形	2本操作コード式 1本操作コード式	アルミスライド 加工スライド	80 100	アルミニウム 合金製																																																																											
操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等																																																																											
スプリング式 コード式 電動式	ガラス繊維製 合成・天然繊維製 木製	製造所の仕様	図示による																																																																												
取付箇所	形 式	開閉操作方法	カーテン用きれ地の シグナル	ひだの種類																																																																											
	シグナル シグナル シグナル	電動 電動 電動	シグナル シグナル シグナル	シグナル シグナル シグナル																																																																											
種類	規 格 等	JISによる種類																																																																													
鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	1種 2種 3種																																																																													
鋼製物品棚	法務省型	4種 5種 6種																																																																													
9 ユニット及びその他の工事																																																																															

章 項 目	特 記 事 項																																																																								
20 掲示板	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>表面の材質</th> <th>照明器具</th> <th>施 錠</th> <th>品質・規格</th> </tr> <tr> <td>屋内</td> <td>アルミニウム製(B-2) ステンレス製(SUS304)</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>アルミニウム製(B-2) ステンレス製(SUS304)</td> <td></td> <td>あり</td> <td>あり</td> <td></td> </tr> </table> 品質・規格 _____ 21 カウンター 22 洗面カウンター 材質 種類 メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) 人工大理石(品質 図示) 奥行き(mm) 約450 約600 _____ 23 流し台ユニット <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>部品寸法(mm)</th> <th>規 格</th> <th>仕 様</th> </tr> <tr> <td>流し台</td> <td></td> <td>優良住宅部品</td> <td>トラップ付き</td> </tr> <tr> <td>コンロ台</td> <td></td> <td>優良住宅部品</td> <td>バックガード有り</td> </tr> <tr> <td>吊戸棚</td> <td></td> <td>優良住宅部品</td> <td>高さ 約500mm</td> </tr> <tr> <td>水切り棚</td> <td></td> <td>優良住宅部品</td> <td>ステンレス製1段式</td> </tr> </table> 24 非常用救助袋等 垂直降下式緩下機は消防法に基づく国家検定に合格したものとす。 形式 傾斜式 垂直式 品質・規格 _____ 25 鍵箱 市販品 形式 約下式 差込式 (30 60 120 _____) 組用(____) 個 26 車止め <table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>材 質</th> <th>柱径・肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>上下式鎖内蔵型 (スプリング付き)</td> <td>ステンレス製(SUS304)</td> <td>76.3 t=2.0 114.3 t=2.5</td> <td>GL+700 GL+850</td> </tr> </table> 基礎 無筋コンクリート造 350×350 H250程度 27 フェンス <table border="1"> <tr> <th>表面 仕 上 等</th> <th>種 類</th> <th>門扉の仕様</th> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき ビニル被覆</td> <td>メッキメッキ メッキメッキ</td> <td>片開き 両開き</td> </tr> </table> 28 防煙垂れ壁 <table border="1"> <tr> <th>材 質</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>網入り磨き板ガラス 線入り磨き板ガラス</td> <td>6.8</td> <td>500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </table> 固定式 網入り磨き板ガラス 線入り磨き板ガラス 可動式 <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>高さ(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>垂直降下式 (巻取り型)</td> <td>不燃布 (不燃認定品)</td> <td>500 800</td> <td>ガイドレール 固定式(壁押込型) 可動式(天井収納型)</td> </tr> <tr> <td>回転降下式</td> <td>鋼板制又はアルミ製</td> <td>500 800</td> <td>表面仕上げ 天井材張り</td> </tr> </table> 降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置(埋込型) ○ 大人プール 子供プール ○ 子供プール大型用具 ○ 床点検口蓋 ○ 排水溝蓋 ○ 日除けテント ○ アルミ浴室天井 ○ 気密型天井点検口	種 類	材 質	表面の材質	照明器具	施 錠	品質・規格	屋内	アルミニウム製(B-2) ステンレス製(SUS304)		—	—		屋外	アルミニウム製(B-2) ステンレス製(SUS304)		あり	あり		種 類	部品寸法(mm)	規 格	仕 様	流し台		優良住宅部品	トラップ付き	コンロ台		優良住宅部品	バックガード有り	吊戸棚		優良住宅部品	高さ 約500mm	水切り棚		優良住宅部品	ステンレス製1段式	形 式	材 質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)	上下式鎖内蔵型 (スプリング付き)	ステンレス製(SUS304)	76.3 t=2.0 114.3 t=2.5	GL+700 GL+850	表面 仕 上 等	種 類	門扉の仕様	亜鉛めっき ビニル被覆	メッキメッキ メッキメッキ	片開き 両開き	材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考	網入り磨き板ガラス 線入り磨き板ガラス	6.8	500	アルミ製枠付き	種 類	材 質	高さ(mm)	備 考	垂直降下式 (巻取り型)	不燃布 (不燃認定品)	500 800	ガイドレール 固定式(壁押込型) 可動式(天井収納型)	回転降下式	鋼板制又はアルミ製	500 800	表面仕上げ 天井材張り
種 類	材 質	表面の材質	照明器具	施 錠	品質・規格																																																																				
屋内	アルミニウム製(B-2) ステンレス製(SUS304)		—	—																																																																					
屋外	アルミニウム製(B-2) ステンレス製(SUS304)		あり	あり																																																																					
種 類	部品寸法(mm)	規 格	仕 様																																																																						
流し台		優良住宅部品	トラップ付き																																																																						
コンロ台		優良住宅部品	バックガード有り																																																																						
吊戸棚		優良住宅部品	高さ 約500mm																																																																						
水切り棚		優良住宅部品	ステンレス製1段式																																																																						
形 式	材 質	柱径・肉厚(mm)	高さ(mm)																																																																						
上下式鎖内蔵型 (スプリング付き)	ステンレス製(SUS304)	76.3 t=2.0 114.3 t=2.5	GL+700 GL+850																																																																						
表面 仕 上 等	種 類	門扉の仕様																																																																							
亜鉛めっき ビニル被覆	メッキメッキ メッキメッキ	片開き 両開き																																																																							
材 質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備 考																																																																						
網入り磨き板ガラス 線入り磨き板ガラス	6.8	500	アルミ製枠付き																																																																						
種 類	材 質	高さ(mm)	備 考																																																																						
垂直降下式 (巻取り型)	不燃布 (不燃認定品)	500 800	ガイドレール 固定式(壁押込型) 可動式(天井収納型)																																																																						
回転降下式	鋼板制又はアルミ製	500 800	表面仕上げ 天井材張り																																																																						
10 排水工事																																																																									

章 項 目	特 記 事 項																
10 排水工事	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>材 質</th> <th>形 式</th> <th>適用荷重</th> <th>タイプ</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>溝ふた用 溝ふた用 溝ふた用 溝ふた用</td> <td>鋼製 アルミニウム製 鋳鉄製 樹脂製</td> <td>受枠 ○なし あり あり なし</td> <td>歩行用 T-2用 T-6用 T-14用 T-20用</td> <td>普通目 細目</td> <td>平形 凹凸形</td> </tr> </table> 緑石 (21.3.1) 歩車道境界ブロックのJISによる呼び名 ○ A 図示 _____ 地先境界ブロックのJISによる呼び名 A C _____ 砂利地業の厚さ ○ 100mm 図示 _____ コンクリート側溝 (21.2.1) 鉄筋コンクリートL形のJISによる呼び名 250A ○ 250B _____ (21.3.1) コンクリートL形のJISによる呼び名 250A ○ 250B _____ 鉄筋コンクリートU形のJISによる呼び名 240 300A 360A _____ 現場打ちコンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm ²) 1 8 _____ スランプ(cm) 1 5 1 8 _____ 現場打の鉄筋 種類の記号 SD295 _____	種 類	材 質	形 式	適用荷重	タイプ	上面形状	溝ふた用 溝ふた用 溝ふた用 溝ふた用	鋼製 アルミニウム製 鋳鉄製 樹脂製	受枠 ○なし あり あり なし	歩行用 T-2用 T-6用 T-14用 T-20用	普通目 細目	平形 凹凸形				
種 類	材 質	形 式	適用荷重	タイプ	上面形状												
溝ふた用 溝ふた用 溝ふた用 溝ふた用	鋼製 アルミニウム製 鋳鉄製 樹脂製	受枠 ○なし あり あり なし	歩行用 T-2用 T-6用 T-14用 T-20用	普通目 細目	平形 凹凸形												
11 舗装工事	1 路床 (22.2.2) 路床の構成 (22.2.3) 凍上抑制層 厚さ 図示による _____ (22.2.5) 透水性舗装 フィルター層の厚さ 車道部 図示による 150mm _____ 歩道部 図示による 50mm _____ (凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) 行う 行わない 盛土に用いる材料 A種 B種 C種 D種 (表3.2.1) 路床安定処理 行う 行わない 路床安定処理用材料 添加材料による安定処理 (表22.2.1) 種 類 地盤改良材 () 高炉セメントB種 普通ポルトランドセメント 生石灰 特号 生石灰 1号 フライアッシュセメントB種 消石灰 特号 消石灰 1号 添加量 _____ kg/m ³ 路床土の支持力比(CBR)試験 行う(乱した土 乱さない土) 路床締固め度の試験 行う(埋戻し部、盛土部) 行わない 路盤 (22.3.2) 路盤の厚さ 100 mm _____ (22.3.3) 材料 再生クラッシュラン(RC-40,30,20) _____ (22.3.5) クラッシュラン(C-40,30,20) クラッシュ鉄鋼スラグ(CS-40) _____ 路盤締固め度の試験 行う _____ アスファルト舗装 (22.4.2) 舗 装 の 種 類 表層(mm) 基層(mm) カラー舗装の種類 ~ (22.4.6) アスファルト舗装 顔料混入加熱アスファルト混合物 アスファルト 再生アスファルト (○ 60-80 80-100) ストレートアスファルト 再生加熱アスファルト混合物の種類 <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>一般地域</th> <th>寒冷地域</th> </tr> <tr> <td>表層</td> <td>密粒度アスファルト混合物(13) 細粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>密粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> </table> 施工 アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない アスファルト締固め度、厚さの試験 行う 行わない 4 コンクリート舗装 (22.5.2) 構成 ~ (22.5.6) <table border="1"> <tr> <th>コンクリートの種類</th> <th>部 位</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>設計基準強度(N/㎡)</th> <th>スランプ(cm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 早強セメント 使用しない 使用する 目地 注入目地材料 低弾性タイプ 高弾性タイプ 種類 突合せ目地 収縮目地 伸縮調整目地 間隔 5m程度ごと 4m程度ごと 3m程度ごと コンクリート版厚さの試験 行う _____	区分	一般地域	寒冷地域	表層	密粒度アスファルト混合物(13) 細粒度アスファルト混合物(13)	密粒度アスファルト混合物(13F)	コンクリートの種類	部 位	厚さ(mm)	設計基準強度(N/㎡)	スランプ(cm)					
区分	一般地域	寒冷地域															
表層	密粒度アスファルト混合物(13) 細粒度アスファルト混合物(13)	密粒度アスファルト混合物(13F)															
コンクリートの種類	部 位	厚さ(mm)	設計基準強度(N/㎡)	スランプ(cm)													
11 舗装工事																	

章 項 目	特 記 事 項																																														
11 舗装工事	5 カラー舗装 (22.6.2) 種 類 部 位 配合その他 ~ (22.6.4) 加熱系アスファルト混合物 車路 添加材 着色骨材 自然石 歩行者 結合材 アスファルト 石油樹脂(添加量 _____) 用通路 アスファルト混合物等の抽出試験 適用する 適用しない 舗装の厚さ _____ mm 常温系ニート工法 常温系塗布工法 着色部の下部 舗装の平坦性 アスファルト舗装 コンクリート舗装 通行の支障となる水たまりを生じない程度 6 透水性アスファルト舗装 (22.7.2) 舗装構成及び厚さ 図示による _____ ~ (22.7.6) 表層の厚さの試験 行う 行わない 開粒度アスファルト混合物の抽出試験 行う 行わない コンクリート平板舗装 <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>部 位</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目 地</th> </tr> <tr> <td>普通平板(N) 洗出平板(W)</td> <td>カラー平板(C) 製石(S)</td> <td>300角</td> <td>60</td> <td>砂 モルタル</td> </tr> </table> 品質・規格 _____ クッション材 砂 空練りモルタル インターロッキングブロック舗装 <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>部 位</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>骨材強度(N/㎡)</th> <th>色彩及び表面加工等</th> </tr> <tr> <td>普通ブロック 京エレンガ 透水性ブロック</td> <td>車路 歩行者用通路</td> <td>200×100</td> <td>80 60 80</td> <td>5.0 3.0</td> <td>標準品 標準品</td> </tr> <tr> <td>植生ブロック</td> <td></td> <td></td> <td>60 80 100</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 品質・規格 _____ クッション材 砂 鋪石舗装 <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>工 法</th> <th>基 層</th> <th>基層の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>花崗岩</td> <td></td> <td>80-100</td> <td>うろこ張り</td> <td>コケラト版</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>アスファルト混合物</td> <td>50</td> </tr> </table> 品質・規格 _____ クッション材 砂 空練りモルタル 8 砂利敷き (22.9.2) 通 路 A種 B種 建物周囲その他 A種 B種 下敷きの使用材料は再生クラッシュランとする 9 白線引き 種 類 溶融式 ペイント式 幅(cm) 15 _____	種 類	部 位	寸法(mm)	厚さ(mm)	目 地	普通平板(N) 洗出平板(W)	カラー平板(C) 製石(S)	300角	60	砂 モルタル	種 類	部 位	形状寸法(mm)	厚さ(mm)	骨材強度(N/㎡)	色彩及び表面加工等	普通ブロック 京エレンガ 透水性ブロック	車路 歩行者用通路	200×100	80 60 80	5.0 3.0	標準品 標準品	植生ブロック			60 80 100			種 類	形状寸法(mm)	厚さ(mm)	工 法	基 層	基層の厚さ(mm)	花崗岩		80-100	うろこ張り	コケラト版	70					アスファルト混合物	50
種 類	部 位	寸法(mm)	厚さ(mm)	目 地																																											
普通平板(N) 洗出平板(W)	カラー平板(C) 製石(S)	300角	60	砂 モルタル																																											
種 類	部 位	形状寸法(mm)	厚さ(mm)	骨材強度(N/㎡)	色彩及び表面加工等																																										
普通ブロック 京エレンガ 透水性ブロック	車路 歩行者用通路	200×100	80 60 80	5.0 3.0	標準品 標準品																																										
植生ブロック			60 80 100																																												
種 類	形状寸法(mm)	厚さ(mm)	工 法	基 層	基層の厚さ(mm)																																										
花崗岩		80-100	うろこ張り	コケラト版	70																																										
				アスファルト混合物	50																																										
12 環境配慮改修工事																																															

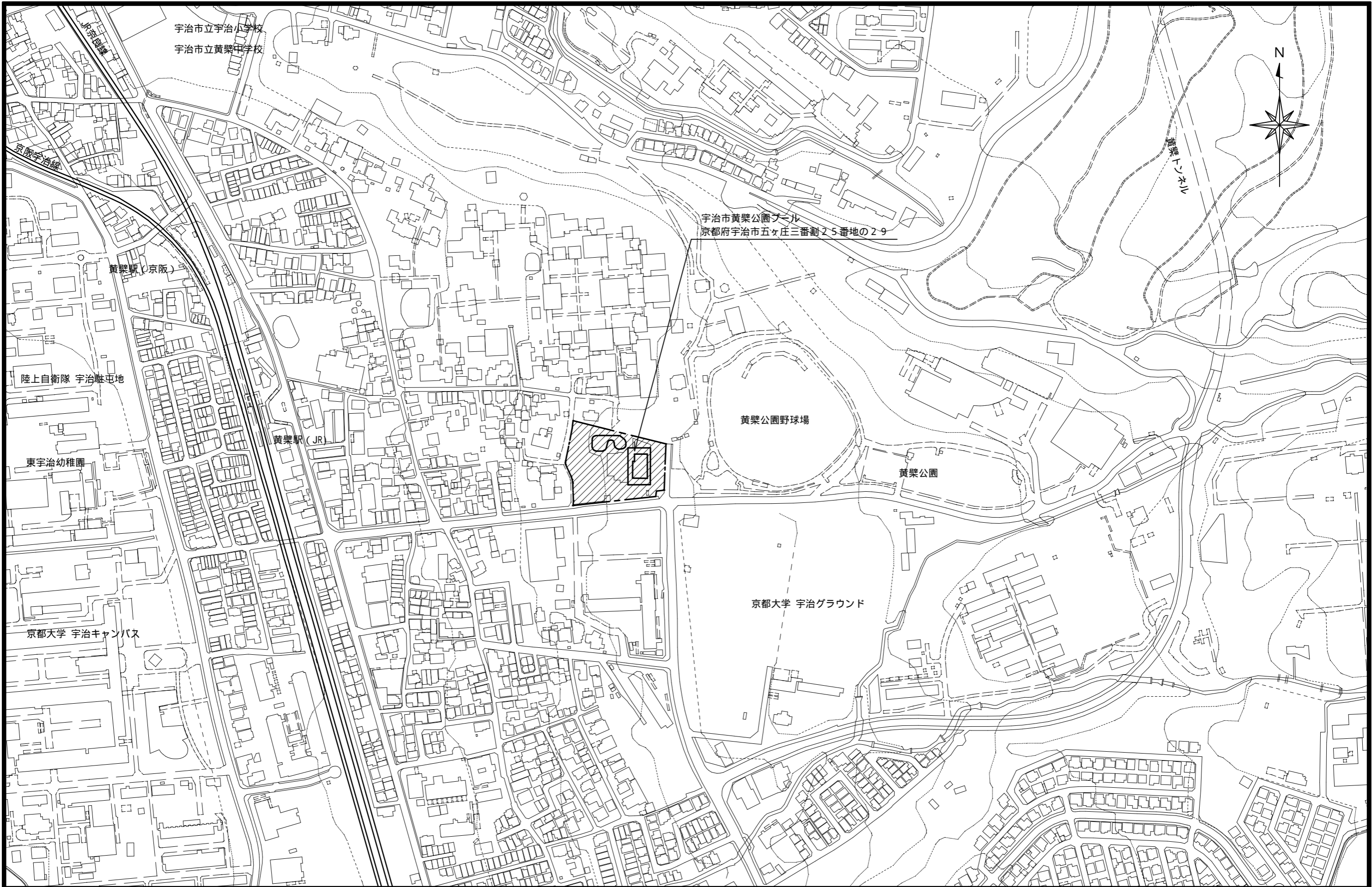
章 項目	特記事項				章 項目	特記事項				章 項目	特記事項				章 項目	特記事項																																																																																																																																																																						
	<p>3 石綿粉じん濃度測定 (9.1.1)</p> <p>行う</p> <table border="1"> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th colspan="3">測定点(各施工箇所ごと)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>除去作業前</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">除去作業中</td> <td>調査対象室外部付近</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>排気装置の排出口</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">除去作業後</td> <td>集じん・排気装置の排出口</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>除去作業室内</td> <td>1点</td> <td>2点</td> <td>3点</td> <td>点</td> </tr> </table> <p>周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 行わない</p> <p>測定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動測定器による測定 <table border="1"> <tr> <th>測定場所</th> <th>測定方法</th> </tr> <tr> <td>排気装置の排出口 (除去作業室内)</td> <td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、A-タイプ用粉じん計、繊維状粒子自動測定器(9744777A「モニター」)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> JIS K 3850-1に基づいた測定 <table border="1"> <tr> <th>測定場所</th> <th>メッシュ径 (mm)</th> <th>試料の吸引流量 (L/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> <tr> <td>排気装置の排出口 (除去作業室内)</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td></td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> </table> <p>測定機関 (公社)日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能な石綿含有率分析可能機関」とする。</p> <p>報告書提出部数 3部 部</p> <p>4 石綿含有吹付け材の除去 (9.1.3)</p> <p>施工業者 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出すること。「吹付け石綿粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。</p> <p>除去を行う範囲 図示による(仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認) 全ての室</p> <p>除去工法 改修仕様9.1.3(2)(7)による</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルター等についても密封処理とする。</p> <p>湿潤化 セメント固化 溶融固化</p> <p>除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 石綿等の保管場所であることを表示を行う。</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の処分方法 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設)</p> <p>5 石綿含有保温材等の除去 (9.1.4)</p> <p>除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去方法 原形のまま手ばらし 手ばらし以外(この場合は改修仕様9.1.3(1)による隔離とする)</p> <p>除去した石綿含有保温材等(石綿含有けい酸加減板第二種含む)の処分 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設)</p>					測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)			備考	除去作業前	除去作業室内	1点		2点	3点	点	除去作業中	調査対象室外部付近	1点	2点	3点	点	除去作業室内	1点	2点	3点	点	排気装置の排出口	1点	2点	3点	点	除去作業後	集じん・排気装置の排出口	1点	2点	3点	点	除去作業室内	1点	2点	3点	点	測定場所	測定方法	排気装置の排出口 (除去作業室内)	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、A-タイプ用粉じん計、繊維状粒子自動測定器(9744777A「モニター」)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定場所	メッシュ径 (mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)	排気装置の排出口 (除去作業室内)	25	5	30		47	10	120		47	10	240	<p>12 環境配慮改修工事</p> <p>石綿含有成形板等の除去 (9.1.5)</p> <p>除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去の方法 湿潤化したのちに手ばらし 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破砕</p> <p>隔離養生(負圧不要)方法 図示による ○</p> <p>足場 ○ 図示による ○</p> <p>除去した石綿含有けい酸加減板第一種の処分 埋立処分(安定型最終処分場) 中間処理(溶融施設) 石綿含有成形板等(石綿含有けい酸加減板第一種以外)の撤去 除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去した石綿含有成形板等の処分 石綿含有せっこうボード 埋立処分(管理型最終処分場) 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板等 埋立処分(安定型最終処分場) 中間処理(溶融施設) 石綿含有仕上げ塗材又は石綿含有成形板等(下地調整材)の撤去 除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去の方法</p> <p>養生の方法</p> <p>除去した石綿含有仕上げ塗材の処分 埋立処分(安定型最終処分場) 埋立処分(管理型最終処分場) 中間処理(溶融施設)</p> <p>除去を行う石綿含有成形板等の仕様</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>化粧石膏ボード</td> <td>9.5</td> <td>石綿ロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビニル床タイル</td> <td>2.0</td> <td>石綿スレート(外装・内装)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿保温材</td> <td></td> <td>押出成形セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>けいそう土保温材</td> <td></td> <td>化粧石綿セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>塩基性炭酸マグネシウム保温材</td> <td></td> <td>石綿セメントけい酸加減板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>けい酸カルシウム保温材</td> <td></td> <td>化粧石綿セメントけい酸加減板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>親水性パーライト保温材</td> <td></td> <td>吸音穴あき石綿セメント板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>繊維混入けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td>ビニル床シート</td> <td>2.9mm</td> </tr> </table> <p>7 断熱アスファルト防水改修工事</p> <p>改修特記仕様書第3章による 工法の種類 P1BI M3DI P2AI M4DI P0DI</p> <p>8 外断熱改修工事 (9.2.2) ~ (9.2.4)</p> <p>断熱材の種類 厚さ(mm) 断熱材の施工 断熱材製造所の仕様による 不陸等の下地調整 外装材製造所の仕様による 外装材 取付ける(種類 防火性能) 外装材の施工 断熱材製造所の仕様による 既存外壁 仕上げ材の撤去() 下地面の清掃() 下地の欠損部の改修(4.1.4[外壁改修工法の種類]による)</p> <p>施工 断熱材製造所の仕様による 通気層 有(厚さ mm) 無 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法</p> <p>9 断熱・防露改修工事 (9.3.2) (9.3.3)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">材</th> <th colspan="2">材(種類)</th> <th rowspan="2">その他</th> </tr> <tr> <td>断熱材</td> <td>断熱材厚さ mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">打込み工法</td> <td>硬質ウレタンフォーム保温材又は断熱材</td> <td>JIS A 9511</td> <td rowspan="2">接着剤の 単位面積当たりの放熱量 F</td> </tr> <tr> <td>硬質ウレタンフォーム保温材A種又は断熱材</td> <td>JIS A 9521</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">断熱材現場発泡工法</td> <td>A種1 A種1H B種1</td> <td>JIS A 9526</td> <td rowspan="2">吹付け厚さ mm</td> </tr> <tr> <td>(難燃性を有するものとする)</td> <td></td> </tr> </table> <p>接着剤の単位面積当たりの放熱量は6-1揮発性有機化合物に記載のとおりとする 特定フロンを使用とする。</p>				種類	厚さ(mm)	種類	厚さ(mm)	化粧石膏ボード	9.5	石綿ロックウール		ビニル床タイル	2.0	石綿スレート(外装・内装)		石綿保温材		押出成形セメント板		けいそう土保温材		化粧石綿セメント板		塩基性炭酸マグネシウム保温材		石綿セメントけい酸加減板		けい酸カルシウム保温材		化粧石綿セメントけい酸加減板		親水性パーライト保温材		吸音穴あき石綿セメント板		繊維混入けい酸カルシウム板		ビニル床シート	2.9mm	材	材(種類)		その他	断熱材	断熱材厚さ mm	打込み工法	硬質ウレタンフォーム保温材又は断熱材	JIS A 9511	接着剤の 単位面積当たりの放熱量 F	硬質ウレタンフォーム保温材A種又は断熱材	JIS A 9521	断熱材現場発泡工法	A種1 A種1H B種1	JIS A 9526	吹付け厚さ mm	(難燃性を有するものとする)		<p>10 屋上緑化 (9.4.2) ~ (9.4.4)</p> <p>断熱材後張り工法 断熱材の種類 断熱材の厚さ(mm) 張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張り付け工法</p> <table border="1"> <tr> <th>樹木の種類、寸法、数量等</th> <th colspan="3">図示による 下表による</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>芝・地被類の種類 図示による コウライシバ(目地張り) ノシバ(目地張り) セダム類(カット ふるい プラグ苗)</p> <p>材料 見切材 舗装材 排水孔 排水材</p> <p>かん水装置 設置する(種類) 設置しない</p> <p>支柱材 杉(焼き丸太) 竹 ひのき から松(皮はぎ) 形式 図示による 防露処理方法 加圧式防露処理丸太</p> <p>幹巻用材料 幹巻き用テープ わら及びこも</p> <p>既存保護層の撤去 行う(工法は3.2.3[既存保護層等の撤去]による) 行わない</p> <p>新植芝及び地被類の枯損補償 引渡しの日から1年 引渡しの日から__年</p> <p>11 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.5.2) ~ (9.5.5)</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 図示による</p> <p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th colspan="3">材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">盛土</td> <td>A種</td> <td>B種</td> <td>C種</td> <td rowspan="2">図示</td> </tr> <tr> <td colspan="3">D種</td> </tr> <tr> <td>凍上抑制層</td> <td>再生クラッシュランG</td> <td>クラッシュラン</td> <td></td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">フィルター層</td> <td colspan="3">切込み砂利 砂</td> <td rowspan="2">図示</td> </tr> <tr> <td colspan="3">砂</td> </tr> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) 行う 行わない</p> <p>路床安定処理 適用する 適用しない 路床安定処理の方法 置き換え工法 安定処理工法</p> <p>路床安定処理用添加材料の種類</p> <p>普通ポルトランドセメント 高炉セメントB種</p> <p>フライアッシュセメントB種</p> <p>生石灰(特号1号) 消石灰(特号1号)</p> <p>添加量 kg(目標CBR 3以上)</p> <p>目標CBRを満足する添加量の確認方法 安定処理土のCBR試験</p> <p>ジオテキスタイル 単位面積質量 60g/m²以上 厚さ(mm) 0.5-1.0 引張強さ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 1.5x10cm/sec以上</p> <p>試験 路床土の支持力比(CBR)試験 行う 行わない 現場CBR試験 行う 行わない 路床締固め度の試験 行う 行わない</p>				樹木の種類、寸法、数量等	図示による 下表による			種類	寸法	数量	備考					種別	材料			厚さ(mm)	盛土	A種	B種	C種	図示	D種			凍上抑制層	再生クラッシュランG	クラッシュラン		図示	フィルター層	切込み砂利 砂			図示	砂			<p>12 環境配慮改修工事</p> <p>路盤 路盤の厚さ 図示</p> <p>路盤材料</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種類別</th> <th colspan="2">種類別</th> </tr> <tr> <td>砕石</td> <td>クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">再生材</td> <td>再生クラッシュラン</td> <td>再生粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>クラッシュラン鉄鋼スラグ</td> <td>再生粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td colspan="2">粒度調整鉄鋼スラグ</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</td> <td></td> </tr> </table> <p>舗装の構成 図示による 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 行う 行わない</p> <p>舗装の平たん性 著しい不陸がないもの</p>				種類別	種類別		砕石	クラッシュラン	再生材	再生クラッシュラン	再生粒度調整砕石	クラッシュラン鉄鋼スラグ	再生粒度調整砕石	粒度調整鉄鋼スラグ		
測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)			備考																																																																																																																																																																																	
除去作業前	除去作業室内	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																																	
除去作業中	調査対象室外部付近	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																																	
	除去作業室内	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																																	
	排気装置の排出口	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																																	
除去作業後	集じん・排気装置の排出口	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																																	
	除去作業室内	1点	2点	3点	点																																																																																																																																																																																	
測定場所	測定方法																																																																																																																																																																																					
排気装置の排出口 (除去作業室内)	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、A-タイプ用粉じん計、繊維状粒子自動測定器(9744777A「モニター」)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																																																					
測定場所	メッシュ径 (mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																																																																			
排気装置の排出口 (除去作業室内)	25	5	30																																																																																																																																																																																			
	47	10	120																																																																																																																																																																																			
	47	10	240																																																																																																																																																																																			
種類	厚さ(mm)	種類	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																			
化粧石膏ボード	9.5	石綿ロックウール																																																																																																																																																																																				
ビニル床タイル	2.0	石綿スレート(外装・内装)																																																																																																																																																																																				
石綿保温材		押出成形セメント板																																																																																																																																																																																				
けいそう土保温材		化粧石綿セメント板																																																																																																																																																																																				
塩基性炭酸マグネシウム保温材		石綿セメントけい酸加減板																																																																																																																																																																																				
けい酸カルシウム保温材		化粧石綿セメントけい酸加減板																																																																																																																																																																																				
親水性パーライト保温材		吸音穴あき石綿セメント板																																																																																																																																																																																				
繊維混入けい酸カルシウム板		ビニル床シート	2.9mm																																																																																																																																																																																			
材	材(種類)		その他																																																																																																																																																																																			
	断熱材	断熱材厚さ mm																																																																																																																																																																																				
打込み工法	硬質ウレタンフォーム保温材又は断熱材	JIS A 9511	接着剤の 単位面積当たりの放熱量 F																																																																																																																																																																																			
	硬質ウレタンフォーム保温材A種又は断熱材	JIS A 9521																																																																																																																																																																																				
断熱材現場発泡工法	A種1 A種1H B種1	JIS A 9526	吹付け厚さ mm																																																																																																																																																																																			
	(難燃性を有するものとする)																																																																																																																																																																																					
樹木の種類、寸法、数量等	図示による 下表による																																																																																																																																																																																					
種類	寸法	数量	備考																																																																																																																																																																																			
種別	材料			厚さ(mm)																																																																																																																																																																																		
盛土	A種	B種	C種	図示																																																																																																																																																																																		
	D種																																																																																																																																																																																					
凍上抑制層	再生クラッシュランG	クラッシュラン		図示																																																																																																																																																																																		
フィルター層	切込み砂利 砂			図示																																																																																																																																																																																		
	砂																																																																																																																																																																																					
種類別	種類別																																																																																																																																																																																					
	砕石	クラッシュラン																																																																																																																																																																																				
再生材	再生クラッシュラン	再生粒度調整砕石																																																																																																																																																																																				
	クラッシュラン鉄鋼スラグ	再生粒度調整砕石																																																																																																																																																																																				
粒度調整鉄鋼スラグ																																																																																																																																																																																						
水硬性粒度調整鉄鋼スラグ																																																																																																																																																																																						

注記・備考 Ver_R04(R05_02)




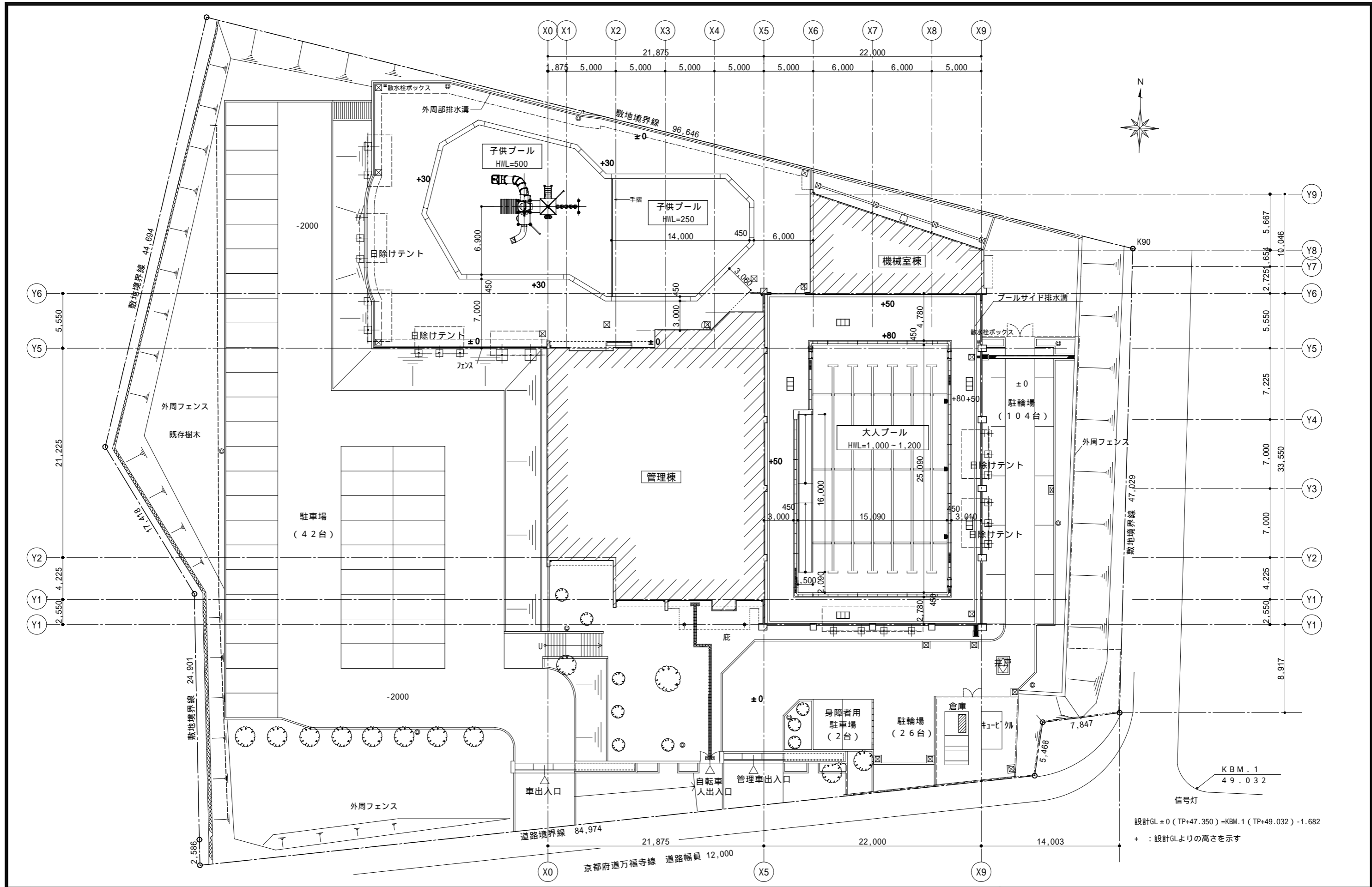
アスベスト対策工事特記仕様書

章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																														
⑬ ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	<p>⑬ 1 通用範囲 (9.1.1)</p> <p>アスベストを重量で0.1%を超えて含有する、アスベスト含有建材の除去工事に適用する。</p> <p>アスベスト含有吹付け材除去工事 除去工法 () 封じ込め工法 () 囲い込み工法 ()</p> <p>アスベスト含有保温材等除去工事 アスベスト含有成形板除去工事</p>	⑬ ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	<p>⑬ 1 仕上げ工事 (9.1.1)</p> <p>アスベスト含有建材除去後の仕上げ工事 図示による</p> <p>⑬ 2 石綿作業主任者 (9.1.2)</p> <p>石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者または平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。</p> <p>⑬ 7 特別管理産業廃棄物管理責任者 (9.1.2)</p> <p>特別管理産業廃棄物管理責任者の有資格者とし、証明書の写しに工事経歴書を添付して監督職員に提出する。ただし、アスベスト含有成形板の除去工事を除く。</p> <p>⑬ 8 アスベスト含有吹付け材の除去 (9.1.3)</p> <p>施工業者 工事に相応した技術を有することを証明する資料をあらかじめ提出する。 「吹付アスベスト粉じん飛散防止処理技術」について(一財)日本建築センターの建設技術審査証明事業による建築物等の施工技術及び保全技術の審査証明を取得した工法の施工業者等。</p> <p>除去を行う範囲 図示による(仕上げ表による 床・壁・天井毎に種別を確認) 全ての室</p> <p>除去工法 改修標仕9.1.3(b)(1)による</p> <p>除去を行うアスベスト含有吹付け材の仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹付け石綿</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有吹付けロックウール</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有吹付けひる石</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有吹付けパーライト</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 湿潤化 セメント固化 溶融固化</p> <p>除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。</p> <p>除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。 特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地((株)京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。</p>	種 類	種 類	吹付け石綿		石綿含有吹付けロックウール		石綿含有吹付けひる石		石綿含有吹付けパーライト		⑬ ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	<p>⑬ 9 アスベスト含有保温材等の除去 (9.1.4)</p> <p>除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去の方法 原形のまま手ばらし 手ばらし以外(この場合は改修標仕9.1.3(a)による隔離とする)</p> <p>除去を行うアスベスト含有保温材等の仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石綿保温材</td> <td>石綿含有耐火被膜材</td> </tr> <tr> <td>石綿含有けいそう土保温材</td> <td>石綿含有けい酸カルシウム板第二種</td> </tr> <tr> <td>石綿含有パーライト保温材</td> <td>屋根用折板裏断熱材</td> </tr> <tr> <td>石綿含有けい酸カルシウム保温材</td> <td>煙突用断熱材</td> </tr> <tr> <td>石綿含有水練り保温材</td> <td>塩基性炭酸マグネシウム保温材</td> </tr> </tbody> </table> <p>除去物の処理方法 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機、除じん機フィルタ等についても密封処理とする。 セメント固化 溶融固化</p> <p>除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。</p> <p>除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。 特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地((株)京都環境保全公社 瑞穂環境保全センター 京都府船井郡京丹波町猪鼻冠石2-1 TEL 0774-88-0431) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。</p>	種 類	種 類	石綿保温材	石綿含有耐火被膜材	石綿含有けいそう土保温材	石綿含有けい酸カルシウム板第二種	石綿含有パーライト保温材	屋根用折板裏断熱材	石綿含有けい酸カルシウム保温材	煙突用断熱材	石綿含有水練り保温材	塩基性炭酸マグネシウム保温材	⑬ ア ス ベ ス ト 対 策 工 事	<p>⑬ 10 アスベスト含有成形板の除去 (9.1.5)</p> <p>除去を行う範囲 図示による</p> <p>除去の方法 湿潤化したのちに手ばらし 湿潤剤等の噴霧、散水等により十分に湿潤化した状態で破碎</p> <p>除去を行うアスベスト含有成形板の仕様</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>厚 (mm)</th> <th>種 類</th> <th>厚 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石綿含有スレート</td> <td></td> <td>石綿含有ビニル床タイル</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>石綿含有けい酸カルシウム板</td> <td></td> <td>石綿セメントけい酸加が板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有押出成形セメント板</td> <td></td> <td>化粧石綿セメントけい酸加が板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有岩綿吸音天井板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>石綿含有石膏ボード</td> <td>9.5</td> <td>ビニル床シート</td> <td>2.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>除去物等の保管 他の建設副産物等と分別して保管する。 飛散防止措置を講ずる。 アスベスト等の保管場所であることを表示を行う。</p> <p>除去物等の処分 廃棄物及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)の規定を遵守して行う。 アスベスト含有石膏ボード(管理型最終処分場における埋立処分)を除くアスベスト含有成形板 石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場における埋立処分 都道府県知事等から設置許可を受けた溶融施設における溶融または環境大臣の認定を受けた無害化処理施設における無害化処理 指定処分地((財)宇治廃棄物処理公社 京都府宇治市池の尾仙郷山6-2 TEL 0774-21-2807) なお処分に関しては会社の受け入れ基準等を確認する。</p>	種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)	石綿含有スレート		石綿含有ビニル床タイル	2.0	石綿含有けい酸カルシウム板		石綿セメントけい酸加が板		石綿含有押出成形セメント板		化粧石綿セメントけい酸加が板		石綿含有岩綿吸音天井板				石綿含有石膏ボード	9.5	ビニル床シート	2.9
	種 類		種 類																																																		
吹付け石綿																																																					
石綿含有吹付けロックウール																																																					
石綿含有吹付けひる石																																																					
石綿含有吹付けパーライト																																																					
種 類	種 類																																																				
石綿保温材	石綿含有耐火被膜材																																																				
石綿含有けいそう土保温材	石綿含有けい酸カルシウム板第二種																																																				
石綿含有パーライト保温材	屋根用折板裏断熱材																																																				
石綿含有けい酸カルシウム保温材	煙突用断熱材																																																				
石綿含有水練り保温材	塩基性炭酸マグネシウム保温材																																																				
種 類	厚 (mm)	種 類	厚 (mm)																																																		
石綿含有スレート		石綿含有ビニル床タイル	2.0																																																		
石綿含有けい酸カルシウム板		石綿セメントけい酸加が板																																																			
石綿含有押出成形セメント板		化粧石綿セメントけい酸加が板																																																			
石綿含有岩綿吸音天井板																																																					
石綿含有石膏ボード	9.5	ビニル床シート	2.9																																																		
<p>法令等の遵守</p> <p>施工にあたっては、「大気汚染防止法(昭和43年法律97号)」「労働安全衛生法(昭和47年法律57号)」「石綿障害予防規則(平成17年厚生労働省令21号)」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号)」「建築基準法(昭和25年法律201号)」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)(平成12年法律104号)」「京都府建築物の解体等に伴う石綿の飛散防止に関する緊急措置条例(平成17年京都府条例45号)」等、石綿除去に関する諸法令に基づき適正に作業を行う。諸法令の適用及び運用は、受注者の負担と責任において行う。ただし、当該工事に関係のない事項は適用しない。</p> <p>事前調査 ①施工計画に先立ち、改正大気汚染防止法第18条の17の規定により、特定工事に該当するか否かの調査を行う。 調査結果について発注者に書面を交付して説明を行い、調査結果その他環境省令で定める事項を、公衆に見やすいように掲示し、その写しを工事の現場に備え置く。「石綿事前調査結果報告システム」により報告のこと。 なお、特定工事に該当する場合は、「特定粉じん排出等作業実施届出書」の届出内容について発注者に書面を交付して説明を行う。 ②施工計画に先立ち、石綿障害予防規則第3条の規定により、アスベスト含有建材の有無を調査する。 調査結果を記録し、作業に従事する労働者が見やすいように掲示する。</p> <p>事前調査は、国土交通省に登録された機関が行う講習を修了した建築物石綿含有建材調査者、石綿作業主任者技能講習修了者、日本アスベスト調査診断協会に登録されたアスベスト診断士等が行い、資格証明書の写しを監督職員に提出する。</p> <p>調査範囲 図示による 含有の恐れのある建材</p> <p>調査事項 石綿使用部位の確認 石綿層の厚さの確認 施工範囲と工事管理区分の確認 更衣施設等の仮設計画 廃棄物等の搬出方法</p> <p>アスベスト含有分析 行う(分析結果を監督職員に提出する)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 料 名</th> <th>定性分析方法</th> <th>定量分析方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>(箇所数)</td> <td>(箇所数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(箇所数)</td> <td>(箇所数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(箇所数)</td> <td>(箇所数)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(箇所数)</td> <td>(箇所数)</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル JIS A 1481に基づくこと。 行わない</p> <p>既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 あり なし</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定 行う</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点(各施工箇所ごと)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">除去作業前</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点 2点 3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>調査対象室外部付近</td> <td>1点 2点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">除去作業中</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点 2点 3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td>真圧粉じん装置の排出吹き出し口</td> <td>吹出し風速1m/秒以下の位置 各</td> <td>1点 2点 3点</td> </tr> <tr> <td>除去作業室外</td> <td>1点 2点 3点</td> <td>点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">除去作業後</td> <td>除去作業室内</td> <td>1点 2点</td> <td>点 シート養生中</td> </tr> <tr> <td>除去作業室内</td> <td>1点 2点 3点</td> <td>点 シート搬去後</td> </tr> <tr> <td></td> <td>調査対象室外部付近</td> <td>1点 2点</td> <td>点 1週間以降</td> </tr> </tbody> </table> <p>周囲の状況等により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 行わない</p> <p>測定機関 (公社)日本作業環境測定協会による「石綿含有の有無の判定及び石綿の含有率の測定が可能なる石綿含有率分析可能機関」とする。</p> <p>報告書提出部数 3部 部</p>	材 料 名	定性分析方法	定量分析方法		(箇所数)	(箇所数)		(箇所数)	(箇所数)		(箇所数)	(箇所数)		(箇所数)	(箇所数)	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考	除去作業前	除去作業室内	1点 2点 3点	点	調査対象室外部付近	1点 2点	点	除去作業中	除去作業室内	1点 2点 3点	点	真圧粉じん装置の排出吹き出し口	吹出し風速1m/秒以下の位置 各	1点 2点 3点	除去作業室外	1点 2点 3点	点	除去作業後	除去作業室内	1点 2点	点 シート養生中	除去作業室内	1点 2点 3点	点 シート搬去後		調査対象室外部付近	1点 2点	点 1週間以降						
材 料 名	定性分析方法	定量分析方法																																																			
	(箇所数)	(箇所数)																																																			
	(箇所数)	(箇所数)																																																			
	(箇所数)	(箇所数)																																																			
	(箇所数)	(箇所数)																																																			
測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備 考																																																		
除去作業前	除去作業室内	1点 2点 3点	点																																																		
	調査対象室外部付近	1点 2点	点																																																		
除去作業中	除去作業室内	1点 2点 3点	点																																																		
	真圧粉じん装置の排出吹き出し口	吹出し風速1m/秒以下の位置 各	1点 2点 3点																																																		
	除去作業室外	1点 2点 3点	点																																																		
除去作業後	除去作業室内	1点 2点	点 シート養生中																																																		
	除去作業室内	1点 2点 3点	点 シート搬去後																																																		
	調査対象室外部付近	1点 2点	点 1週間以降																																																		




注
記
備
考


宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 附近見取図 図面番号: A-14
 S = 1:2,500 設計者: 1級建築士登録 庄田 正
第251646号
株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正
第251646号



設計GL ± 0 (TP+47.350) = K.B.M. 1 (TP+49.032) - 1.682
 + : 設計GLよりの高さを示す

注 記 ・ 備 考	



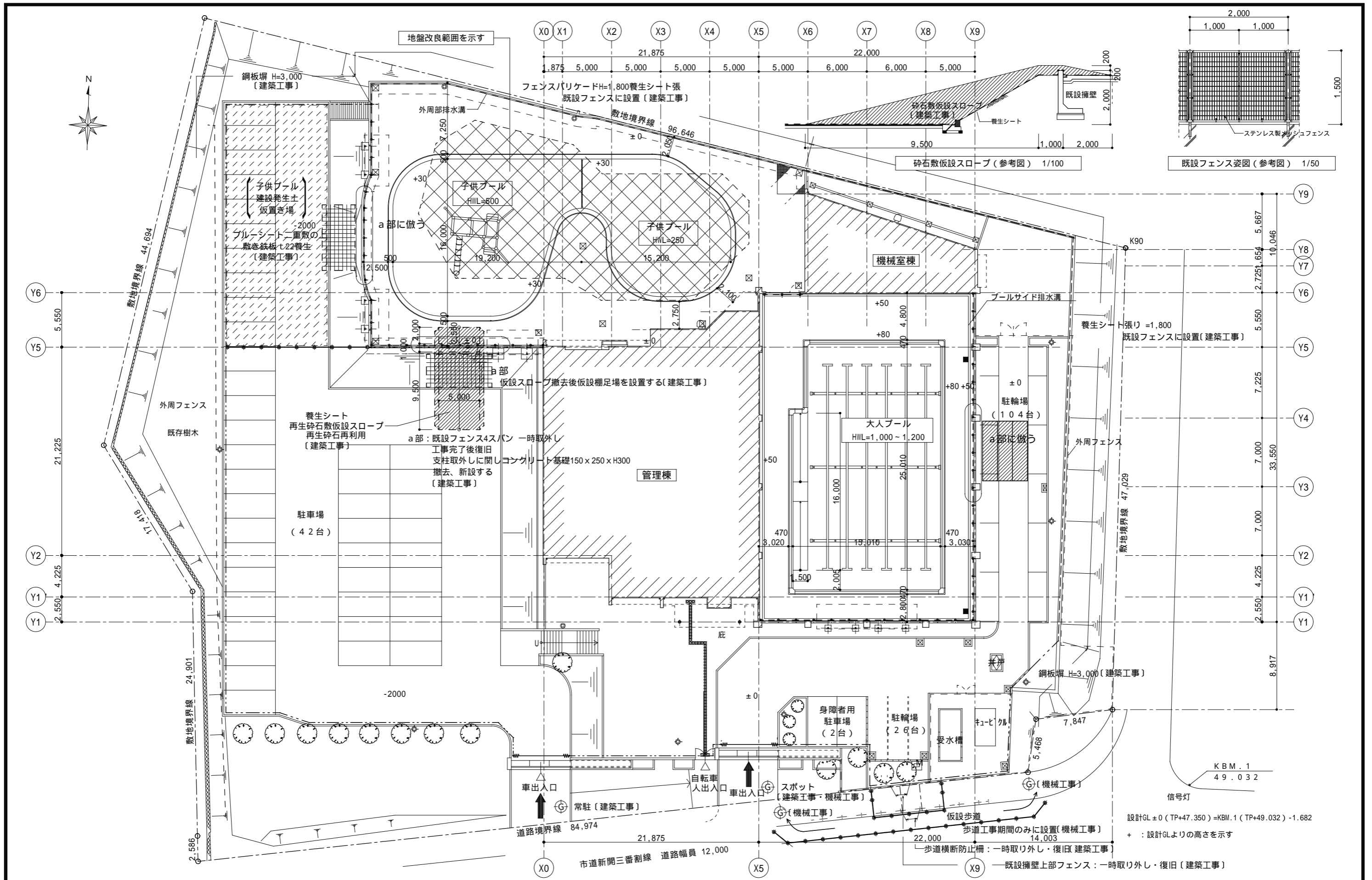
宇治市黄檗公園プール改修建築工事
配置図

図面番号: A-15

S = 1:250

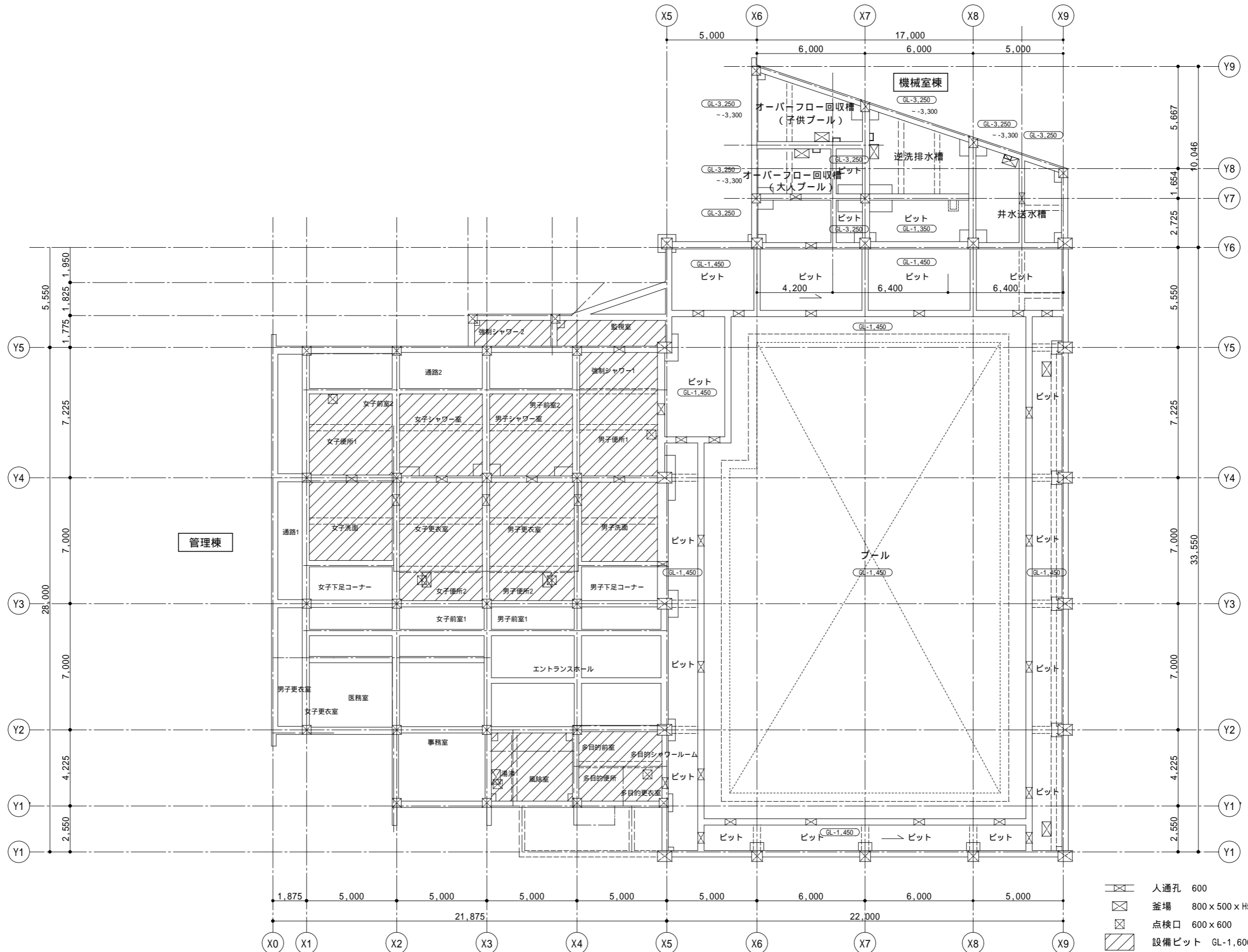
設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田正





株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田正




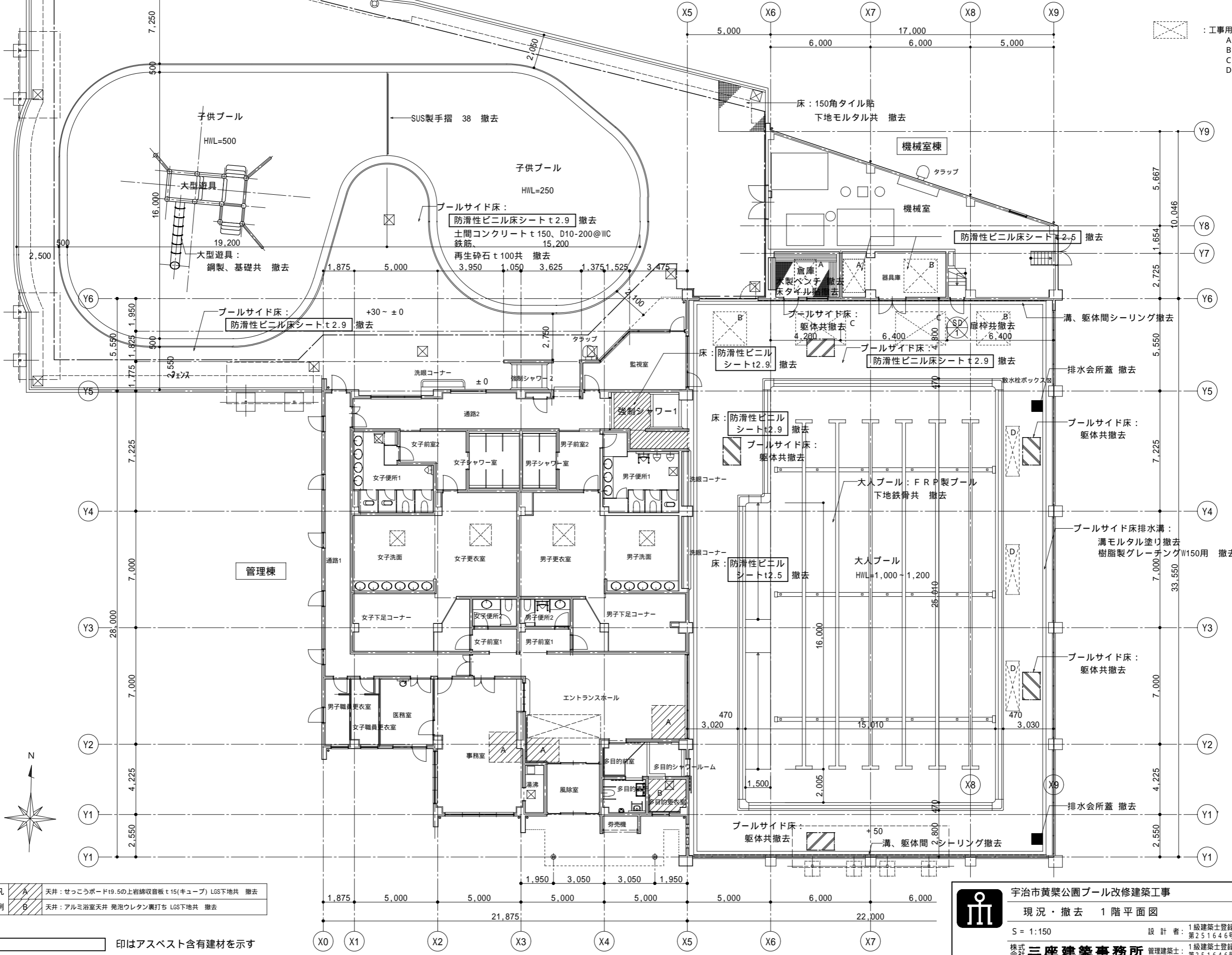
注 凡例	
—	仮囲い(鋼板塀H=3,000)(建築工事)
—	シートゲート(W=6,000 H=4,500)(建築工事)
—	仮囲い(フェンスバリケードH=1,800養生シート張、既設フェンスに設置)(建築工事)
▨	養生敷鉄板 t22敷き(重機稼働時)(建築工事)
→	工事進入出入口
⊙	交通誘導員(建築工事・機械工事)
—	仮囲い(フェンスバリケードH=1,800養生シート張、既設フェンスに設置)(建築工事)
—	仮囲い(カラーコーン、コーンバー)(構内:建築工事、構外:機械工事)
□	仮設柵足場を示す(建築工事)

宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 仮設計画図
 図面番号: A-16
 S = 1:250
 設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正



-  人通孔 600
-  釜場 800 x 500 x H500
-  点検口 600 x 600
-  設備ビット GL-1,600

 宇治市黄檗公園プール改修建築工事
現況 ビット図 図面番号: A-18
S = 1:150 設計者: 1級建築士登録 庄田 正
第251646号
株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正
第251646号



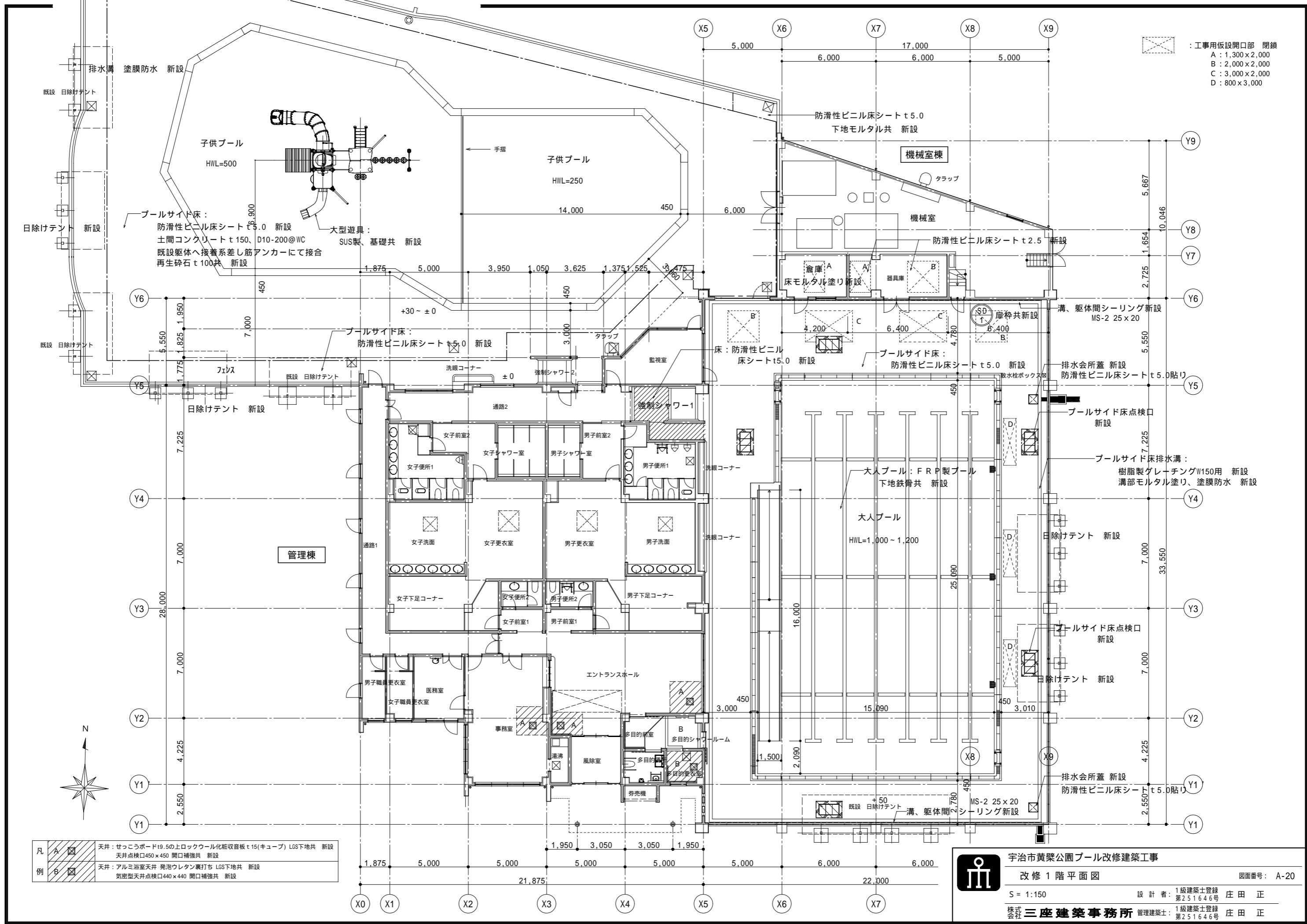
：工用仮設開口部
 A：1,300×2,000
 B：2,000×2,000
 C：3,000×2,000
 D：800×3,000

凡	A	天井：せっこうボードt9.5の上岩綿吸音板 t15(キューブ) LGS下地共 撤去
例	B	天井：アルミ浴室天井 発泡ウレタン裏打ち LGS下地共 撤去

印はアスベスト含有建材を示す

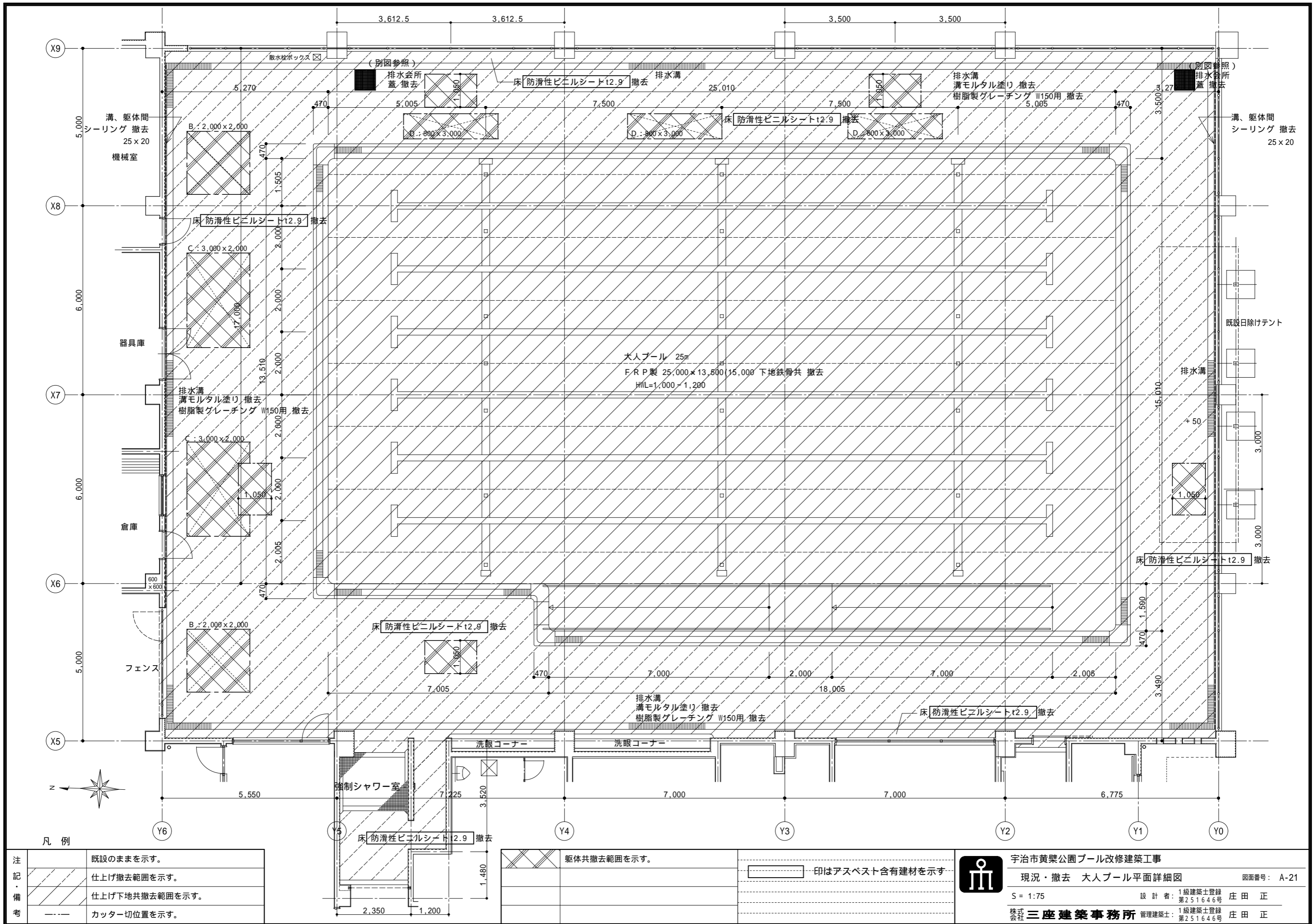
宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 現況・撤去 1階平面図 図面番号：A-19
 S = 1:150 設計者：1級建築士登録 第251646号 庄田 正
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士：1級建築士登録 第251646号 庄田 正

：工所用仮設開口部 閉鎖
 A：1,300×2,000
 B：2,000×2,000
 C：3,000×2,000
 D：800×3,000




凡	A	天井：せつこうボードt9.5の上ロックウール化粧吸音板t15(キューブ) LGS下地共 新設 天井点検口450×450 開口補強共 新設
例	B	天井：アルミ浴室天井 発泡ウレタン裏打ち LGS下地共 新設 気密型天井点検口440×440 開口補強共 新設

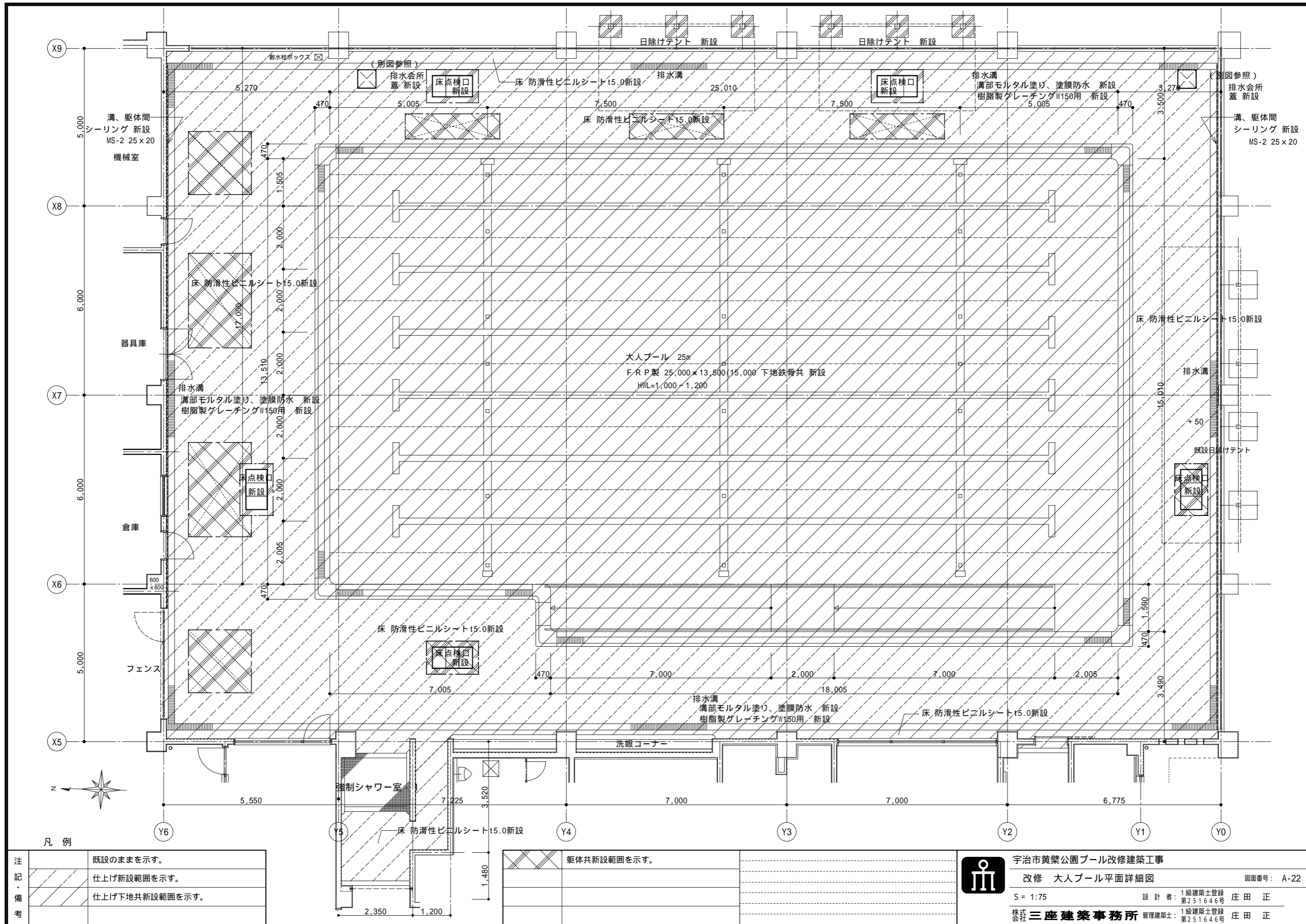
宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 改修 1 階平面図 図面番号： A-20
 S = 1:150 設計者： 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号
 株式会社 **三座建築事務所** 管理建築士： 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号



注	既設のままを示す。
記	仕上げ撤去範囲を示す。
備	仕上げ下地共撤去範囲を示す。
考	カッター切位置を示す。


	躯体共撤去範囲を示す。
	印はアスベスト含有建材を示す


宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 現況・撤去 大人プール平面詳細図 図面番号: A-21
 S = 1:75 設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正
 株式会社 **三座建築事務所** 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正

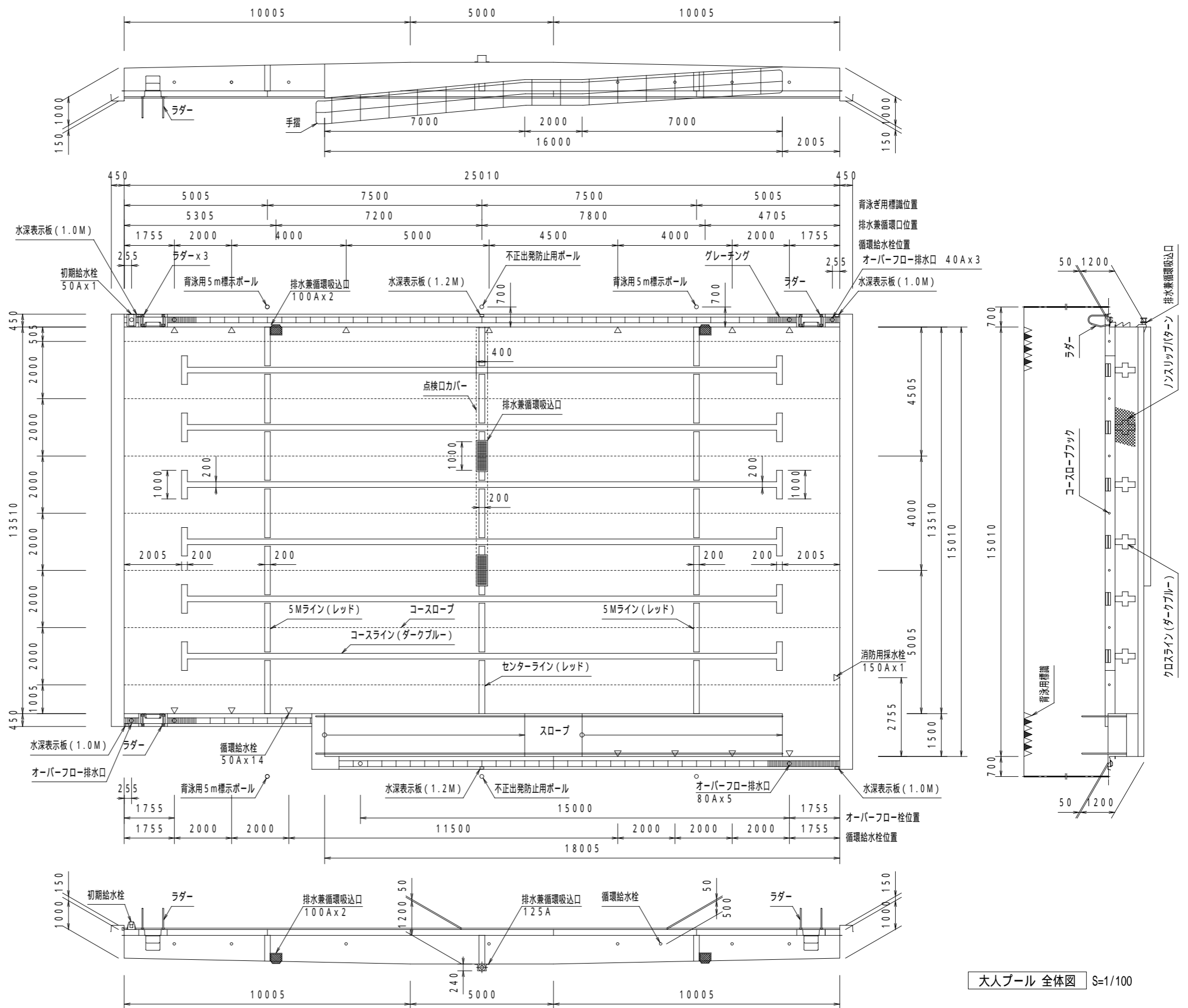


注 記 備 考	既設のままを示す。
	仕上げ新設範囲を示す。
	仕上げ下地共新設範囲を示す。

	躯体共新設範囲を示す。
--	-------------


宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 改修 大人プール平面詳細図 図面番号: A-22
 S = 1:75 設計者: 1級建築士登録 庄田 正
第251646号
 株式会社 **三座建築事務所** 管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正
第251646号

本体仕様		
概要	プールサイズ(呼称)	25m x 13.5m
	水深	1.0m~1.2m~1.0m
	コース数・コース幅	6コース・2m
	容量	398.3m ³
材質	FRP 不飽和ポリエステル樹脂をガラス繊維で強化したもの	
成形法	ハンドレイアップ法	
各部構造	1) 側板・底板 サンドイッチ構造(芯材 硬質発泡材)	
	底板 t15mm	
	側板 t21mm	
	2) コーピング : FRP単板構造	
	3) 本体固定金物 : SS400 山形鋼 溶融亜鉛メッキ処理	
付属部品	1) コースロープフック SUS304	14 個
	2) コースロープ 25M 樹脂製消波型(110)	7 本
	3) コーナーハッチ FRP製	4 箇所
	4) グレーチング AAS樹脂成形品	全周
	5) ラダーハンドル SUS304	3 セット
	6) スロープ FRP製	1 セット
	7) 入水用ラダー SUS	1 セット
	8) 背泳・フライング用標識(ポール・アンカー共)	
	背泳用標識 ステンレス-N#38 アンカ4個 R-プ 2張	1 式
	フライング用標識 ステンレス-N#38 アンカ2個 R-プ 1張	1 式
	9) スタート台 取り外し式 FRP製	6 台
配管部品	1) 排水兼循環金具 JIS10K125A7777 ナイロ/粉体塗装+7LキチP'ヨイト	1 個
	2) 循環吸込金具 JIS10K100A7777 ナイロ/粉体塗装+7LキチP'ヨイト	2 個
	3) ナイロ-加工金具 BSC Rc80A ナイロ/粉体塗装	5 個
	4) 循環吐出金具 BSC Rc80A ナイロ/粉体塗装(菊型金具)	14 個
	5) 給水金具 FRP BOXタイプ 50A(管の材質)VP	2 箇所
塗装	側板面: ゲルコート樹脂(顔料を含んだポリエステル樹脂)仕上	
	底板面: ゲルコート樹脂仕上	
	コースライン : ウレタン塗装 1回塗	
	センターライン: ウレタン塗装 2回塗	
	5mライン : ウレタン塗装 2回塗	
	水深表示 : ウレタン塗装 1回塗	
用語説明	AAS: アクリルゴム アクリロニトリル スチレン	
	BSC: 黄銅鋳物	
	Rc: 管用テーパめすねじ	



注	
記	
備	
考	



宇治市黄檗公園プール改修建築工事

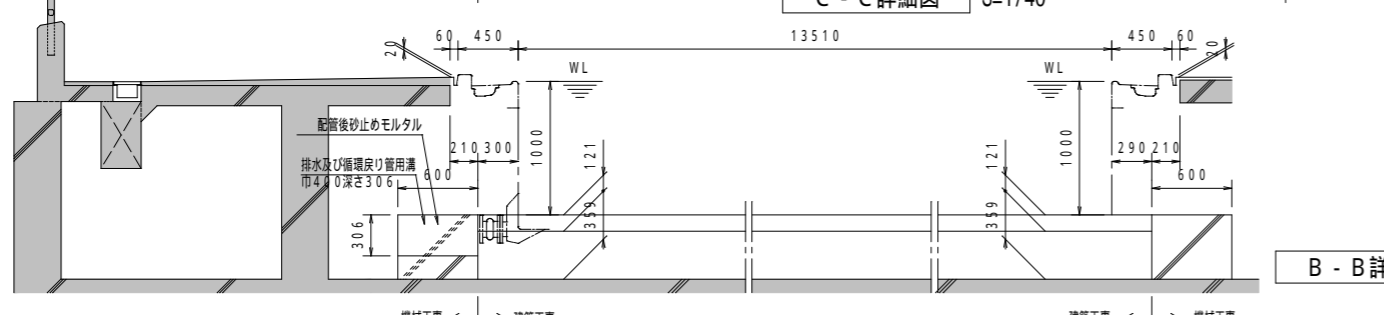
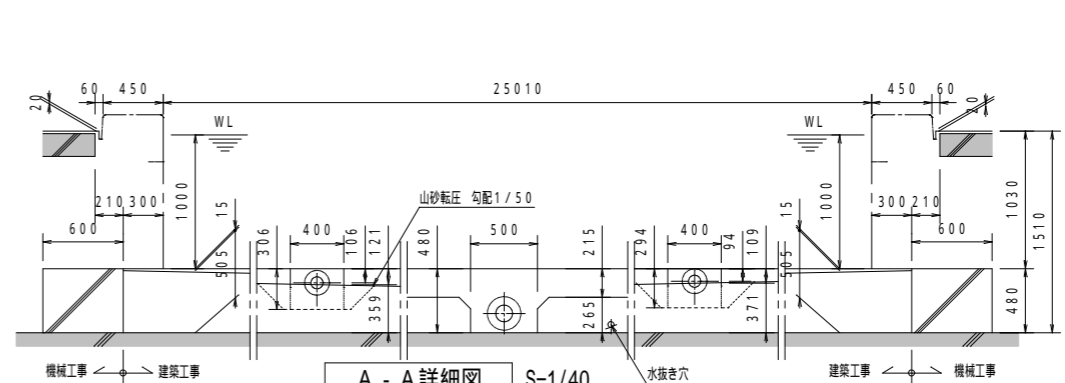
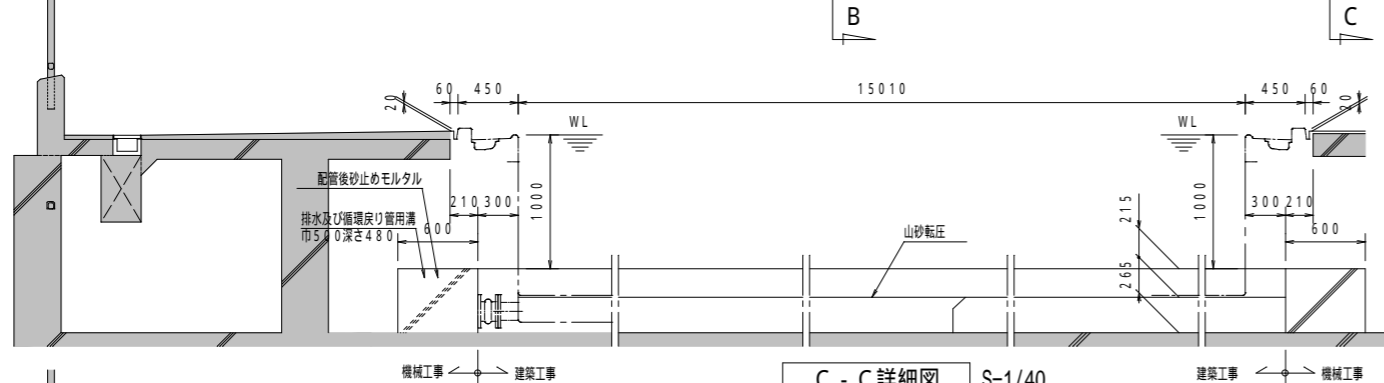
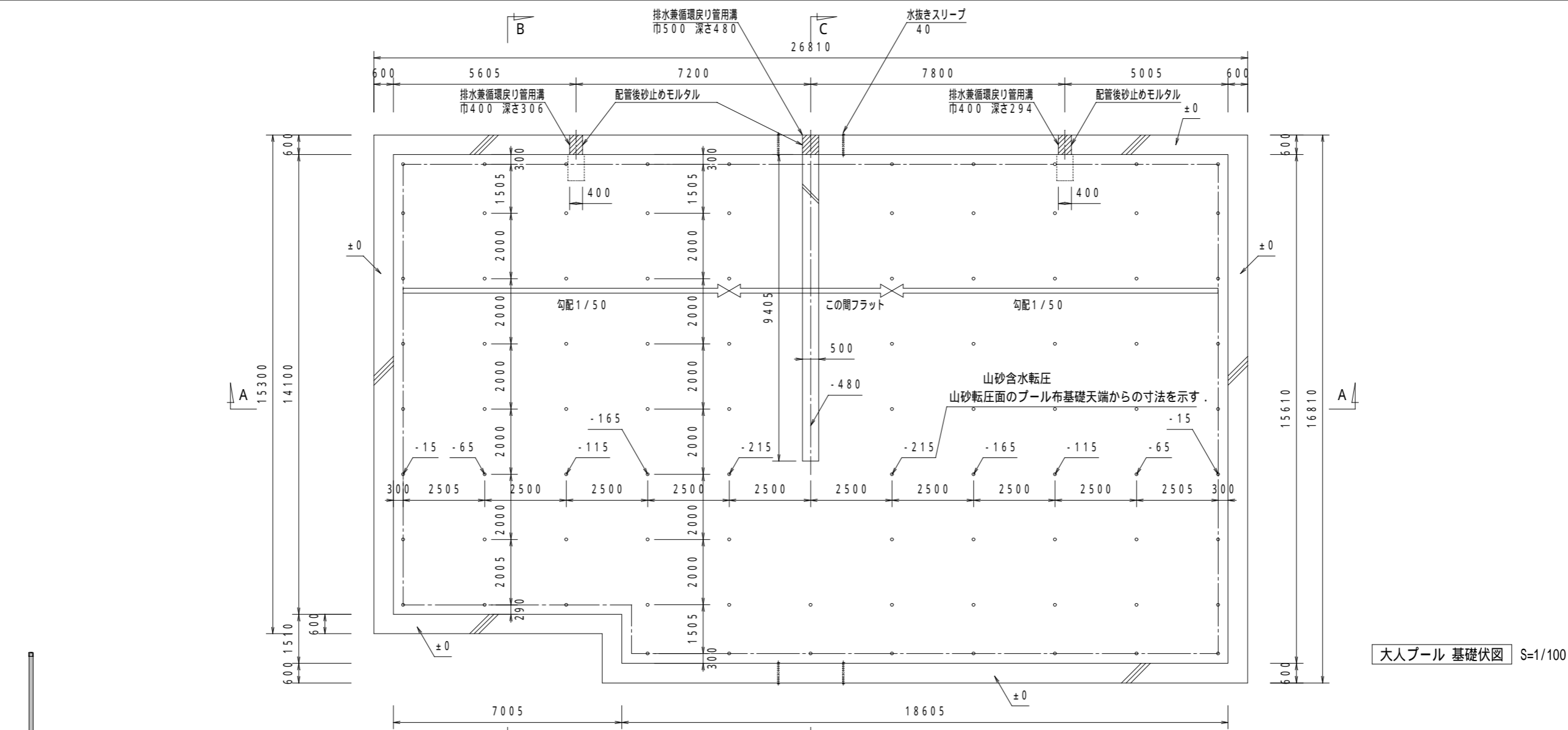
現況・撤去(大人プール)詳細図 1

図面番号: A-23

S=1:100


設計者: 1級建築士登録 庄田 正

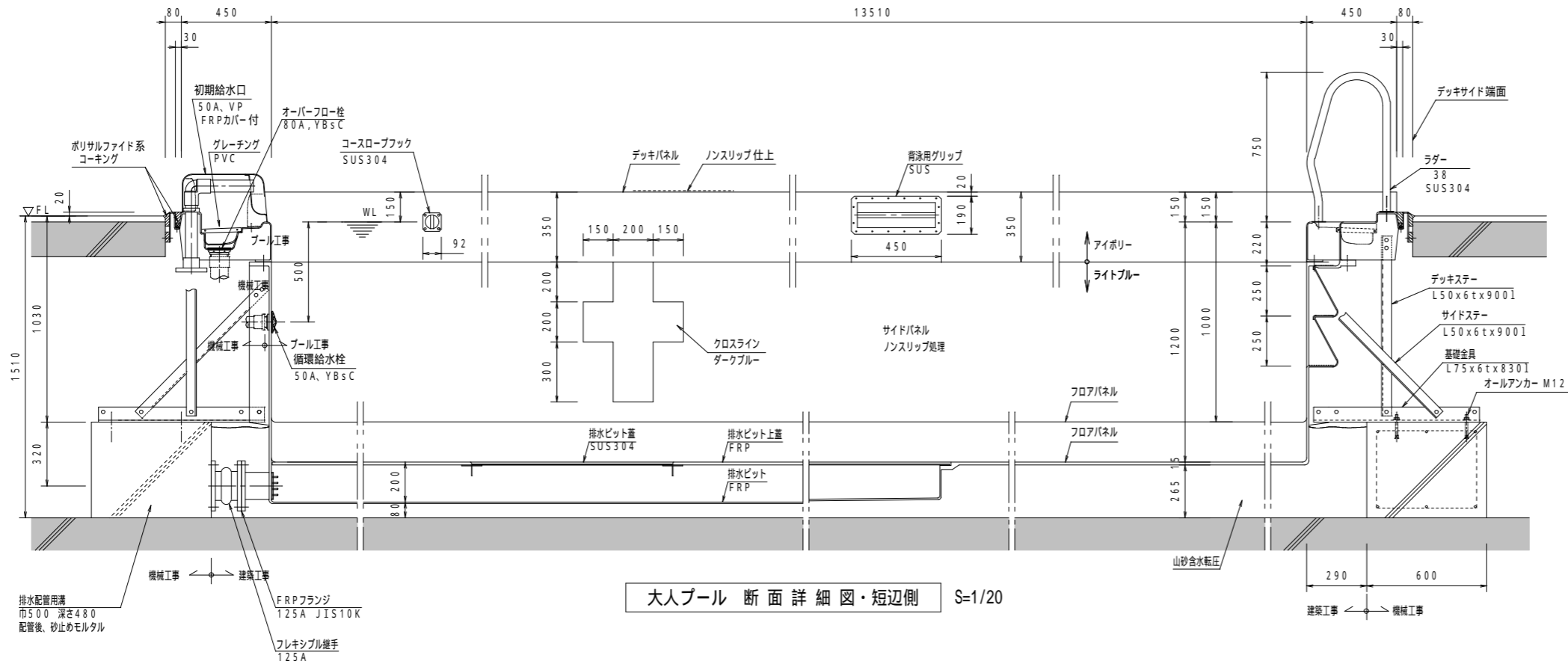
株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正



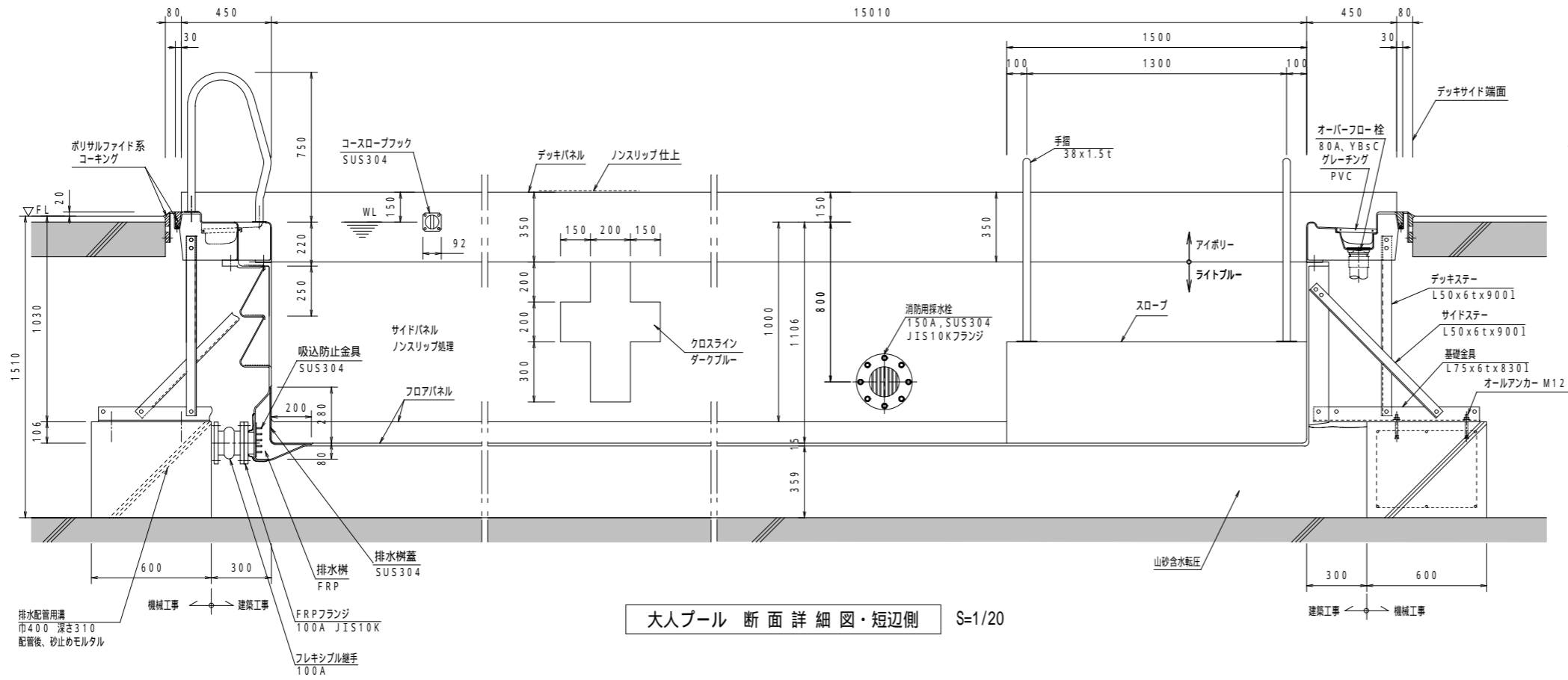
凡例

注記・備考	既設のままを示す。

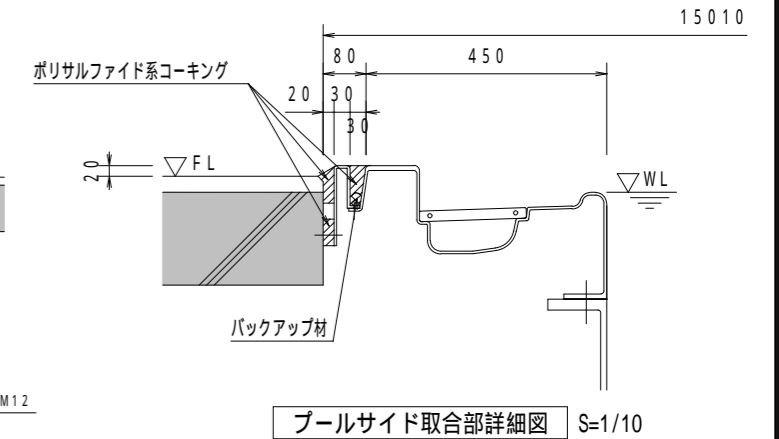

宇治市黄檗公園プール改修建築工事
現況・撤去 (大人プール) 詳細図 2 図面番号: A-24
 S = 1:100 1:40 設計者: 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号
 株式会社 **三座建築事務所** 管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号



大人プール 断面詳細図・短辺側 S=1/20



大人プール 断面詳細図・短辺側 S=1/20



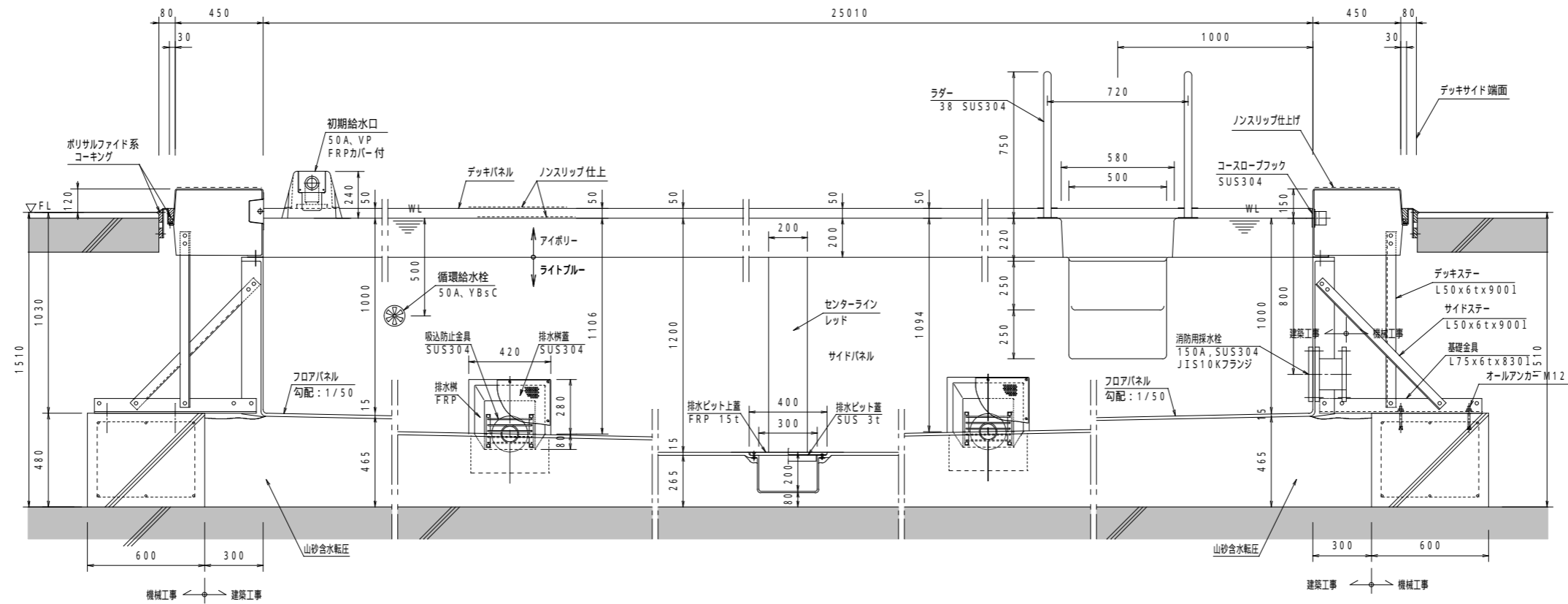
プールサイド取合部詳細図 S=1/10

凡例

注	既設のままを示す。	
記		
備		
考		




宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 現況・撤去 (大人プール) 詳細図 3 図面番号: A-25
 S = 1:20 1:10 設計者: 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号



大人プール 断面詳細図・長辺側 S=1/20

凡例

注記・備考	既設のままを示す。	


宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 現況・撤去 (大人プール) 詳細図 4 図面番号: A-26
 S = 1:20 設計者: 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号
 株式会社 **三座建築事務所** 管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号

プール仕様書

内 容		仕 様		
区分	寸法(呼称)	25.0m×13.5m	スロープ18m×1.5m	
	水深	1.0m - 1.2m - 1.0m		
	コース数	6		
	コース幅	2.0m		
	コース外余裕	0.545m, 1.045m		
	デッキ形状	全周グレーチング		
	プール重量	約7.2t(プール本体構成パネル+パネル固定用ステー金具1式の合計重量)		
プール材質	FRP	不飽和ポリエステル樹脂をガラス繊維で強化しハンドレイアップ成型したもの		
	デッキパネル	FRP 型成型(ノンスリップ仕上)		
	サイドパネル	FRP サンドイッチ構造 t=21mm		
	フロアパネル	FRP サンドイッチ構造 t=15mm		
内 容		材 質 ・ 仕 様		数 量
構造部材	ラダー	38 SUS304	パイプ加工	3組
	排水枘	FRP	(横排水形)	3個
	排水枘蓋	SUS304, 3t	パンチング穴加工	3枚
	サイドグレーチング	PVC	ノンスリップ仕上 アイボリー色	全周
	コーナーパッド	FRP		4個
	初期給水栓ボックス	FRP	(上面ノンスリップ仕上)	1個
	水深銘板	SUS304	1.0m	4カ所
		文字:ブルー	1.2m	2カ所
	ステー金具	SS400	溶融亜鉛メッキ	1式
	ステー金具取付ボルト・ナット	SS400	溶融亜鉛メッキ	1式
	コースロープフック	SUS304	(丸型)	14個
	スロープ	本体:FRP	手摺: 38 SUS304 パイプ加工	1式
配管接続栓	排水兼循環吸込口	125A FRP	10Kフランジ	1個
	排水兼循環吸込口	100A FRP	10Kフランジ	2個
	オーバーフロー排水栓	75A FRP	10Kフランジ	10個
	循環給水栓	50A FRP	10Kフランジ	14個
	初期給水栓	75A HIVP	10Kフランジ	1個
	消防用採水栓	150A SUS304	JIS10Kフランジ	1個
表面色	本体上部:デッキパネル	アイボリー	: H19-85F	マンセル値 10YR8.5/3
	本体下部:サイド及フロアパネル	ライトブルー	: H65-80H	マンセル値 5B8/4
	コースライン・クロスライン	ダークブルー	: H75-20L	マンセル値 5PB2/6
	センターライン	レッド	: H07-40X	マンセル値 7.5R4/14
寸法基準	部 位	許 容 値	備 考	
	長 さ	- 5 ~ +20 mm	日本水泳連盟公認規則に準拠	
	幅	- 5 ~ +20 mm		
	天 端 レ ベ ル	- 3 ~ + 3 mm		
	水 深	- 10 ~ + 5 mm		
	通 り	+ - 10 mm		
その他	消毒液は直接プール内に投入しないで下さい。必ず薬液注入装置を設置し注入して下さい。			

1. 基礎工事

- プール設置地盤は長期地耐力50kN/m以上。
- 布基礎は圧縮強度24N/mm²スランプ15以上の鉄筋コンクリート造。(既設再利用)
- 布基礎上面はコテ仕上げとし、その上面は所定寸法±10mm以内。
- サンドクッションは山砂を用い、基礎伏図を参照しながら手で握れる程度に水を含ませ転圧、レベルは所定寸法±7.5mmとする。
- サンドクッション下面の割グリ砕石地業は目つぶし砂利を充填し充分転圧してください。
- サンドクッション下面がコンクリートベタ打ちの場合は、布基礎内部の最低部(排水枘基礎)に水抜き処理をおこなってください。

工事区分表

工事区分	工事名	工事担当区分		
		建築工事	プール工事	機械工事 (別途工事)
	コンクリート基礎工事	○		
	サンドクッション	○		
	バットレス金具取付		○	
	プール本体組立		○	
	ホールインアンカー		○	
	給排水金具以降配管			○
	配管後砂止め	○		
	プールサイド取合シーリング	○		

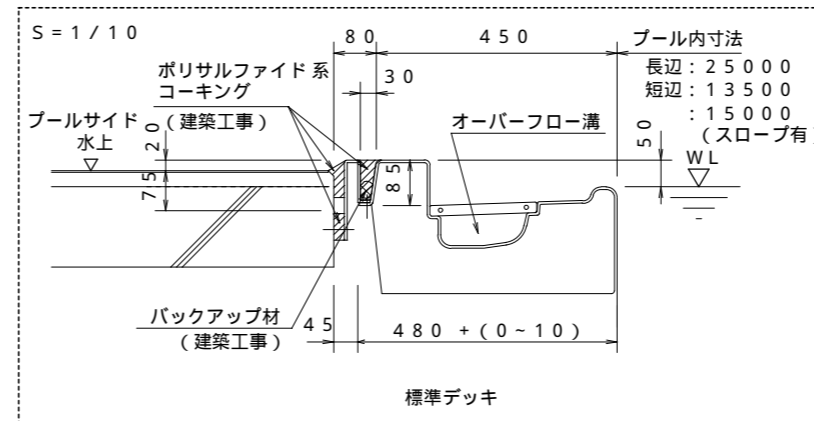
2. 配管上の注意事項

- プール工事は、オーバーフロー排水栓、循環給水栓、排水管(プール基礎外まで)までとする。
- 配管材料及び弁類は使用目的、用途に応じた材質、形状の物を使用し最高仕様圧力に耐え、かつ試験圧力に合格する物とする。
- プール付属金具に不当な荷重がかかると、配管には適切な支持を施すこと。
- 循環給水管は、給水量の均一化のため、必ず2系統配管とする。
- 排水勾配は1/100以上とし、とれない場合はピットを設置し、ポンプにて排水とする。
- 屋外設置の場合は、異物の詰まり防止として排水ます等を設置する。
- 保守点検のため必要なスペースを確保する。
- 配管通水試験時にプール内に持たれる泥、金属片、シール破片、油などの異物は仮排水などにより除去すること。
- 寒冷地においては配管凍結防止策を講じること。

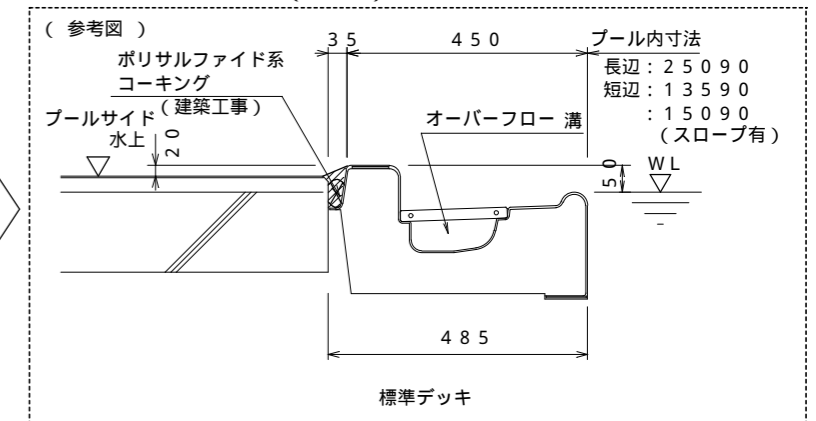
3. 工事条件、及び工事区分

- プール部材搬入について、プール設置場所近くまで11ton車が通行可能なこととする。
- プール裏側の組立スペースはプール内寸から外周に1.2m以上とるようにすること。
- プール工事外無償貸与願事項
 - 資材搬入時のクレーン及び運転者
 - 100V×20A工事用電源
 - 水張検査時及び完成時の清掃用水道水
 - 部材及び工事用道具保管場所
 - 難搬入場所の足場板等
- 廃材処理は現場内、指定場所持込みまでをプール工事とします。
- 水張りにはプール組立完了後2昼夜以降(冬場1週間)とすること。

プールサイド目地取合詳細(改修前) S=1/10

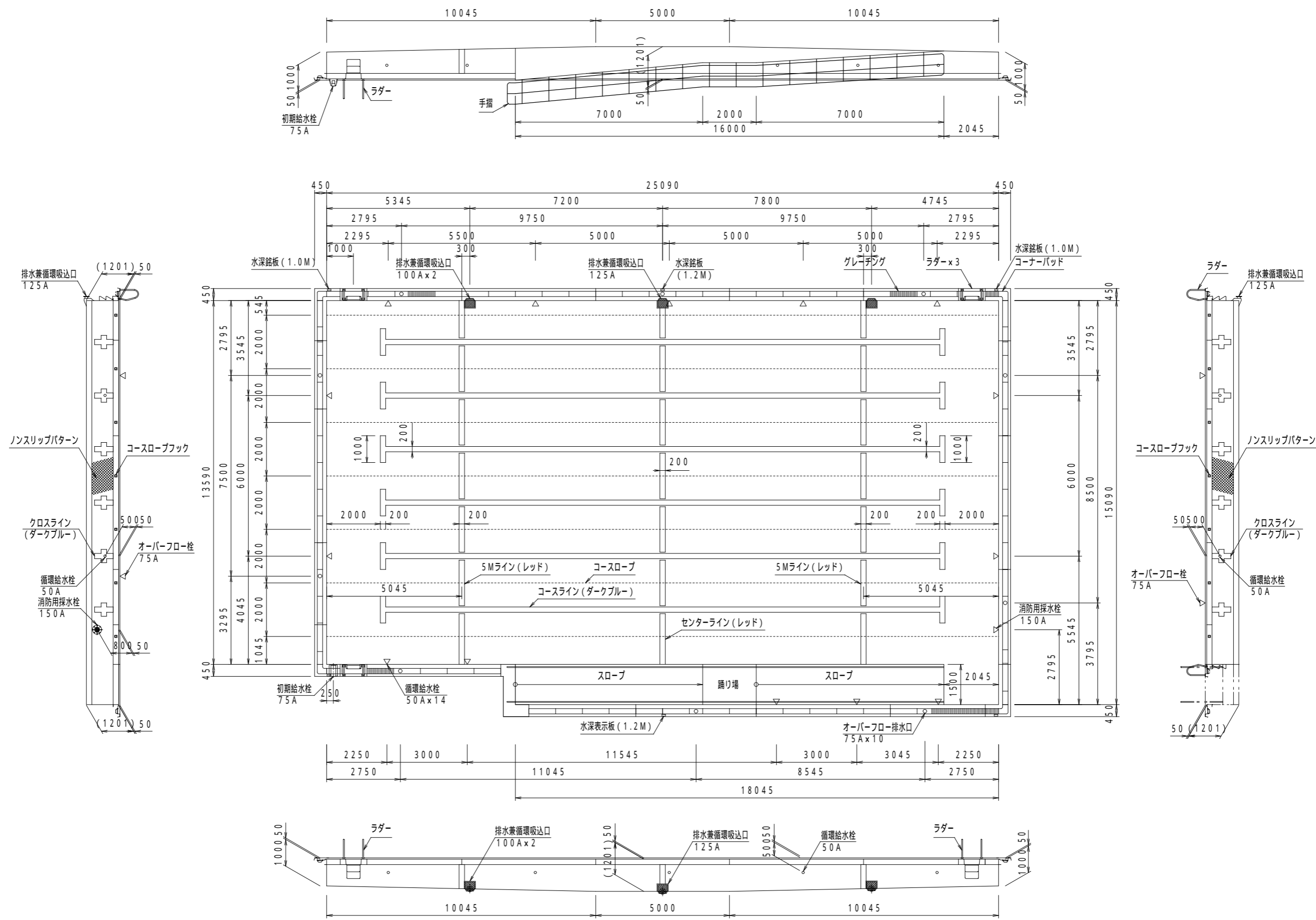


プールサイド目地取合詳細(改修後) S=1/10




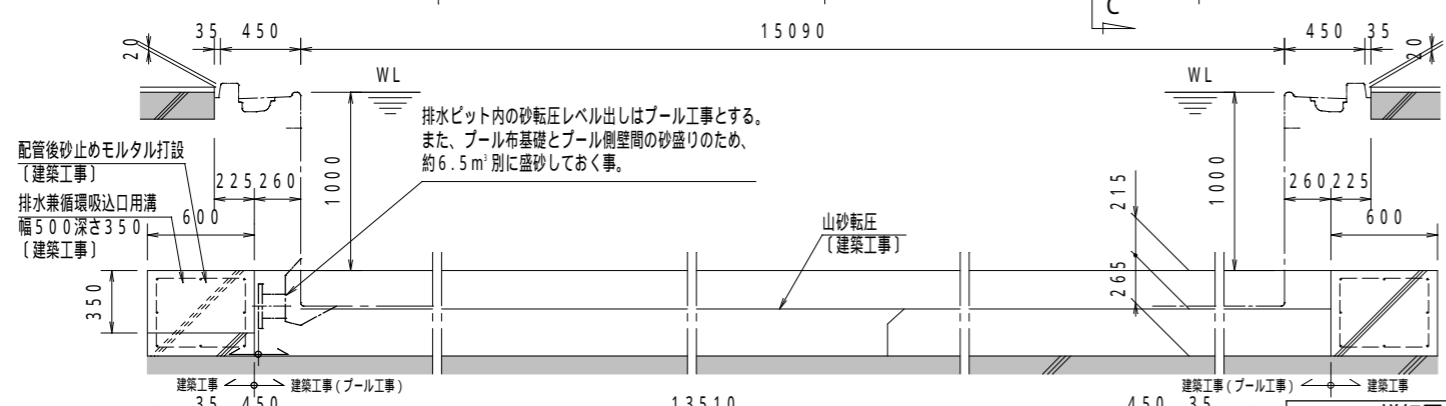
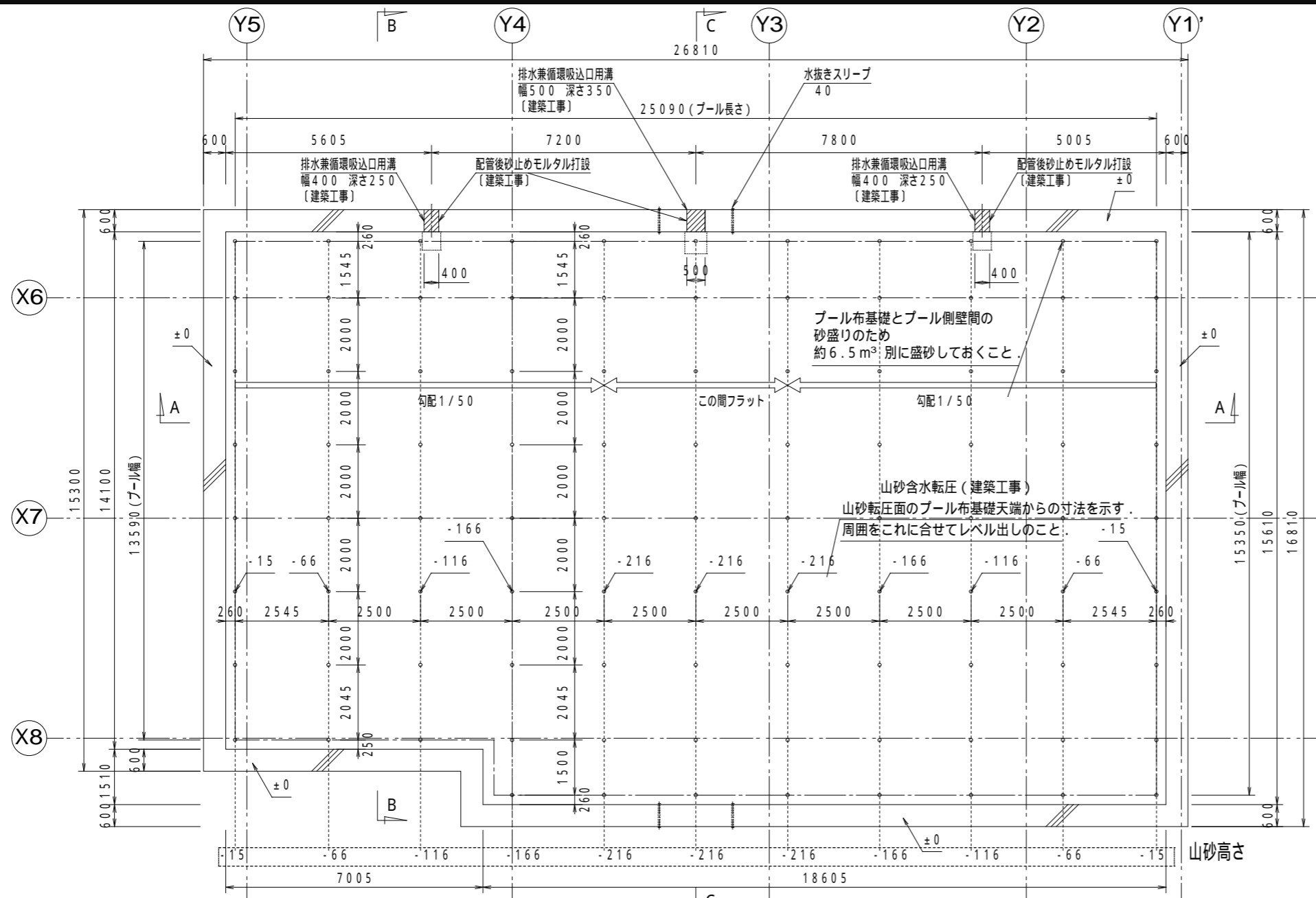
注	
記	
備	
考	

宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 新設大人プール 仕様書 図面番号: A-27
 S = 1/10 設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正

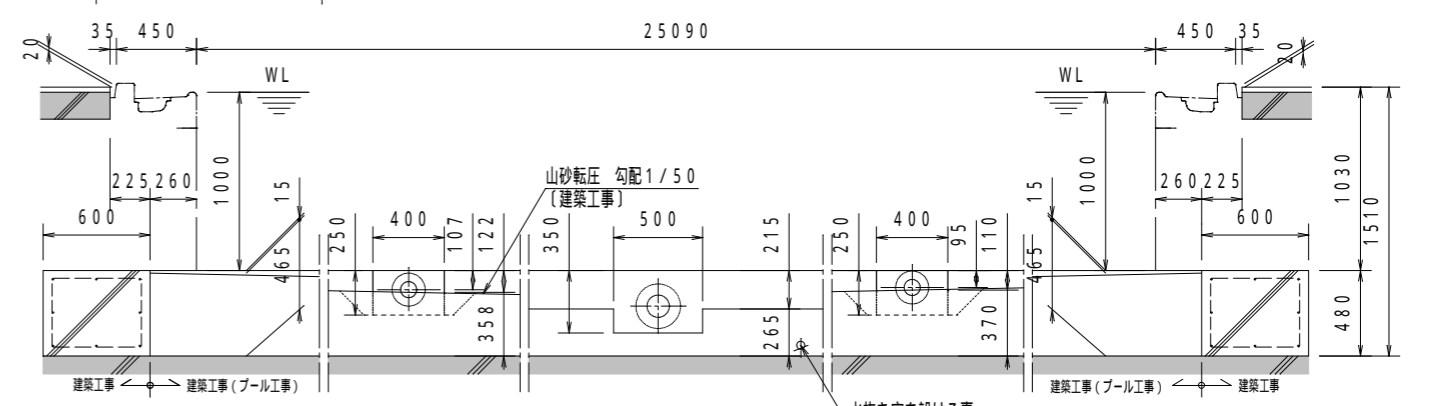


注
記
備
考

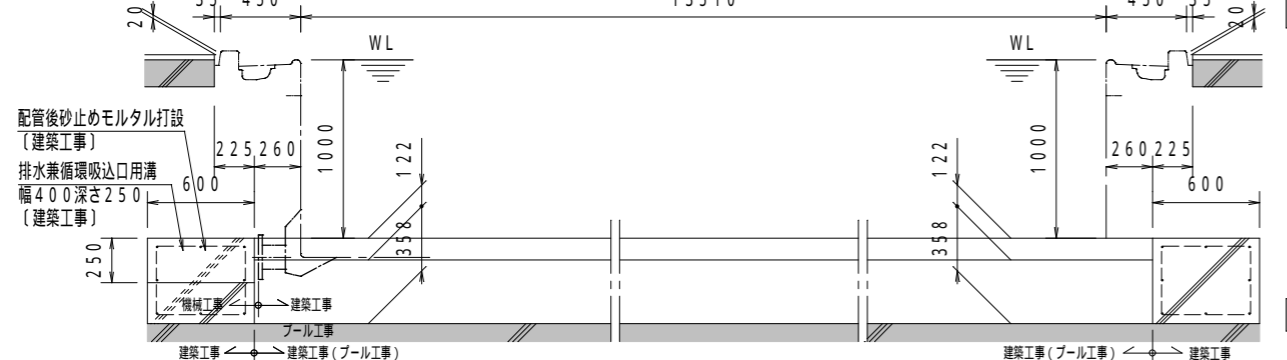

宇治市黄檗公園プール改修建築工事
新設大人プール 全体図 図面番号: A-28
 S = 1/100 設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正
 株式会社 **三座建築事務所** 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正



C - C 詳細図 S=1/30




A - A 詳細図 S=1/30

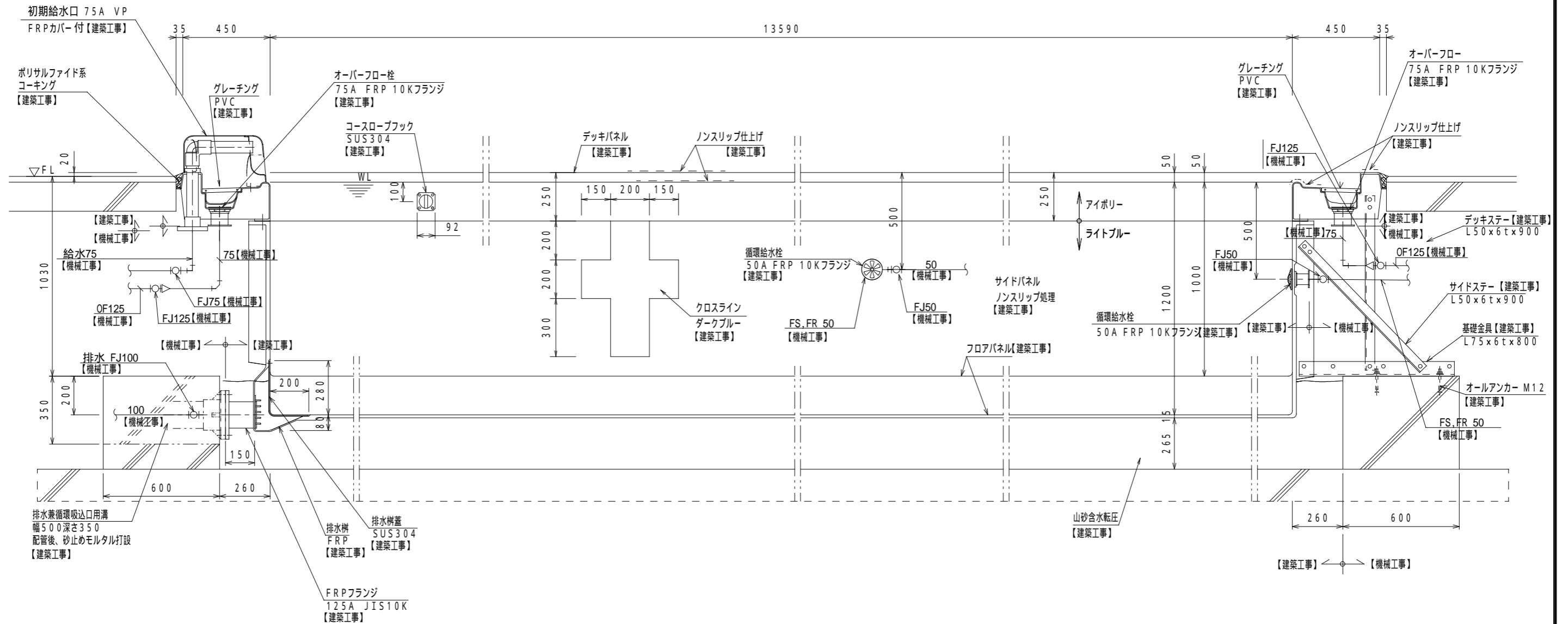


B - B 詳細図 S=1/30

既設のままを示す。


宇治市黄檗公園プール改修建築工事
新設大人プール 基礎伏図 図面番号: A-29
 S = 1/30 1/100 設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田正
 株式会社 **三座建築事務所** 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田正

2.5mプール 断面詳細図・短辺側 S=1/15



既設のままを示す。

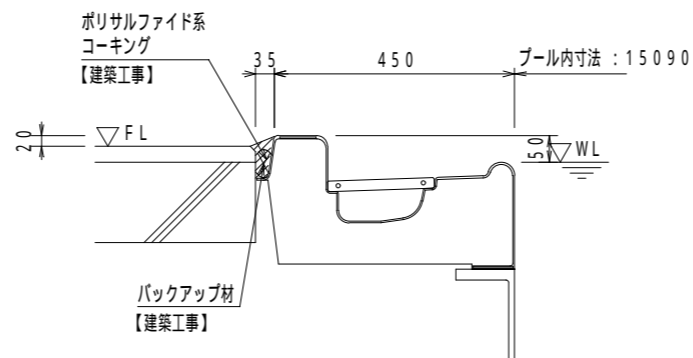
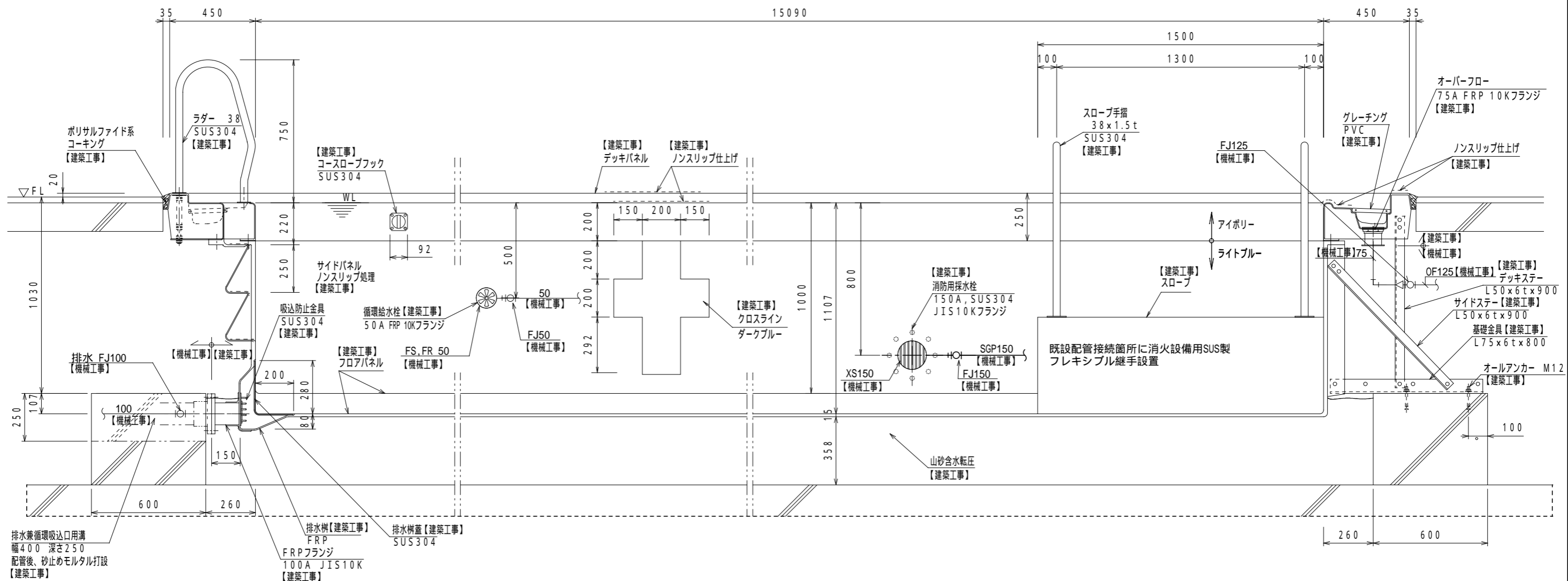
注	
記	
備	
考	

宇治市黄檗公園プール改修機械工事

新設大人プール 断面詳細図(短辺側) 1 設計年月日: 2026.1 図面番号: A-30

S = 1:15 設計者: 1級建築士登録 庄田 正
第251646号

株式会社 **三座建築事務所** 管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正
第251646号

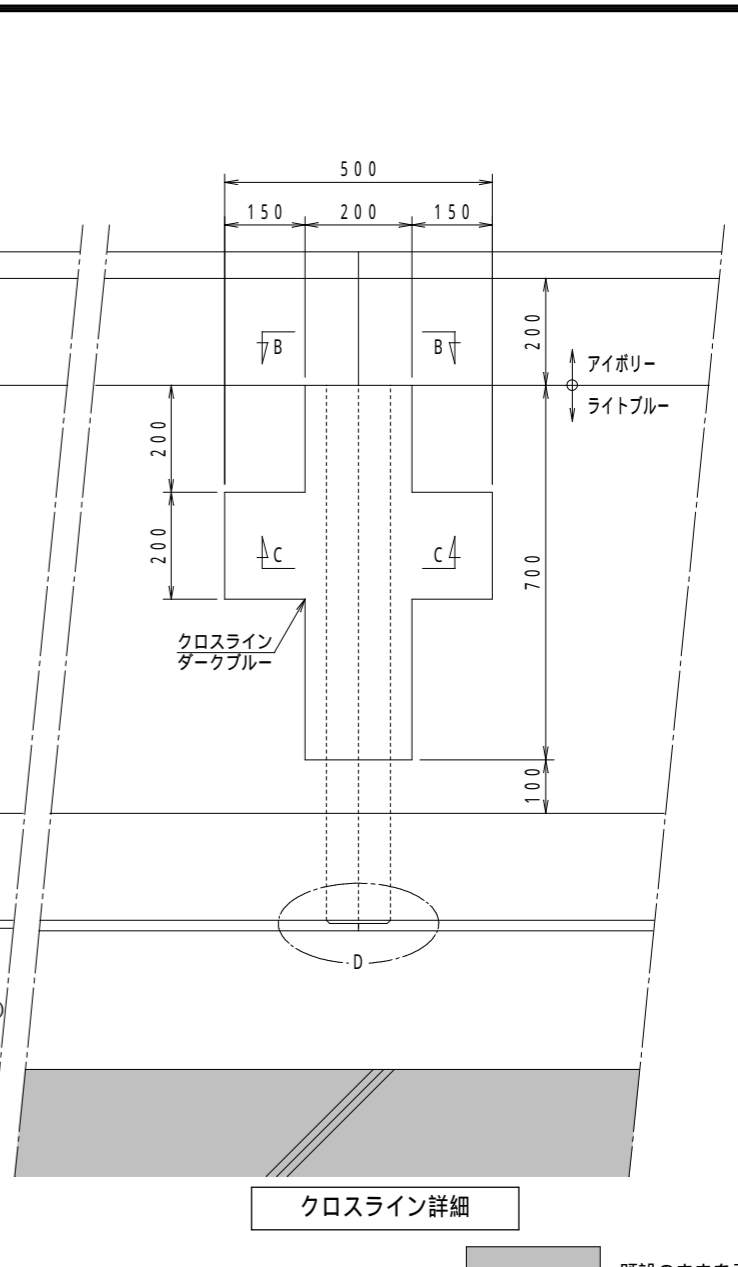
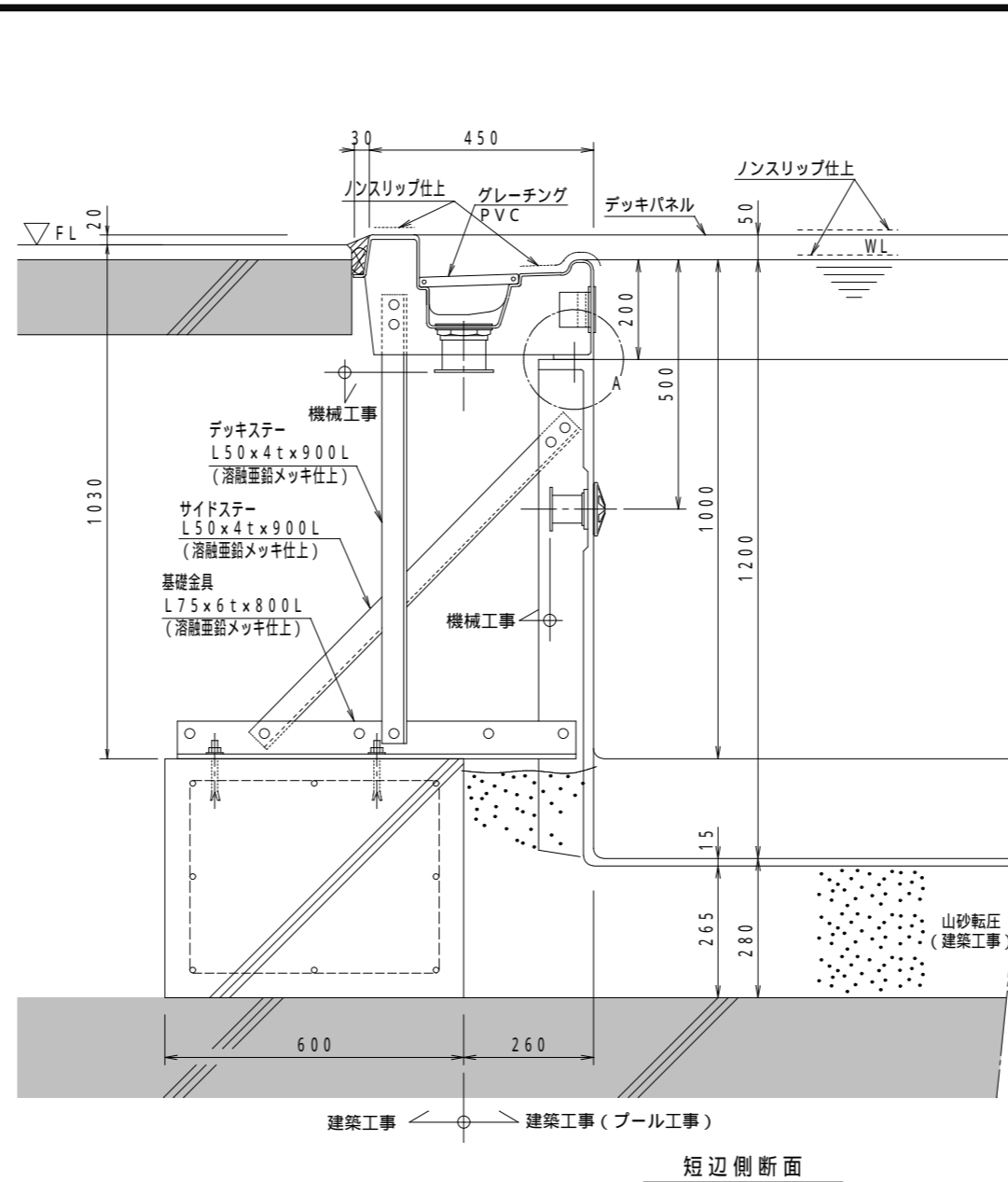
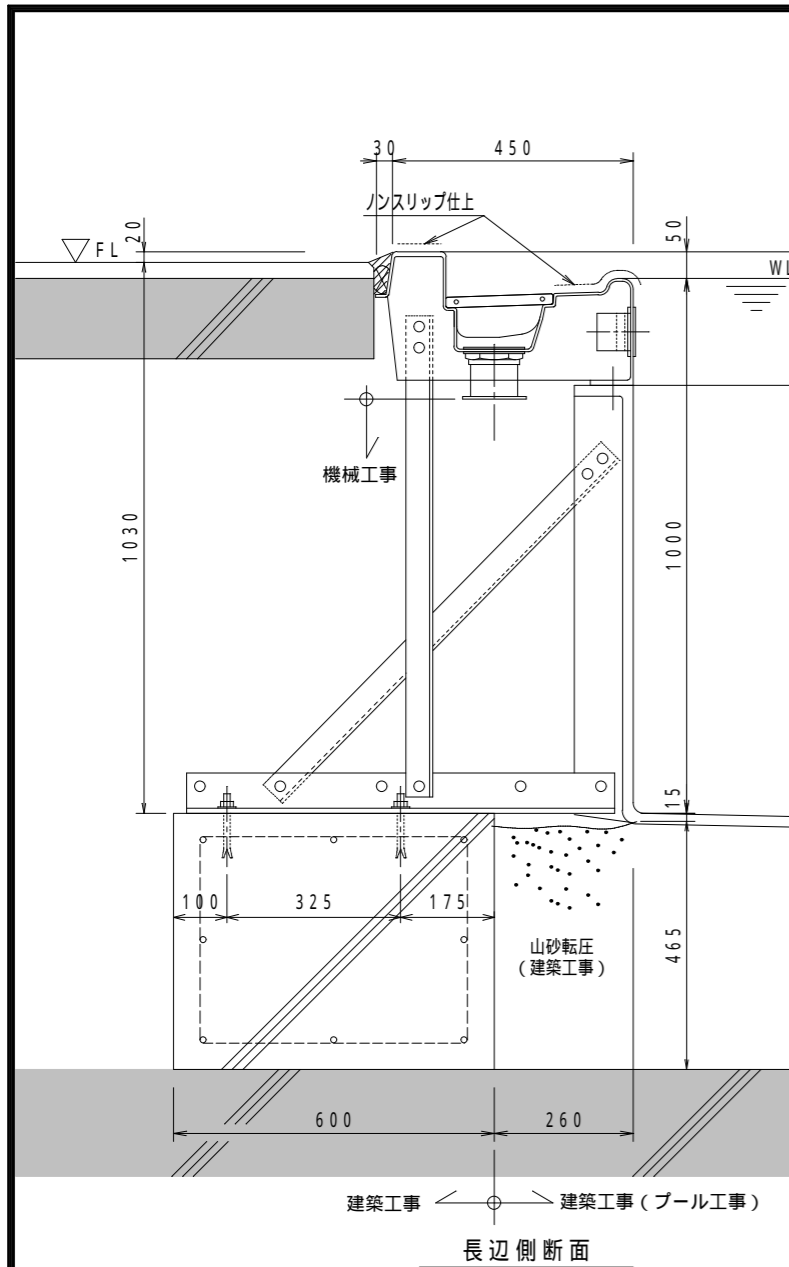


プールサイド取合部詳細図 S=1/10

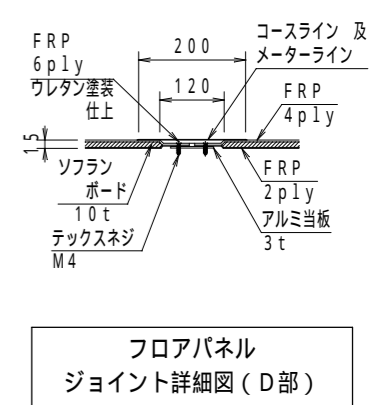
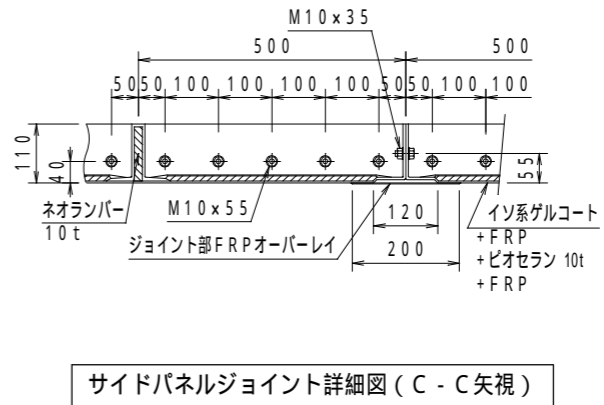
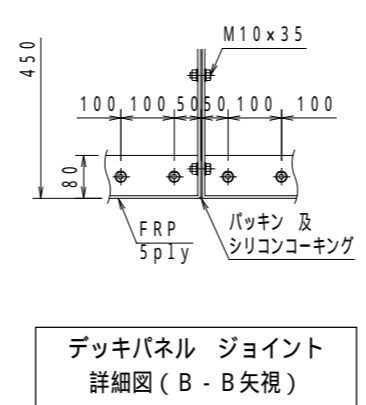
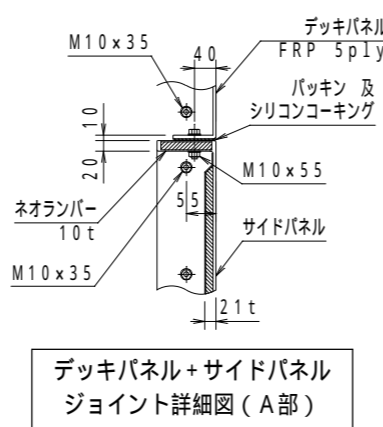
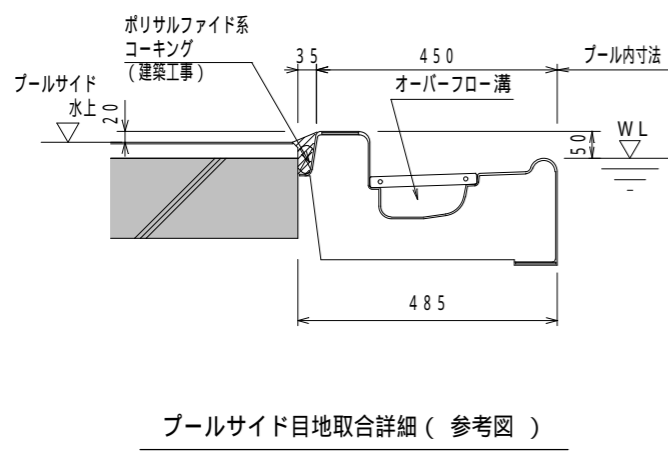
既設のままを示す。

注	
記	
備	
考	

宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 新設大人プール プール断面詳細図(短辺側) 2 図面番号: A-31
 S=1/15 設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田正
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田正

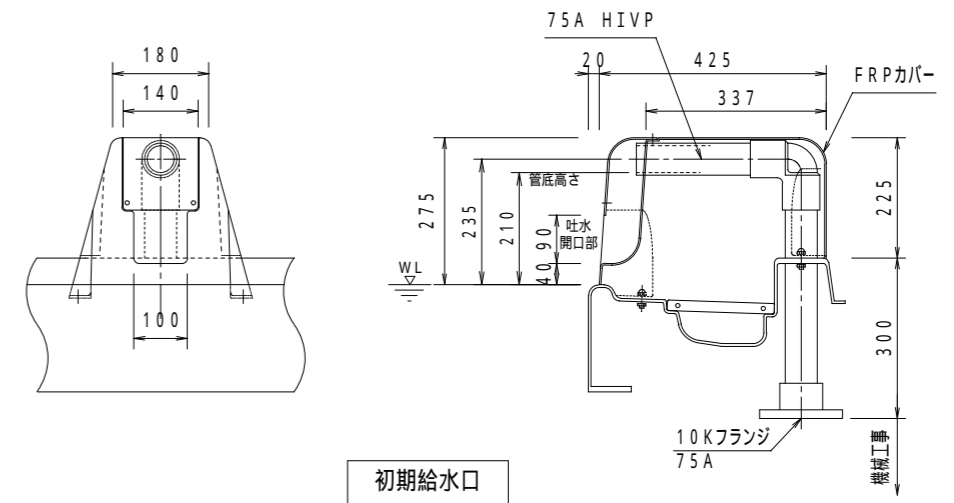


既設のままを示す。

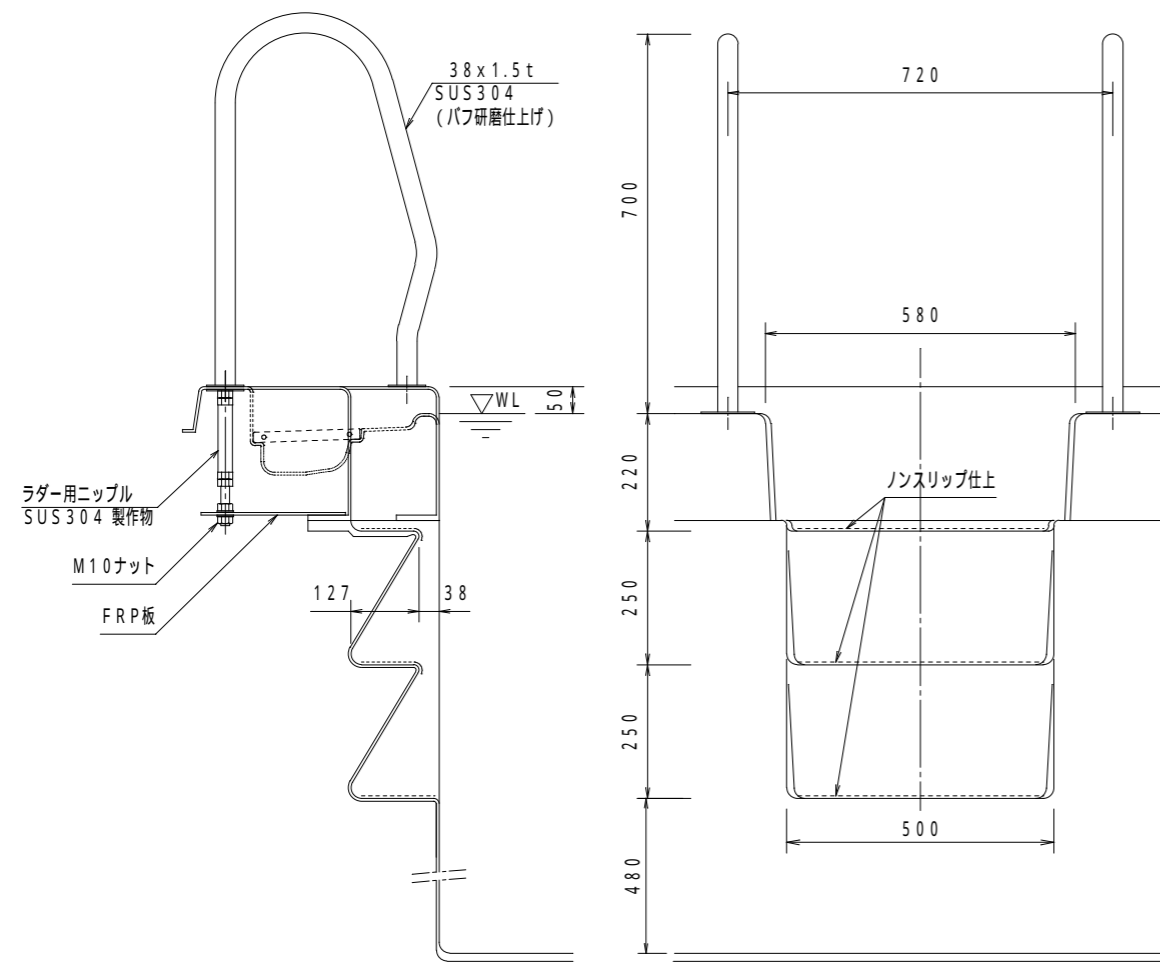


注	
記	
備	
考	

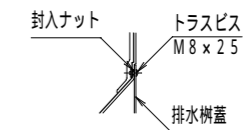
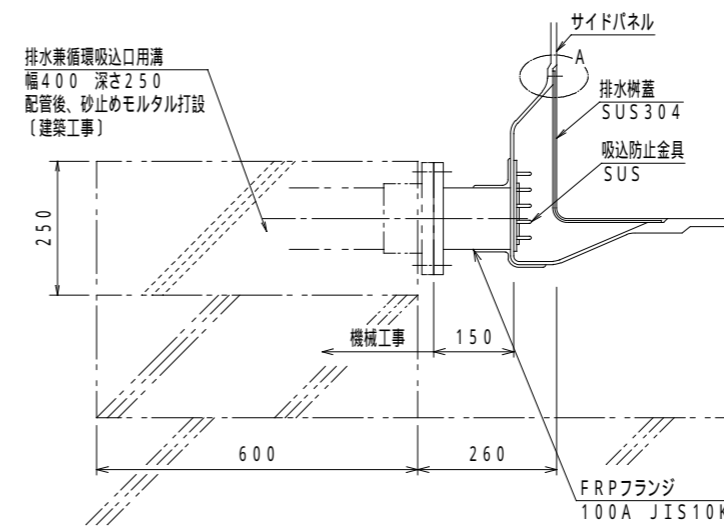
宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 新設大人プール 接合部詳細図 図面番号: A-33
 S = 1/10 設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正



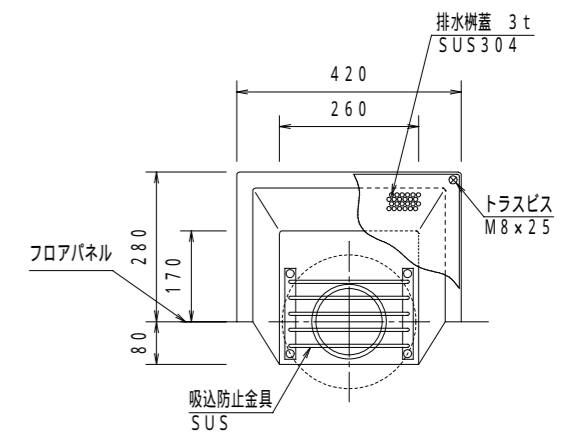
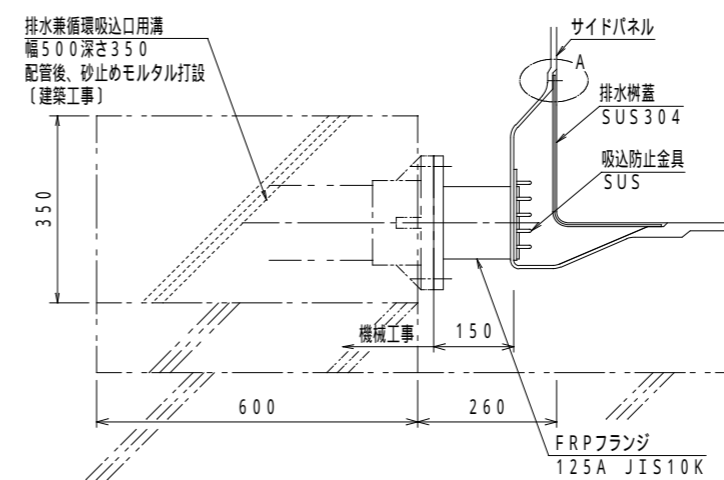
初期給水口



ラダー詳細図



A部詳細図



排水兼循環集水口・循環集水口・及蓋詳細図

注
記
備
考



宇治市黄檗公園プール改修建築工事

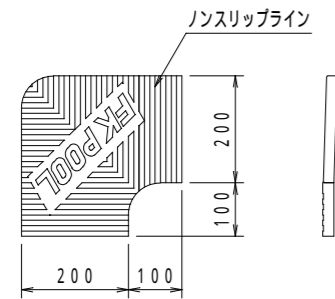
新設大人プール 部品詳細図 1

図面番号: A-34

S = 1/10

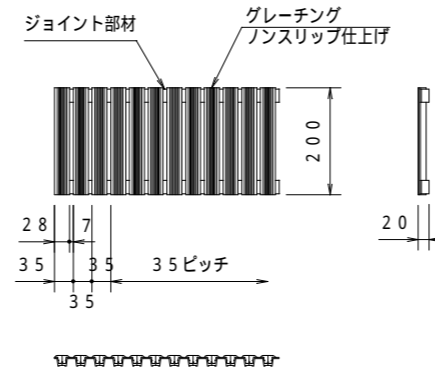
設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正

株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正



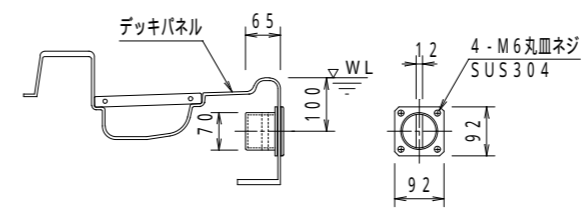
材質：FRP

グレーチング部コーナーパッド



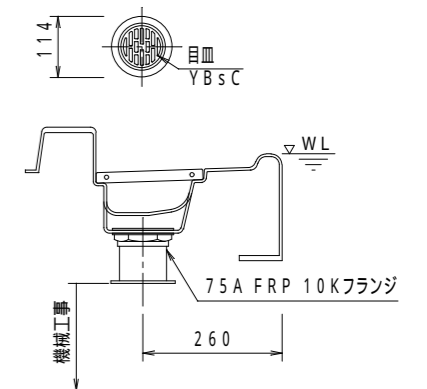
材質：PVC

グレーチングめざら詳細図



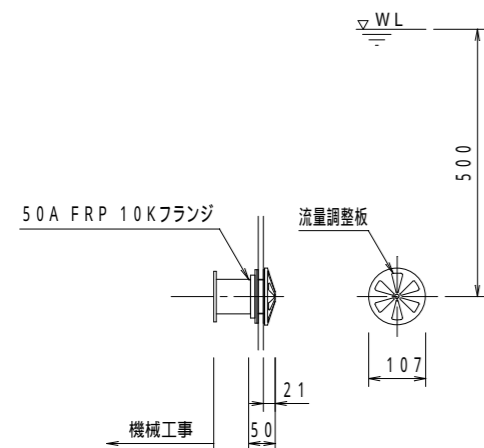
材質：SUS304

コースロープフック詳細図



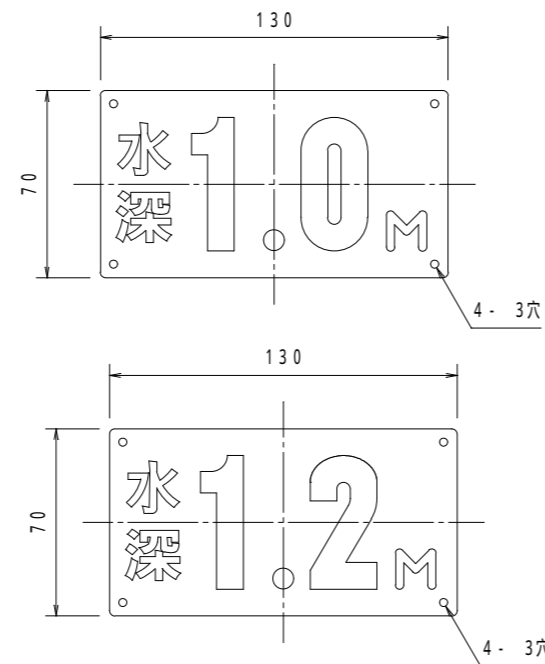
材質：YB5C

オーバーフロー排水栓



材質：YB5C

循環給水栓

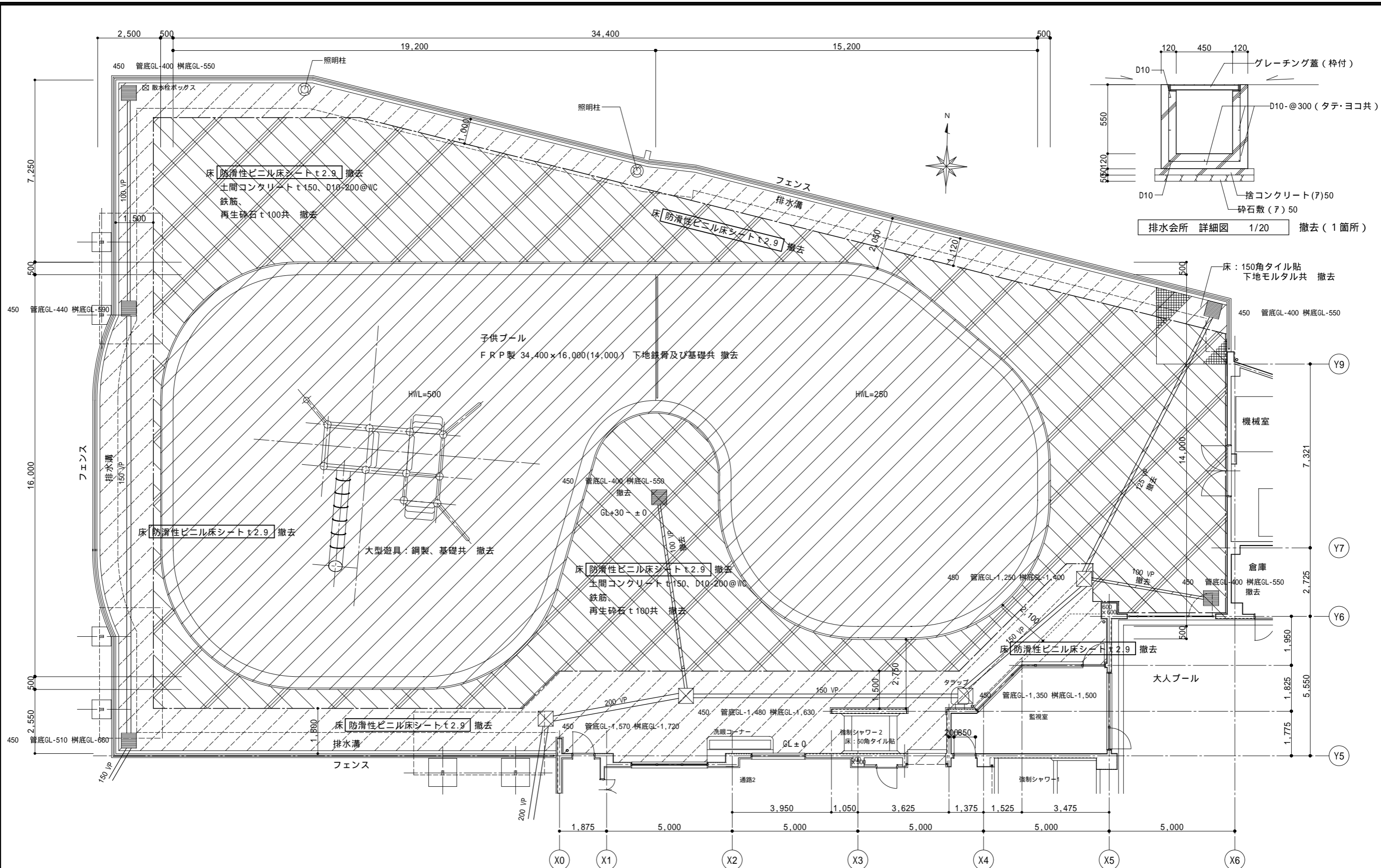


1.0m 4枚 SUS 1t
1.2m 2枚 文字 エッチングブルー

水深銘板詳細図 S=1/2

注	
記	
備	
考	

宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 新設大人プール 部品詳細図 2 図面番号： A-35
 S = 1/10 設計者：1級建築士登録 第251646号 庄田 正
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士：1級建築士登録 第251646号 庄田 正



排水会所 詳細図 1/20 撤去 (1箇所)

凡例

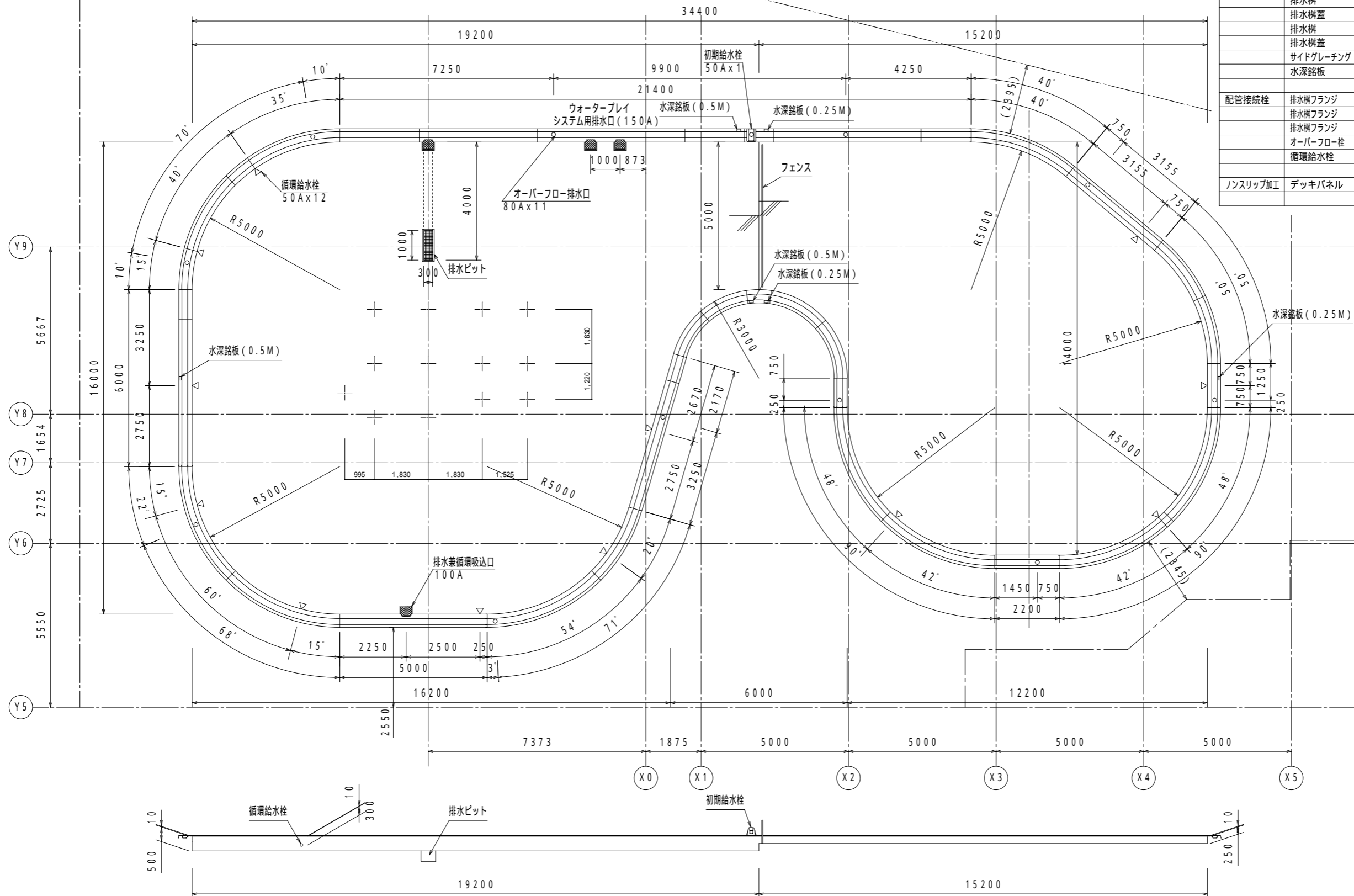
注	既設のままを示す。			
記	仕上げ撤去範囲を示す。		躯体 (鉄筋共) 撤去範囲を示す。	
備	仕上げ下地共撤去範囲を示す。		コンクリート製排水会所 (化粧蓋) 仕上げ撤去	
考	--- カッター切位置を示す。		コンクリート製排水会所 (グレーチング蓋)	



宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 現況・撤去 子供プール平面詳細図 図面番号: A-36
 S = 1:100 1:20 設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士 1級建築士登録 第251646号 庄田 正

本体仕様

概要	寸法	子供プール	
水深		0.5m - 0.25m 二段水深	
プール材質	FRP	不飽和ポリエステル樹脂をガラス繊維で強化しハンドレイアップ成型したもの	
構成部材	内容	材質仕様	数量
デッキ&サイドパネル	FRP 型成型(デッキ&サイドパネル一体型)		1 式
フロアパネル	FRP サンドイッチパネル		1 式
排水樹	FRP (横排水型)		4 個
排水樹蓋	SUS304 t3 パンチング板		4 枚
排水樹	FRP (底排水型 400×300)		1 個
排水樹蓋	SUS304 t3 パンチング板(1000×400)		1 枚
サイドグレーチング	PVC+ABS(ノンスリップ仕上)		全周
水深銘板	SUS304 文字:ブルー(0.25m、0.5m)		6箇所
配管接続栓	排水樹フランジ	100A FRP 10kフランジ、フレキシブル継手	1 個
排水樹フランジ	100A FRP 10kフランジ、フレキシブル継手		1 個
排水樹フランジ	150A FRP 10kフランジ(ウォータースイッチ用)、ルキゾ継手		2 個
オーバーフロー栓	80A YBSc 内ネジ付		1 1個
循環給水栓	50A YBSc 内ネジ付		1 2個
ノンスリップ加工	デッキパネル	型彫	

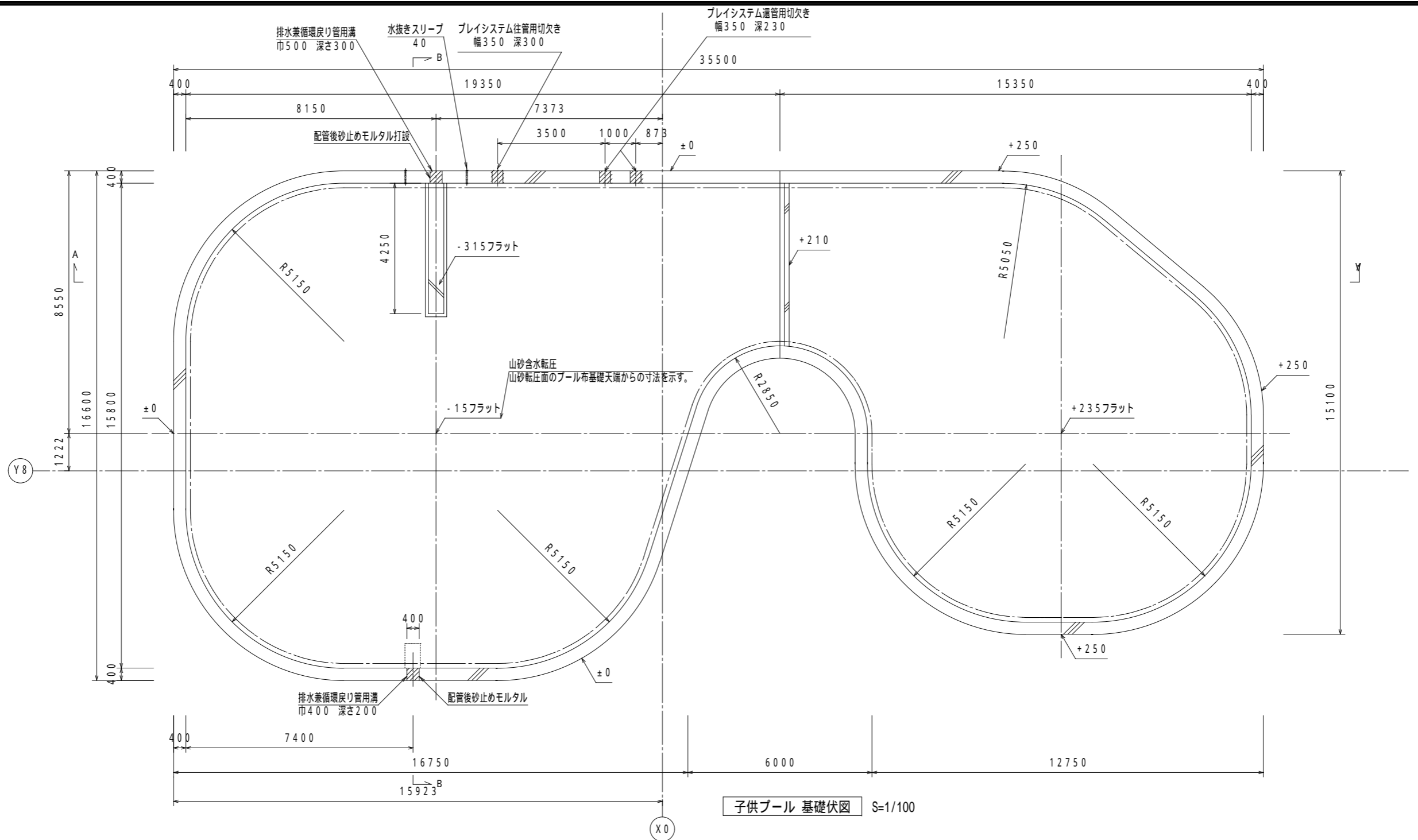


子供プール 全体図 S=1/100

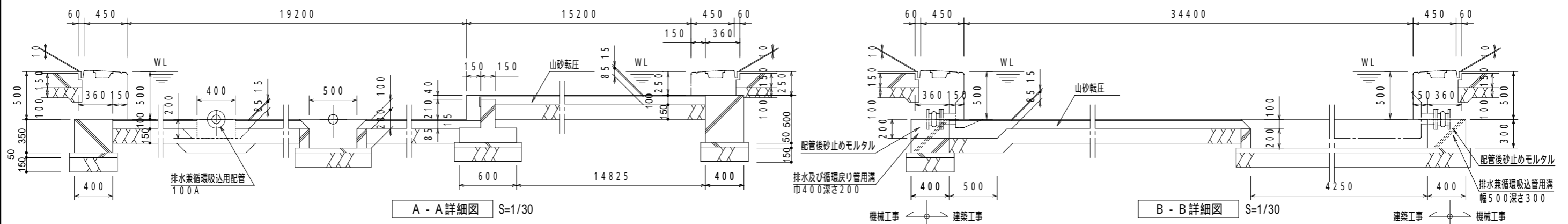
注	
記	
備	
考	



宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 現況・撤去(子供プール)詳細図 1 図面番号: A-37
 S = 1:100 設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正



子供プール 基礎伏図 S=1/100



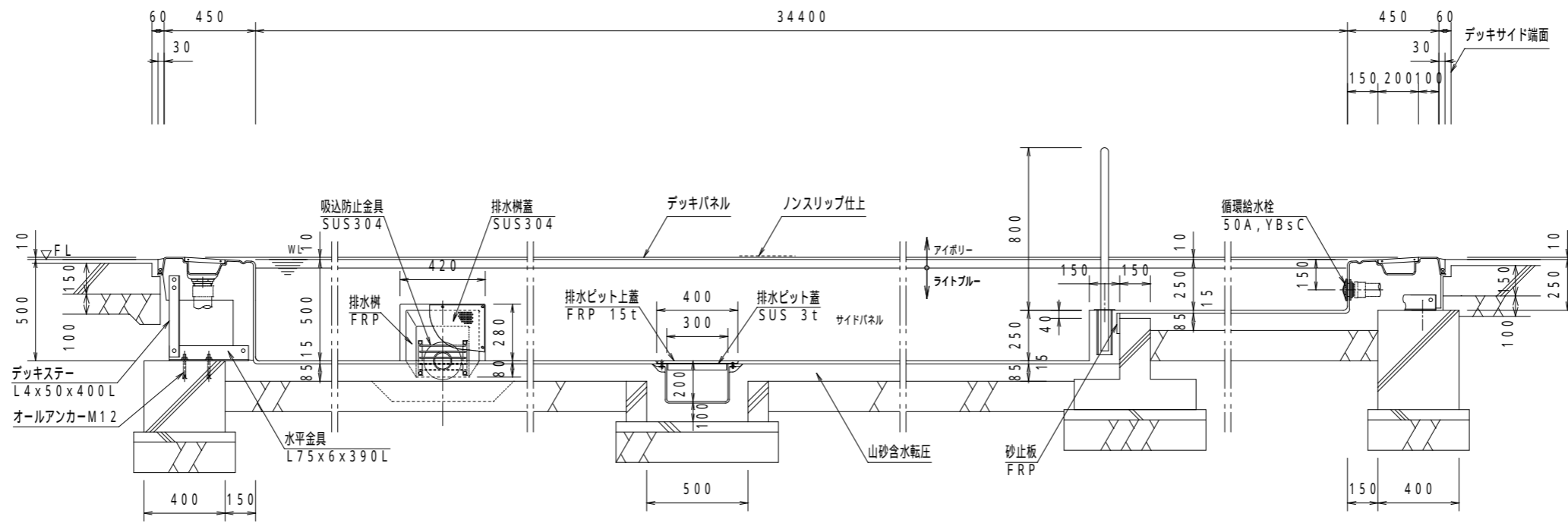
A - A 詳細図 S=1/30

B - B 詳細図 S=1/30

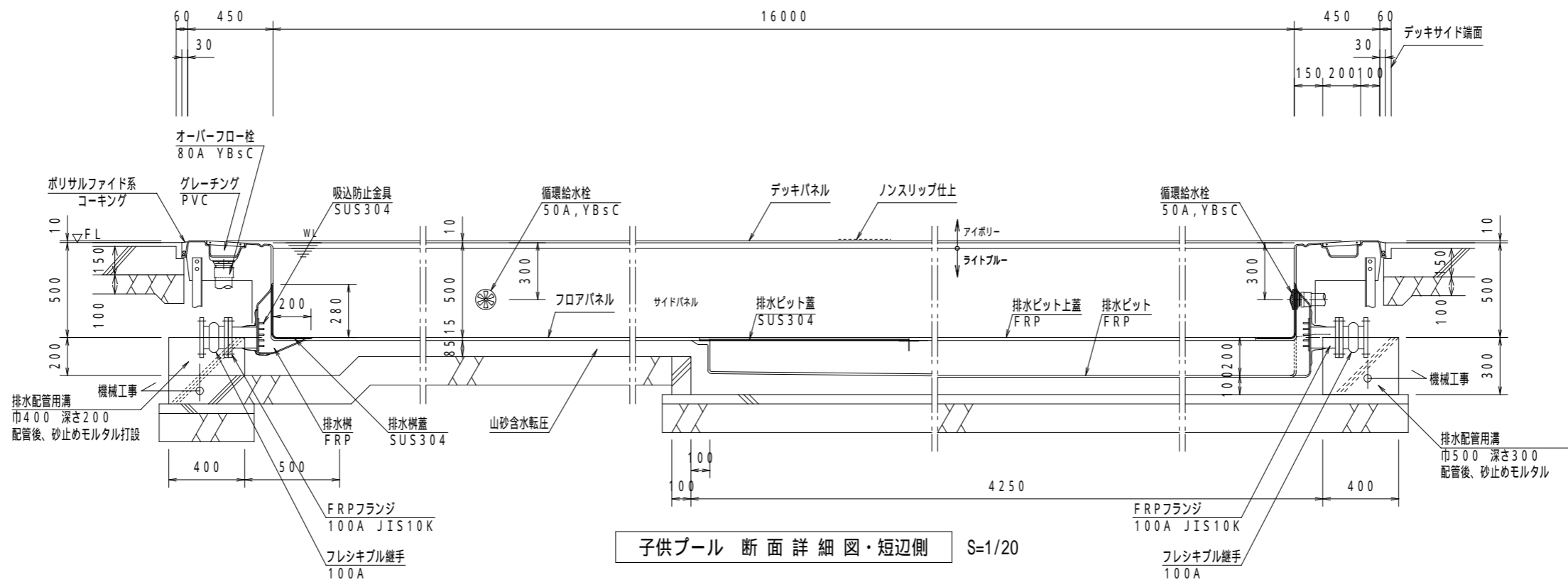
注	
記	
備	
考	



宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 現況・撤去 (子供プール) 詳細図 2 図面番号: A-38
 S = 1:100 1:30 設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正



子供プール 断面詳細図・長辺側 S=1/20



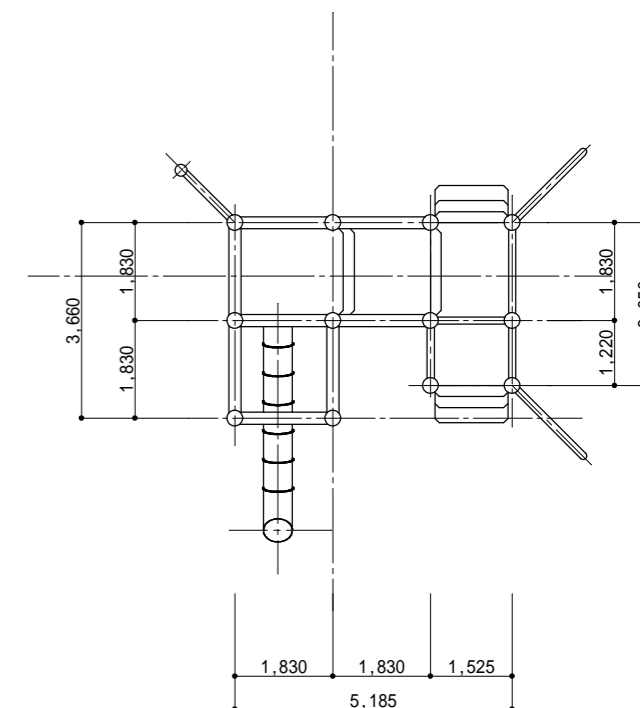
子供プール 断面詳細図・短辺側 S=1/20

凡例

注	既設のままを示す。
記	仕上げ撤去範囲を示す。
備	仕上げ下地共撤去範囲を示す。
考	--- カッター切位置を示す。



宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 現況・撤去（子供プール）詳細図 3 図面番号： A-39
 S = 1:20 設計者： 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士： 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号



遊具平面図 S=1/100

注
記
備
考



宇治市黄檗公園プール改修建築工事

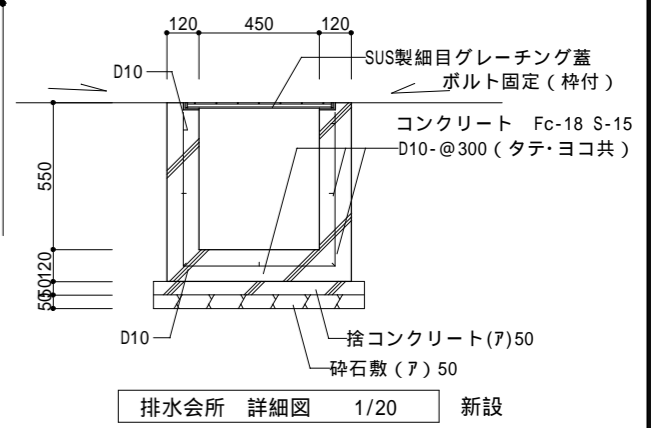
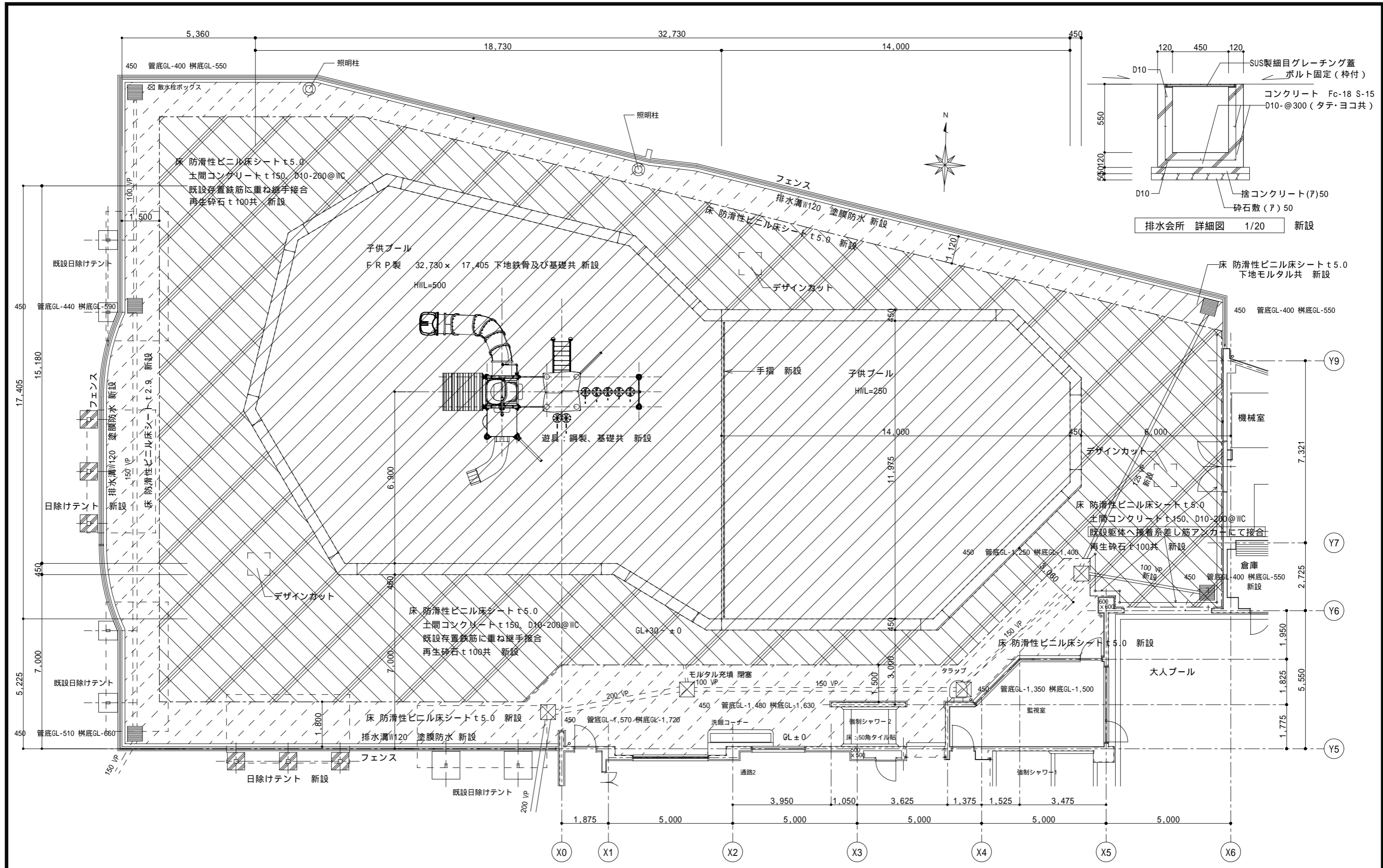
現況撤去 遊具 参考図

図面番号: A-40

S = 1:100

設計者: 1級建築士登録
第251646号 庄田 正

株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録
第251646号 庄田 正



凡例

注	既設のままを示す。		
記	仕上げ新設範囲を示す。		躯体共新設範囲を示す。
備	仕上げ下地共新設範囲を示す。		コンクリート製排水会所 (化粧蓋) 仕上新設
考			コンクリート製排水会所 (グレーチング蓋)

	プールサイド床仕上シート貼
	デザインカット 900 x 900 (3色カラー) を示す

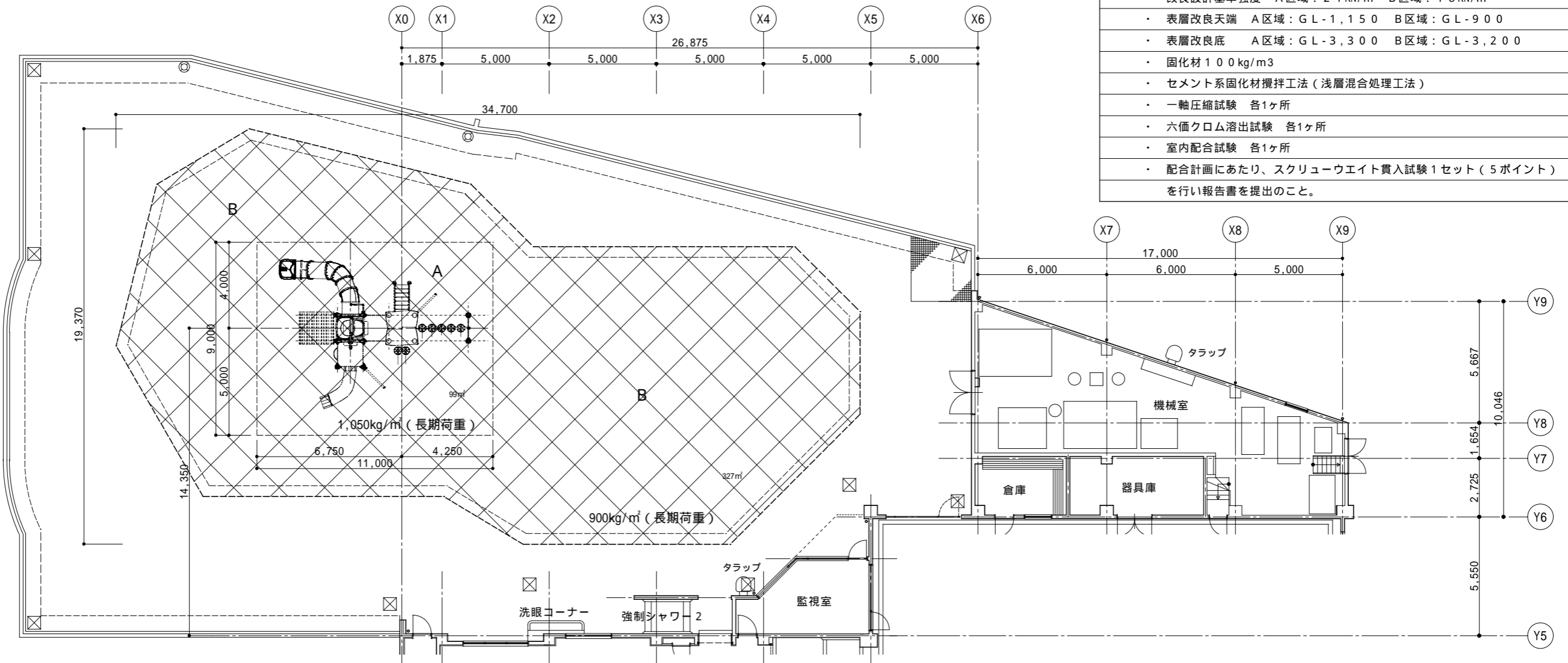
	SUS製細目グレーチング蓋 (枠付)
	歩道用、柵内寸450 x 450mm 枠付固定式細目ピッチ10mm ローレット加工 中部コボルーション 騒音防止 枠付固定式 集水樹タイプ CSNMB 15-450 歩道用ピッチ10mm 同等品

宇治市黄檗公園プール改修建築工事

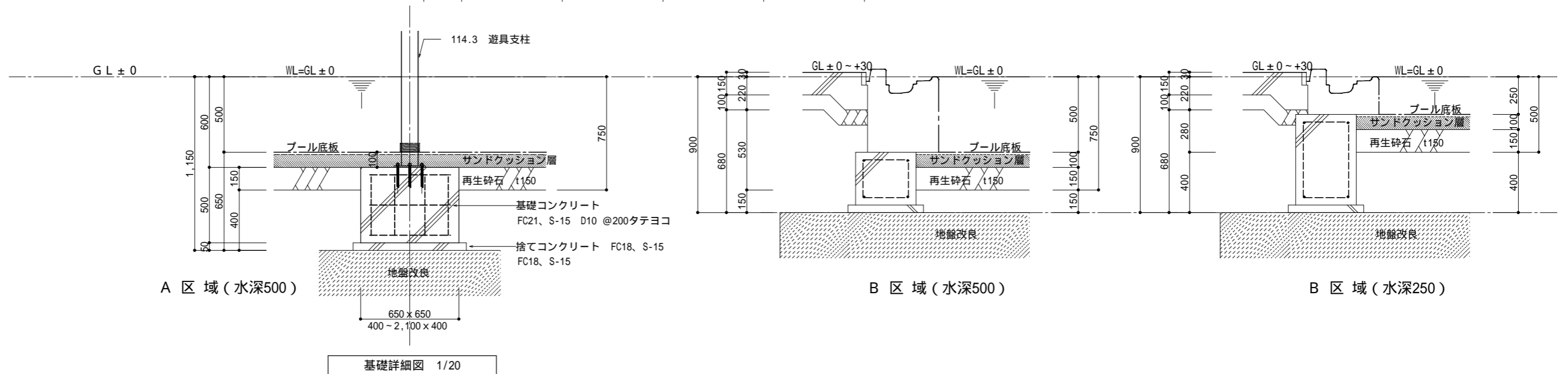
改修 子供プール平面詳細図 図面番号: A-41

S = 1:100 設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田正


株式会社 **三座建築事務所** 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田正

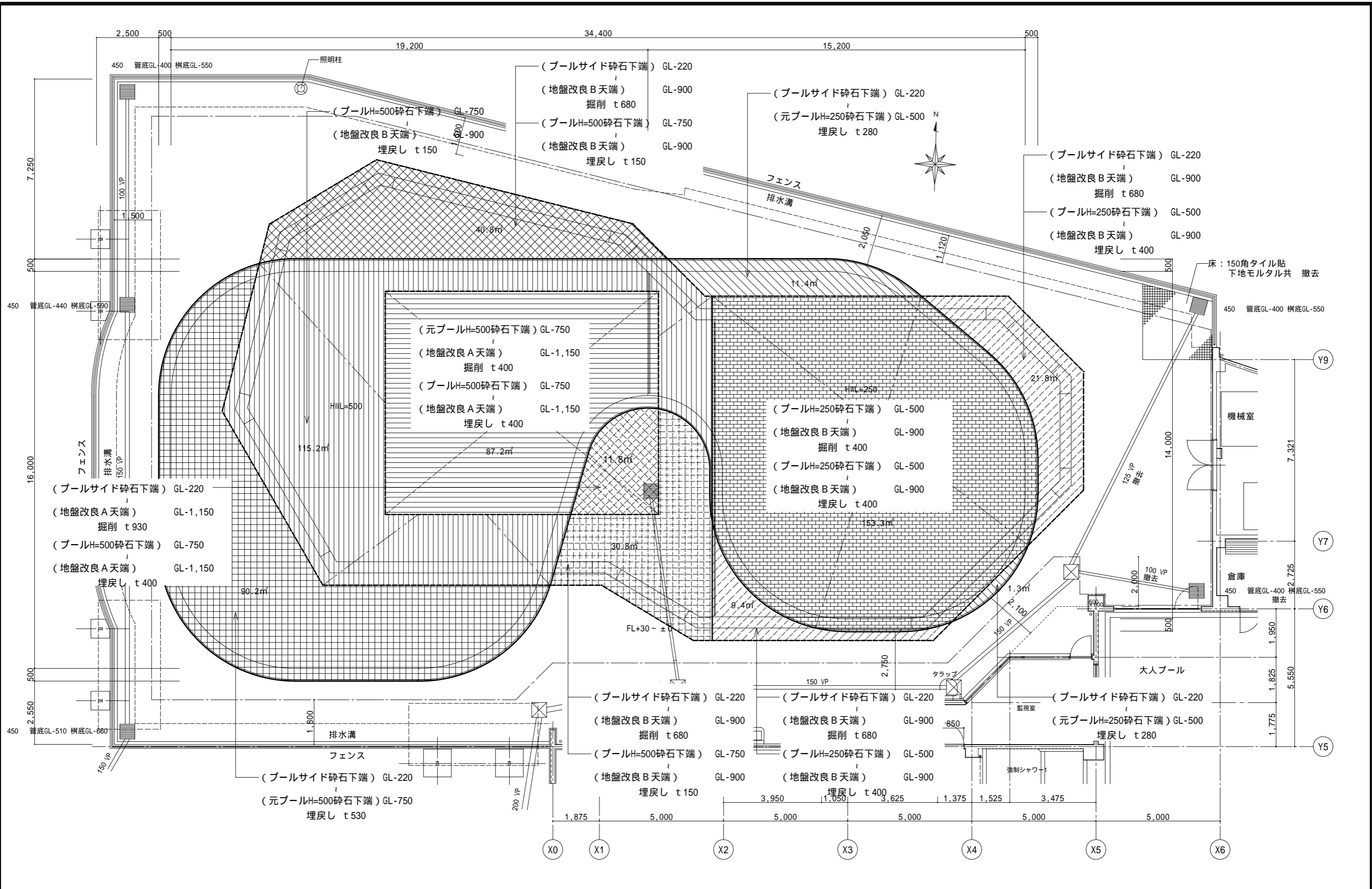


地盤改良 特記事項	
・ 改良設計基準強度	A区域：21KN/m ² B区域：18KN/m ²
・ 表層改良天端	A区域：GL-1,150 B区域：GL-900
・ 表層改良底	A区域：GL-3,300 B区域：GL-3,200
・ 固化材	100kg/m ³
・ セメント系固化材攪拌工法	(浅層混合処理工法)
・ 一軸圧縮試験	各1ヶ所
・ 六価クロム溶出試験	各1ヶ所
・ 室内配合試験	各1ヶ所
・ 配合計画にあたり、スクリーウエイト貫入試験1セット(5ポイント)	を行い報告書を提出のこと。



注
記
備
考


 宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 地盤改良 参考図 図面番号：A-42
 S = 1:150 設計者：1級建築士登録 第251646号 庄田 正
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士：1級建築士登録 第251646号 庄田 正



注記・備考

宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 地盤改良土工事参考図 図面番号: A-43
 S = 1:100 設計者: 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号

区分	内 容	仕 様		
		大プール	小プール	
区 分	寸法(呼称)	19.0m×15.1m	14.0m×12.0m	
	水深	0.5m	0.25m	
	コース数	-	-	
	コース幅	-	-	
	コース外余裕	-	-	
	デッキ形状	全周 グレーチング		
	プール重量	約5.8t(プール本体構成パネル+パネル固定用ステー金具1式の合計重量)		
プール材質	FRP	不飽和ポリエステル樹脂をガラス繊維で強化しハンドレイアップ成型したもの		
	デッキパネル	FRP 成型型(ノンスリップ仕上)		
	サイドパネル	FRP サンドイッチ構造 t=21mm(保温構造・大プール短辺側ノンスリップ処理)		
	フロアパネル	FRP サンドイッチ構造 t=15mm		
構造部材	内 容	材 質 ・ 仕 様	数 量	
			0.5m 0.25m	
構造部材	排水樹	FRP(横排水形)	4個	
	排水樹蓋	SUS304, 3t パンチング穴加工	4枚	
	サイドグレーチング	PVC ノンスリップ仕上 アイボリー色	全周	
	初期給水栓ボックス	FRP(上面ノンスリップ仕上)	1個	
	水深銘板	SUS304	(0.5m)	4枚
		文字:ブルー	(0.25m)	3枚
	ステー金具	SS400 溶融亜鉛メッキ	1式	
	ステー金具取付ボルト・ナット	SS400 溶融亜鉛メッキ	1式	
	手摺	38, 19 SUS304 パイプ加工	1式	
	配管接続栓	循環集水兼排水口	100A FRP 10Kフランジ	4個
オーバーフロー排水栓		80A FRP 10Kフランジ	6個 5個	
循環給水栓		50A FRP 10Kフランジ	7個 6個	
初期給水栓		50A HIVP 10Kフランジ	1個	
表面色	本体上部:デッキパネル	ベージュ : H19-85F マンセル値 10YR8.5/3		
	本体下部:サイド及フロアパネル	ライトブルー: H65-80H マンセル値 5B8/4		
寸法基準	部 位	許 容 値	備 考	
	長 さ	- 5 ~ + 20 mm	日本水泳連盟公認規則に準拠	
	幅	- 5 ~ + 20 mm		
	天 端 レ ベ ル	- 3 ~ + 3 mm		
	水 深	- 10 ~ + 5 mm		
通 り	+ - 10 mm			
そ の 他	消毒液は直接プール内に投入しないで下さい。必ず薬液注入装置を設置し注入して下さい。			

1. 基礎工事の注意事項

- プール設置地盤は長期地耐力50kN/m²以上としてください。
- 布基礎は圧縮強度24N/mm²スランブ15以上の鉄筋コンクリートとしてください。
- 布基礎上面はコテ仕上げとし、その上面は所定寸法±10mm以内としてください。
- サンドクッションは山砂を用い、基礎伏図を参照しながら手で握れる程度に水を含ませ転圧レベル出しをしてください。
レベルは所定寸法±7.5mmとしてください。
- サンドクッション下面の割グリ砕石地業は目つぶし砂利を充填し充分転圧してください。
- サンドクッション下面がコンクリートベタ打ちの場合は、布基礎内部の最低部(排水樹基礎)に水抜き処理をおこなってください。

工事区分表

工事区分	工事名	施工	工事担当区分	
			建築工事	機械設備工事(別途工事)
工事区分	コンクリート基礎工事		○	
	サンドクッション		○	
	パットレス金具取付			○
	プール本体組立			○
	ホールインアンカー			○
	給排水金具以降配管			○
	配管後砂止め		○	
	プールサイド取合シーリング		○	

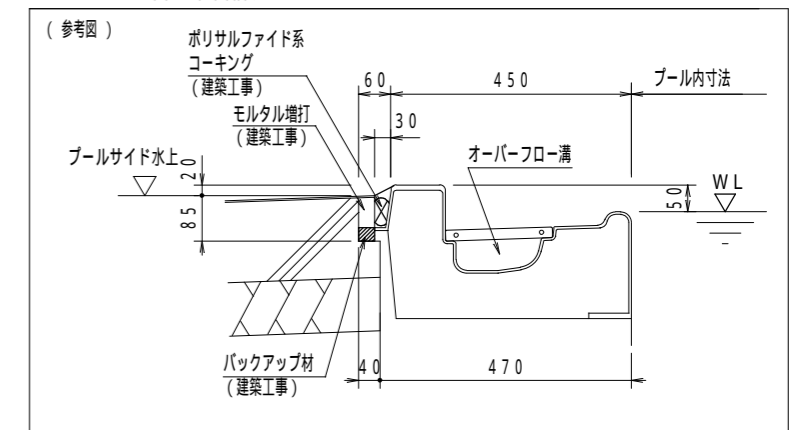
2. 配管上の注意事項

- プール工事は、オーバーフロー排水栓、循環給水栓、排水管(プール基礎外まで)までとします。
- 配管材料及び分類は使用目的、用途に応じた材質、形状の物を使用し最高仕様圧力に耐え、かつ試験圧力に合格する物とします。
- プール付属金具に不当な荷重がかからぬよう、配管には適切な支持を施してください。
- 循環給水管は、給水量の均一化のため、必ず2系統配管をしてください。
- 排水勾配は1/100以上とし、とれない場合はピットを設置し、ポンプにて排水してください。
- 屋外設置の場合は、異物の詰まり防止として排水ます等を設置してください。
- 保守点検のため必要なスペースを確保してください。
- 配管通水試験時にプール内に持込まれる泥、金属片、シール破片、油などの異物は仮排水などにより除去してください。
- 寒冷地においては配管凍結防止策を講じてください。

3. 工事条件、及び工事のお願い

- プール部材搬入について、プール設置場所近くまで11ton車が通行可能な様にしてください。
- 又、上階設置の場合は搬入口直下にユニック車又はレッカー車が横付け出来る様にしてください。
- 屋内プールの場合はプール組立前に天井工事・照明工事等は全て完了しておいてください。
プール組立に入ってから足場組みは出来ません。
- プール裏側の組立スペースはプール内寸から外周に1.2m以上とってください。
- 配管工事はプール本体据付工事終了後おこなってください。
- プール工事期間中の無償貸与事項
 - 資材搬入時のクレーン及び運転者
 - 100V×20A工事用電源
 - 水張検査時及び完成時の清掃水道水
 - 部材及び工事用道具保管場所
 - 難搬入場所の足場板等
- 廃材処理は現場内、指定場所持込みまでをプール工事とします。
- 水張りはプール組立完了後2昼夜以降(冬場1週間)とってください。

プールサイド目地取合詳細 S=1/10



注
記
備
考



宇治市黄檗公園プール改修建築工事

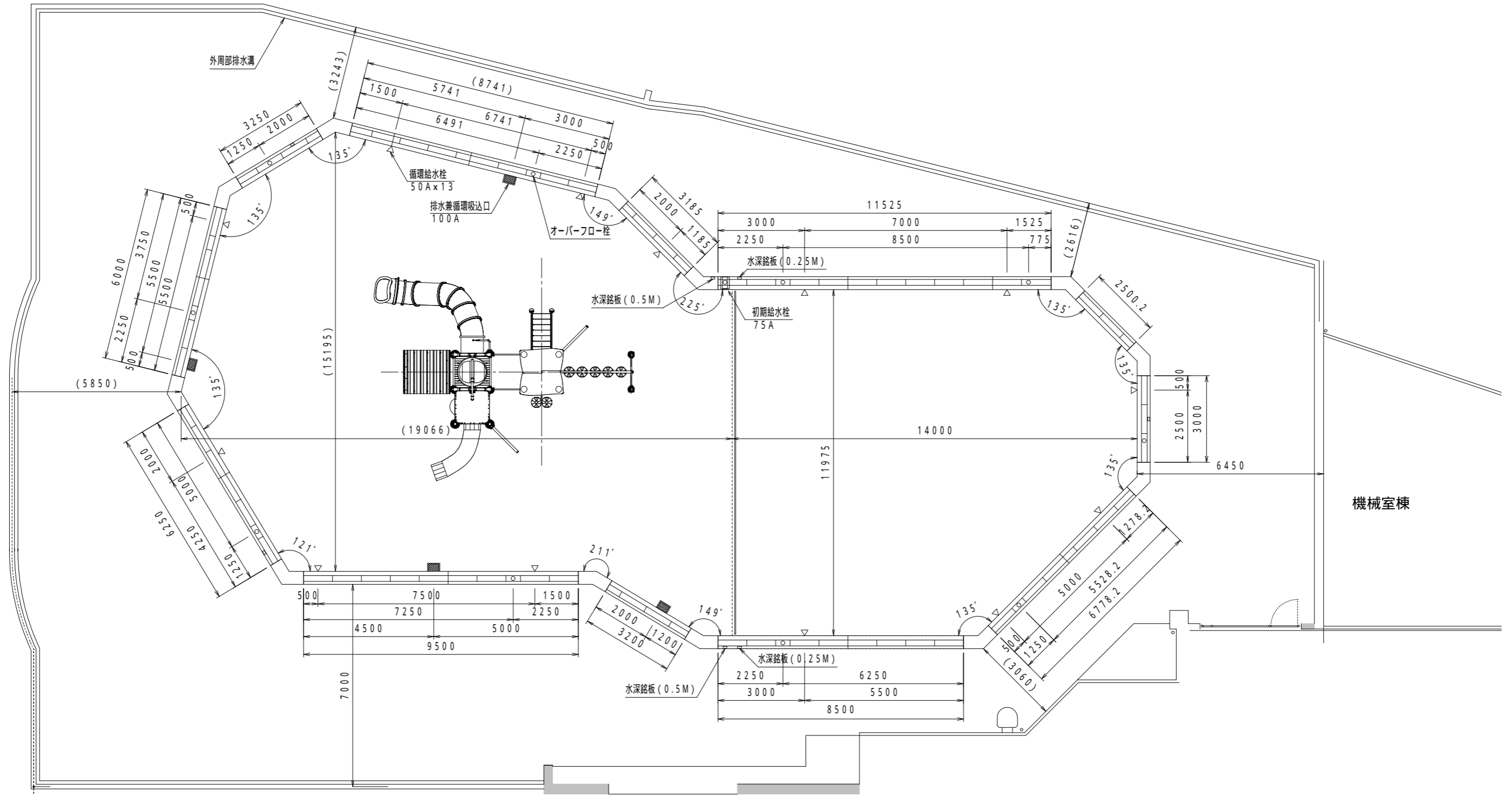
新設子供プール 仕様書

図面番号: A-44

S =

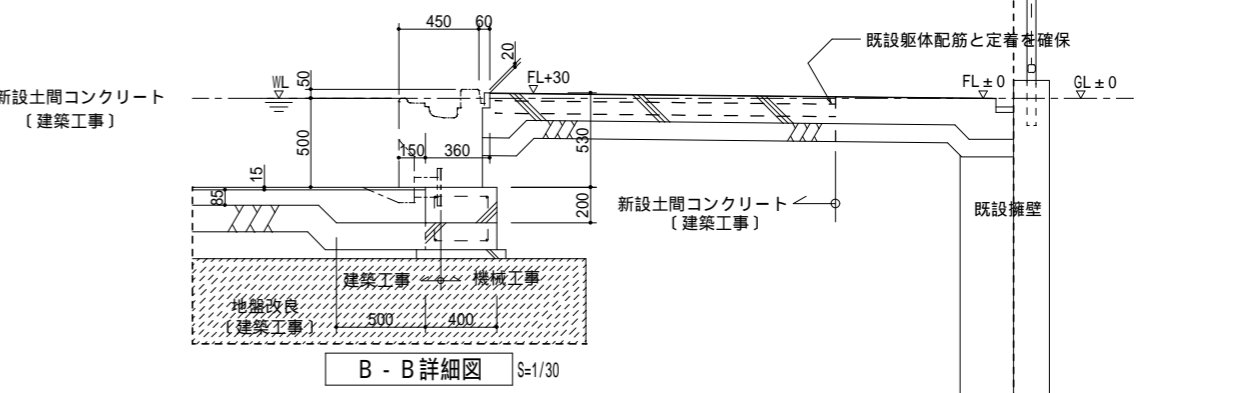
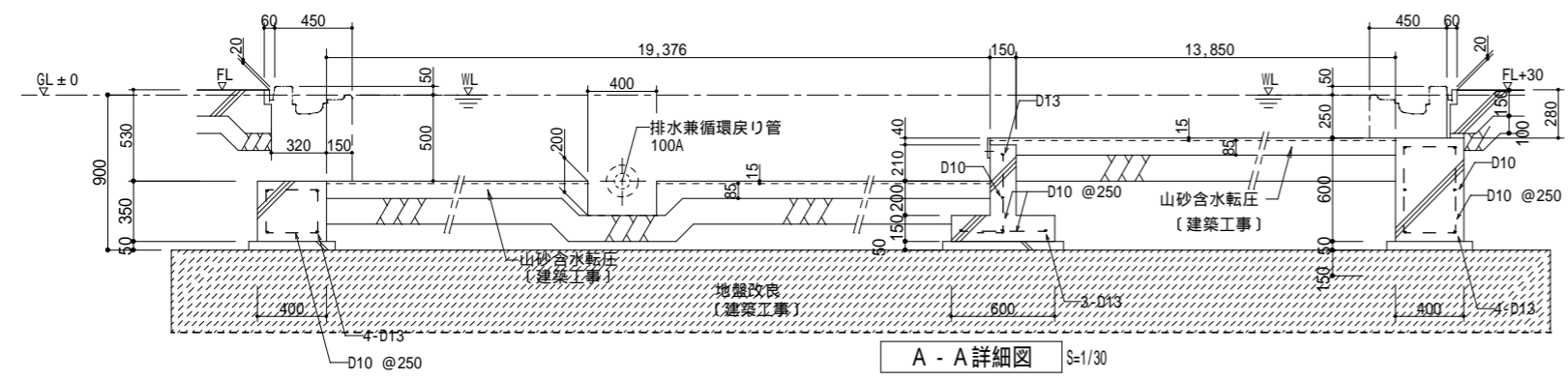
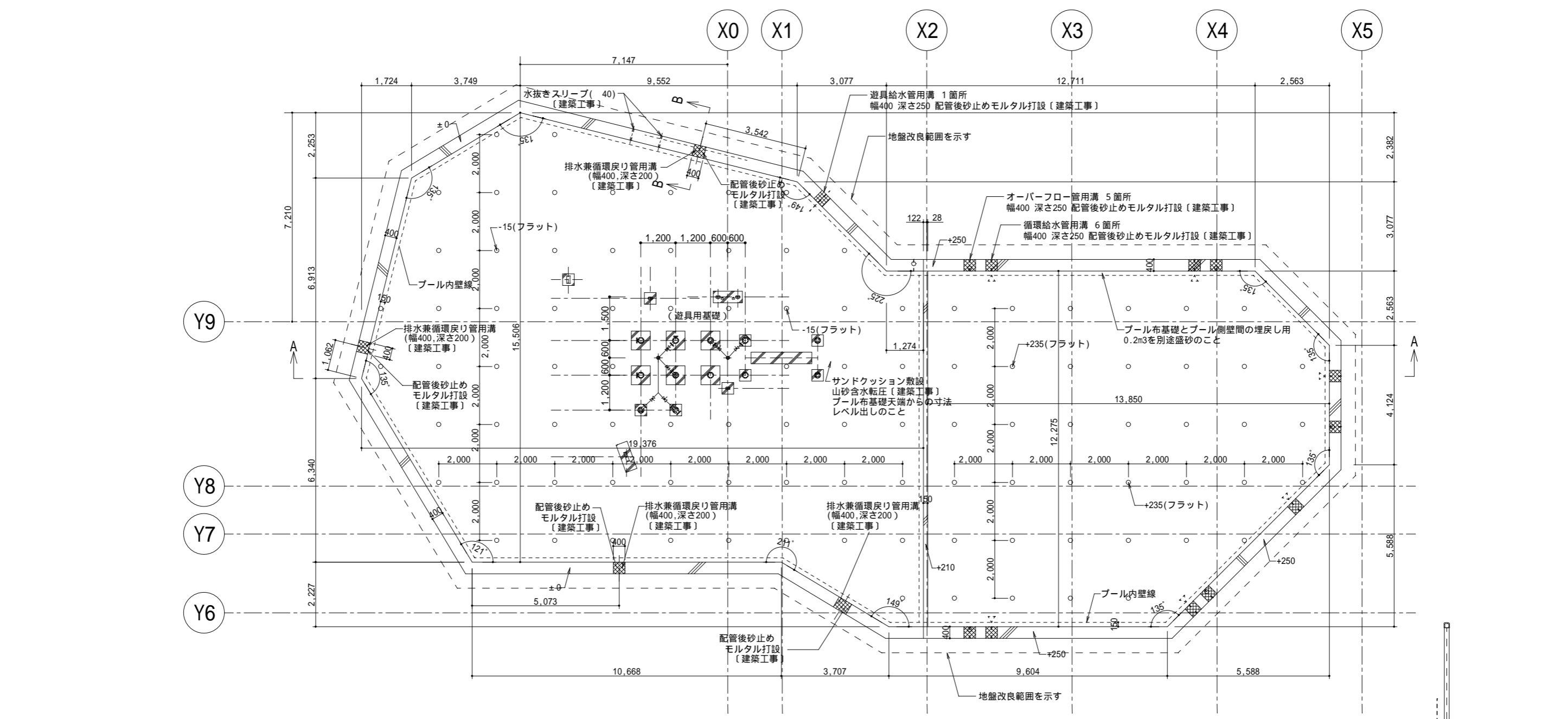
設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正

株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正




注
記
・
備
考

	宇治市黄檗公園プール改修建築工事		図面番号: A-45
	新設子供プール 全体図		
	S = 1/100	設計者: 1級建築士登録 第251646号	庄田 正
	株式会社 三座建築事務所	管理建築士: 1級建築士登録 第251646号	庄田 正

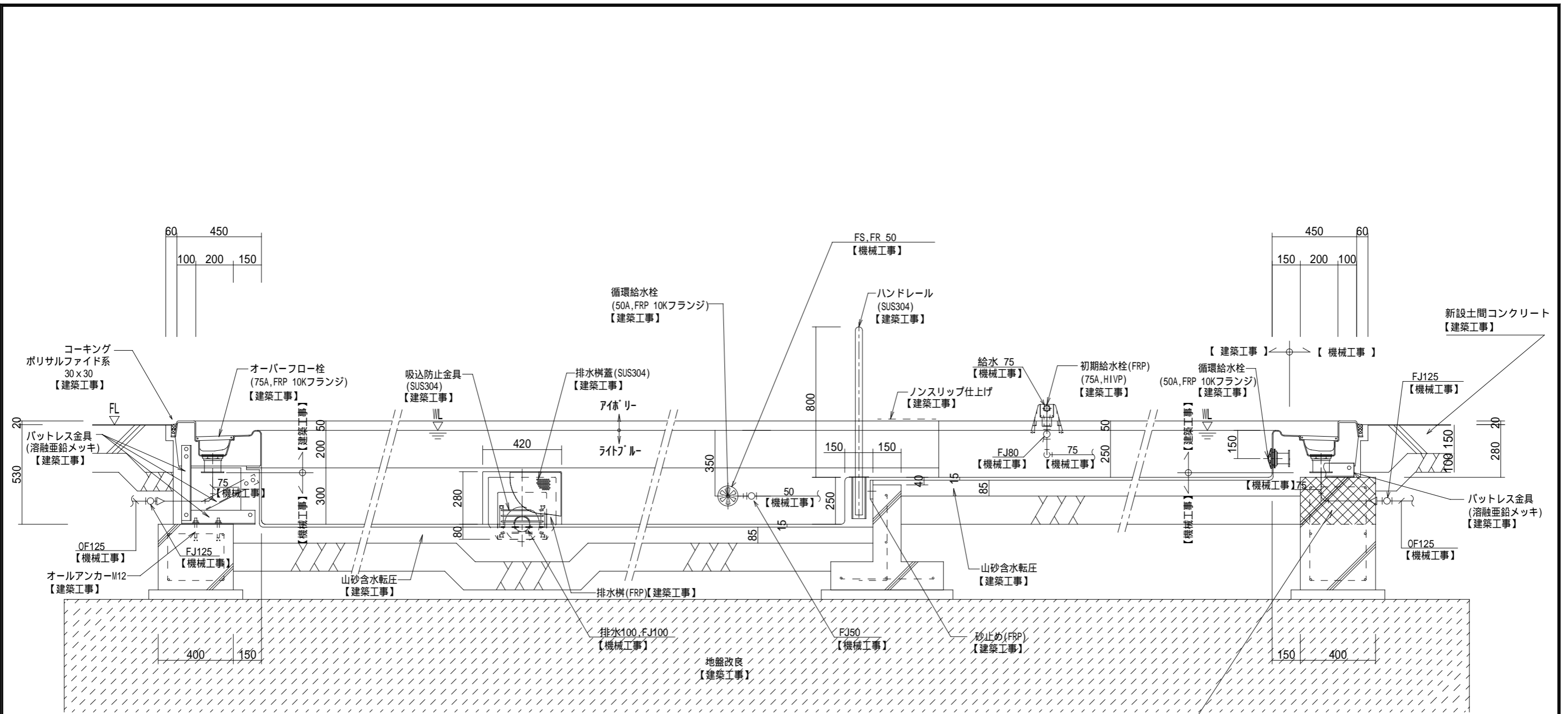


注	
記	
備	
考	


宇治市黄檗公園プール改修建築工事
新設子供プール 基礎伏図
図面番号: A-46

S = 1/100 1/30
 設計者: 1級建築士登録 庄田 正
第251646号


株式会社 **三座建築事務所**
管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正
第251646号

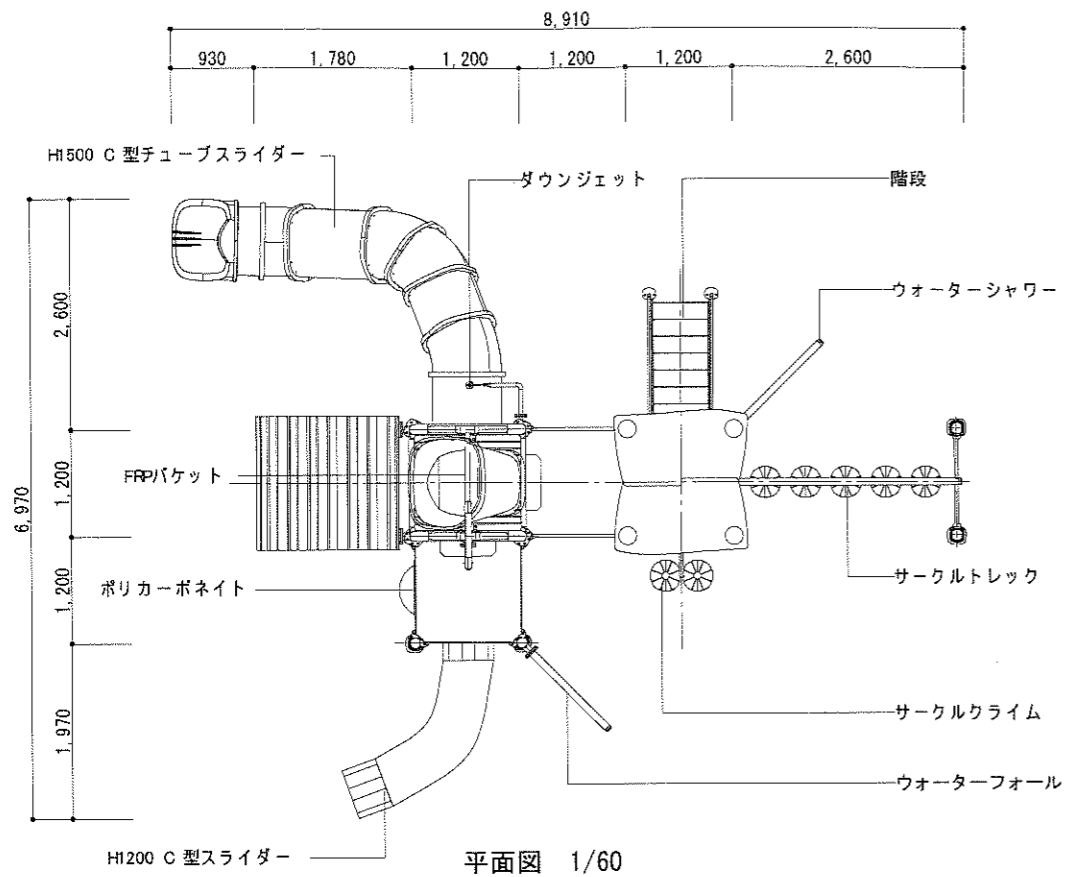


オーバーフロー管用溝 5箇所、循環給水管用溝 6箇所
幅400 深さ250 配管後砂止めモルタル打設 【建築工事】

子供プール 断面詳細図 S=1/15

注	
記	
備	
考	


宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 新設子供プール 断面詳細図 設計年月日: 2026.1 図面番号: A-47
 S = 1:15 設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正
 株式会社 **三座建築事務所** 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正



遊具仕様書

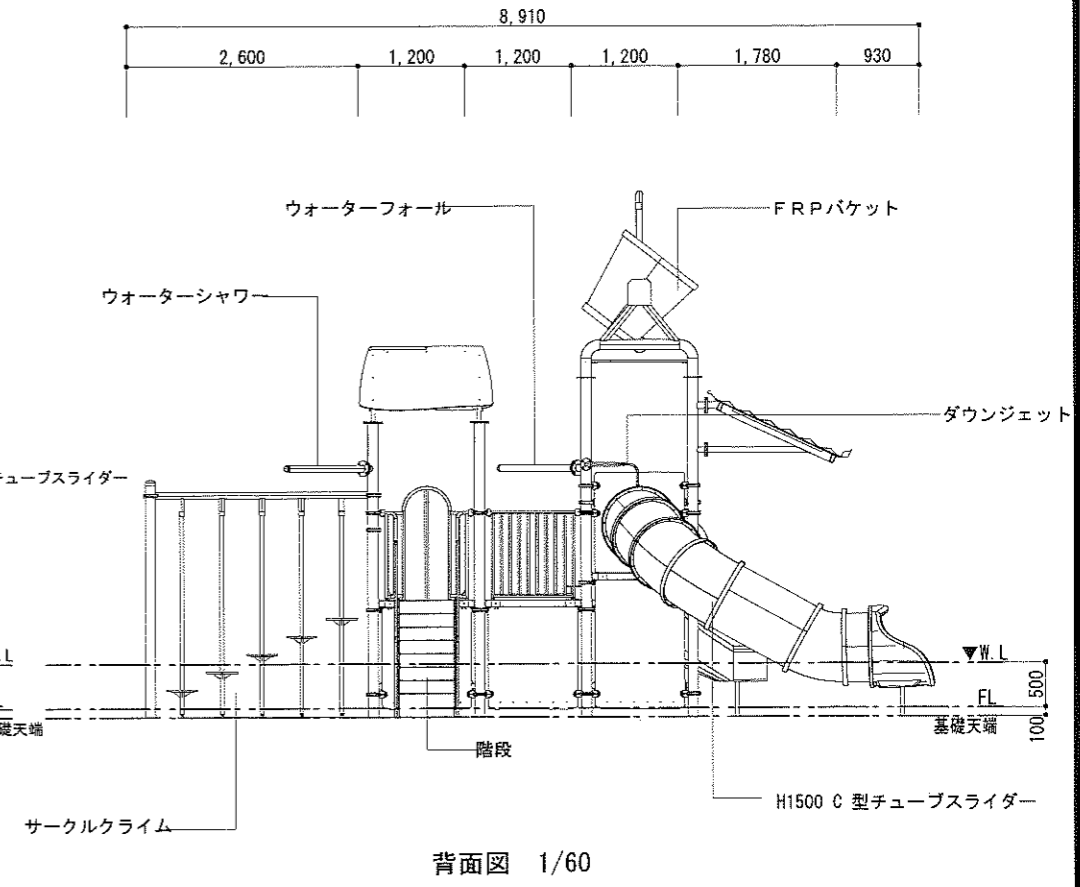
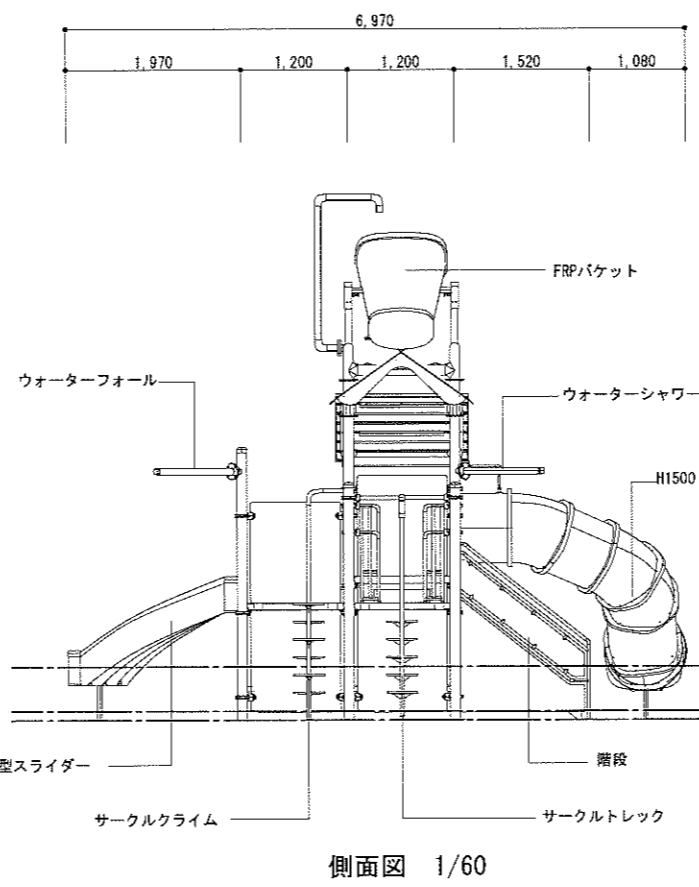
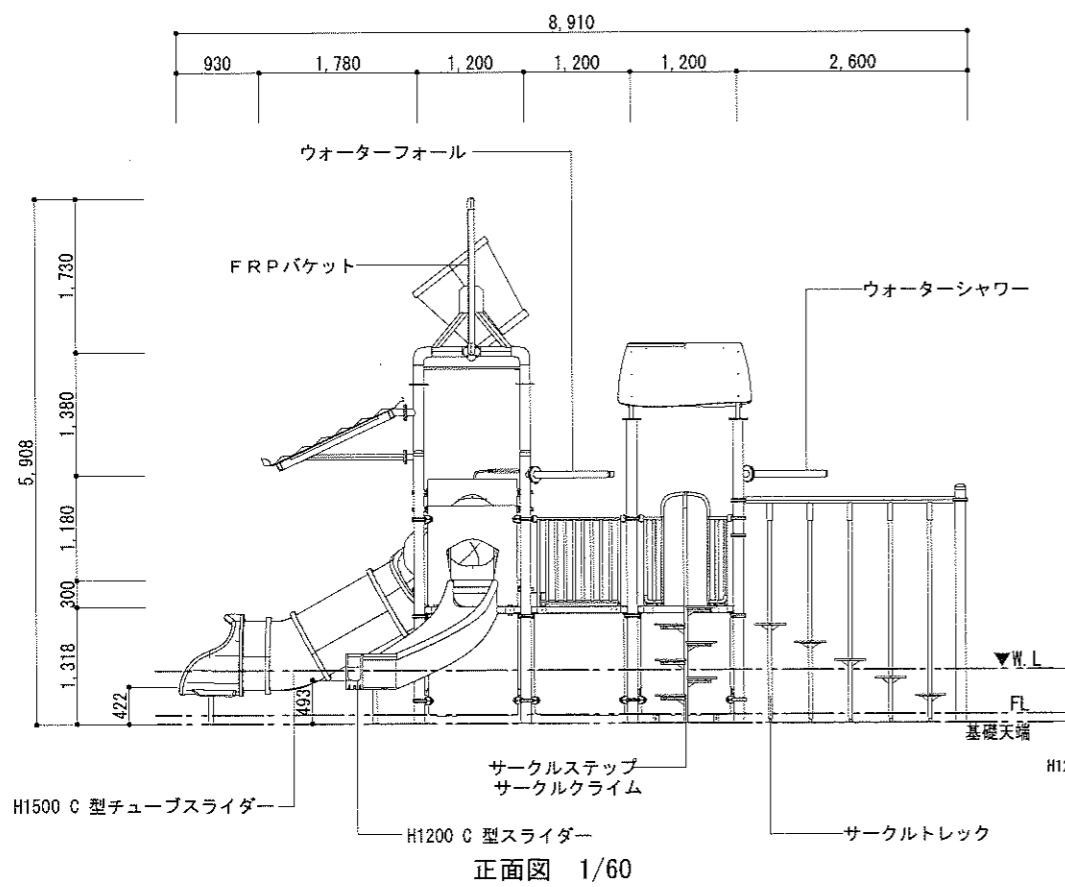
- ・ パネル部はHPLとし、色は自由設定とする。
- ・ 支柱はステンレスパイプとし、粉体塗装仕上げとする。(メーカー指定色)
- ・ サポートパイプ部はステンレス加工品とし、粉体塗装仕上げとする。(メーカー指定色)
- ・ 遊具アイテムのフレーム部は、ステンレス加工品とし粉体塗装仕上げとする。(メーカー指定色)
- ・ 製品の対象年齢は3-6歳とする。
- ・ 積雪について、本製品は一般地域(積雪1m未満)を基準とする。
- ・ 遊具の安全に関する規準JPFA-SP-S:2014に適合した製品とする。
- ・ (一社)日本公園施設業協会SPマーク表示認定企業の製品とする。
- ・ (一社)日本公園施設業協会 団体賠償責任保険に加入した製品とする。
- ・ 本製品の設計図面の変更・模倣を禁止する。
- ・ 製品において、仕様により寸法・材質等の変更がある場合は、承認図にて確認する事。
- ・ クレオ(株)製品、または同等以上とする。

支柱: SUS304 Φ114.3 (帯電粉体焼付塗装仕上)
 安全柵・手摺・その他フレーム: ステンレス304 (帯電粉体焼付塗装仕上)
 パネル: HPLパネル (耐候性ラミネート)
 接続部品: アルミダイキャスト (粉体焼付塗装仕上)
 デッキ・階段: SUS304パンチングメタル (PVCコーティング)
 ボルト・ナット: ステンレス304

必要流量

品名	流量(LPM)	揚程(M)	備考
ダウンジェット (チューブ滑り台)	40	9	1ヶ所
ウォーターフォール (フラット滑り台)	40	9	1ヶ所
ウォーターシャワー	100	9	1ヶ所
ウォーターフォール	100	9	1ヶ所
ウォーターバケット	150	9	1ヶ所
合計	430		5ヶ所

※ 上記数値は製品1台の最小演出に必要な数値の為、台数の変動や機械室との距離、機械室の高さ、配管の摩擦損失など摩擦水頭を算出してポンプの容量、配管径を計算のこと。



注記
備考

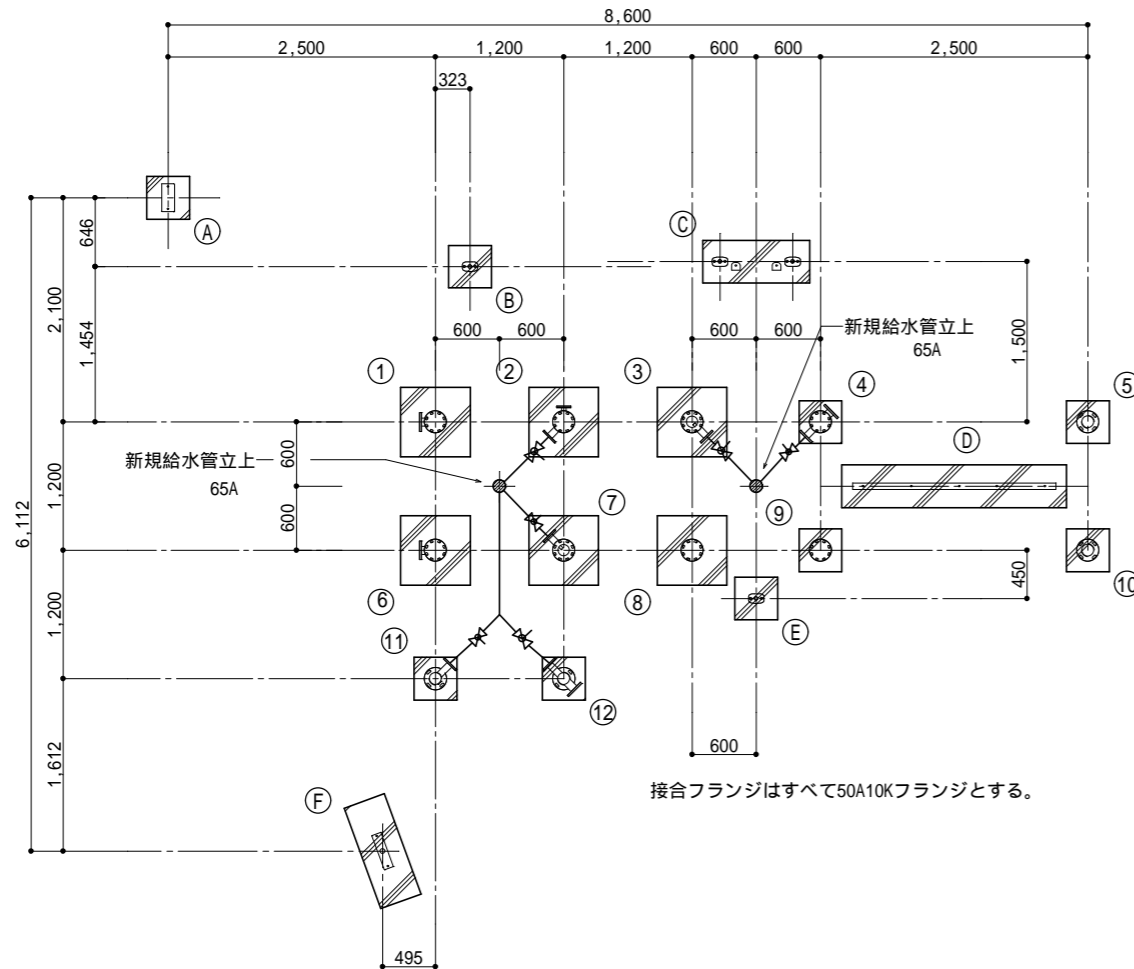
宇治市黄檗公園プール及び建物改修工事
 新設遊具詳細図 1
 図面番号: A-48
 S=1:60
 設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正

基礎リスト

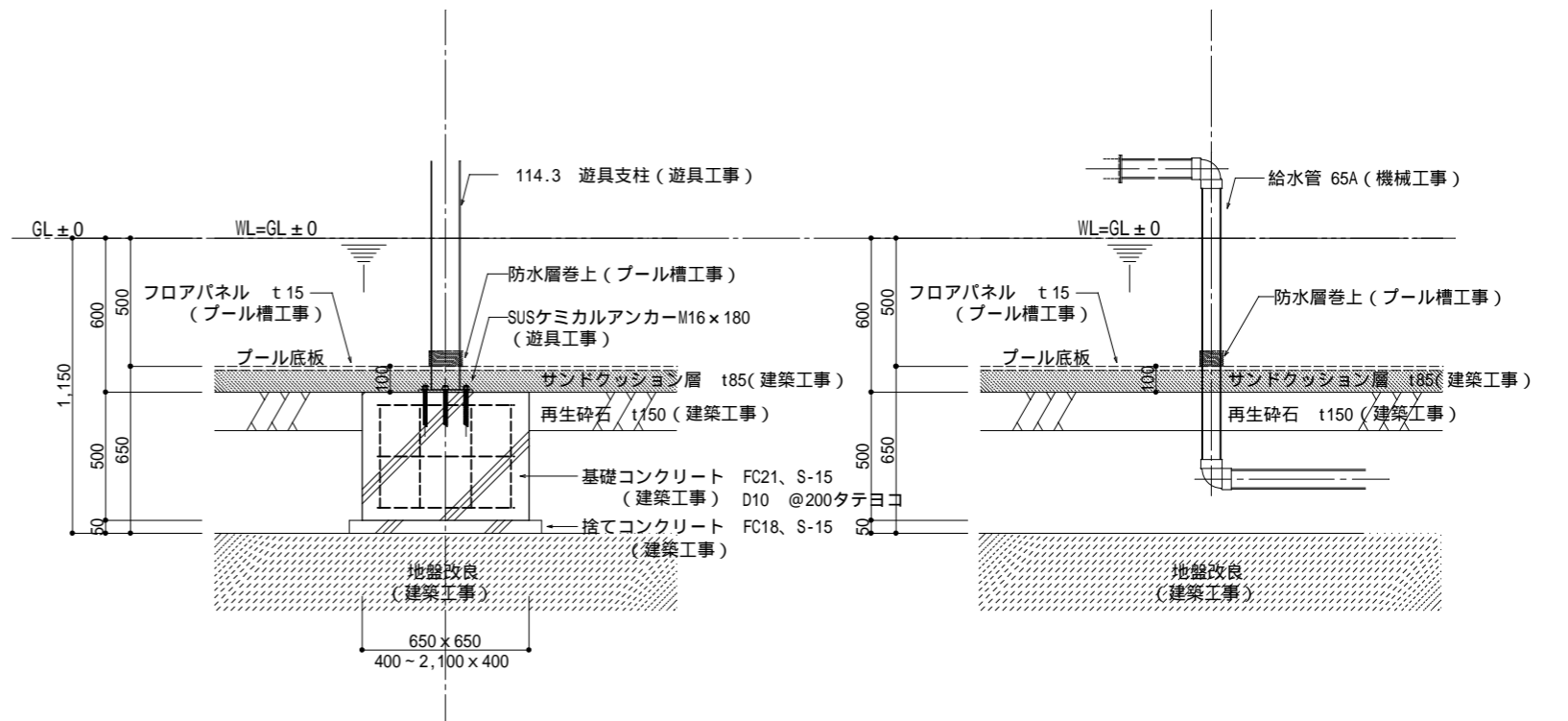
適用	符号	基礎寸法	数量
SUS支柱 114.3	④ ⑤ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫	400 × 400 × H500	6 箇所
SUS支柱 114.3バケット	① ② ③ ⑥ ⑦ ⑧	650 × 650 × H500	6 箇所
チューブ・スライダー	Ⓐ ⓑ	400 × 400 × H500	2 箇所
階段	ⓒ	1,000 × 400 × H500	1 箇所
サークルトレック	Ⓓ	2,100 × 400 × H500	1 箇所
サークルステップ	Ⓔ	400 × 400 × H500	1 箇所
オープンC形スライダー	Ⓕ	1,000 × 400 × H500	1 箇所

柱リスト (遊具工事)

符号		ポスト長	備考
① ② ⑥ ⑦	SUS支柱 114.3	L=3,800	
③ ④ ⑧ ⑨	SUS支柱 114.3	L=3,400	
⑤ ⑩	SUS支柱 114.3	L=2,600	
⑪ ⑫	SUS支柱 114.3	L=3,000	



遊具基礎伏図 柱伏図 給水管接続詳細図 1/50



基礎詳細図 1/20

給水管立上り部 断面図 1/20

注
記
備
考



宇治市黄檗公園プール及び建物改修工事

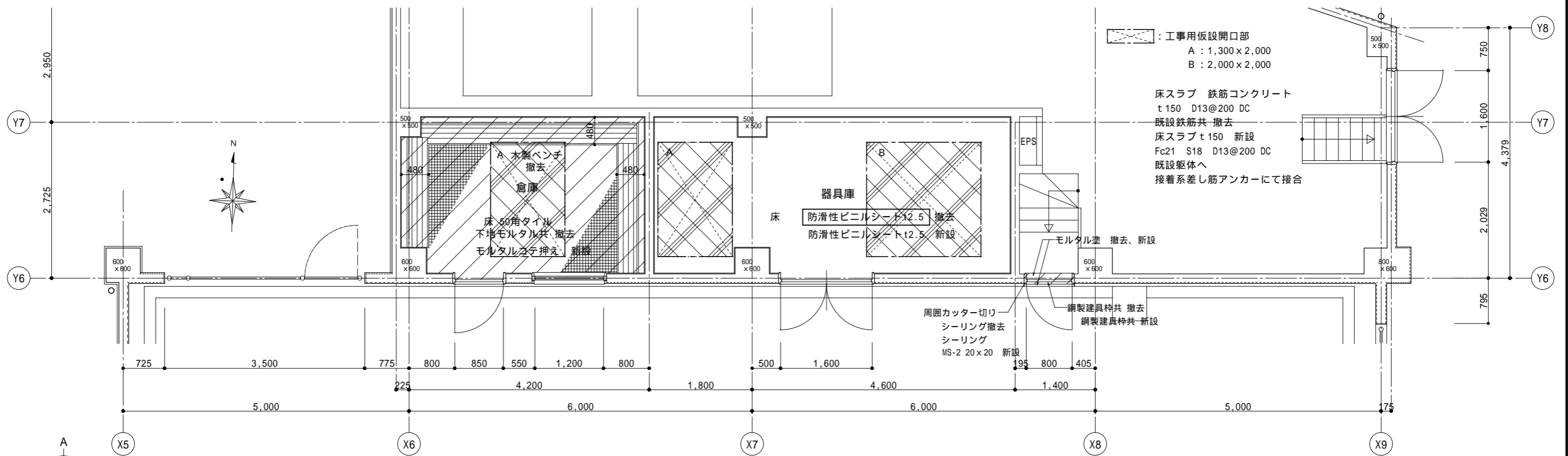
新設遊具詳細図 2

図面番号: A-49

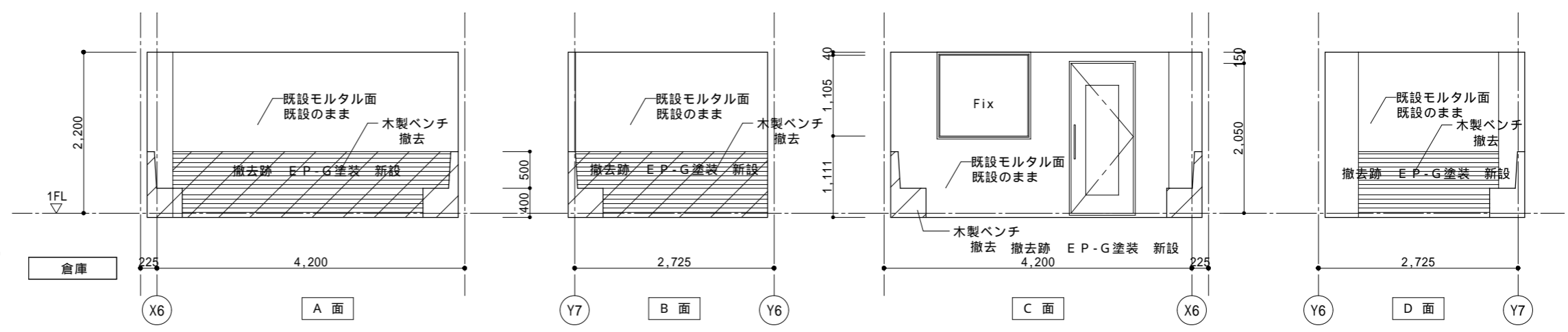
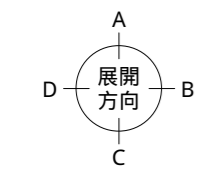
S = 1:20 1:50

設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正

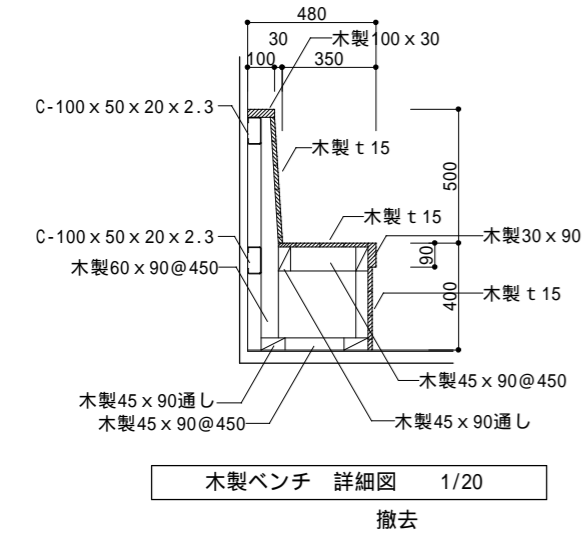
株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正



現況・撤去 改修 平面詳細図 1/50




現況・撤去 改修 展開図 1/50



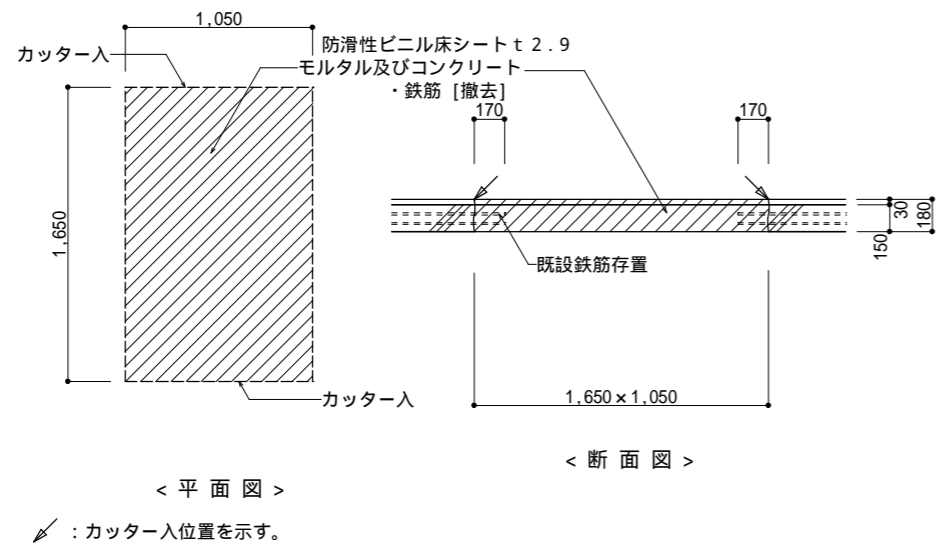
木製ベンチ 詳細図 1/20
撤去

凡例

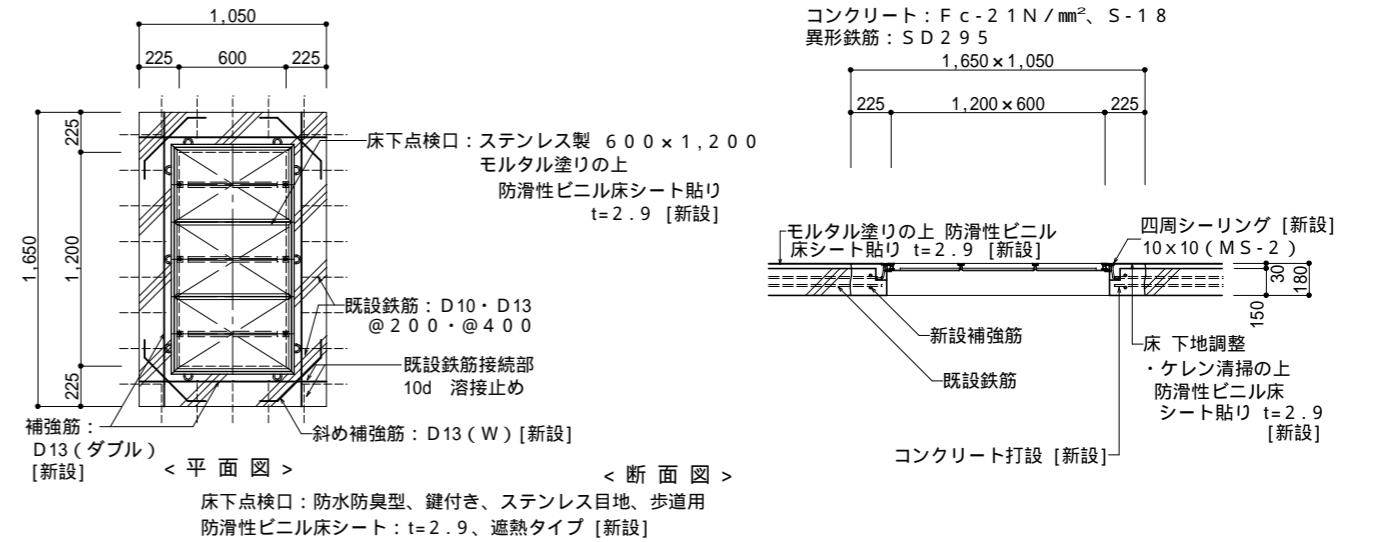
注	既設のままを示す。		躯体共撤去範囲を示す。
記	仕上げ撤去範囲を示す。		
備	仕上げ下地共撤去範囲を示す。		
考	カッター切位置を示す。		アスベスト含有建材を示す


宇治市黄檗公園プール及び建物改修工事
 現況・撤去 改修 機械室棟詳細図 図面番号: A-50
 S = 1 : 20 1:50 設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正
 株式会社 **三座建築事務所** 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正

現況



改修

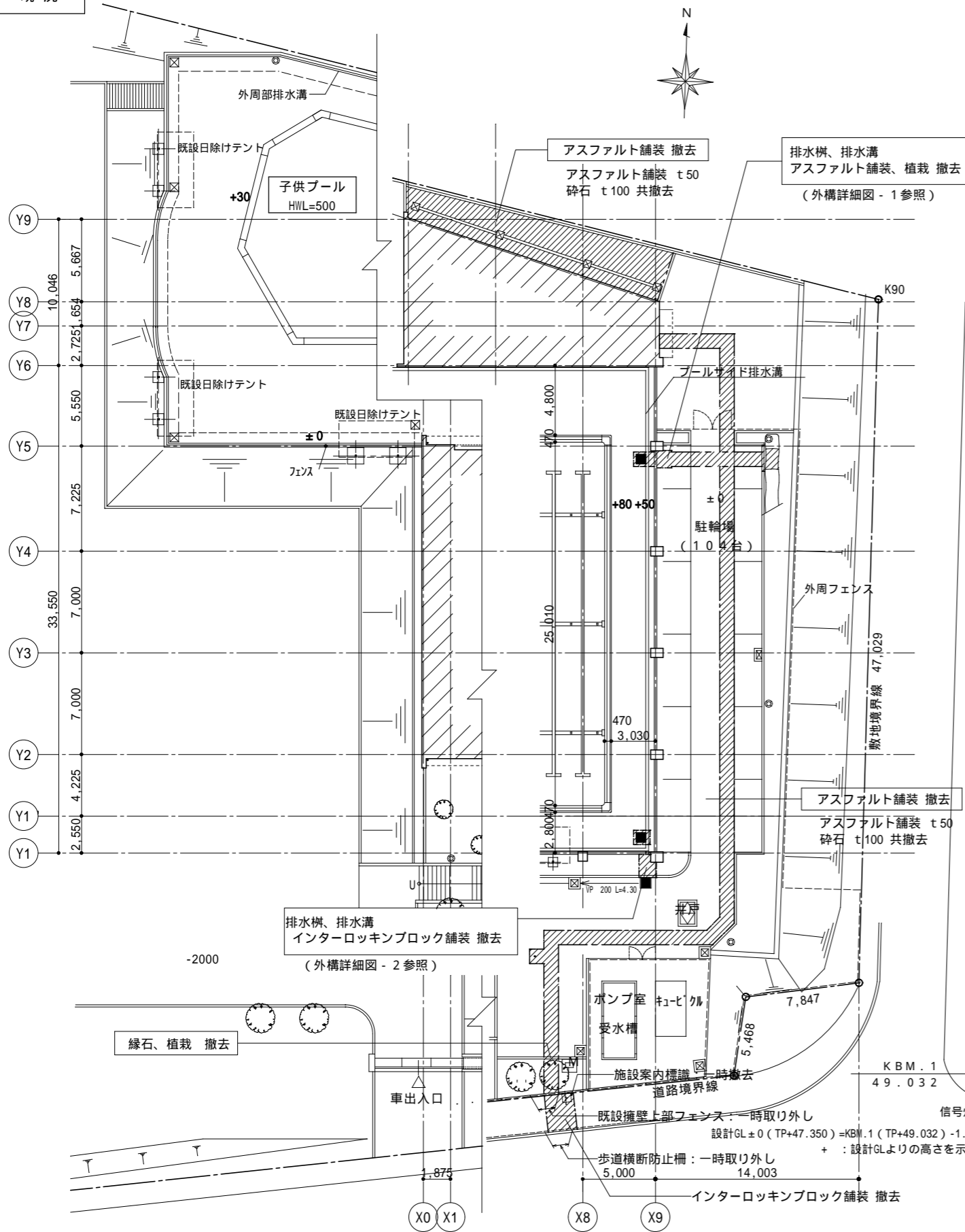


記号・形式	鋼製片開き扉 (防音) (撤去)	鋼製片開き扉 (防音) (新設)
	特定防火設備	特定防火設備
姿 図		
位置・数量	機械室 1	機械室 1
仕上・見込	SOP塗 扉: 40 枠: 190	DP-1塗 扉: 40 枠: 190
ガラス		
金物	丁番、グレモンハンドルシリンダー錠、ドアクローザ、戸当り	丁番、グレモンハンドルシリンダー錠、ドアクローザ、戸当り
備考	ステンレス沓摺 防音T-3	ステンレス沓摺 防音T-3

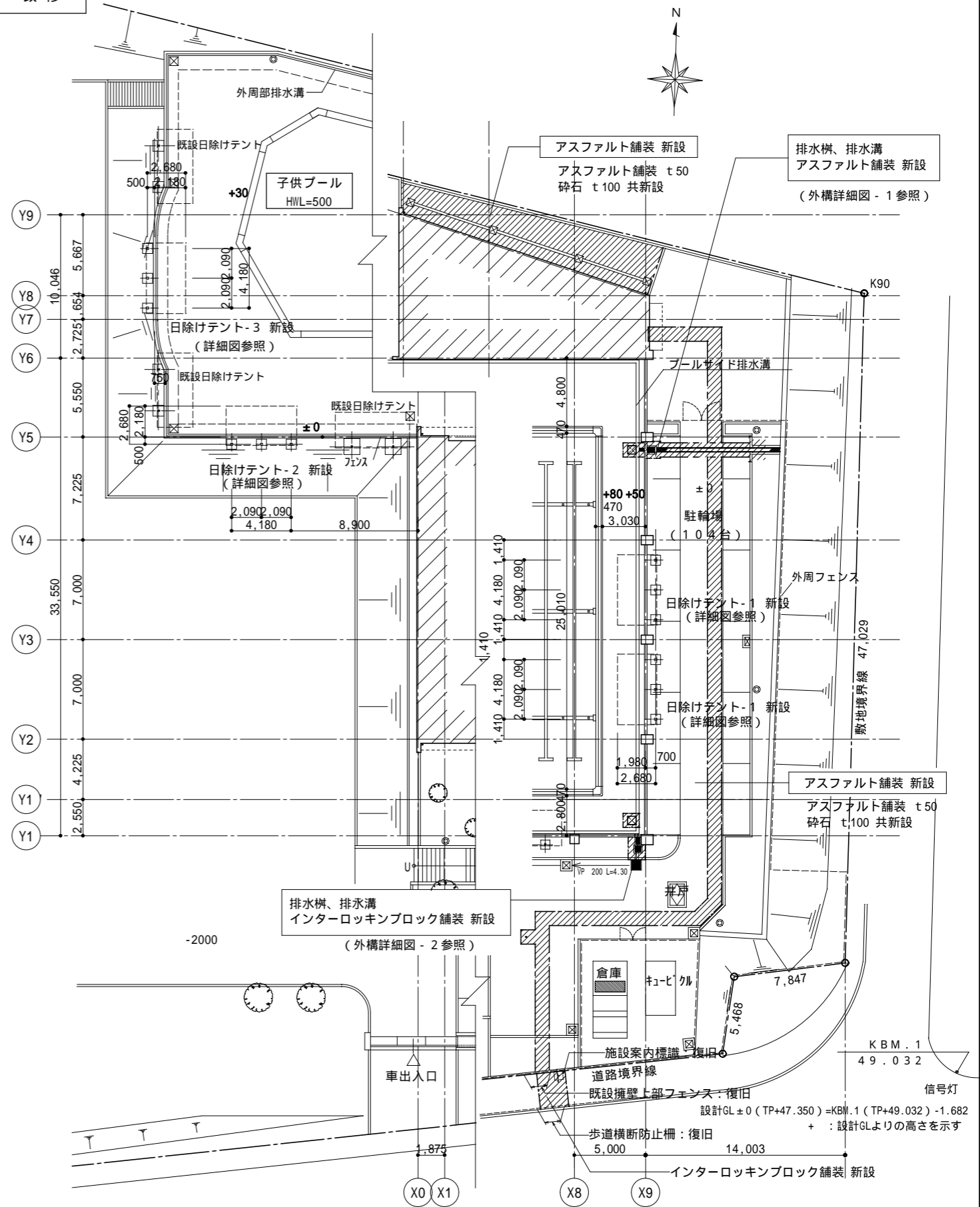
注記備考

宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 部分詳細図 図面番号: A-51
 S = 1:20 1/50 設計者: 1級建築士登録 庄田 正 第251646号
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正 第251646号

現況

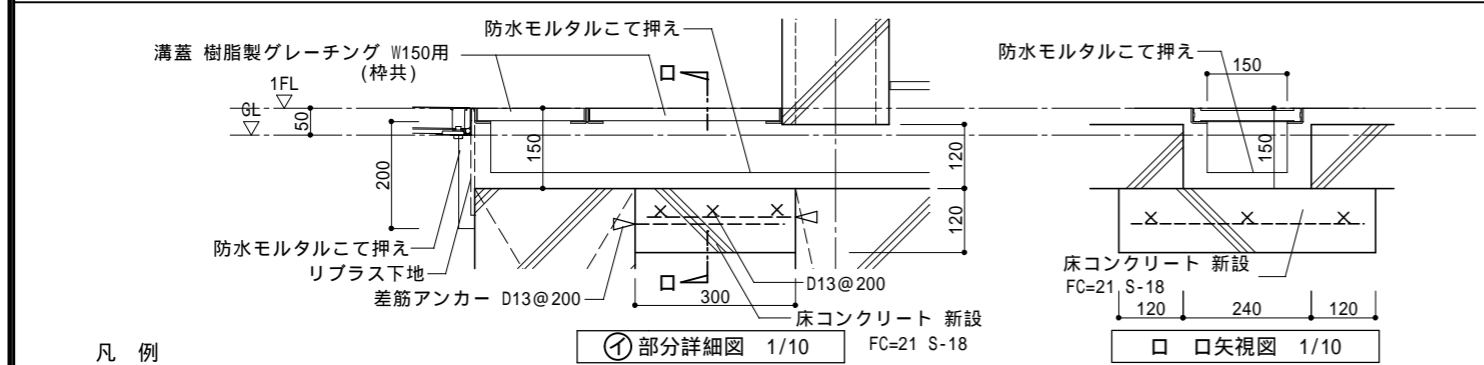
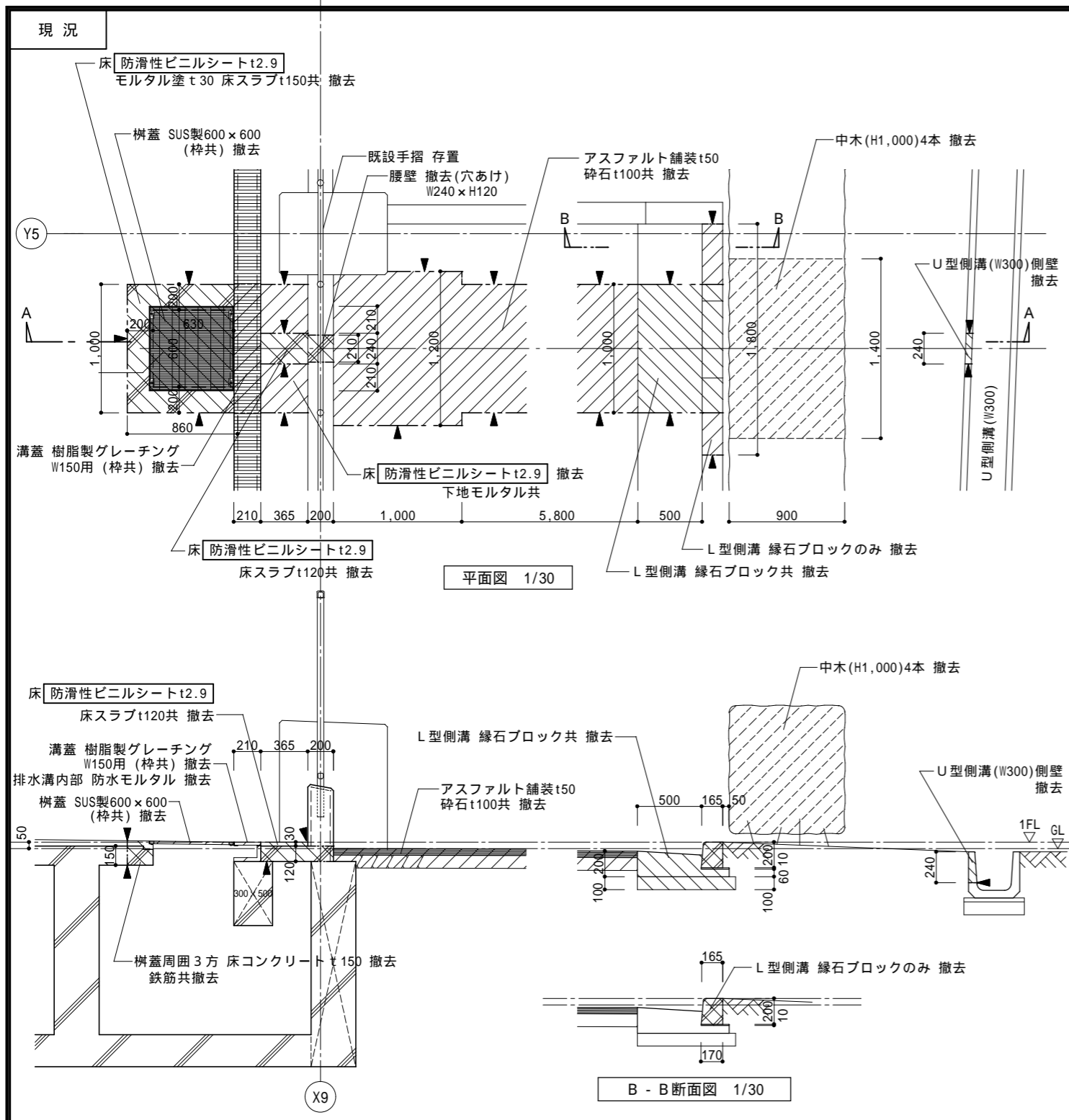


改修

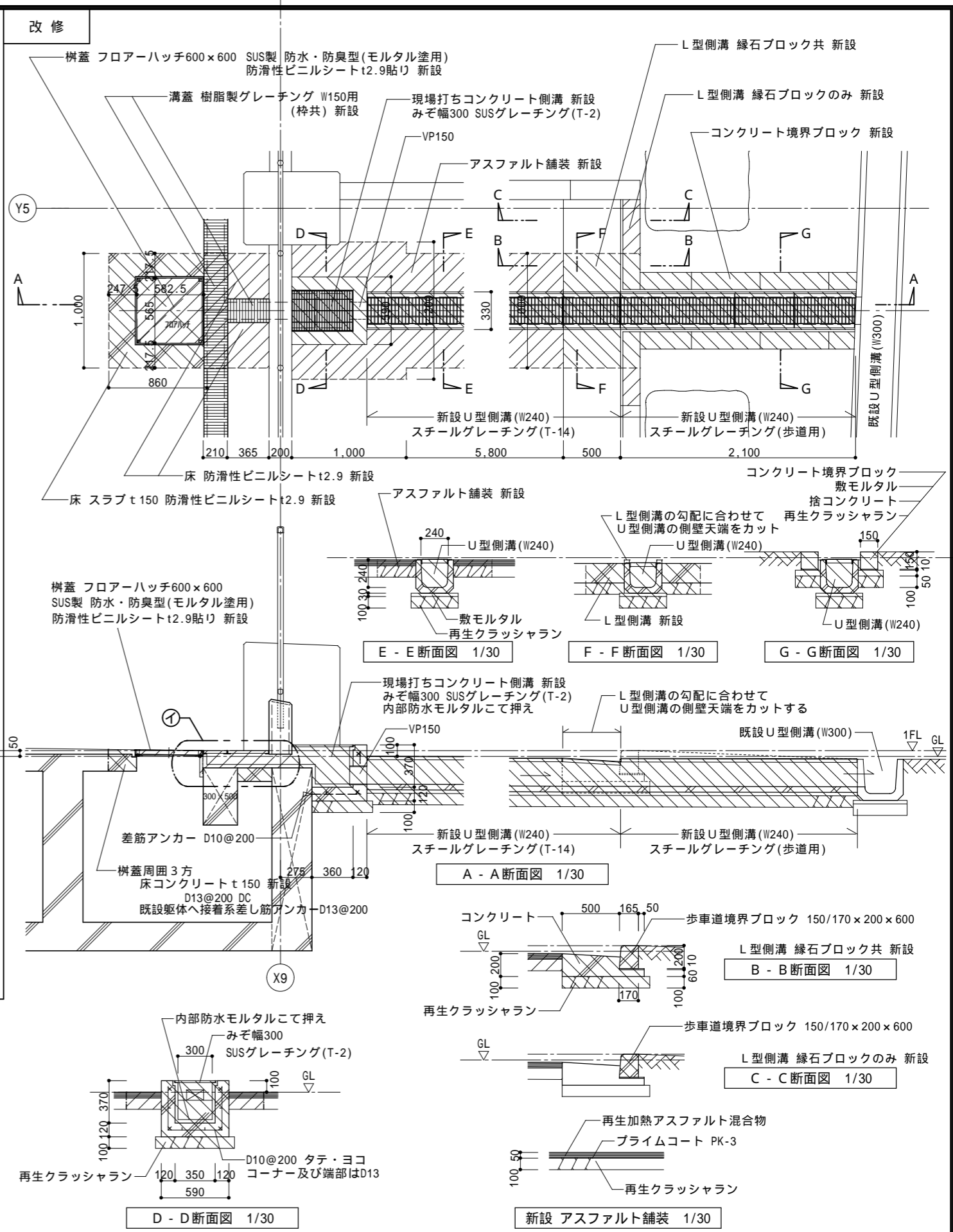


注記・備考

宇治市黄檗公園プール及び建物改修建築工事
 外構配置図 図面番号: A-52
 S = 1:250 設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田正
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田正

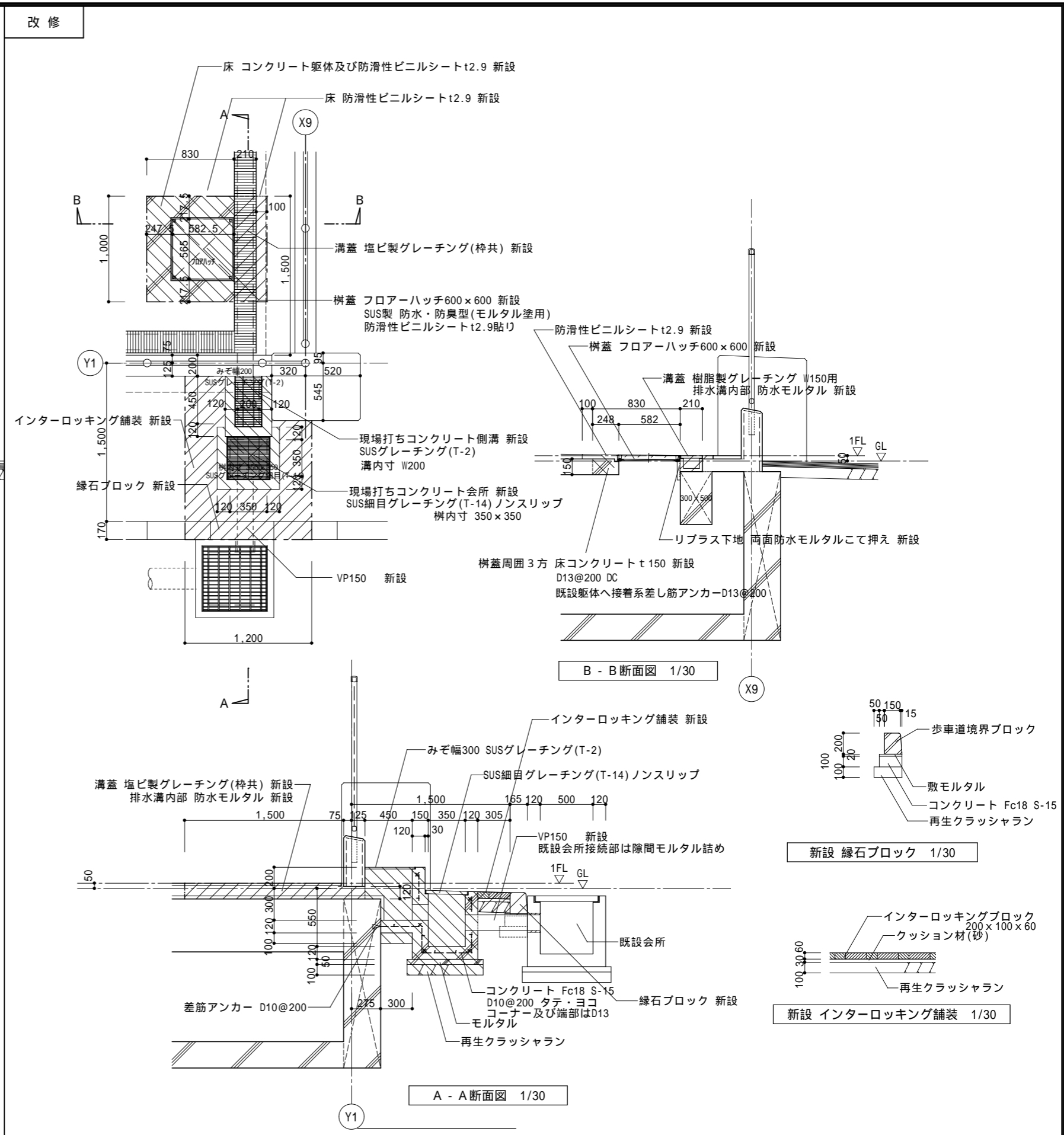
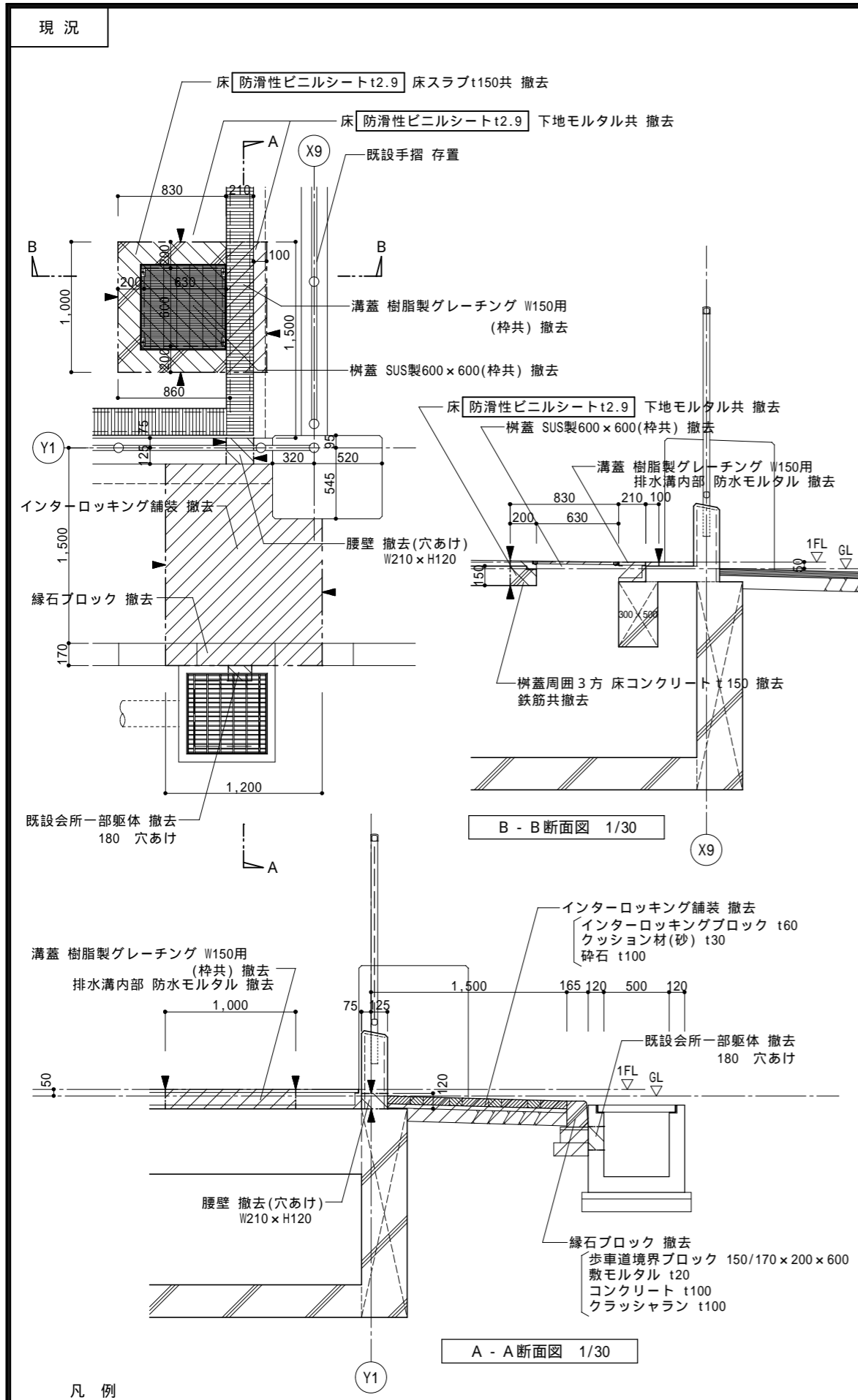


注	既設のままを示す。		
記	仕上げ撤去、新設範囲を示す。	躯体共撤去、新設範囲を示す。	
備	仕上げ下地共撤去、新設範囲を示す。		
考	カッター切位置を示す。	印はアスベスト含有建材を示す	



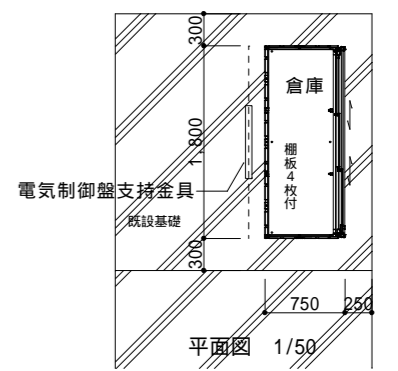
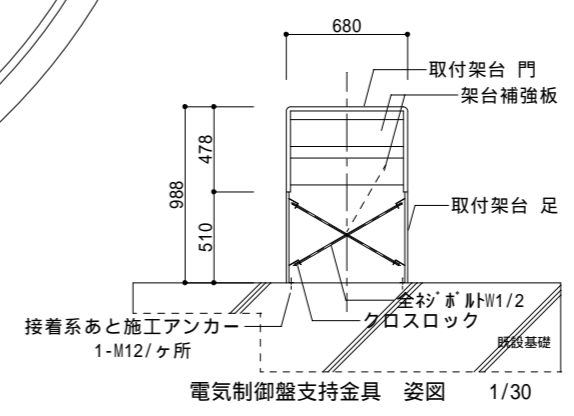
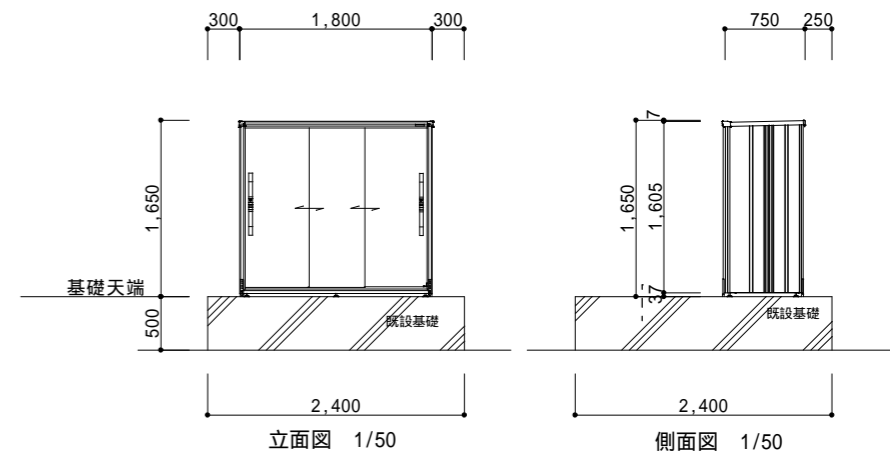
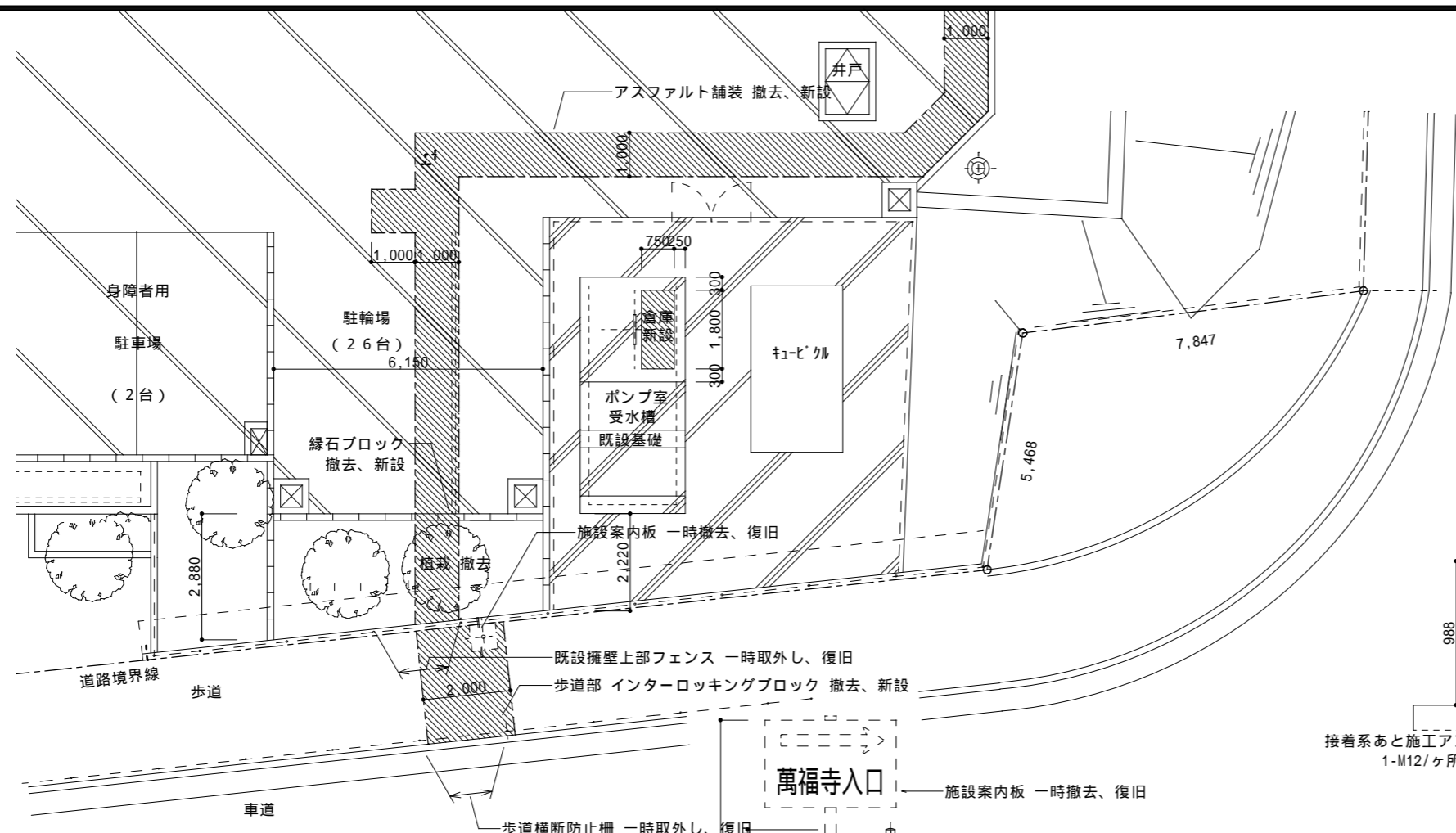
注	既設のままを示す。		
記	仕上げ撤去、新設範囲を示す。	躯体共撤去、新設範囲を示す。	
備	仕上げ下地共撤去、新設範囲を示す。		
考	カッター切位置を示す。	印はアスベスト含有建材を示す	

宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 外構詳細図-1
 図面番号: A-53
 S = 1:30 1:10
 設計者: 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号



注	既設のままを示す。		樹蓋 フロアハッチ600×600 : 榊中部コーポレーション 既設ロック錠式フロアハッチ ステンレス製ステンレス目地防水防臭型MS-1-WL600 EM外充填用HFD付
記	仕上げ撤去、新設範囲を示す。	躯体共撤去、新設範囲を示す。	溝蓋 樹脂製グレーチング W150用 : 榊中部コーポレーション 樹脂製グレーチング ノンスリップタイプ みぞ幅150 PG12025 受枠RL-25同等品
備	仕上げ下地共撤去、新設範囲を示す。		みぞ幅200SUSグレーチング(T-2) : 榊中部コーポレーション 横断溝・側溝用ステンレスグレーチング SIB 525-20同等品
考	カッター切位置を示す。	印はアスベスト含有建材を示す	現場打ち会所 内寸350×350 SUSグレーチング 細目(T-14) : 榊中部コーポレーション 横断溝側溝用ステンレスグレーチング CMS 25-350C ヴァ10mm同等品

宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 外構詳細図-2 図面番号: A-54
 S = 1:30 設計者: 1級建築士登録 庄田 正 第251646号
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正 第251646号



- 電気制御盤支持金具
- 取付架台 門: 高耐食鋼板 因幡電工(株)RD取付架台 門 RZM-600-L-A-ZA同等品
 - 取付架台 足: 高耐食鋼板 因幡電工(株)RD取付架台 足 RZB-L-A-ZA同等品
 - 架台補強板: 高耐食鋼板 因幡電工(株)RD架台補強板 RZH-600-A-ZA同等品
 - クロスロック: 高耐食メッキ 因幡電工(株)クロスロックタイプ (屋外仕様) FL-B-Z同等品

- 新設 倉庫 (電気制御盤収納庫)
- W1,800 x D750 x H 1,650
 - 屋根、外壁側板: 鋼板 アルミ亜鉛メッキ
 - 既設基礎に定着のこと
 - (あと施工アンカー-6-D10)
 - 棚ヨドコウ ヨド物置エスモ ESF-1807D (1807-L型棚板4枚付) 同等品

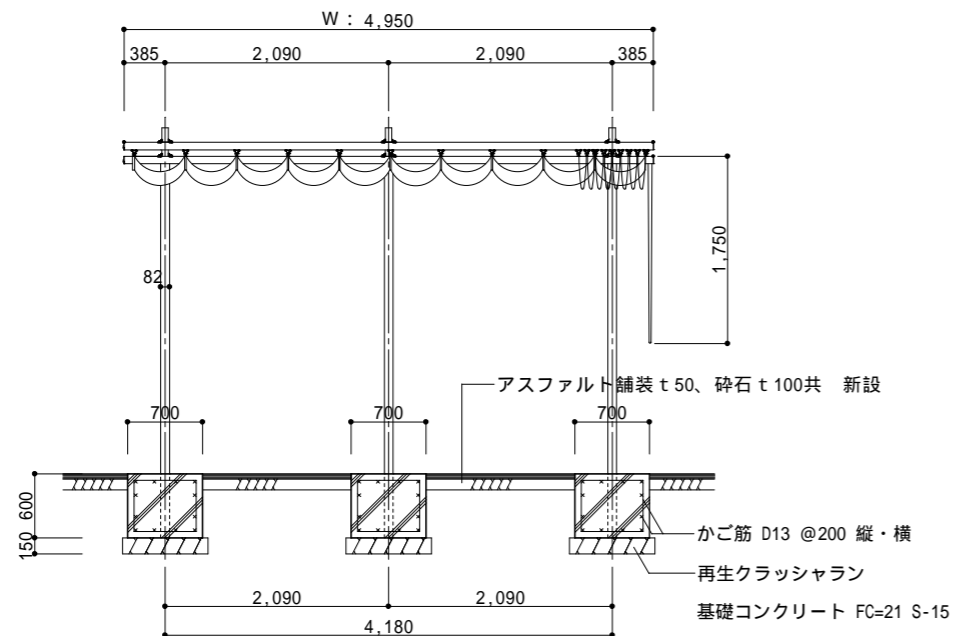
注	
記	
備	
考	

宇治市黄檗公園プール改修建築工事

外構詳細図 - 3 図面番号: A-55

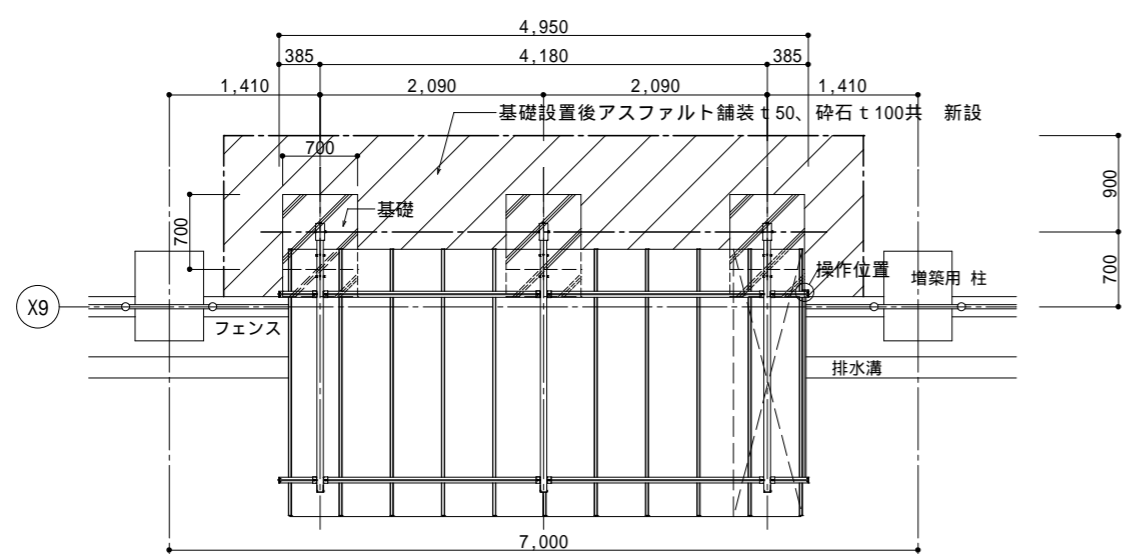
S = 1:30 設計者: 1級建築士登録 庄田 正
第251646号

株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正
第251646号

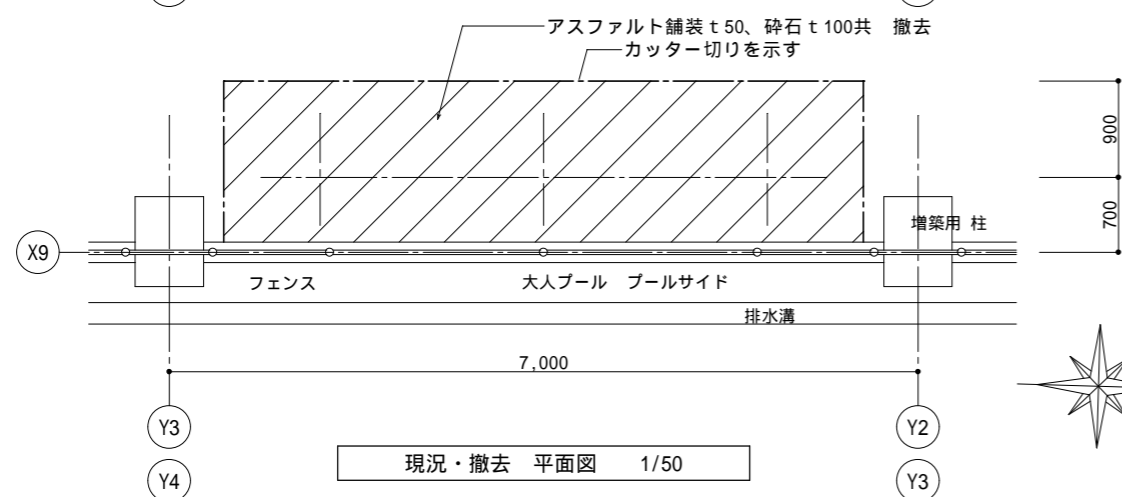


改修 西立面図 1/50

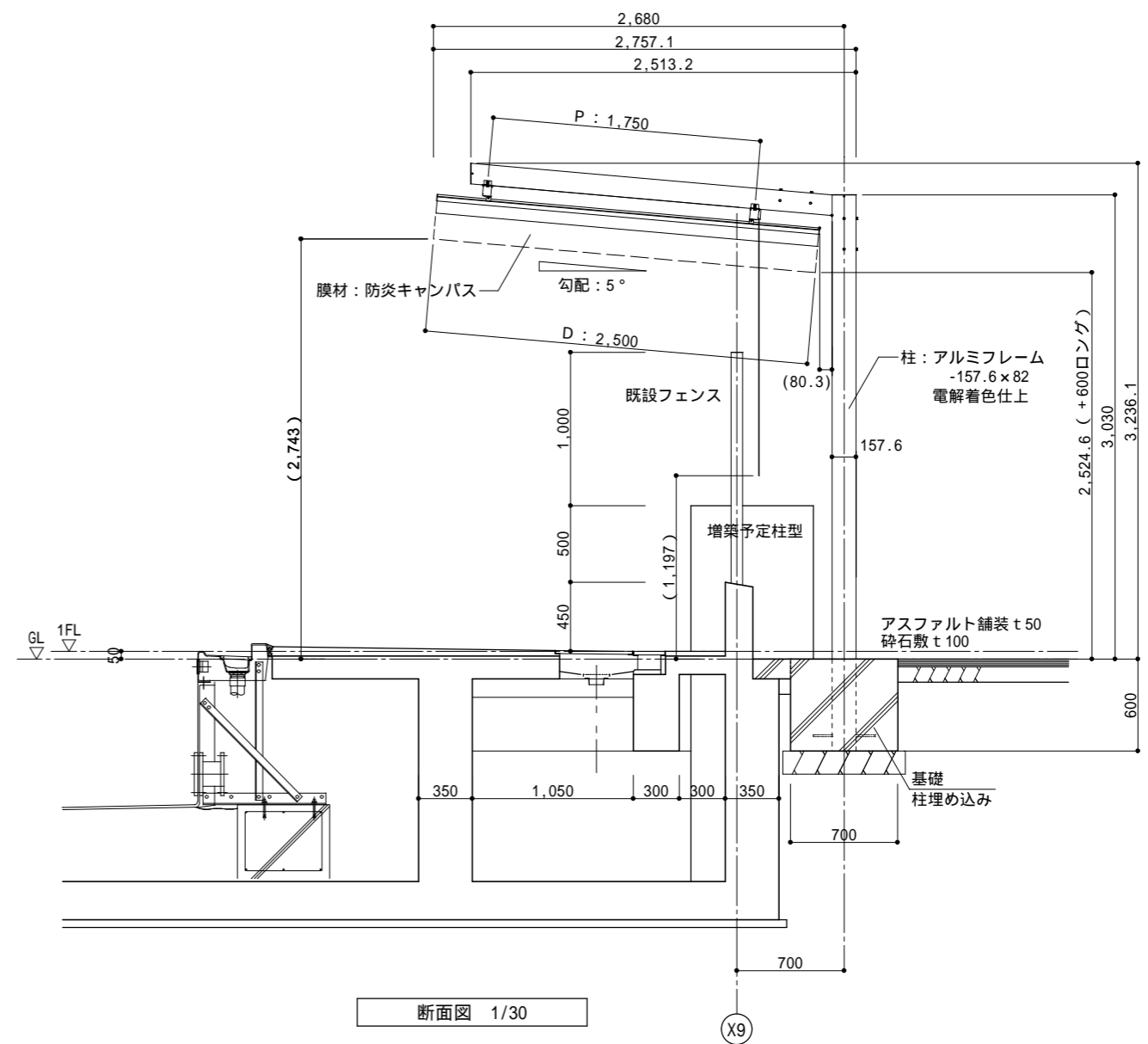
< 日除けテント仕様 >
 本体：アルミ製フレーム
 本体仕上：電解着色仕上 (BA-2種)
 膜材：防災キャンパス (防災認定品)



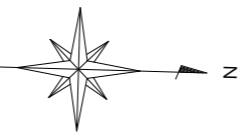
改修 平面図 (屋根伏図) 1/50



現況・撤去 平面図 1/50

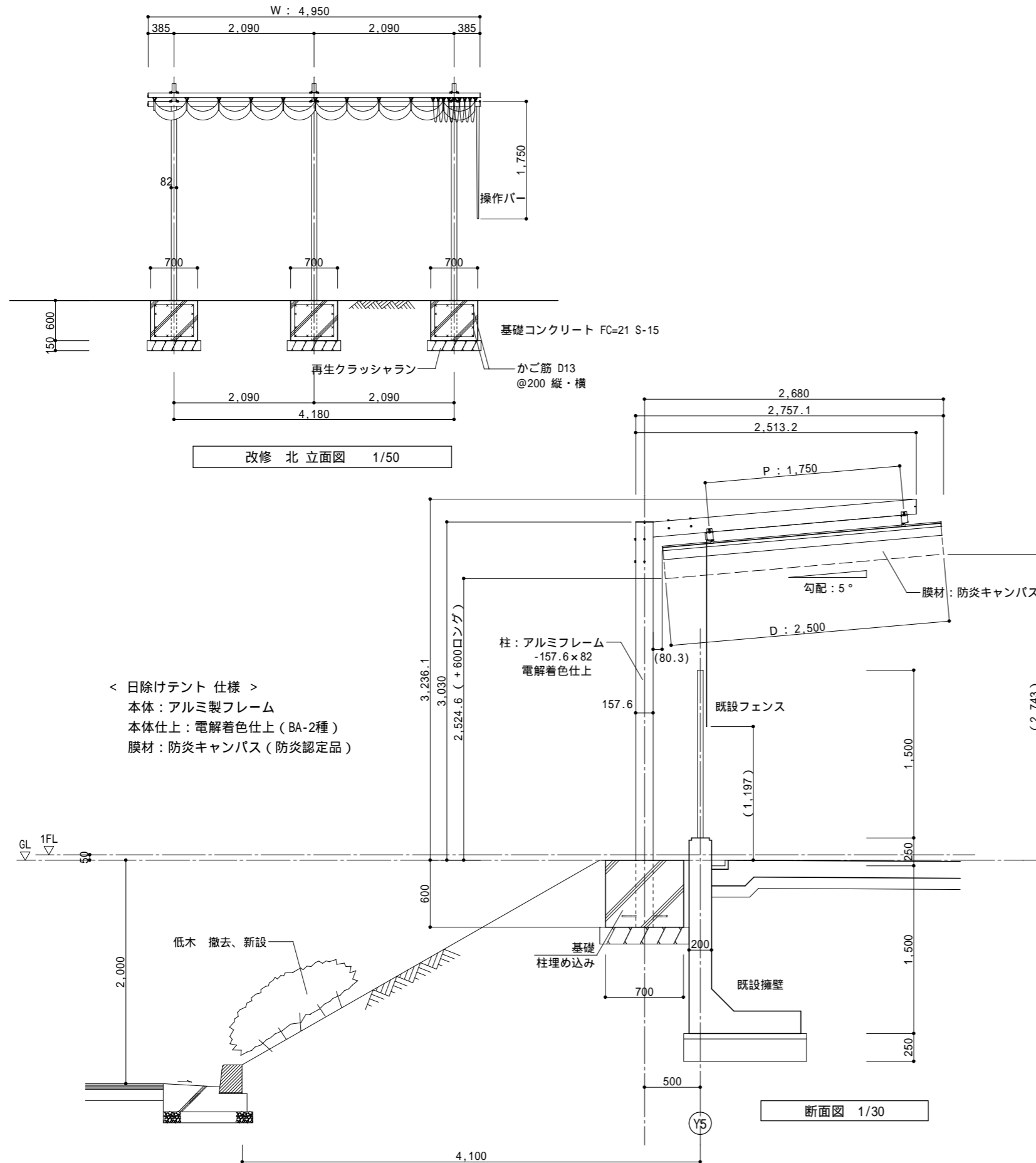


断面図 1/30



注記・備考
 本体：太陽工業(株) 開閉式片持ちシェルター ゆらぎ3 同等品
 膜材：大一帆布(株) SOLTIS 86 同等品

宇治市黄檗公園プール管理棟等改修工事
 日除けテント - 1 詳細図 図面番号： A-56
 S = 1:30 1:50 設計者：1級建築士登録 庄田 正
 第251646号
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士：1級建築士登録 庄田 正
 第251646号



注記・備考
本体 : 太陽工業(株) 開閉式片持ちシェルター ゆらぎ3 同等品
膜材 : 大一帆布(株) SOLTIS 86 同等品



宇治市黄檗公園プール管理棟等改修工事

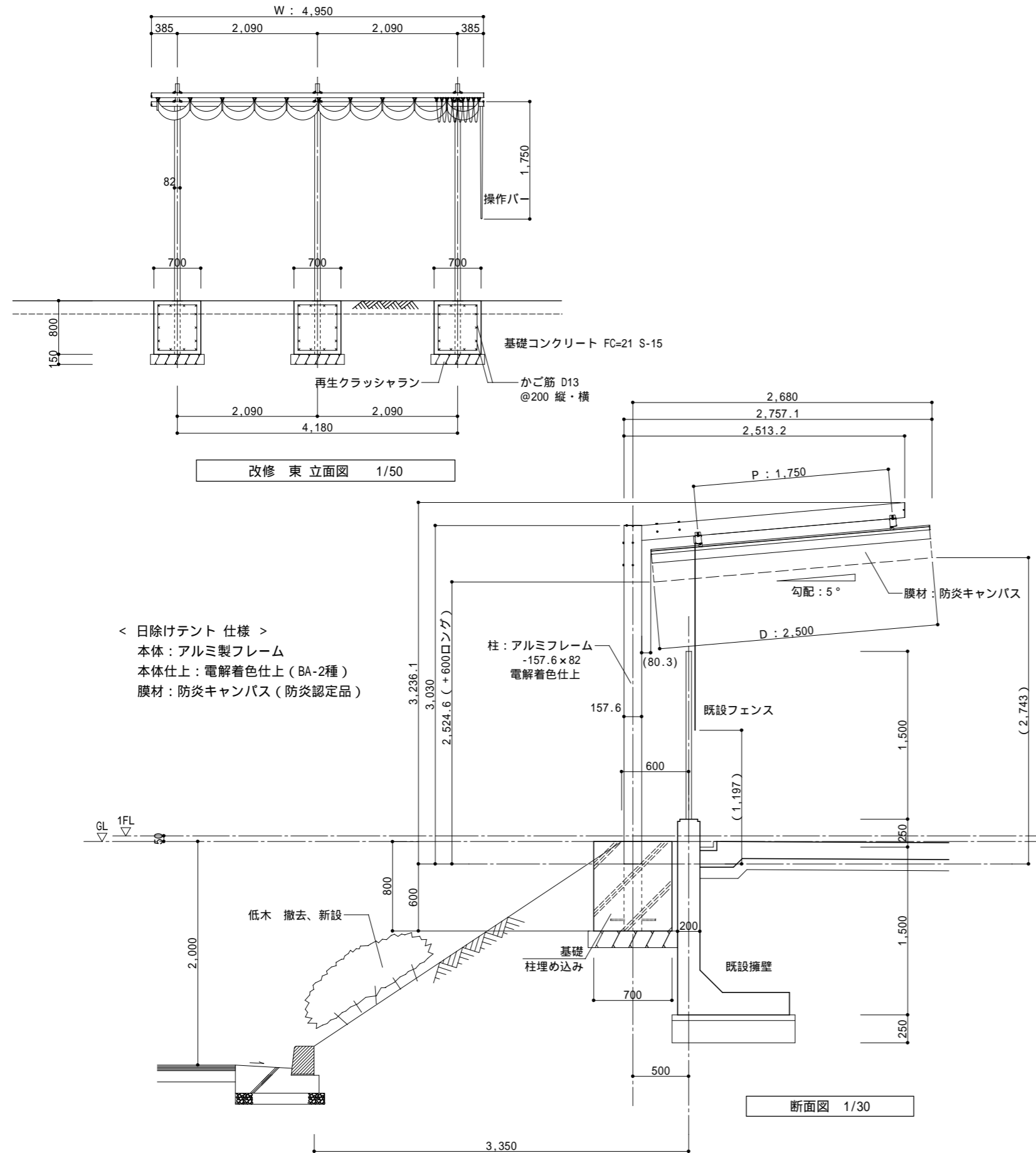
日除けテント - 2 詳細図

図面番号 : A-57

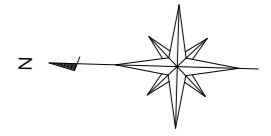
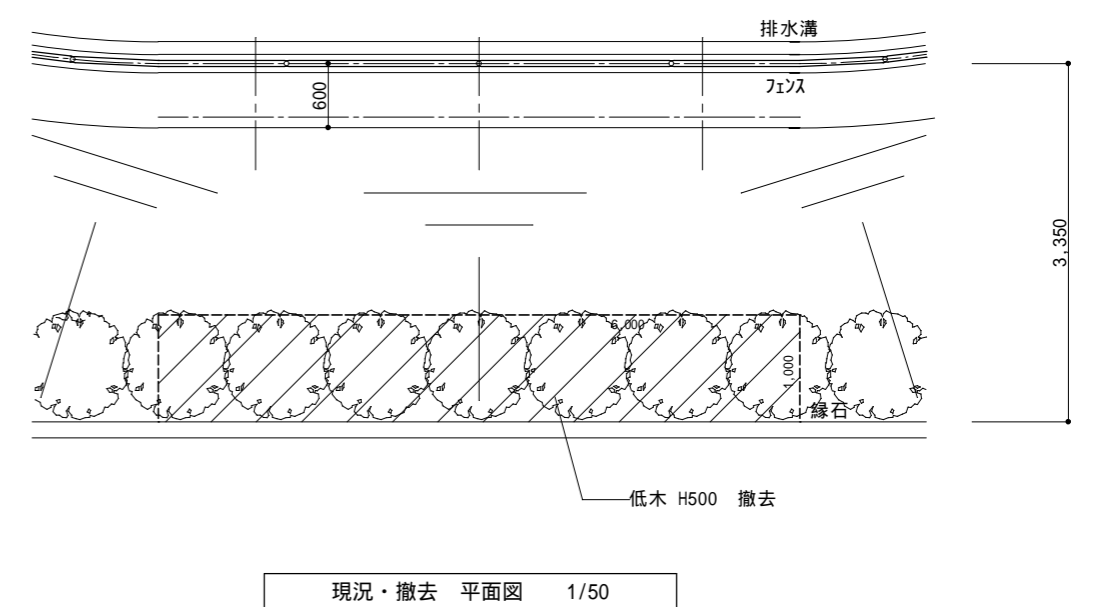
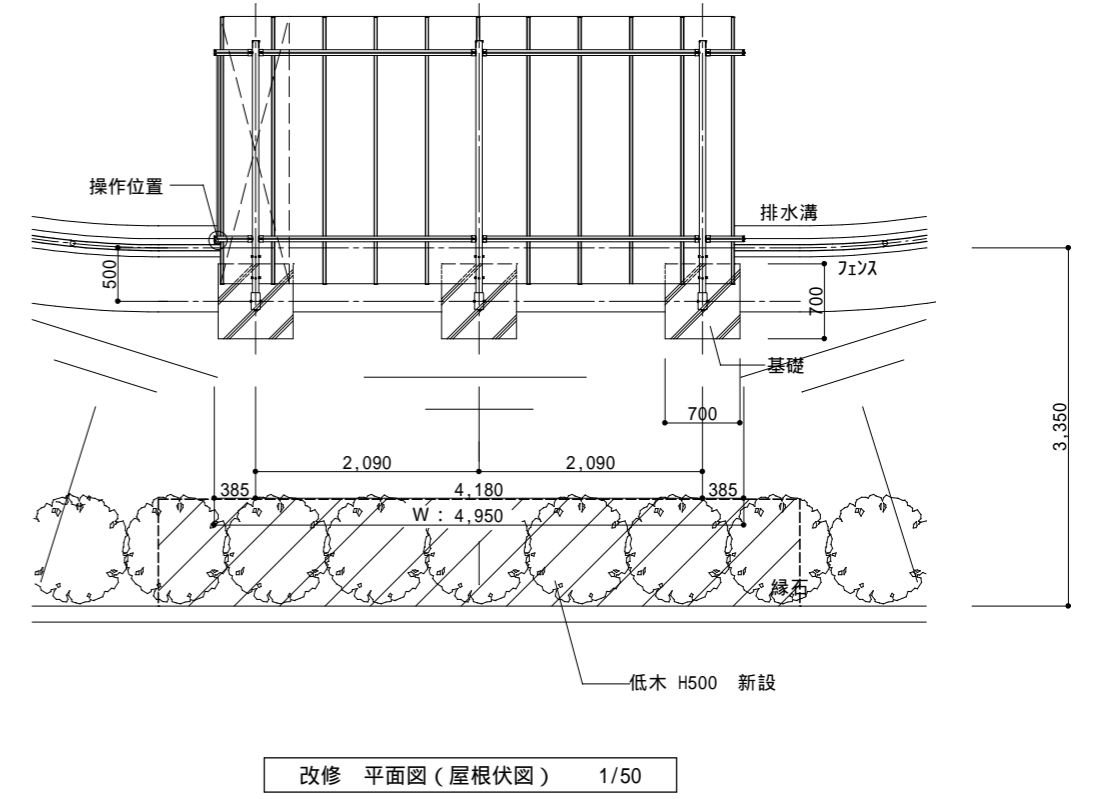
S = 1:30 1:50

設計者 : 1級建築士登録 庄田 正
第251646号

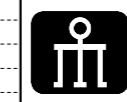
株式会社 三座建築事務所 管理建築士 : 1級建築士登録 庄田 正
第251646号



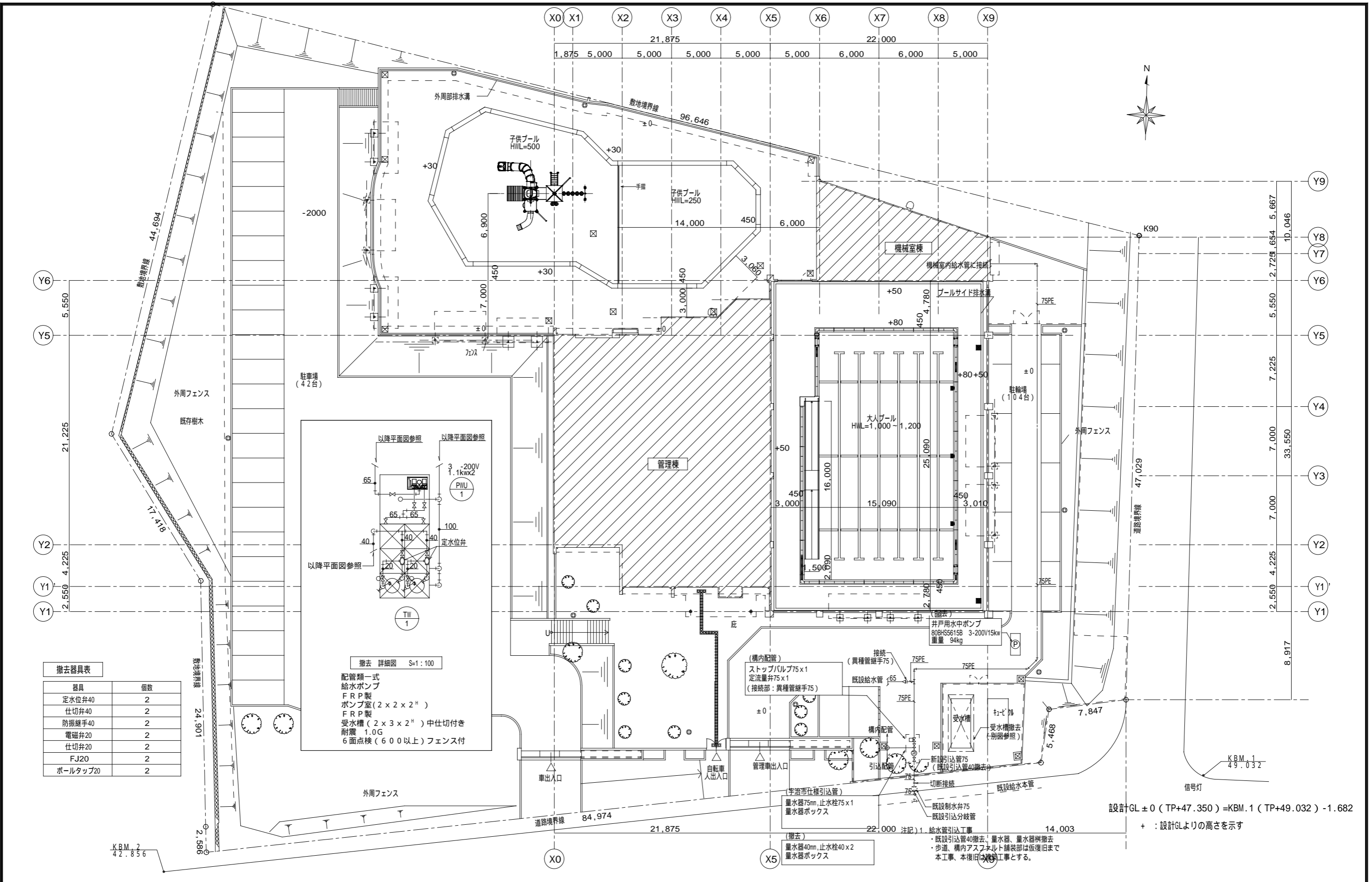
< 日除けテント仕様 >
 本体: アルミ製フレーム
 本体仕上: 電解着色仕上 (BA-2種)
 膜材: 防災キャンバス (防災認定品)



注記・備考
 本体: 太陽工業(株) 開閉式片持ちシェルター ゆらぎ3 同等品
 膜材: 大帆布(株) SOLTIS 86 同等品

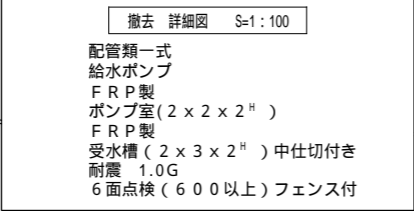


宇治市黄檗公園プール管理棟等改修工事
 日除けテント-3 詳細図 図面番号: A-58
 S = 1:30 設計者: 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号




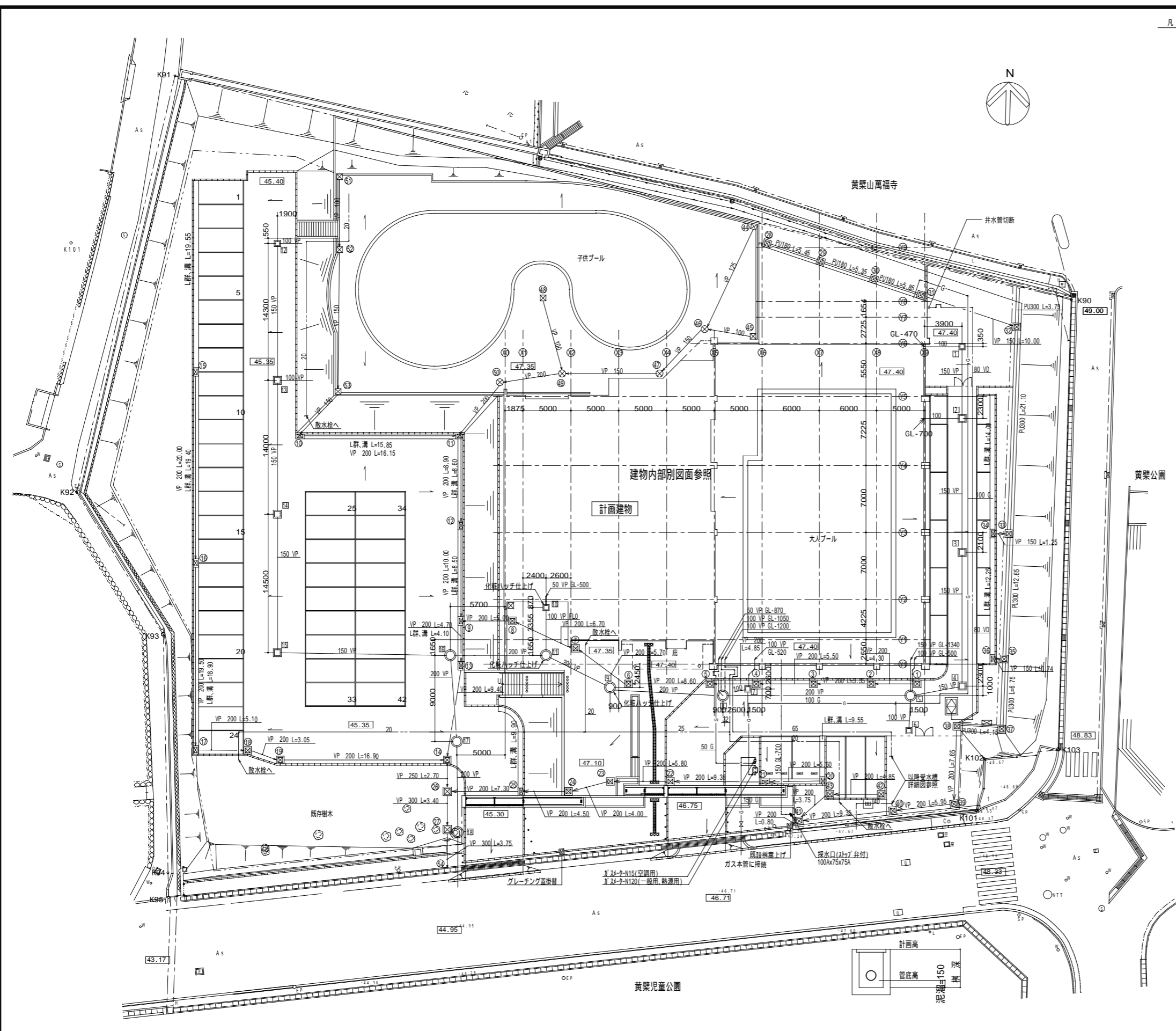
撤去器具表

器具	個数
定水位弁40	2
仕切弁40	2
防振継手40	2
電磁弁20	2
仕切弁20	2
FJ20	2
ボールタップ20	2



注記・備考


宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 (参考) 給水引込み替え配置図 設計年月日: 2026.1 図面番号: A-59
 S = 1:250 設計者: 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号
 株式会社 **三座建築事務所** 管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号




凡例

記号	細別	規格	数量	単位	備考
—	プレキャストU群溝	PU180	15.7	m	
—	プレキャストU群溝	PU300	48.4	m	
—	L群溝		140.4	m	
⊗	集水樹(1)		13	箇所	
⊗	集水樹(2)-1		4	箇所	
⊗	集水樹(2)-2		2	箇所	
⊗	集水樹(2)-3		5	箇所	
⊗	集水樹(2)-4		11	箇所	
⊗	集水樹(2)-5		5	箇所	
⊗	集水樹(2)-6		1	箇所	
⊗	集水樹(2)-7		2	箇所	
⊗	集水樹(2)-8		6	箇所	
⊗	集水樹(2)-9		4	箇所	
—	硬質塩化ビニール管	100 VP 100	13.0	m	
—	硬質塩化ビニール管	125 VP 125	11.0	m	
—	硬質塩化ビニール管	150 VP 150	47.6	m	
—	硬質塩化ビニール管	200 VP 200	231.5	m	
—	硬質塩化ビニール管	250 VP 250	2.7	m	
—	硬質塩化ビニール管	300 VP 300	7.15	m	
⊗	既設樹木		1	箇所	
⊗	グレーチング蓋掛替え		1	枚	

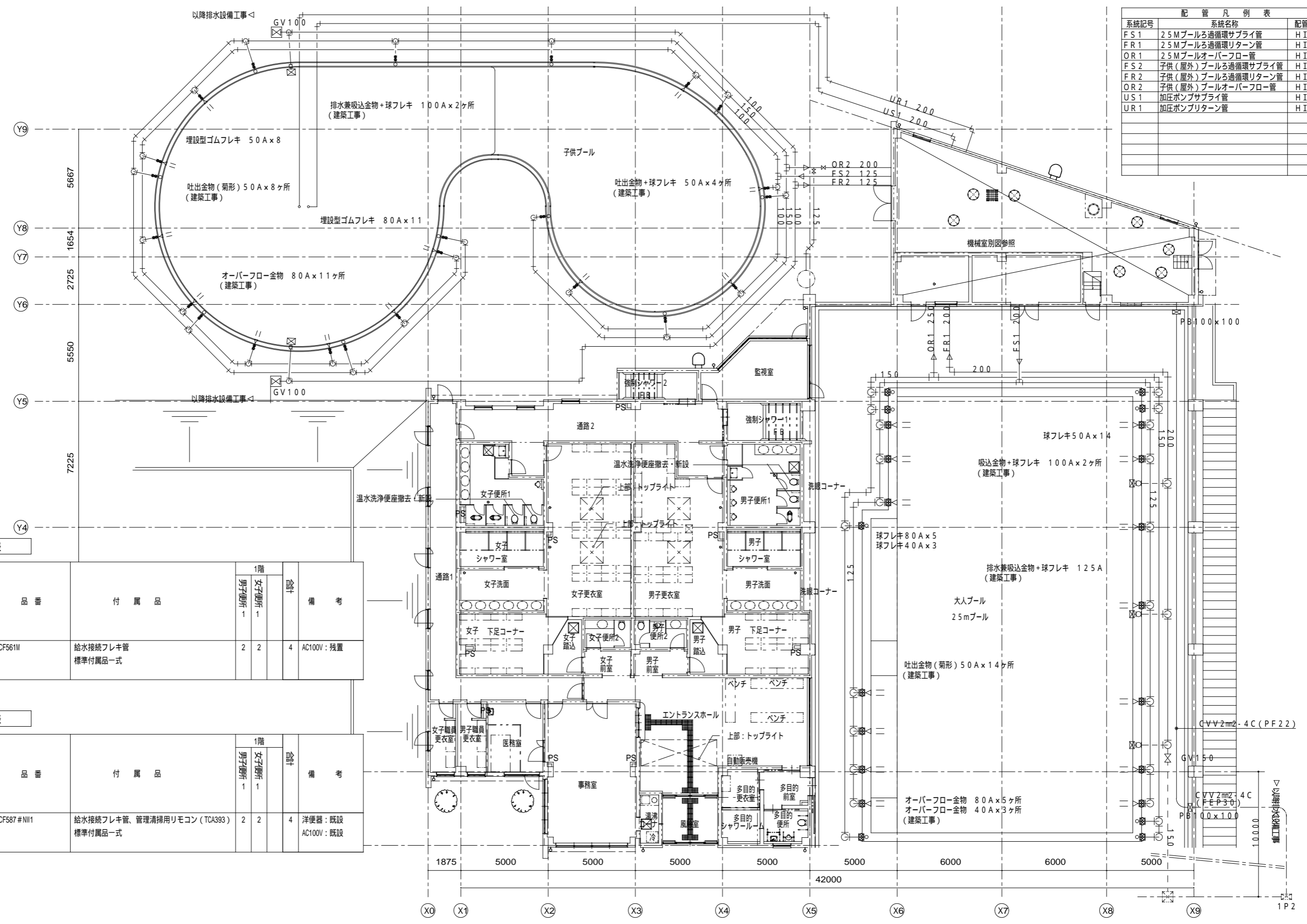
No.	サイズ	計画高	管底高	泥溜	樹深	タイプ
M ①	500 x 500	47.28	46.88	150	550	グレーチング T-20 集水樹(2)-4
M ②	500 x 500	47.28	46.85	150	580	グレーチング T-20 集水樹(2)-4
M ③	500 x 500	47.28	46.81	150	620	グレーチング T-20 集水樹(2)-4
M ④	500 x 500	47.28	46.77	150	660	グレーチング T-20 集水樹(2)-4
M ⑤	500 x 500	47.28	46.73	150	700	グレーチング T-20 集水樹(2)-4
M ⑥	500 x 500	47.35	46.67	150	830	グレーチング T-14(歩行用) 集水樹(2)-3
M ⑦	500 x 500	47.35	46.63	150	870	グレーチング T-6(歩行用) 集水樹(2)-3
M ⑧	500 x 500	47.35	46.58	150	920	グレーチング T-6(歩行用) 集水樹(2)-3
M ⑨	350 x 600	45.33	44.72	150	760	グレーチング T-6 集水樹(1)
M ⑩	350 x 600	45.35	44.95	150	550	グレーチング T-20 集水樹(1)
M ⑪	500 x 500	45.35	44.84	150	660	グレーチング T-20 集水樹(1)
M ⑫	350 x 600	45.34	44.78	150	710	グレーチング T-20 集水樹(1)
M ⑬	350 x 600	45.30	44.69	150	760	グレーチング T-20 集水樹(1)
M ⑭	600 x 600	45.31	44.62	150	840	グレーチング T-20 集水樹(2)-6
M ⑮	350 x 600	45.32	45.01	150	460	グレーチング T-20 集水樹(2)-6
M ⑯	350 x 600	45.28	44.93	150	500	グレーチング T-20 集水樹(2)-6
M ⑰	350 x 600	45.25	44.80	150	600	グレーチング T-20 集水樹(2)-6
M ⑱	500 x 500	45.30	44.76	150	690	グレーチング T-20 集水樹(2)-4
M ⑲	500 x 500	45.30	44.74	150	710	グレーチング T-20 集水樹(2)-4
M ⑳	350 x 600	47.35	46.95	150	550	グレーチング T-20 集水樹(1)
M ㉑	350 x 600	47.34	46.91	150	580	グレーチング T-20 集水樹(1)
M ㉒	500 x 500	46.75	46.20	150	550	グレーチング T-20 集水樹(2)-4
M ㉓	500 x 500	47.13	46.16	150	1120	グレーチング T-6(歩行用) 集水樹(2)-3
M ㉔	500 x 500	47.10	46.13	150	1120	グレーチング T-6(歩行用) 集水樹(2)-3
M ㉕	350 x 600	45.30	44.90	150	550	グレーチング T-20 集水樹(1)
M ㉖	600 x 600	45.30	44.60(44.85)	150	850	舗装型グレーチング T-6 集水樹(2)-7
M ㉗	600 x 600	45.30	44.58	150	870	舗装型グレーチング T-6 集水樹(2)-7
M ㉘	500 x 500	47.40	47.22	150	330	グレーチング T-6 集水樹(2)-1
M ㉙	500 x 500	47.38	47.20	150	330	グレーチング T-6 集水樹(2)-1
M ㉚	500 x 500	47.36	47.18	150	330	グレーチング T-6 集水樹(2)-1
M ㉛	500 x 500	47.34	47.16	150	330	グレーチング T-6 集水樹(2)-1
M ㉜	500 x 500	47.40	47.10	150	450	グレーチング T-6 集水樹(2)-5
M ㉝	500 x 500	47.30	47.00	150	450	グレーチング T-6 集水樹(2)-5
M ㉞	350 x 600	47.31	47.01	150	450	グレーチング T-6 集水樹(1)
M ㉟	500 x 500	47.24	46.94	150	450	グレーチング T-6 集水樹(2)-5
M ㊱	350 x 600	47.25	46.95	150	450	グレーチング T-6 集水樹(1)
M ㊲	500 x 500	47.30	46.91	150	540	グレーチング T-6 集水樹(2)-5
M ㊳	500 x 500	47.30	46.89	150	560	グレーチング T-20 集水樹(2)-4
M ㊴	500 x 500	47.30	46.85	150	600	グレーチング T-6 集水樹(2)-2
M ㊵	500 x 500	47.30	46.82	150	630	グレーチング T-6 集水樹(2)-2
M ㊶	500 x 500	47.30	46.81	150	810	グレーチング T-6 集水樹(2)-5
M ㊷	500 x 500	47.35	46.95	150	550	グレーチング T-20 集水樹(2)-4
M ㊸	500 x 500	47.35	46.93	150	570	グレーチング T-20 集水樹(2)-4
M ㊹	450 x 450	47.35	46.95	150	550	グレーチング T-6(SUS製) 集水樹(2)-8
M ㊺	450 x 450	47.35	46.88	150	620	グレーチング T-6(SUS製) 集水樹(2)-8
M ㊻	900	47.35	46.10	150	1400	Tホトホ(化粧板) 集水樹(2)-9
M ㊼	900	47.35	46.00	150	1500	Tホトホ(化粧板) 集水樹(2)-9
M ㊽	450 x 450	47.30	46.90	150	550	グレーチング T-6(SUS製) 集水樹(2)-8
M ㊾	900	47.35	45.87	150	1630	Tホトホ(化粧板) 集水樹(2)-9
M ㊿	900	47.35	45.78	150	1720	Tホトホ(化粧板) 集水樹(2)-9
M ㉀	450 x 450	47.35	46.95	150	550	グレーチング T-6(SUS製) 集水樹(2)-8
M ㉁	450 x 450	47.35	46.91	150	590	グレーチング T-6(SUS製) 集水樹(2)-8
M ㉂	450 x 450	47.35	46.84	150	660	グレーチング T-6(SUS製) 集水樹(2)-8
M ㉃	既設側溝	44.99	44.55	10	450	

No.	名称	樹サイズ	管径(流出口)	マンホール蓋
11	汚水樹	450 x 450	GL1-800	M H D
12	汚水樹	600 x 600	GL1-830	M H D
13	汚水樹	600 x 600	GL1-1000	M H D
14	汚水樹	600 x 600	GL1-1170	M H D
15	汚水樹	900	GL1-1510	M H D
16	汚水樹	450 x 450	GL1-800	M H D
17	汚水樹	450 x 450	GL1-800	M H D
18	汚水樹	900	GL1-1740	M H D
19	汚水樹	900	GL1-1910	M H D (化粧板)
20	汚水樹	450 x 450	GL1-800	M H D (化粧板)
21	汚水樹	900	GL1-2020	M H D (化粧板)
22	汚水樹	450 x 450	GL2-450	M H D
23	汚水樹	600 x 600	GL2-630	M H D
24	汚水樹	600 x 600	GL2-800	M H D
25	汚水樹	600 x 600	GL2-980	M H D
26	汚水樹	900	GL2-1200	M H D
27	汚水樹	900	GL2-1340	M H D
28	公設樹	900	GL2-1630	市製マンホール

注記・備考


宇治市黄栗公園プール改修建築工事
 【参考】既設屋外配管図 設計年月日: 2026.1 図面番号: A-60
 S = 1:300 設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正
 株式会社 **三座建築事務所** 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正

配管凡例表		
系統記号	系統名称	配管材質
FS1	2.5Mプールろ過循環サライ管	HIVP
FR1	2.5Mプールろ過循環リターン管	HIVP
OR1	2.5Mプールオーバーフロー管	HIVP
FS2	子供(屋外)プールのろ過循環サライ管	HIVP
FR2	子供(屋外)プールのろ過循環リターン管	HIVP
OR2	子供(屋外)プールオーバーフロー管	HIVP
US1	加圧ポンプサライ管	HIVP
UR1	加圧ポンプリターン管	HIVP



撤去衛生器具表

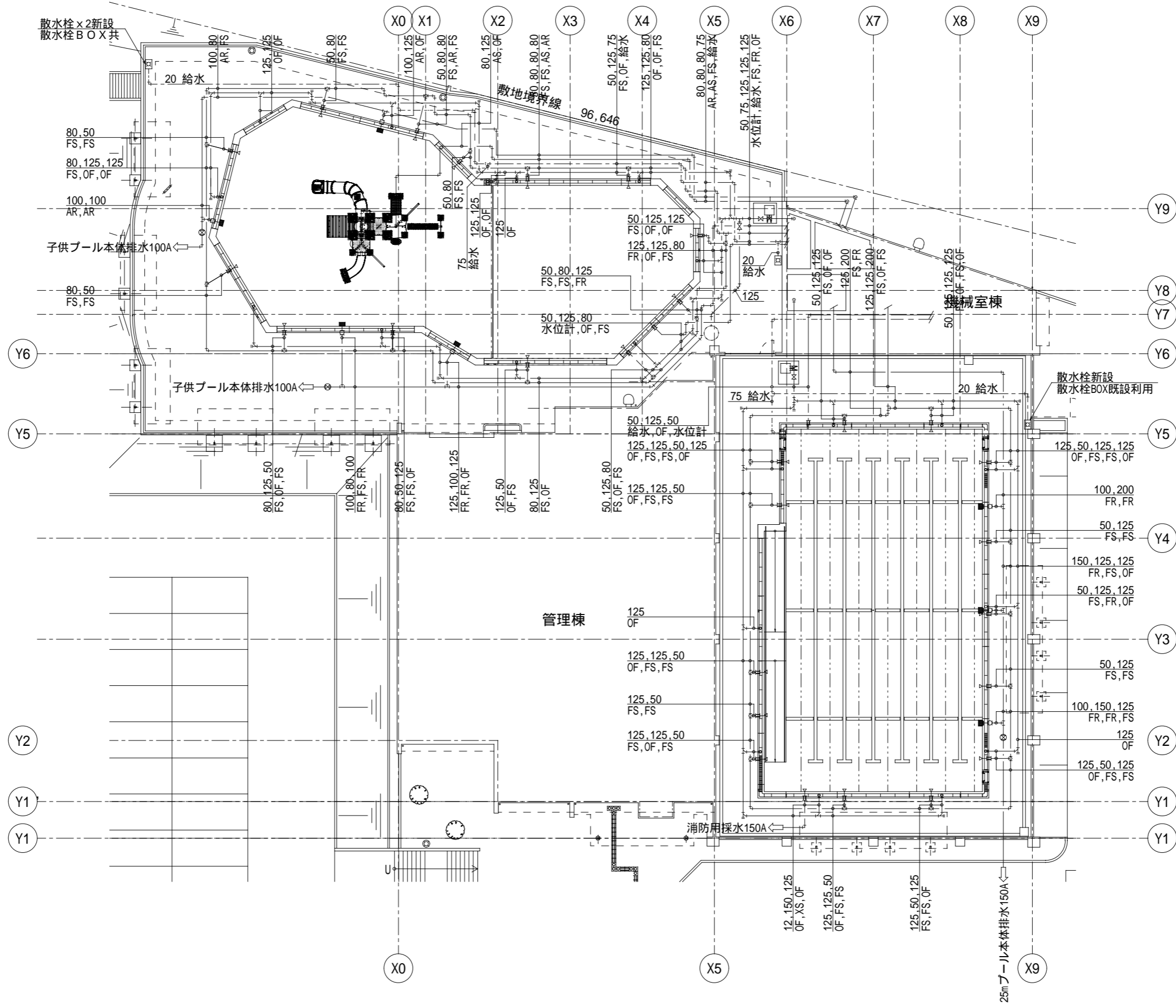
品名	品番	付属品	1階		合計	備考
			男子便所	女子便所		
温水洗浄便座	TCF561M	給水接続フレキ管 標準付属品一式	2	2	4	AC100V: 残置

新設衛生器具表

品名	品番	付属品	1階		合計	備考
			男子便所	女子便所		
温水洗浄便座	TCF587#NH1	給水接続フレキ管、管理清掃用リモコン(TCA393) 標準付属品一式	2	2	4	洋便器: 既設 AC100V: 既設

注記・備考

宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 [参考] 撤去プールの過設備配管ルート図 管理棟改修図 設計年月日: 2026.1 図面番号: A-61
 S = 1:150 設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正
 株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正



注
記
備
考



宇治市黄檗公園プール改修建築工事

〔参考〕新設プールの過設備
配管ルート図

設計年月日: 2026.1

図面番号: A-62

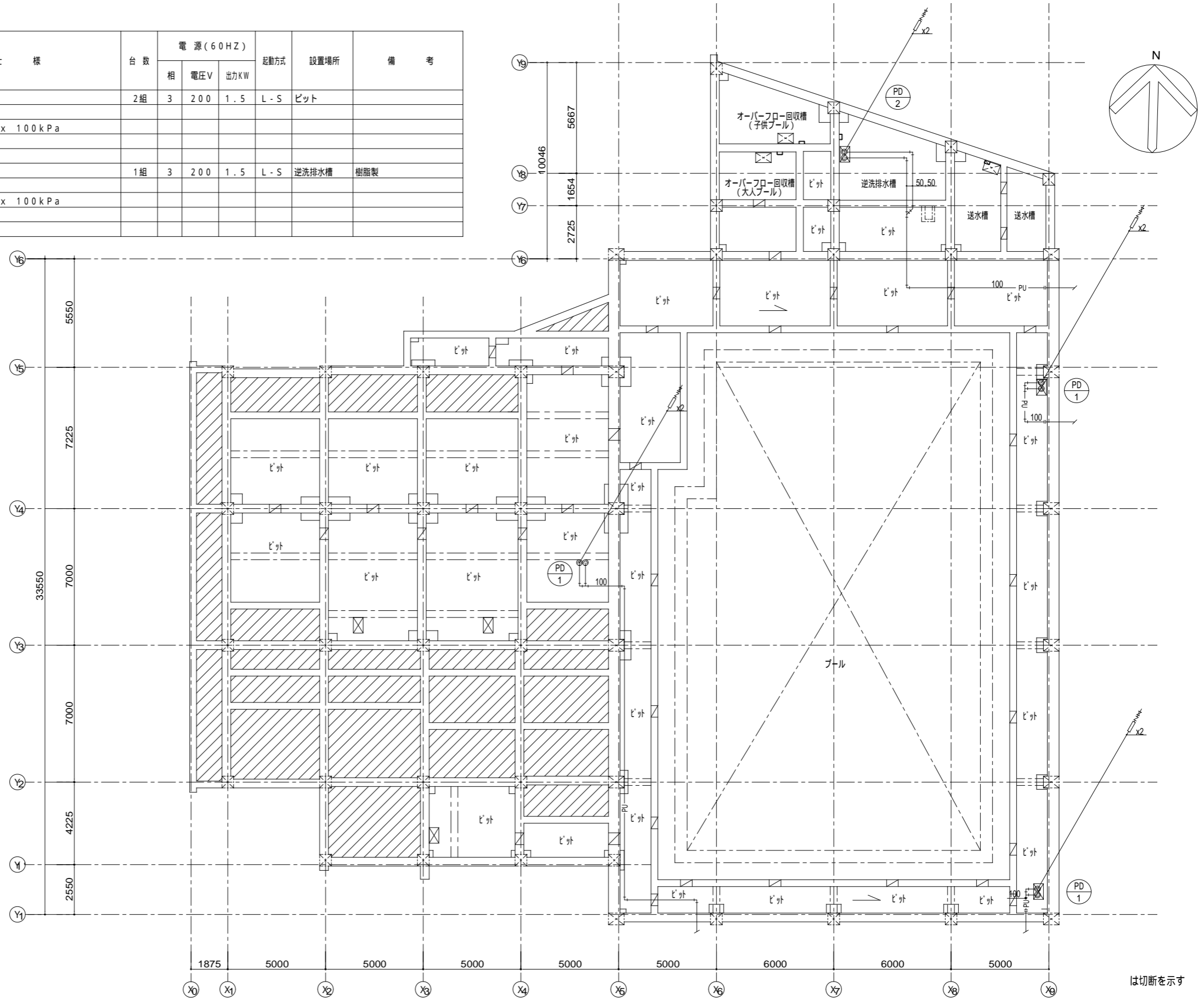
S = 1:200

設計者: 1級建築士登録
第251646号 庄田 正

株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録
第251646号 庄田 正

撤去 機器一覧表

記号	機器名称	機器仕様	台数	電源(60HZ)		起動方式	設置場所	備考
				相	電圧V			
PD-1	涌水ポンプ	型式 : 雑排水用水中ポンプ	2組	3	200	1.5	L-S	ピット
		運転方式 : 自動交互非常時同時運転						
		仕様 : 50A x 200 Ω /min x 100kPa 附属品 : 電極棒、水中ケーブル						
PD-2	汚水ポンプ	型式 : 逆洗用排水水中ポンプ	1組	3	200	1.5	L-S	逆洗排水槽
		運転方式 : 自動交互非常時同時運転						
		仕様 : 50A x 200 Ω /min x 100kPa 附属品 : 電極棒、着脱装置、水中ケーブル						



注
記
備
考



宇治市黄檗公園プール改修建築工事

【参考】撤去ピット排水平面図

設計年月日: 2026.1

図面番号: A-63

S = 1:150

設計者: 1級建築士登録 庄田 正

第251646号

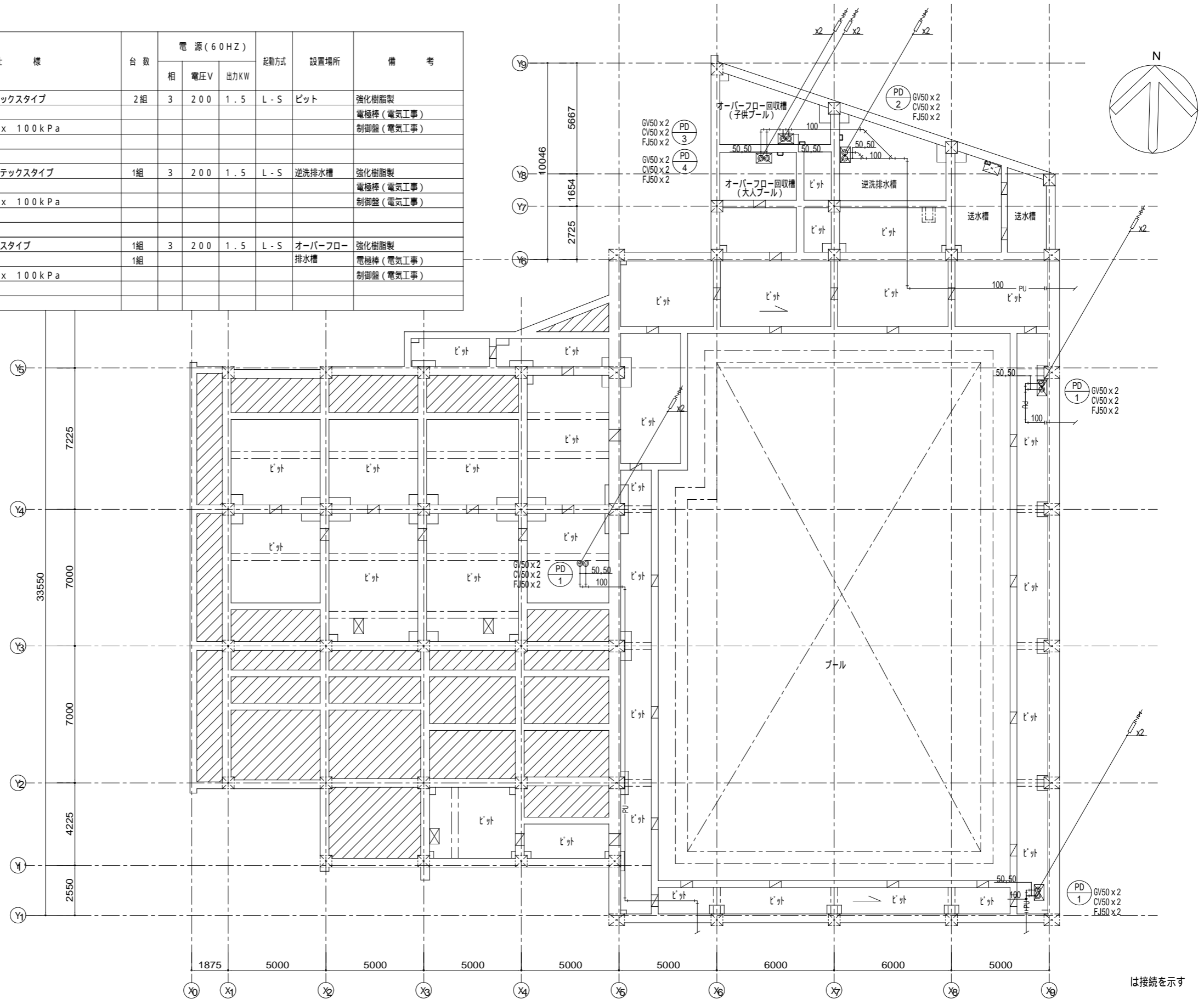
株式会社 三座建築事務所

管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正

第251646号

改修 機器一覧表

記号	機器名称	機器仕様	台数	電源(60HZ)			起動方式	設置場所	備考
				相	電圧V	出力KW			
PD-1	涌水ポンプ	型式 : 雑排水用水中ポンプ 樹脂製ボルテックスタイプ 運転方式 : 自動交互非常時同時運転 仕様 : 50A x 200ℓ /min x 100kPa 附属品 : 水中ケーブル	2組	3	200	1.5	L-S	ピット	強化樹脂製 電極棒(電気工事) 制御盤(電気工事)
PD-2	汚水ポンプ	型式 : 逆洗用排水水中ポンプ 樹脂製ボルテックスタイプ 運転方式 : 自動交互非常時同時運転 仕様 : 50A x 200ℓ /min x 100kPa 附属品 : 着脱装置、水中ケーブル	1組	3	200	1.5	L-S	逆洗排水槽	強化樹脂製 電極棒(電気工事) 制御盤(電気工事)
PD-3	汚水ポンプ	型式 : 排水水中ポンプ 樹脂製ボルテックスタイプ 運転方式 : 自動交互非常時同時運転 仕様 : 50A x 200ℓ /min x 100kPa 附属品 : 着脱装置、水中ケーブル	1組	3	200	1.5	L-S	オーバーフロー排水槽	強化樹脂製 電極棒(電気工事) 制御盤(電気工事)
PD-4	汚水ポンプ	型式 : 排水水中ポンプ 樹脂製ボルテックスタイプ 運転方式 : 自動交互非常時同時運転 仕様 : 50A x 200ℓ /min x 100kPa 附属品 : 着脱装置、水中ケーブル	1組	3	200	1.5	L-S	オーバーフロー排水槽	強化樹脂製 電極棒(電気工事) 制御盤(電気工事)



注
記
備
考



宇治市黄檗公園プール改修建築工事

【参考】新設ピット排水平面図

設計年月日: 2026.1

図面番号: A-64

S = 1:150

設計者: 1級建築士登録 庄田 正
第251646号

株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正
第251646号

'a' 撤去	
CV3.5' - 3C×6 E2.0×3 (既設ラック)	DP-1電源
CVV2' - 4C×3 (既設ラック)	DP-1電極

CV3.5' - 3C×4 E2.0×2 (既設ラック) 撤去
CVV2' - 4C×2 (既設ラック) 撤去

CV3.5' - 3C×2 E2.0 (E39)
CVV2' - 4C (E19)



宇治市黄檗公園プール改修建築工事

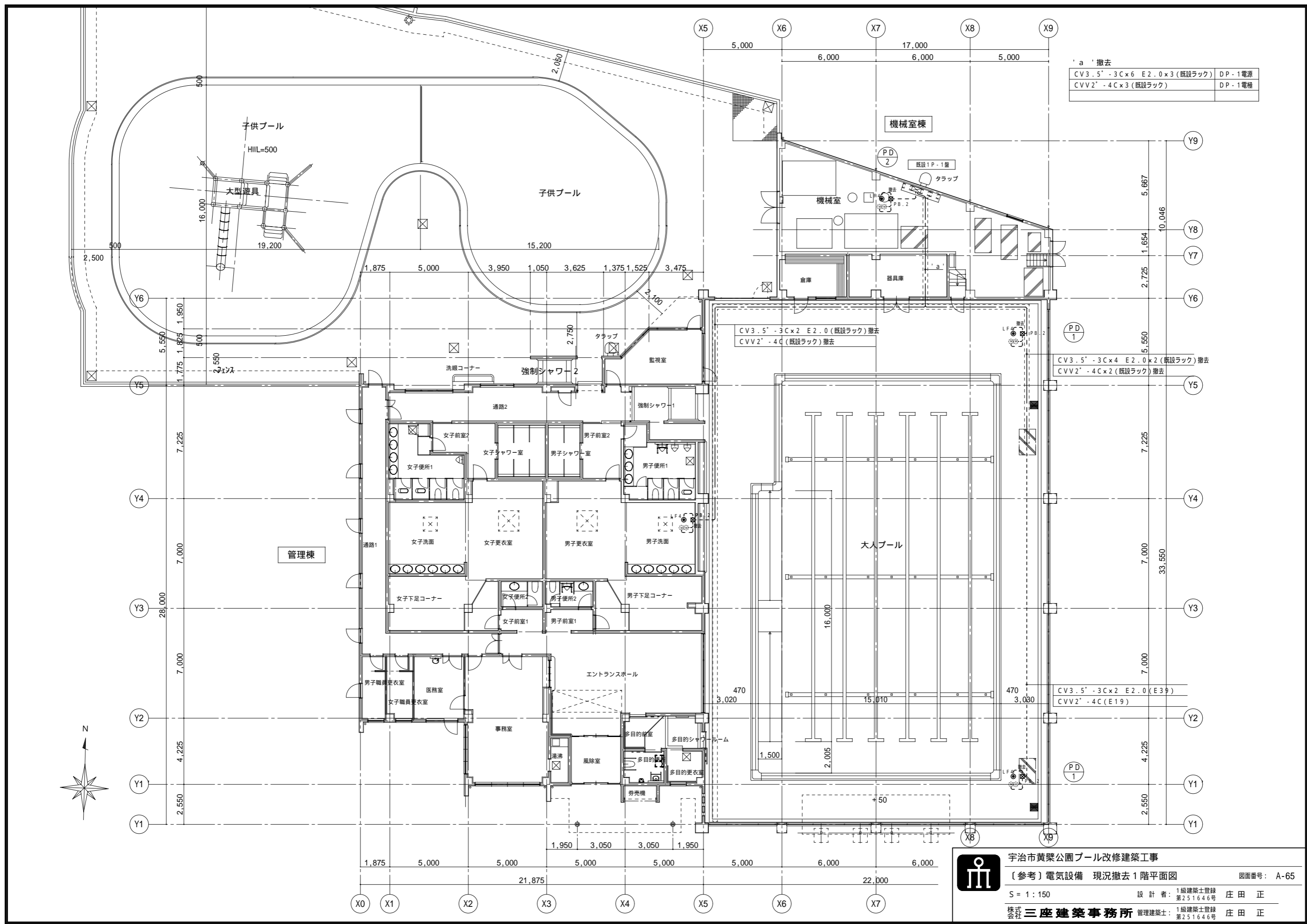
〔参考〕電気設備 現況撤去 1階平面図

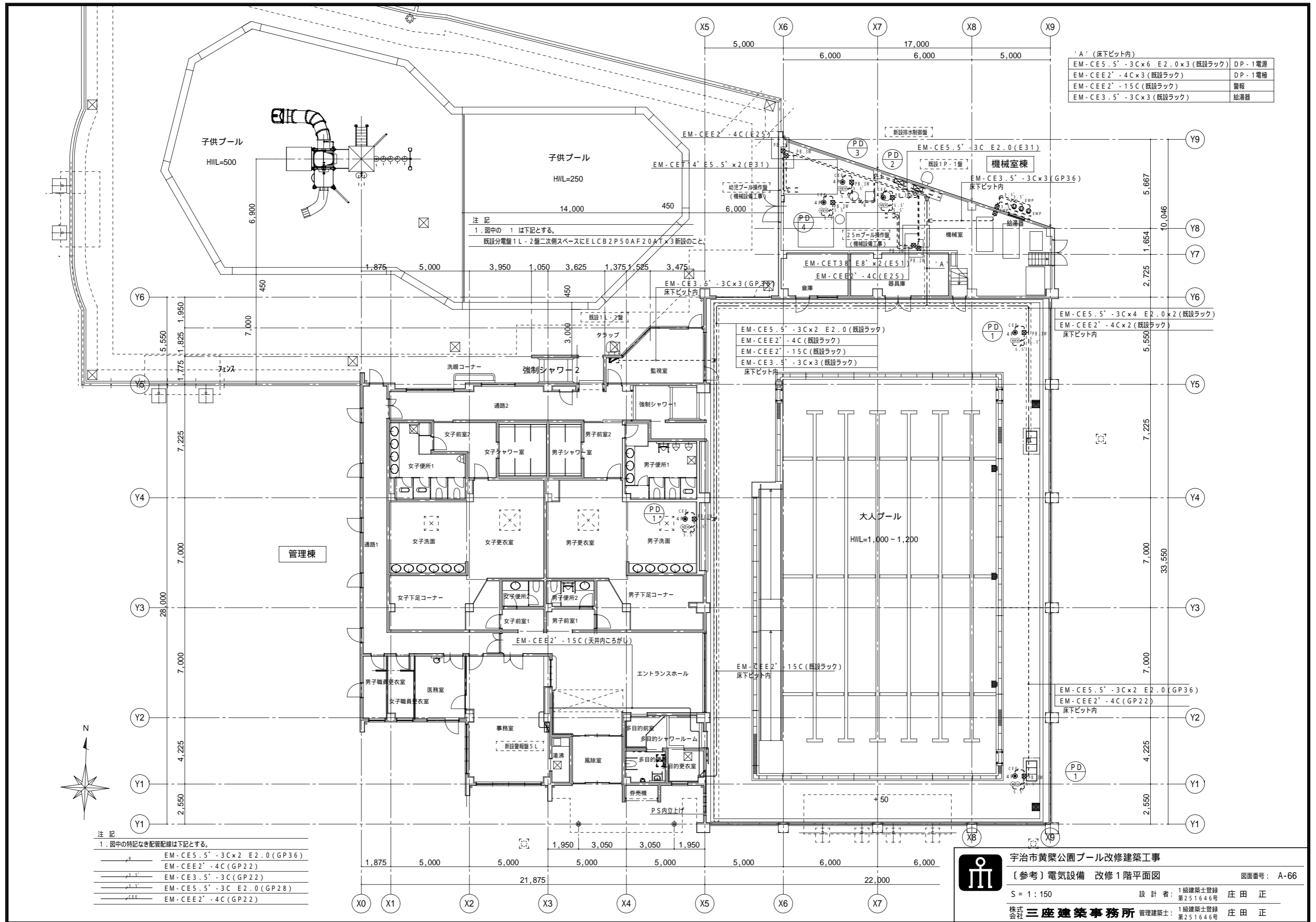
図面番号: A-65

S = 1 : 150

設計者: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正

株式会社 三座建築事務所 管理建築士: 1級建築士登録 第251646号 庄田 正





'A' (床下ビット内)

EM-CE5.5'-3C×6 E2.0×3 (既設ラック)	DP-1電源
EM-CEE2'-4C×3 (既設ラック)	DP-1電極
EM-CEE2'-15C (既設ラック)	警報
EM-CE3.5'-3C×3 (既設ラック)	給湯器

注記
 1. 図中の 1 は下記とする。
 既設分電盤1L・2盤二次側スペースにELCB2P50AF20AT×3新設のこと

注記
 1. 図中の特記なき配管配線は下記とする。

EM-CE5.5'-3C×2 E2.0 (GP36)
EM-CEE2'-4C (GP22)
EM-CE3.5'-3C (GP22)
EM-CE5.5'-3C E2.0 (GP28)
EM-CEE2'-4C (GP22)

宇治市黄檗公園プール改修建築工事
 【参考】電気設備 改修1階平面図 図面番号: A-66
 S = 1 : 150 設計者: 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号
 株式会社 **三座建築事務所** 管理建築士: 1級建築士登録 庄田 正
 第251646号